普通紙 / 専用紙に印刷

ハガキに印刷

封筒に印刷

L 判 /2L 判に印刷

ロール紙に印刷

印刷の中止方法

目的別の印刷方法

トラブル対処方法

インクカートリッジの交換方法

お勧めの機能

各画面と項目の説明

プリンタドライバ関連情報

サービス・サポートのご案内

その他の情報

普通紙 / 専用紙に印刷

最適な普通紙 / 専用紙の選択

エプソンでは、お客様のさまざまなご要望にお応えできるよう、各種用紙をご用意しております。市販の普通紙にも印刷することはできますが、よりきれいに印刷するためには、エプソン製の専用紙をご使用になることをお勧めします。
以下では、本プリンタで印刷できるエプソン製の用紙と市販の用紙についてご説明します。用途に合った用紙を選択してください。

エプソン製の用紙

注 意

一部専用紙に同梱されている「クリーニングシート」は、本プリンタでは紙送りの機構上ご使用になれません。

写真用紙

用紙名	特長	サイズ	入り数	型番
PM 写真用紙＜光沢＞	光沢感のある写真用紙です。写真同様の印刷結果を実現できます。	L 判	20	KL20PSK
			50	KL50PSK
		2L 判	20	K2L20PSK
		A4	20	KA420PSK
			50	KA450PSK
			250	KA4250PSKN
PM/MC 写真用紙＜半光沢＞	光沢感をおさえた写真用紙です。写真の風合い（質感）を実現できます。	A4	20	KA420MSH
PM マット紙	厚みのある非光沢の写真用紙です。落ち着いた質感を実現できます。	A4	50	KA450PM
フォト・プリント紙 2	厚口タイプの光沢紙です。写真並の色鮮やかさをお手ごろな価格で実現できます。	A4	20	PMA4SP1
			50	KA450PP2

光沢フィルム

用紙名	特長	サイズ	入り数	型番
スーパーファイン専用光沢フィルム	光沢感のある写真の印刷に適した、破れにくいフィルムです。	A6	10	MJA6CP1
		A4	20	MJA4SP6

文書などの印刷に適した専用紙

用紙名	特長	サイズ	入り数	型番
スーパーファイン専用紙 2	写真やイラストなどが入った文書の印刷に最適な用紙です。	B5	100	KB5100SF2
		A4	100	KA4100SF2

用紙名	特長	サイズ	入り数	型番
上質普通紙	ビジネス文書やホームページの印刷に適したインクジェット用の普通紙です。特に黒インクの発色に優れています。	A4	250	KA4250NP
両面上質普通紙 <再生紙>	ビジネス文書やホームページの印刷に適したインクジェット用の両面普通紙です。 （古紙 100% 配合再生紙。）	A4	250	KA4250NPD

特殊用紙

用紙名	特長	サイズ	入り数	型番
アイロンプリントペーパー	印刷した写真やイラストを、衣類（綿 100% または綿 50% 以上の混紡）に転写することのできる用紙です。オリジナルの T シャツなどができます。	A4	5	MJTRSP1
ミニフォトシール	小さなシールを作ることができる用紙です。16 分割シールに対応したアプリケーションソフトから印刷してください。	ハガキサイズ （16 分割）	5	MJHSP5
スーパーファイン専用ラベルシート	オリジナルのステッカーを作れる、裏面のり付きのラベルシールです。好きな形に切り取って貼ることができます。	A4	10	MJASP5
専用 OHP シート	写真やグラフなどが入った印刷に最適な OHP シートです。	A4	10	KA410SOHP
			30	MJOHPS1N
フォトカード 2	余白の裁ち落としができるミシン目付きの用紙です。	114 × 175mm （ミシン目切り取り後 102 × 152mm）	20	PMZSP1
フォト光沢名刺カード	写真やイラストが入った名刺を作るのに最適な用紙です。	A4 サイズ（8 分割）	10	KNC10PP

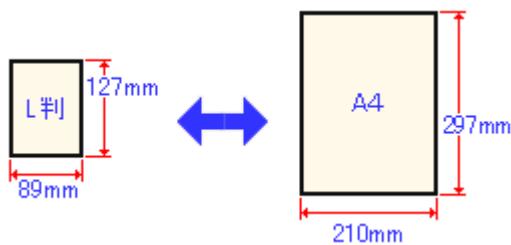
市販の用紙

一般に販売されている事務用普通紙をご利用ください。

注意

坪量 64 ～ 90g/m^2、厚さ 0.08 ～ 0.11mm の範囲のものを使用してください。

印刷できる用紙のサイズ

本プリンタにセットして印刷することのできる定形の用紙サイズは、最小で 89 × 127mm（L 判）、最大で 210 × 297mm（A4）です。

ポイント

プリンタドライバでは、ユーザー定義サイズとして以下の用紙サイズが設定できます。
Windows 95/98Me：**最小** 89 × 89mm、**最大** 241.3 × 1117.6mm
Windows NT4.0/2000：**最小** 89 × 89mm、**最大** 241.3 × 3276.7mm
Macintosh：**最小** 88.9 × 88.9mm、**最大** 558.8 × 1117.6mm
ただし、この設定可能範囲には通紙保証外のサイズも含まれますので、上記の定形サイズに拡大 / 縮小して印刷することをお勧めします。

普通紙 / 専用紙のセット方法

ここでは、普通紙 / 専用紙のセット方法についてご説明します。

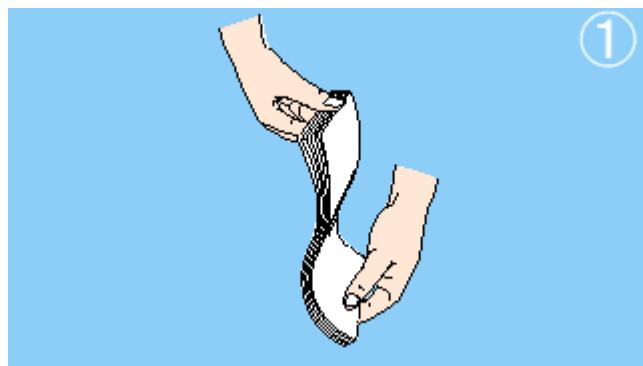
注意

エプソン製専用紙をセットする前に、必ず用紙に添付の取扱説明書をご覧ください。

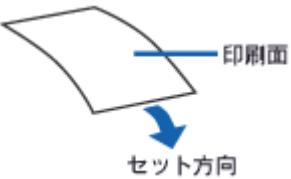
ポイント

各種用紙（普通紙を除く）は、一般の室温環境（温度 15 ～ 25 度、湿度 40 ～ 60%）で使用してください。

1. **プリンタの電源をオンにして、排紙サポートを引き出します。**
2. **用紙を図のようによくさばき、端をそろえます。**

   PM 写真用紙、PM/MC 写真用紙を使用する場合は、用紙をさばかずに手順 3 へ進みます。

注意

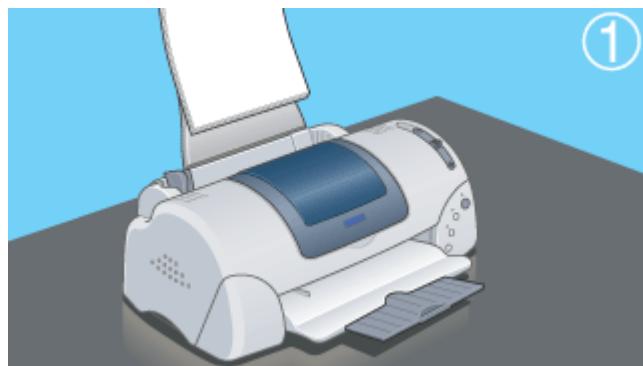
- 使用する用紙によっては、反りを修正する必要があります。反りを修正する用紙・反りを付ける用紙は次の通りです。

MC マット紙、PM マット紙	下図のように反りを付ける。 印刷面 セット方向
PM/MC 写真用紙＜半光沢＞	反りを修正しない。
MC 光沢紙、スーパーファイン専用紙、MC 画材用紙、上質普通紙、両面上質普通紙	反りを修正する。

- 反りの修正が必要な用紙の場合、フチなし全面印刷や印刷領域を［最大］に設定して印刷するときは、特に用紙の反りを厳密に修正してください。反っている用紙を使用すると、用紙の下端がプリントヘッドとこすれて汚れるおそれがあります。

ポイント

用紙によっては、手の油分や水分が印刷品質に影響を与える場合があります。用紙を取り扱う場合には用紙の端を持つか、綿製の手袋などをすることをお勧めします。

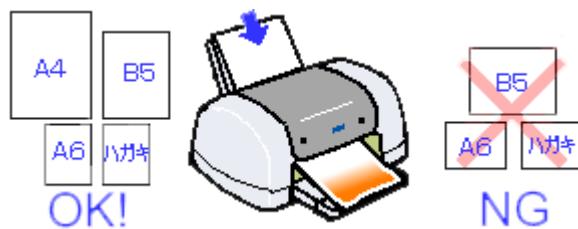
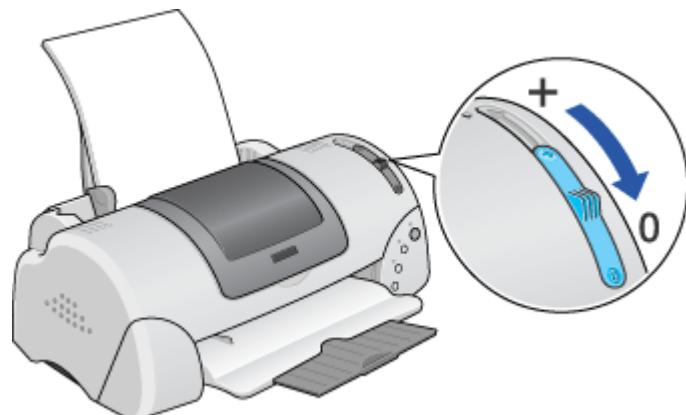
3. **印刷する面を手前側にして、用紙をオートシートフィーダの右側に沿わせながら縦方向にセットします。続いて、エッジガイドを用紙の側面に合わせます。**

専用紙によって、印刷面やセット可能枚数が異なります。また、給紙補助のためにシートまたは普通紙を用紙の一番下に敷く必要がありますので、下表を参照してセットしてください。

用紙	セット可能枚数	印刷面	給紙補助
市販の普通紙	▼マークまで	－	必要ありません
上質普通紙	▼マークまで	－	必要ありません
両面上質普通紙＜再生紙＞	▼マークまで	－	必要ありません
スーパーファイン専用用紙 2	30 枚	より白い面	必要ありません
PM 写真用紙＜光沢＞	L 判：20 枚	より光沢のある面	必要ありません
	2L 判：10 枚		
	A4：1 枚		
PM/MC 写真用紙＜半光沢＞	1 枚	より光沢のある面	必要ありません
PM マット紙	20 枚	より白い面	給紙補助シート
フォト・プリント紙 2	20 枚	より光沢のある面	必要ありません
アイロンプリントペーパー	1 枚	白紙の面（印刷がない面） 切り落とされた角がある場合は、その角が右上にくる面	必要ありません
スーパーファイン 専用光沢フィルム	A6：1 枚	切り落とされた角が右上にくる面	普通紙 （A6 の場合は、給紙補助シート）
	A4：1 枚		
専用 OHP シート	1 枚	印刷面	普通紙
ミニフォトシール	1 枚		給紙補助シート A/B
フォト光沢名刺カード	1 枚		給紙補助シート
スーパーファイン専用ラベルシート	1 枚	EPSON ロゴの印刷されていない面	必要ありません
フォトカード 2	20 枚	より光沢のある面	給紙補助シート

ポイント

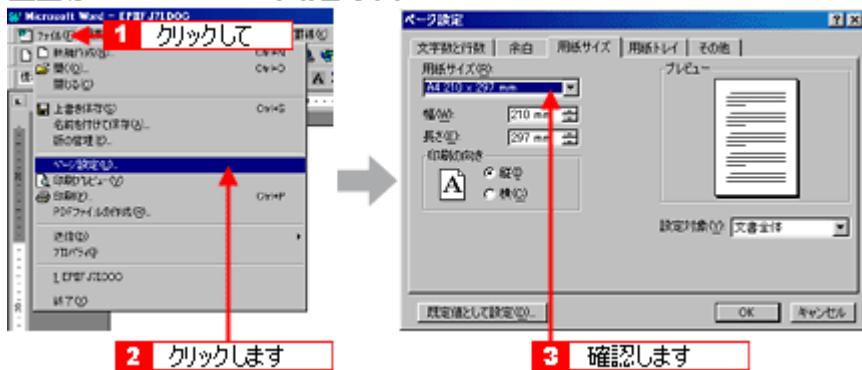
- 給紙補助シートは、ご購入いただいた専用紙パックに同梱されています。
- 給紙補助シートは、セット可能枚数に含まれません。

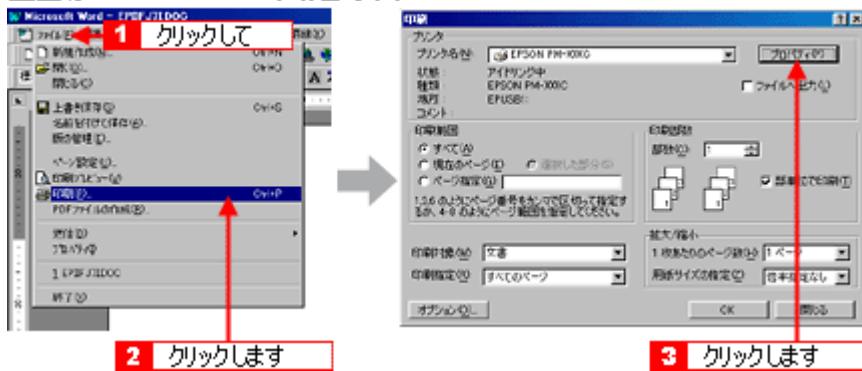
注 意

用紙のセット方向について
用紙は縦方向にセットしてください。横方向にセットすると、正常に印刷や排紙ができません。
（往復ハガキのみ横方向にセットします。）

4. **アジャストレバーが＜ 0 ＞位置になっていることを確認します。**

普通紙 / 専用紙への印刷方法

ここでは、普通紙 / 専用紙への基本的な印刷方法をご説明します。

1. **作成した文書（データ）の用紙サイズを確認します。**

   多くのアプリケーションソフトでは、[ファイル] メニューの [用紙設定] や [ページ設定] などの項目で確認できます。

2. **プリンタドライバの設定画面を開きます。**

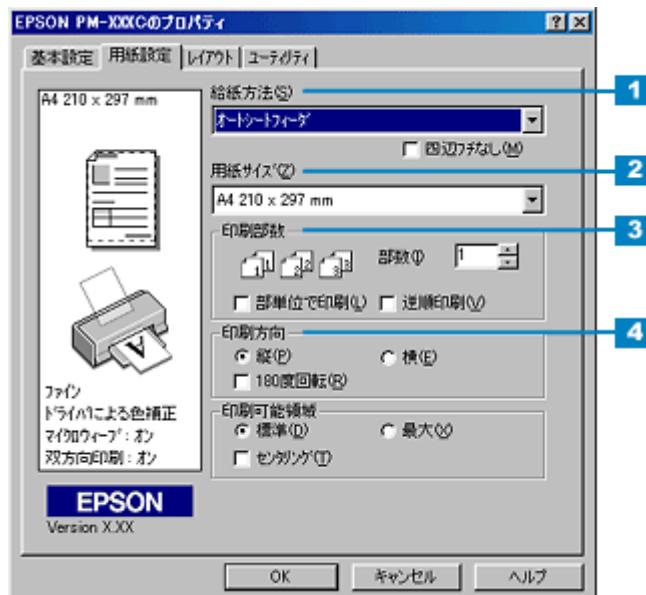
   アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、プリンタドライバの設定画面を開いてください。多くのアプリケーションソフトでは、[ファイル] メニューの [印刷] や [プリント] をクリックして表示される画面から、プリンタドライバの設定画面を開くことができます。

3. **[基本設定] 画面の各項目を設定します。**

1	用紙種類	プリンタにセットした用紙の種類を、リストボックスから選択します。	
		セットした用紙	**用紙種類**
		上質普通紙	普通紙
		両面上質普通紙	普通紙
		PM 写真用紙＜光沢＞	PM 写真用紙
		PM/MC 写真用紙＜半光沢＞	PM 写真用紙
		PM マット紙	PM マット紙
		フォト・プリント紙 2	フォトプリント紙
		スーパーファイン専用紙 2	スーパーファイン専用紙 2
		スーパーファイン専用光沢フィルム	専用光沢フィルム
		ミニフォトシール	専用光沢フィルム
		アイロンプリントペーパー	アイロンプリントペーパー
		スーパーファイン専用ラベルシート	スーパーファイン専用紙 2
		専用 OHP シート	専用 OHP シート
		フォトカード 2	フォトプリント紙
		フォト光沢名刺カード	フォトプリント紙
2	インク	［カラー］で印刷するか、［黒］（モノクロ）で印刷するかを選択します。	
3	モード設定	印刷モードを設定します。 ここでは、自動的に最適な設定で印刷する［推奨設定］を選択してみましょう。	
4	印刷プレビュー	印刷前に、印刷イメージを確認する場合はチェックします。	

ポイント

［基本設定］画面の各項目の詳細については、以下のページをご覧ください。
「基本設定画面」

4. ［用紙設定］タブをクリックします。

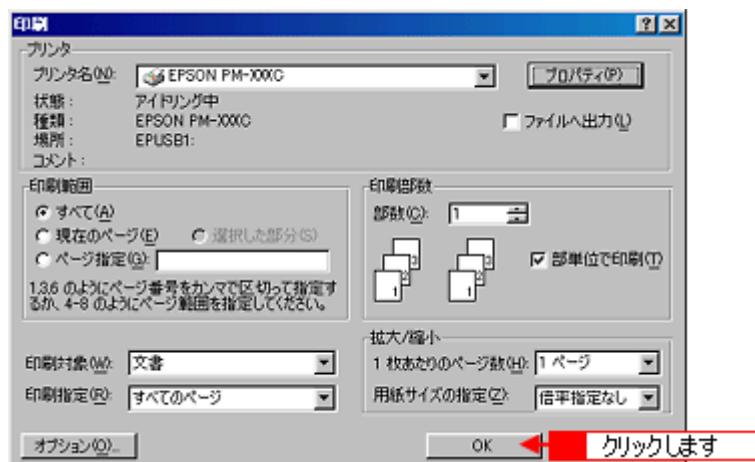
5. ［用紙設定］画面の各項目を設定します。

1	給紙方法	［オートシートフィーダ］を選択します。
2	用紙サイズ	手順 1 で確認した印刷データの用紙サイズをリストボックスから選択します。
3	印刷部数	印刷部数を入力します。
4	印刷方向	印刷方向を選択します。［用紙設定］画面の左部で、実際の印刷方向を確認できます。

［用紙設定］画面の各項目の詳細については、以下のページをご覧ください。

「用紙設定画面」

6. ［OK］ボタンをクリックして、プリンタドライバの設定画面を閉じます。

7. ［OK］ボタンをクリックして、印刷を実行します。

画面上にプログレスメータが表示され、印刷が開始されます。

印刷後の用紙の取り扱いや保存方法については、以下のページをご覧ください。

「印刷後の用紙の保存方法」

ハガキに印刷

最適なハガキの選択

エプソンでは、お客様のさまざまなご要望にお応えできるよう、各種ハガキをご用意しております。官製ハガキにも印刷することはできますが、よりきれいに印刷するためには、エプソン製の専用ハガキをご使用になることをお勧めします。以下では、本プリンタで印刷できるエプソン製のハガキと官製ハガキについてご説明します。用途に合ったハガキを選択してください。

エプソン製のハガキ

用紙名	特長	サイズ	入り数	型番
PM マットハガキ	厚みのある非光沢のハガキです。落ち着いた質感を実現できます。写真を使っての年賀状やバースデイカード作りに最適です。	ハガキ	50	KH50PM
フォト・クォリティ・カード 2	光沢感のあるハガキです。写真を使っての年賀状やバースデイカード作りに最適です。	ハガキ	20	PMHSP1
スーパーファイン専用ハガキ	お手ごろな価格で、写真を使っての年賀状やバースデイカードを作ることができるハガキです。	ハガキ	50	MJSP5

! 注意

一部のエプソン製ハガキに同梱されている「クリーニングシート」は、本プリンタでは紙送りの機構上ご使用になれません。

官製ハガキ

一般の官製ハガキをご利用ください。インクジェット対応の官製ハガキもご利用いただけます。

! 注意

- 往復ハガキの場合は、中央に折り目のないものをお使いください。
- 市販の再生紙ハガキなどは、正常に給紙できないおそれがあります。

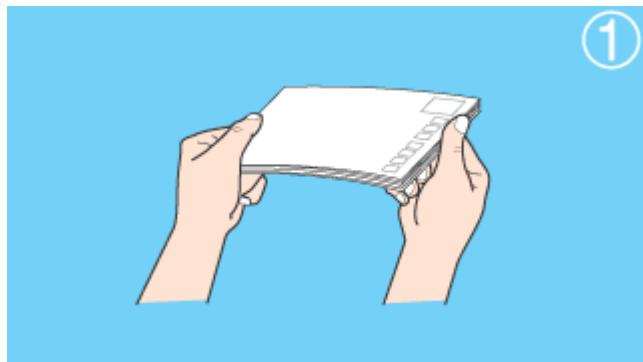
ハガキのセット方法

ここでは、ハガキのセット方法をご説明します。

注意

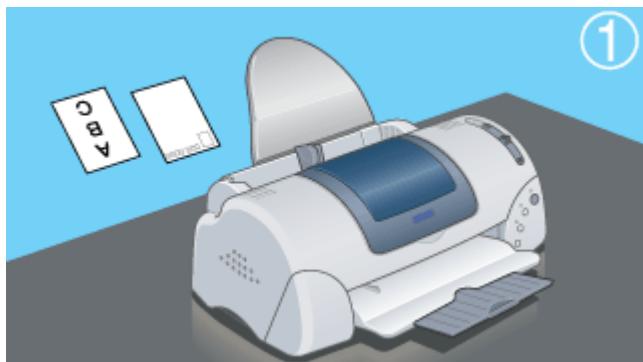
エプソン製のハガキをセットする前に、必ずハガキに添付の取扱説明書をご覧ください。

1. プリンタの電源をオンにして、排紙サポートを引き出します。

2. ハガキを図のようによくさばき、端をそろえます。

ポイント

用紙によっては、手の油分や水分が印刷品質に影響を与える場合があります。用紙を取り扱う場合は用紙の端を持つか、綿製の手袋などをすることをお勧めします。

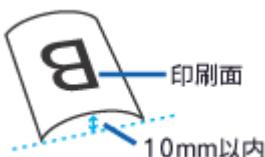
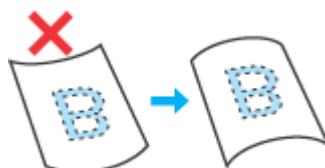
3. 印刷する面を手前側にして、ハガキをオートシートフィーダの右側に沿わせて縦方向にセットします。続いてエッジガイドをハガキの側面に合わせます。

   宛先用の郵便番号枠を下側にセットしてください。
   用紙によって、セット可能枚数が異なります。またエプソン製専用ハガキをセットする場合は、給紙補助のためにシートを用紙の一番下に敷く必要がありますので、下表を参照してセットしてください。

用紙	セット可能枚数	給紙補助
官製ハガキ	30 枚	必要ありません
官製ハガキ（インクジェット紙）	30 枚	必要ありません
官製往復ハガキ	30 枚	必要ありません

PM マットハガキ	30 枚	給紙補助シート
フォト・クォリティ・カード 2	20 枚	給紙補助シート<タイプ C >
スーパーファイン専用ハガキ	30 枚	給紙補助シート

※給紙補助シートは、ご購入いただいた専用紙パックに同梱されているものをお使いください。

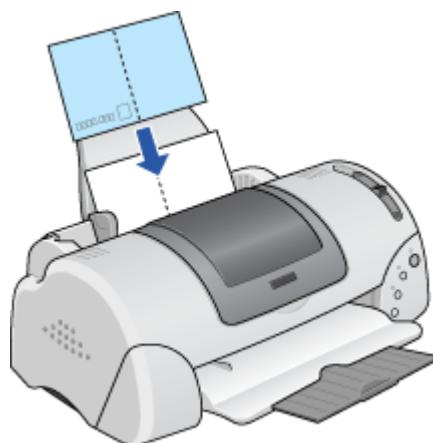
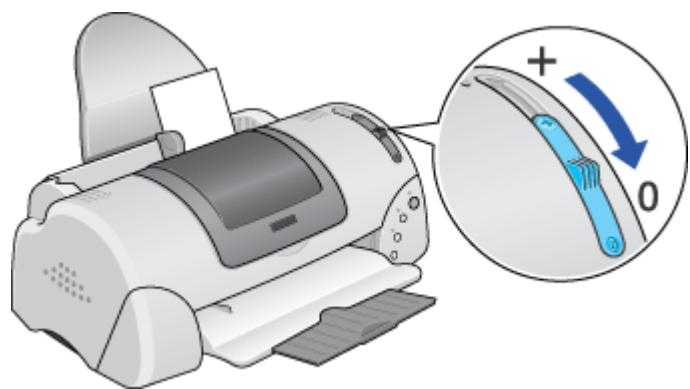
注 意

ハガキは、図のように多少反りを付けてからセットしてください。

また、片面に印刷後、その裏面に印刷するときは、しばらく乾かした後、反りを付けなおしてください。

逆に反った状態（上記の×のイラスト）で印刷すると、印刷面が汚れるおそれがあります。

ポイント

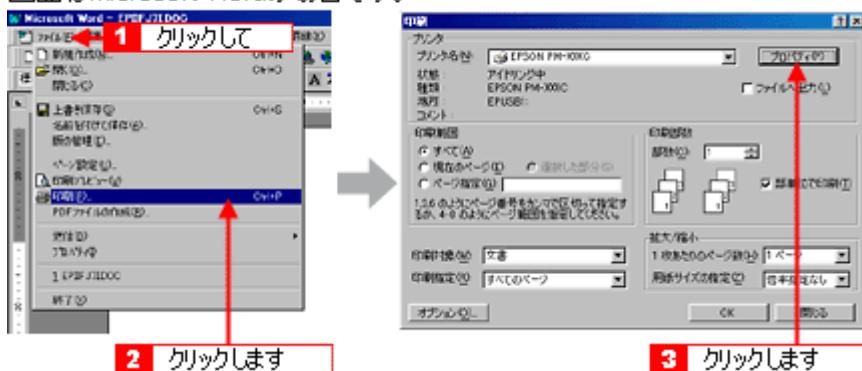
往復ハガキは、横方向にセットしてください。また折り目を付けずにセットしてください。

4. アジャストレバーが< 0 >位置になっていることを確認します。

+
0

ハガキへの印刷方法

ここでは、ハガキへの基本的な印刷方法をご説明します。

1. **プリンタドライバの設定画面を開きます。**

   アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、プリンタドライバの設定画面を開いてください。多くのアプリケーションソフトでは、［ファイル］メニューの［印刷］や［プリント］をクリックして表示される画面から、プリンタドライバの設定画面を開くことができます。

2. **［基本設定］画面の各項目を設定します。**

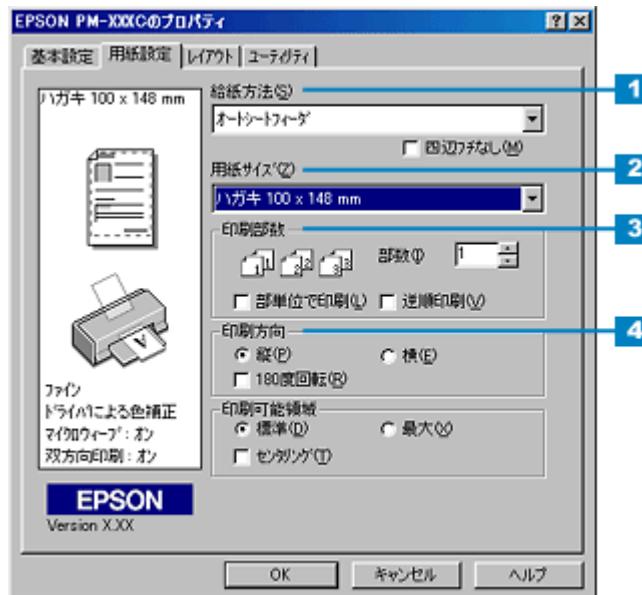
1	用紙種類	プリンタにセットしたハガキの種類を、リストボックスから選択します。		
		セットした用紙		**用紙種類**
		官製ハガキ		普通紙
		官製ハガキ（インクジェット紙）	宛名面	普通紙
			通信面	PM マット紙
		PM マットハガキ	宛名面	普通紙
			通信面	PM マット紙
		フォト・クォリティ・カード 2	宛名面	普通紙
			通信面	フォトプリント紙
		スーパーファイン専用ハガキ	宛名面	普通紙
			通信面	スーパーファイン専用紙 2
2	インク	［カラー］で印刷するか、［黒］（モノクロ）で印刷するかを選択します。		
3	モード設定	印刷モードを設定します。 ここでは、自動的に最適な設定で印刷する［推奨設定］を選択してみましょう。		
4	印刷プレビュー	印刷前に、印刷イメージを確認する場合はチェックします。		

ポイント

［基本設定］画面の各項目の詳細については、以下のページをご覧ください。

「基本設定画面」

3. ［用紙設定］タブをクリックします。

4. ［用紙設定］画面の各項目を設定します。

1	給紙方法	［オートシートフィーダ］を選択します。
2	用紙サイズ	［ハガキ］を選択します。往復ハガキに印刷する場合は、［往復ハガキ］を選択します。
3	印刷部数	印刷部数を入力します。
4	印刷方向	印刷方向を選択します。［用紙設定］画面の左部で、実際の印刷方向を確認できます。

ポイント

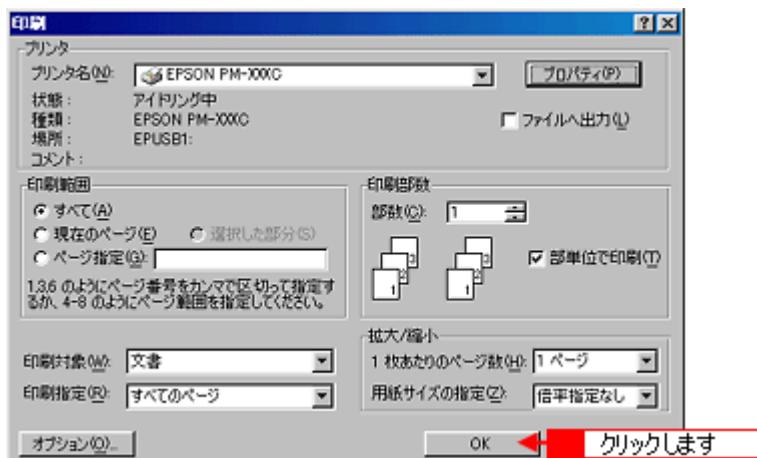
- ［四辺フチなし］印刷をすると、画像によってはハガキの先端が傷付く場合があります。
  先端の傷が気になる場合は、プリンタドライバで印刷可能領域を［最大］または［標準］に設定して印刷することをお勧めします。
- ［用紙設定］画面の各項目の詳細については、以下のページをご覧ください。
  「用紙設定画面」

注 意

フチなし全面印刷をする場合の注意
フチなし全面印刷機能では、作成したハガキサイズよりわずかに拡大して印刷することによって、フチのない印刷を実現しています。そのため、拡大されて用紙からはみ出した部分（最大で上 3mm/ 左右 2.5mm/ 下 5mm）は印刷されません。文章を用紙の端ぎりぎりに配置すると、切れてしまう可能性がありますのでご注意ください。また、宛名面に印刷する場合は、郵便番号がずれてしまうため、フチなし全面印刷機能を使わないことをお勧めします。

5. ［OK］ボタンをクリックして、プリンタドライバの設定画面を閉じます。

6. ［OK］ボタンをクリックして、印刷を実行します。

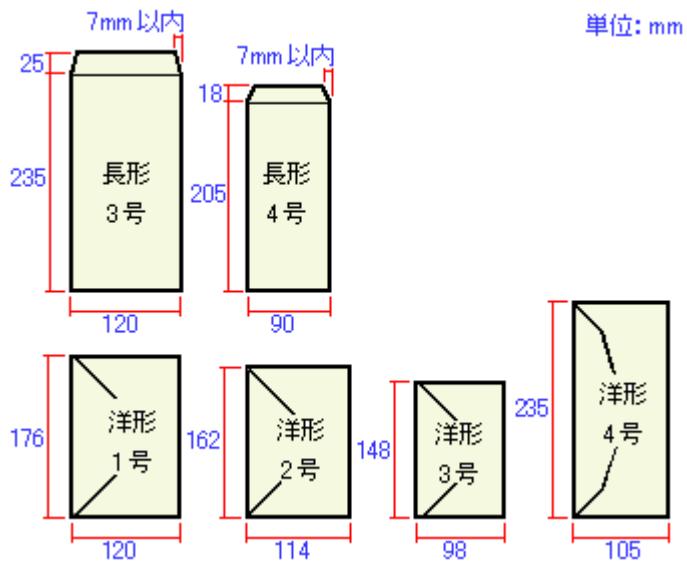
画面上にプログレスメータが表示され、印刷が開始されます。

印刷後のハガキの取り扱いや保存方法については、以下のページをご覧ください。

「印刷後の用紙の保存方法」

封筒に印刷

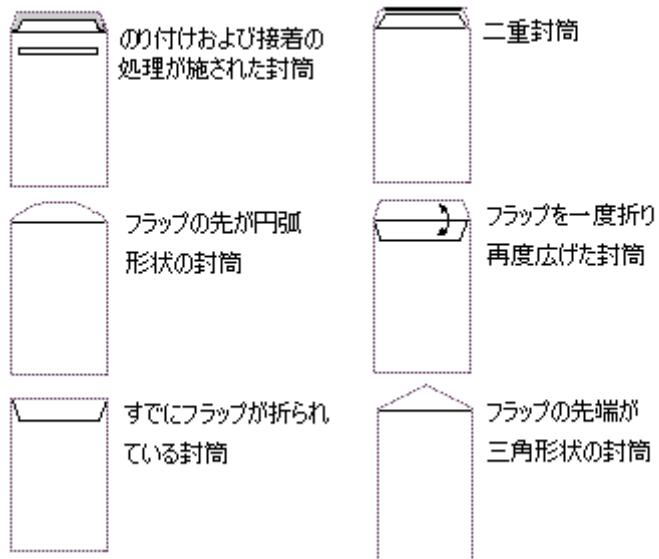
使用できる封筒について

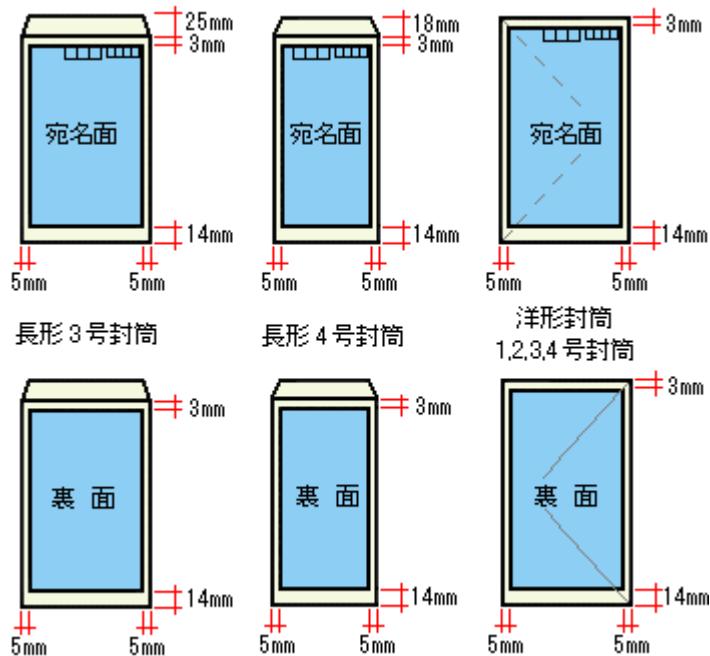
本プリンタで印刷できる封筒のサイズと印刷領域についてご説明します。

印刷可能な封筒のサイズ

ポイント

- 上記の封筒であってもフラップの長さが異なる封筒をご利用いただく場合は、ユーザー定義サイズで封筒のサイズを設定してから印刷してください。ユーザー定義サイズで封筒のサイズを設定する場合、用紙の長さはフラップを含めた長さに設定してください。
  「定形外の用紙サイズに印刷」
- ふくらんでいる封筒は、よくしごいて、ふくらみを取り除いてからご使用ください。

注 意

- ご利用の封筒によっては、上記の定形サイズの封筒またはユーザー定義サイズで設定した封筒で印刷したにもかかわらず、印刷開始位置がずれることがあります。印刷前には必ず試し印刷することをお勧めします。試し印刷をして印刷開始位置がずれる場合は、アプリケーションソフトで余白の設定を調整してください。
- 印刷可能なサイズの封筒であっても、以下の封筒はご使用になれません。無理にご使用になると、給紙機構に悪影響を及ぼすおそれがありますので、絶対にご使用にならないでください。

封筒の印刷領域

封筒へ印刷する場合は、以下の領域に印刷してください。プリンタドライバで印刷領域を［最大］に設定して印刷すると用紙の下端において印刷品質が低下するおそれがあります。

封筒のセット方法

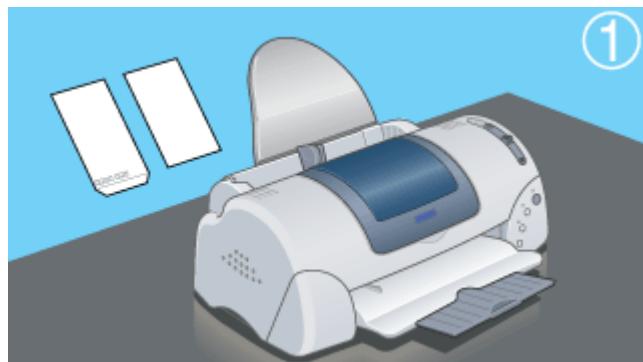
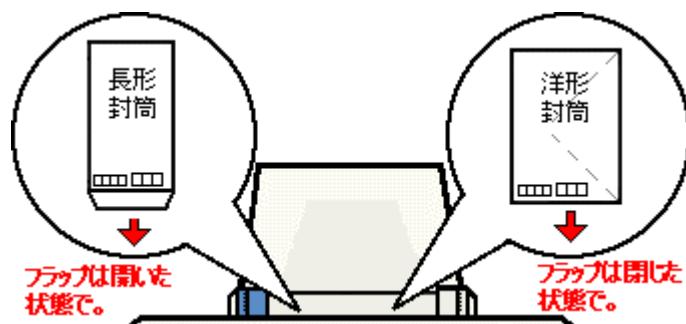
ここでは、封筒のセット方法をご説明します。

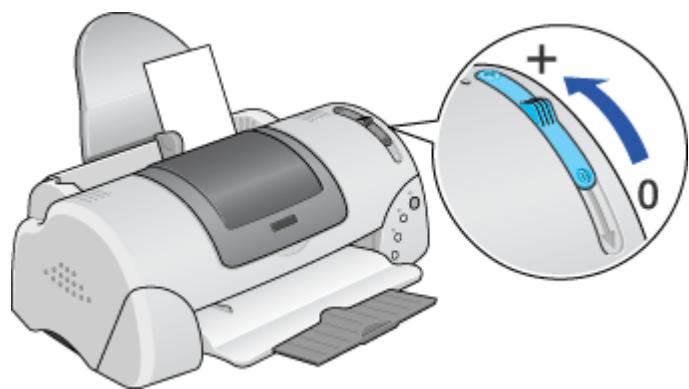
1. **プリンタの電源をオンにして、排紙サポートを引き出します。**

2. **封筒をよくさばき、端をそろえます。**

> **注 意**
> ふくらんでいる封筒は、よくしごいて、ふくらみを取り除いてからご使用ください。

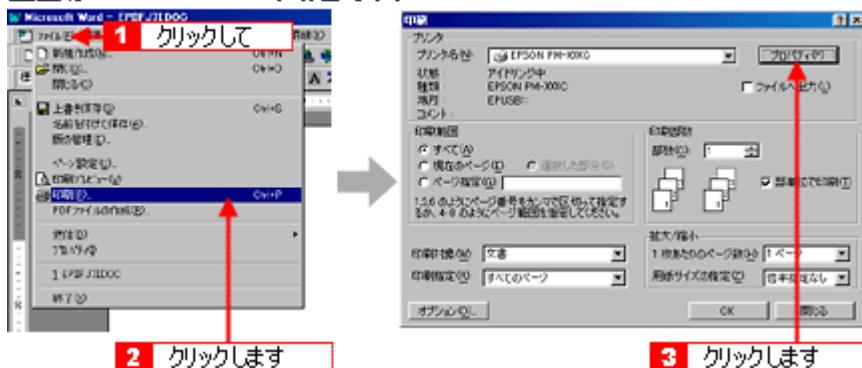
> **ポイント**
> 用紙によっては、手の油分や水分が印刷品質に影響を与える場合があります。用紙を取り扱う場合は、用紙の端を持つか、綿製の手袋などをすることをお勧めします。

3. **印刷する面を手前側にして、封筒をオートシートフィーダの右側に沿わせてセットします。続いて、エッジガイドを封筒の側面に合わせます。**

> **ポイント**
> - 封筒は、下図の向きでプリンタへセットしてください。
>
>
>
>
> - 封筒のセット可能枚数は 10 枚です。

4. **アジャストレバーを＜＋＞位置に切り替えます。**

+
0

封筒への印刷方法

ここでは、封筒への基本的な印刷方法をご説明します。

1. **プリンタドライバの設定画面を開きます。**

   アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、プリンタドライバの設定画面を開いてください。多くのアプリケーションソフトでは、［ファイル］メニューの［印刷］や［プリント］をクリックして表示される画面から、プリンタドライバの設定画面を開くことができます。

2. **［基本設定］画面の各項目を設定します。**

1	用紙種類	［普通紙］を選択します。
2	インク	［カラー］で印刷するか、［黒］（モノクロ）で印刷するかを選択します。
3	モード設定	印刷モードを設定します。 ここでは、自動的に最適な設定で印刷する［推奨設定］を選択してみましょう。
4	印刷プレビュー	印刷前に、印刷イメージを確認する場合はチェックします。

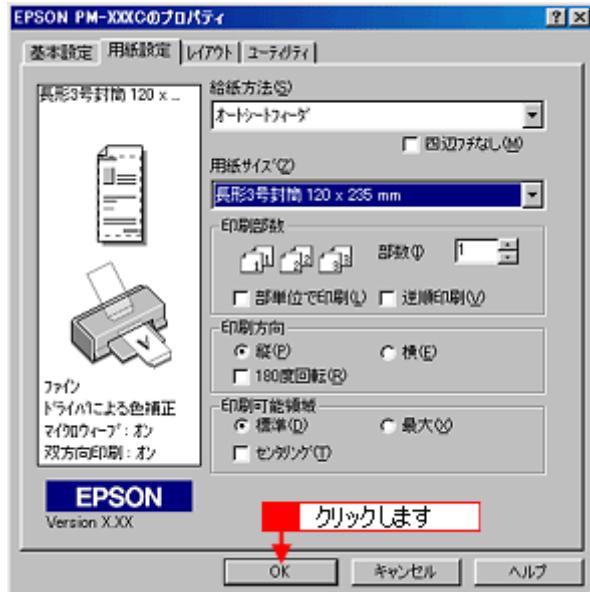
［基本設定］画面の各項目の詳細については、以下のページをご覧ください。
「基本設定画面」

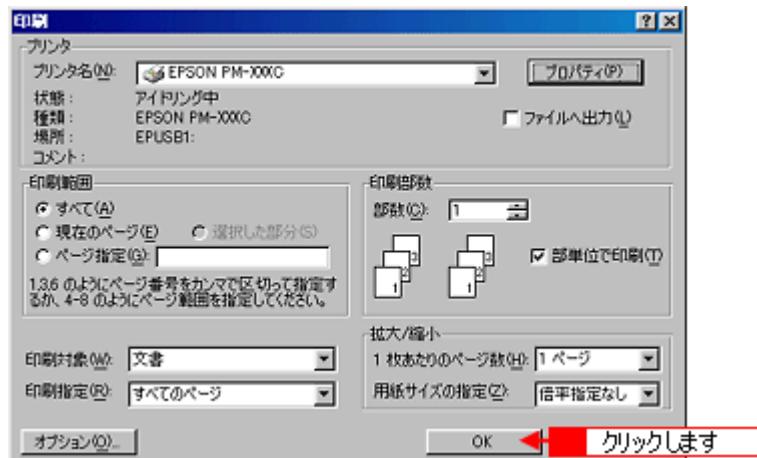
3. ［用紙設定］タブをクリックします。

4. ［用紙設定］画面の各項目を設定します。

1	給紙方法	［オートシートフィーダ］を選択します。
2	用紙サイズ	印刷データの封筒サイズをリストボックスから選択します。
3	印刷部数	印刷部数を入力します。
4	印刷方向	印刷方向を選択します。［用紙設定］画面の左部で、実際の印刷方向を確認できます。

［用紙設定］画面の各項目の詳細については、以下のページをご覧ください。
「用紙設定画面」

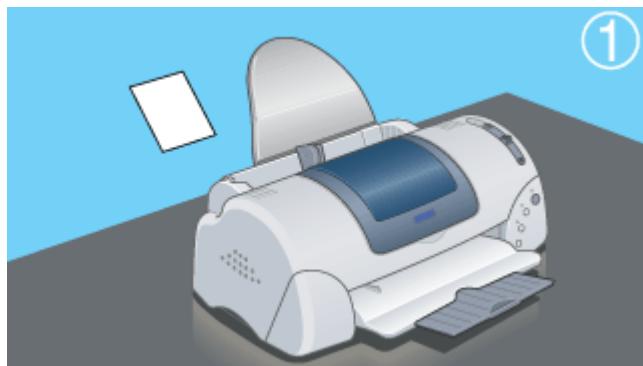
5. ［OK］ボタンをクリックして、プリンタドライバの設定画面を閉じます。

6. ［OK］ボタンをクリックして、印刷を実行します。

画面上にプログレスメータが表示され、印刷が開始されます。

L 判 /2L 判に印刷

L 判 /2L 判の用紙のセット方法

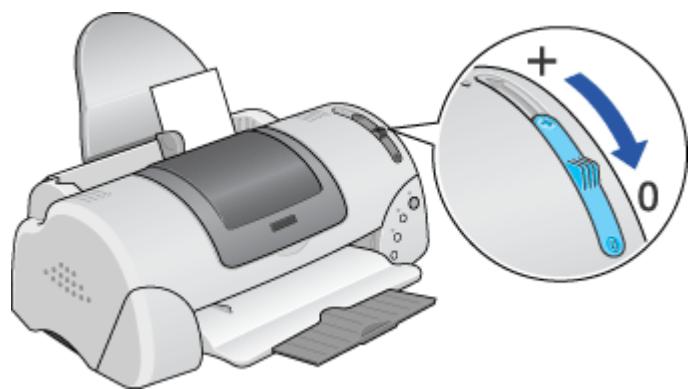
ここでは、L 判 /2L 判の用紙のセット方法をご説明します。

1. **プリンタの電源をオンにして、排紙サポートを引き出します。**

2. **印刷する面を手前側にして、用紙をオートシートフィーダの右側に沿わせて縦方向にセットします。続いてエッジガイドを用紙の側面に合わせます。**

ポイント

- 用紙によっては、手の油分や水分が印刷品質に影響を与えることがあります。用紙を取り扱う場合は用紙の端を持つか、綿製の手袋などをすることをお勧めします。
- PM 写真用紙 L 判のセット可能枚数は 20 枚です。
- PM 写真用紙 2L 判のセット可能枚数は 10 枚です。
- プリンタドライバで［四辺フチなし］、または印刷領域を［最大］に設定して印刷する場合は、下図のように多少、反りを付けてください。

3. **アジャストレバーが＜ 0 ＞位置になっていることを確認します。**

+
0

L 判 /2L 判への印刷方法

写真を L 判 /2L 判に印刷する場合は、本プリンタに添付のアプリケーションソフト EPSON　PhotoQuicker を使用することをお勧めします。
EPSON PhotoQuicker を使用すれば、写真データを L 判 /2L 判に簡単操作で印刷することができます。
EPSON PhotoQuicker からの印刷方法は、以下の取扱説明書をご覧ください。
別冊「EPSON PhotoQuicker 操作ガイド」

ポイント

- 写真以外の文書などを印刷する場合は、以下のページをご覧ください。
  「普通紙 / 専用紙への印刷方法」
- 印刷後の用紙の取り扱いや保存方法については、以下のページをご覧ください。
  「印刷後の用紙の保存方法」

注 意

- 印刷後の用紙は、速やかに排紙トレイから取り除いて、１枚ずつ広げて乾燥（※）させてください。
- 印刷後の用紙が排紙トレイで重なっていると、重なった部分の色が変わる（重なった部分に跡が残る）ことがあります。この跡は、１枚ずつ広げて乾燥（※）させれば、なくなります。重なっている状態で放置すると、１枚ずつ広げて乾燥させても跡が消えなくなりますのでご注意ください。

  ※１枚ずつ広げておよそ一昼夜（24 時間）程度乾燥させるか、15 分程度放置した後、普通紙などの吸湿性のある用紙を印刷面に重ねて乾燥させてください。

ロール紙に印刷

最適なロール紙の選択

エプソンでは、お客様のさまざまなご要望にお応えできるよう、各種ロール紙をご用意しております。連続して写真を印刷する場合や、パノラマ写真を印刷する場合にご利用ください。
以下では、各種ロール紙の特長をご説明します。用途に合ったロール紙を選択してください。

用紙名	特長	サイズ	型番
PM 写真用紙 ロールタイプ＜光沢＞	光沢感のある写真用紙です。写真同様の印刷結果を実現できます。	89mm × 10m	K89ROLPSK2
		100mm × 10m	K100ROLPSK2
		127mm × 10m	K127ROLPSK2
		210mm × 10m	KA4ROLPSK
PM/MC 写真用紙 ロールタイプ＜半光沢＞	光沢感をおさえた写真用紙です。写真の風合い（質感）を実現できます。	89mm × 10m	K89ROLMS2
		100mm × 10m	K100ROLMS2
		210mm × 10m	KA4ROLMSH
PM 写真用紙ロールタイプ＜半光沢＞		127mm × 10m	K127ROLMS2
PM マット紙 ロールタイプ	厚みのある非光沢の写真用紙です。落ち着いた質感を実現できます。	89mm × 7m	K89ROLPM
		100mm × 8m	K100ROLPM
		127mm × 8m	K127ROLPM
フォト・プリント紙 2 ロールタイプ	厚口タイプの光沢紙です。写真並の色鮮やかさをお手ごろな価格で実現できます。	89mm × 7m	K89ROLPP2
		100mm × 8m	K100ROLPP2
		210mm × 10m	KA4ROLPP2

! 注意

取り扱い上のご注意

- ロール紙は、折り曲げたり、印刷面に傷を付けたりしないようにしてください。
- 印刷面には触れないようにしてください。手の油分や水分が印刷品質に影響を与える場合があります。ロール紙を取り扱う場合はロール紙の端を持つか、綿製の手袋などをすることをお勧めします。
- 上記ロール紙は、一般の室温環境下（温度 15 ～ 25 度、湿度 40 ～ 60%）で使用してください。
- 上記ロール紙は、インクジェットプリンタ専用です。レーザープリンタやコピー機などではご使用にならないでください。故障の原因になります。

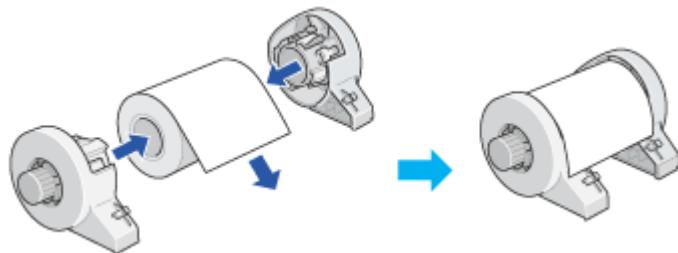
ロール紙のセット方法

ここでは、ロール紙のセット方法をご説明します。

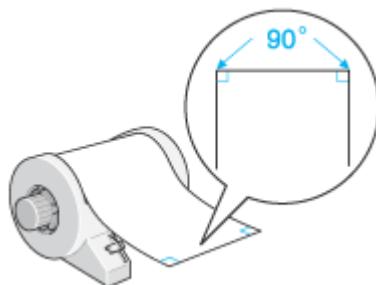
注意
ロール紙をセットする前に、必ずロール紙に添付の取扱説明書をご覧ください。

ポイント
ロール紙に印刷する場合は、排紙されたロール紙が障害物に当たらないよう、プリンタの手前に十分なスペースを確保してください。

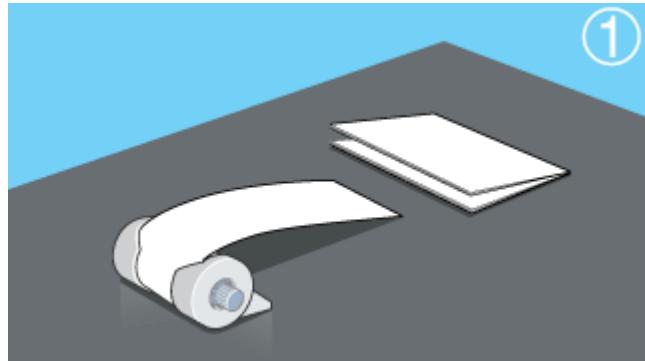
1. ロール紙にロール紙ホルダをはめ込みます。

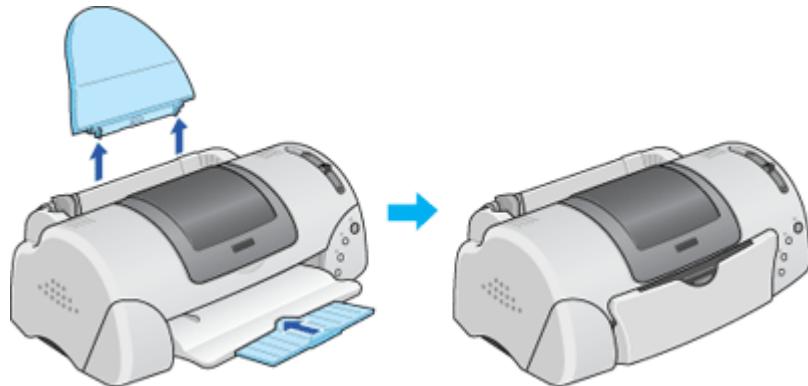
ロール紙の給紙方向に注意してはめ込んでください。また、左右にすき間があかないように、しっかりとはめ込んでください。

ポイント
購入時のロール紙には、保護シートが付いている場合があります。保護シートは、ロール紙にロール紙ホルダをはめ込んでから取り除いてください。

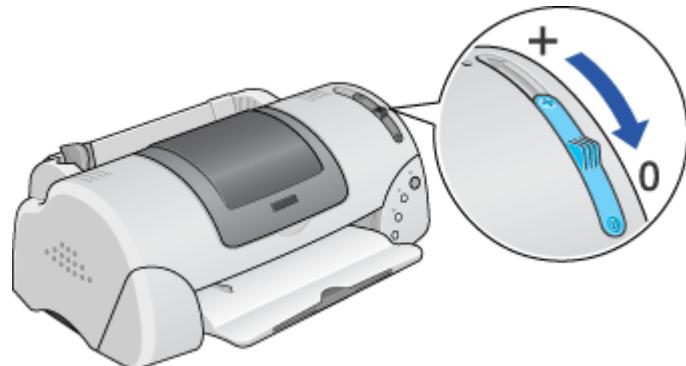
2. ロール紙の切断面の角が 90 度になっているか確認します。

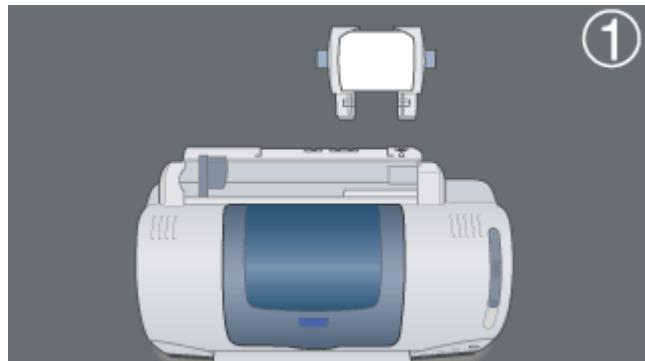
斜めにカットされている場合などは、角が 90 度になるようにカットしなおしてください。

注意
- ロール紙をカットするときは、定規などを使用して必ず垂直にカットしてください。切断面が斜めになっていたり波打っていたりすると、給紙不良の原因になります。
- ロール紙は「良く切れるカッターナイフ」などを使用して、切断面にバリ（かえり）が出ないようにカットしてください。切断面にバリがあると給紙不良の原因になります。
- ロール紙をカットするときは、広く安定した場所で作業をしてください。また、手などを切らないように慎重に作業を進めてください。

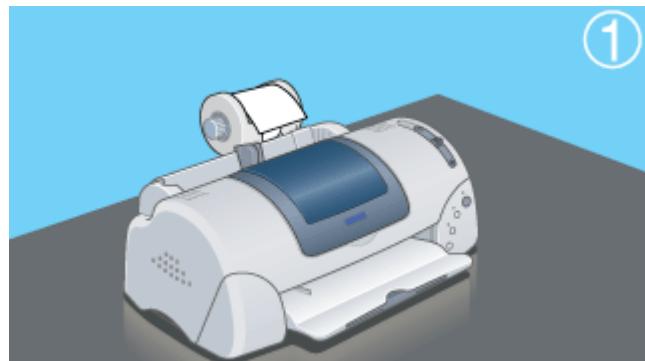
3. **ロール紙に同梱されている取扱説明書などの冊子を使って、ロール紙の反りを修正します。**

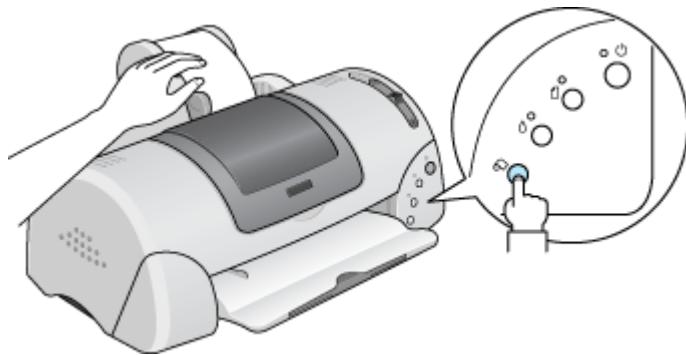
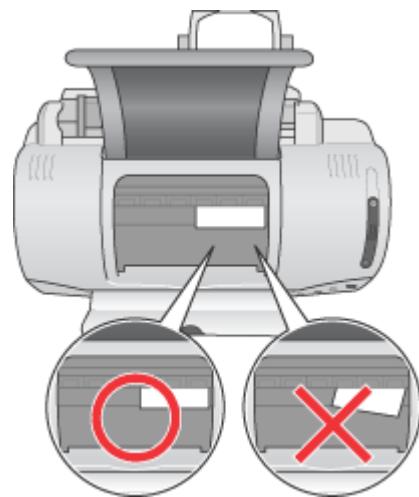
   冊子でロール紙を挟んで巻くことにより、切断面が印刷面を傷付けることを防ぎます。

ポイント
反りの修正は、先端部（10cm 程度）だけ行ってください。

4. **プリンタの電源をオンにします。**
5. **用紙サポートを取り外し、排紙トレイを一段にします。**

ポイント
排紙トレイは、一段のままで使用してください。二段のままで使用すると、正常に排紙されない場合があります。

6. **アジャストレバーが＜０＞位置になっていることを確認します。**

7. **ロール紙ホルダをプリンタに取り付けます。**

   ロール紙ホルダの取り付けフック（右側）を、一番右側の溝（⌂マーク）に合わせて差し込み、ロール紙の幅に合わせてフック（左側）を差し込みます。

8. **ロール紙をオートシートフィーダの右側に沿わせて給紙口に突き当たるまで差し込み、エッジガイドをロール紙の側面に合わせます。**

   エッジガイドを合わせないと、斜めに給紙される原因になります。

9. **ロール紙を左手で軽く押さえながら、［ロール紙］スイッチを押します。**

   ［ロール紙］スイッチを押すことにより、ロール紙が給紙されます。

10. **プリンタカバーを開けて、ロール紙が斜めに給紙されていないか確認します。**

ロール紙が斜めに給紙されてしまった場合は、一旦ロール紙を取り除き、再度給紙してください。

「セットされているロール紙の取り除き方法」

注意

- ロール紙の切断面にシワや折れが発生した場合は、用紙を一旦取り外してから再度垂直にカットしてシワや折れを取り除き、プリンタにセットしなおしてください。
- ロール紙がたるんでいる場合は、ロール紙ホルダのノブを回してたるみを巻き取ってください。
- ロール紙の残り 20cm くらいの領域では、画像にズレが入るなど印刷品質が低下する場合があります。この部分には印刷せず、新しいロール紙に交換してから印刷することをお勧めします。

ロール紙への印刷方法

ロール紙に印刷する場合は、本プリンタに添付のアプリケーションソフト EPSON PhotoQuicker を使用することをお勧めします。
EPSON PhotoQuicker を使用すれば、ロール紙に簡単操作で印刷することができます。
EPSON PhotoQuicker からの印刷方法は、以下の取扱説明書をご覧ください。
別冊「EPSON PhotoQuicker 操作ガイド」

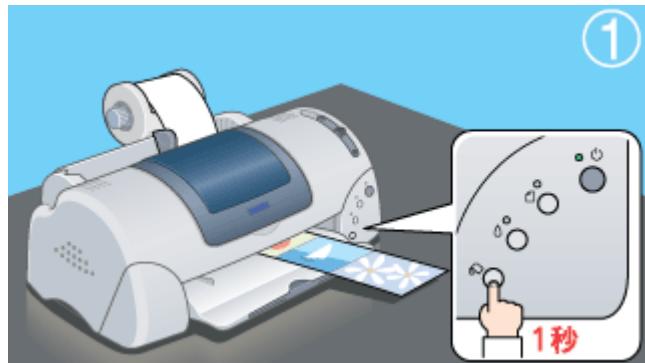
ポイント

- EPSON PhotoQuicker 以外のアプリケーションソフトから印刷する場合は、以下のページをご覧ください。
  「EPSON PhotoQuicker 以外のアプリケーションソフトからの印刷方法」
- 印刷後の用紙の取り扱いや保存方法については、以下のページをご覧ください。
  「印刷後の用紙の保存方法」

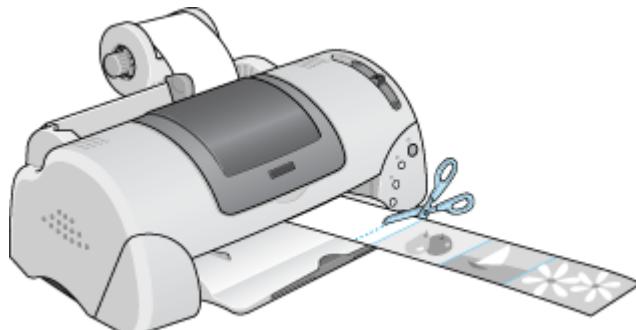
印刷後のロール紙のカット方法

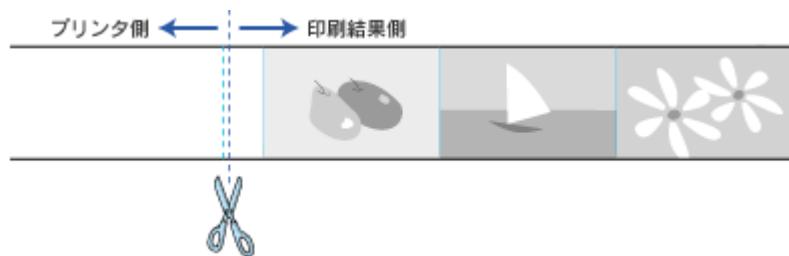
ここでは、印刷後のロール紙のカット方法をご説明します。

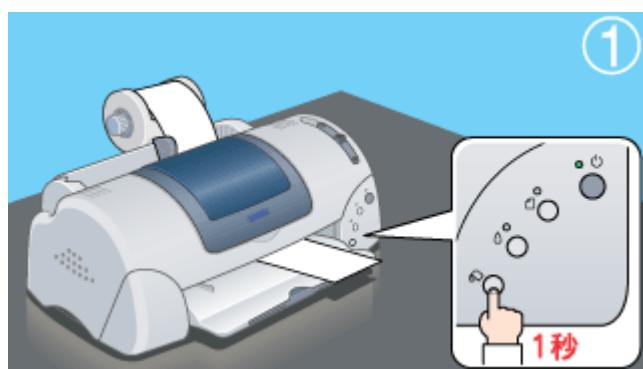
1. ［ロール紙］スイッチを約 1 秒間押します。

   プリンタは切り取りのための目安を印刷して、印刷結果を切り離しやすい位置（約 20cm）まで、ロール紙を送り出します。

注意

- ここでは［ロール紙］ボタンを 3 秒以上押さないでください。押してしまうと、ロール紙はプリンタ後方に排紙され、印刷結果に傷が付くおそれがあります。
- ［ロール紙］スイッチを繰り返し押さないでください。印刷開始位置と切り離し位置への移動を繰り返すうちに、ロール紙の表面が傷付くおそれがあります。

2. 切り取りの目安に沿って、印刷結果を切り離します。

注意

ロール紙は必ず、切り取りの目安より印刷結果側で切り離してください。切り取りの目安よりプリンタ側で切り離すと、給紙不良やインクの空打ちの原因となります。

ポイント

- **カット後、続けて印刷するときは**
  ロール紙を取り除かずに続けて印刷を実行する場合は、[ロール紙]スイッチを約１秒間押します。ロール紙が印刷開始位置まで戻り、次の印刷がすぐにできる状態になります。ロール紙は印刷開始位置に戻った後たるみますので、ロール紙ホルダのノブを回してたるみを巻き取ってください。
  なお、3 秒以上押すと、ロール紙はプリンタ後方に排紙されてしまいます。この場合は、プリンタがエラー状態になりますので、[用紙]スイッチを押してエラーを解除してからロール紙をセットしなおしてください。

- **印刷を終了してロール紙を取り除くときは**
  「セットされているロール紙の取り除き方法」

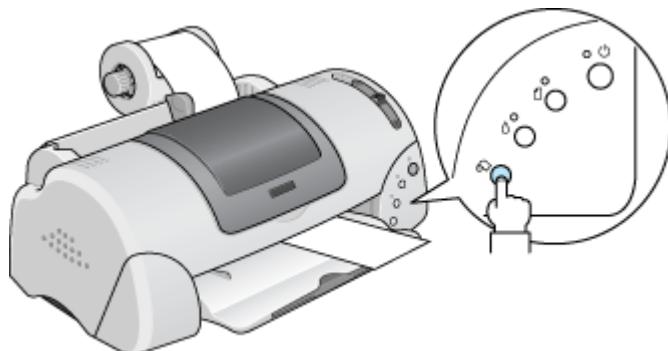
- **印刷後の用紙の取り扱いや保存方法について**
  「印刷後の用紙の保存方法」

セットされているロール紙の取り除き方法

ここでは、セットされているロール紙の取り除き方法をご説明します。

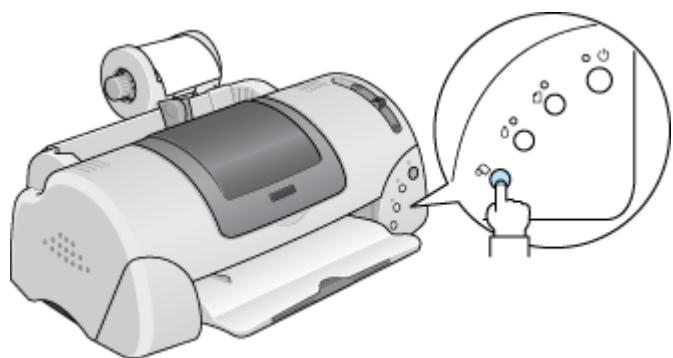
ポイント
ロール紙が余分に給紙されたり、詰まった場合は、以下のページを参照して取り除いてください。
「紙送りができない（ロール紙）」

1. ［ロール紙］スイッチを 3 秒以上押したままにします。

   ロール紙が取り除ける位置まで戻り、用紙ランプが点滅します。

ポイント
［ロール紙］スイッチを押してもロール紙が取り除ける位置まで戻らない場合は、再度［ロール紙］スイッチを 3 秒以上押してみてください。

2. ロール紙ホルダのノブを回して、ロール紙を巻き取ります。

   ロール紙ホルダの中に収まるように、完全に巻き取ってください。

3. ［ロール紙］スイッチを押して、用紙ランプを消灯させます。

EPSON PhotoQuicker 以外のアプリケーションソフトからの印刷方法

ここでは、EPSON PhotoQuicker 以外のアプリケーションソフトからの印刷方法をご説明します。

ポイント

- EPSON PhotoQuicker からの印刷方法は、以下の取扱説明書をご覧ください。
  別冊「EPSON PhotoQuicker 操作ガイド」
- ここで使用している画面は Adobe Photoshop のものです。
- アプリケーションソフトによっては、連続のフチなし印刷ができないものがあります。

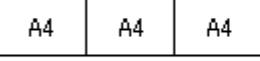
1. アプリケーションソフト上で、印刷データの用紙サイズを設定または確認します。

プリンタドライバで設定できる以下のサイズを参考に、アプリケーションソフト上で用紙サイズを設定してください。また、設定方法については、各アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

プリンタにセットしたロール紙の幅	用紙サイズ
89mm 幅	[L 判]・[名刺] のどちらかを選択します。またユーザー定義サイズで用紙幅が 89mm の用紙を新規作成して選択することもできます。
100mm 幅	[4 × 6 判]・[ハガキ] のどちらかを選択します。またユーザー定義サイズで用紙幅が 100mm の用紙を新規作成して選択することもできます。
127mm 幅	[L 判（横)]・[2L 判] のどちらかを選択します。またユーザー定義サイズで用紙幅が 127mm の用紙を新規作成して選択することもできます。
210mm（A4）幅	[A4] を選択します。またユーザー定義サイズで用紙幅が 210mm の用紙を新規作成して選択することもできます。

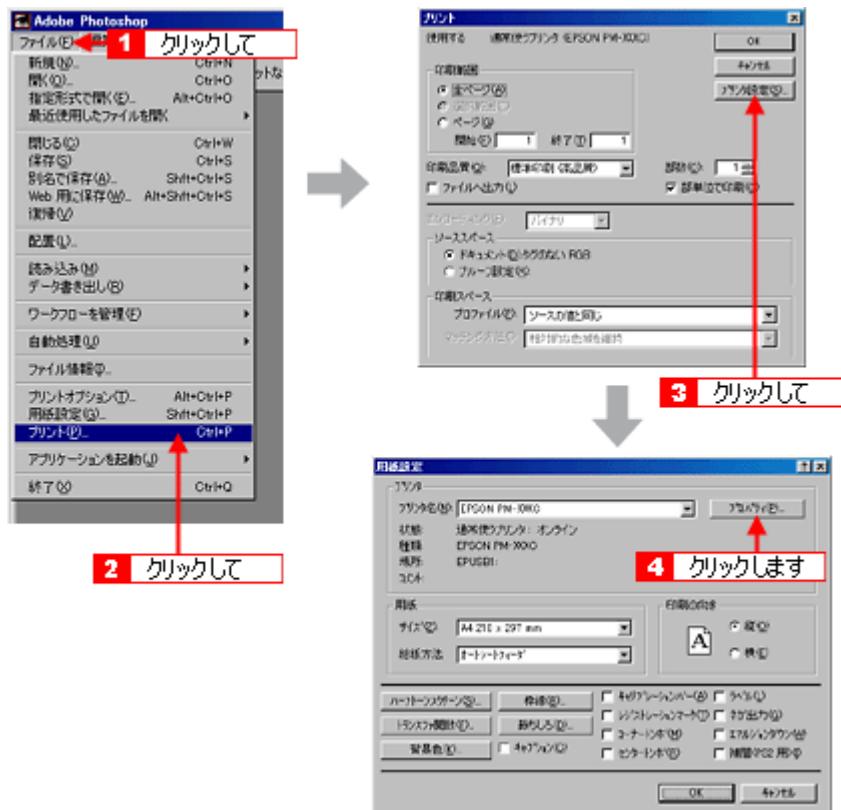
ポイント

[用紙サイズ] の指定には、次の２通りの方法があります。

A4サイズの例

891mm / 210mm: A4 A4 A4	用紙サイズに定形紙やユーザー定義サイズを選択して、それを仮想的につなぎ合わせることで長尺紙として設定します。
891mm / 210mm	ユーザー定義サイズなどで、任意のサイズを設定して長尺紙とします。

「定形外の用紙サイズに印刷」

2. プリンタドライバの設定画面を開きます。

アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、プリンタドライバの設定画面を開いてください。多くのアプリケーションソフトでは、[ファイル] メニューの [印刷] や [プリント] をクリックして表示される画面から、プリンタドライバの設定画面を開くことができます。

3. ［基本設定］画面の各項目を設定します。

No.	項目	説明	
1	用紙種類	プリンタにセットした用紙の種類を、リストボックスから選択します。	
		セットした用紙	**用紙種類**
		PM 写真用紙<光沢>	PM 写真用紙
		PM/MC 写真用紙<半光沢>	PM 写真用紙
		PM マット紙	PM マット紙
		フォト・プリント紙 2	フォトプリント紙
2	インク	［カラー］で印刷するか、［黒］（モノクロ）で印刷するかを選択します。	
3	モード設定	印刷モードを設定します。 ここでは、自動的に最適な設定で印刷する［推奨設定］を選択してみましょう。	
4	印刷プレビュー	印刷前に、印刷イメージを確認する場合はチェックします。	

［基本設定］画面の各項目の詳細については、以下のページをご覧ください。
「基本設定画面」

4. ［用紙設定］タブをクリックします。

5. ［用紙設定］画面の各項目を設定します。

1	給紙方法	［ロール紙］を選択します。	
2	ページサイズ	手順 1 で確認した印刷データの用紙サイズを、リストボックスから選択します。	
3	印刷部数	印刷部数を入力します。	
4	印刷方向	印刷方向を選択します。［用紙設定］画面の左部で、実際の印刷方向を確認できます。	
5	ロール紙オプション	長尺モード	印刷するデータが帯状に長い場合に選択します。選択すると、［ロール紙節約］が有効になります。
		定形モード	印刷するデータがページ単位に分かれている場合に選択します。選択すると、［ページ枠印刷］の項目が有効になります。
		ロール紙節約	データの最後に余白部分があるときにチェックすると、その余白部分を紙送りしないでロール紙を節約します。
		ページ枠印刷	印刷データが複数ページに渡るときや、複数部印刷するときなどにチェックすると、ページを区切るための線が印刷されます。

注 意

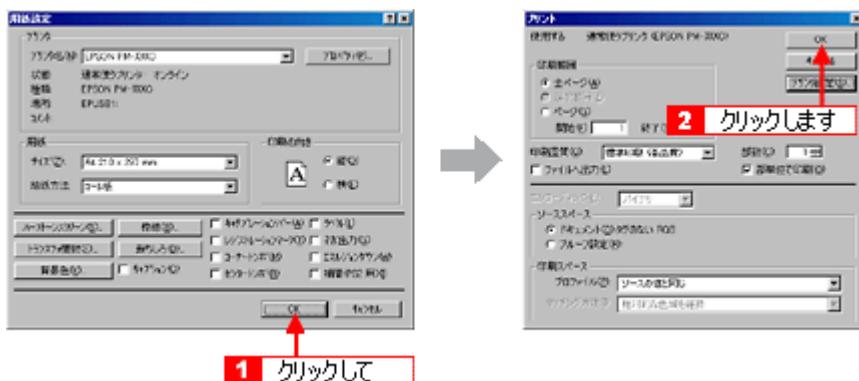
ロール紙に印刷する場合、［給紙方法］に必ず［ロール紙］を選択してください。［ロール紙］以外を選択して印刷すると、ロール紙が余分に給紙されてしまいエラーになります。誤って実行してしまった場合は、プリンタの後部でロール紙を切り離し、プリンタの電源をオフにしてください。プリンタ内部のロール紙が排紙されます。

ポイント

［用紙設定］画面の各項目の詳細については、以下のページをご覧ください。
「用紙設定画面」

6. ［OK］ボタンをクリックして、プリンタドライバの設定画面を閉じます。

7. ［OK］ボタンをクリックして、印刷を実行します。

画面上にプログレスメータが表示され、印刷が開始されます。

印刷の中止方法

印刷の中止方法

印刷を中止したいと思ったときは、以下の手順で印刷を中止してください。

1. **印刷中に画面右下に表示されるプログレスメータの［印刷中止］ボタンをクリックします。**

   印刷処理済みのデータが印刷されて、印刷が止まります。

ポイント

- EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされていない場合、プログレスメータは表示されません。
- ロール紙をご使用の場合は、上記の手順を実行した後、ロール紙をカットして取り除いてください。
  「印刷後のロール紙のカット方法」
  「セットされているロール紙の取り除き方法」
- 何らかの理由により文字化けなどが発生した場合やプログレスメータが表示されない場合は、以下の「印刷の強制終了」を参照して印刷を終了してください。

印刷の強制終了

上記で説明した方法では、コンピュータ上で印刷処理が終了したデータがプリントアウトされるまで、印刷は止まりません。何らかの理由で印刷データが文字化けなどを起こし、直ちに印刷を終了したい場合は、以下の手順に従ってください。

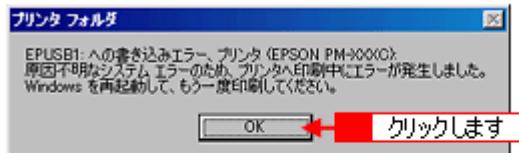
Windows 95/98/Me での印刷の強制終了

1. **プリンタの電源をオフにします。印刷途中であっても、電源をオフにしてください。**

印刷中の用紙が排紙されます。

電源をオフにすることで、プリンタに残っている印刷途中のデータがクリアされます。

2. 以下の画面が表示されたら、USB 接続の場合は［OK］ボタンを、パラレル接続の場合は［キャンセル］ボタンをクリックします。

以下の画面が表示されるまでには少し時間がかかります。これで、印刷が強制終了します。

ポイント

- ［OK］ボタンをクリックした後に以下の画面が表示された場合は、印刷を中止する印刷データをクリックし、［削除］ボタンをクリックしてください。

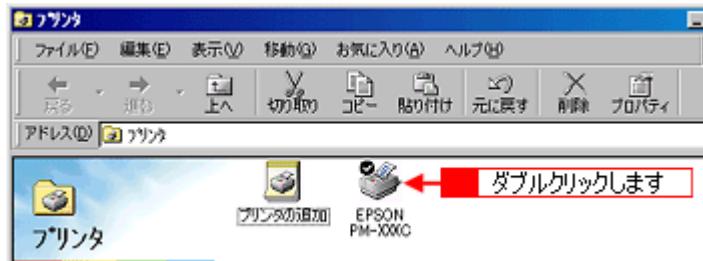
- ロール紙をご使用の場合は、上記の手順を実行した後、ロール紙をカットして取り除いてください。
  「印刷後のロール紙のカット方法」
  「セットされているロール紙の取り除き方法」

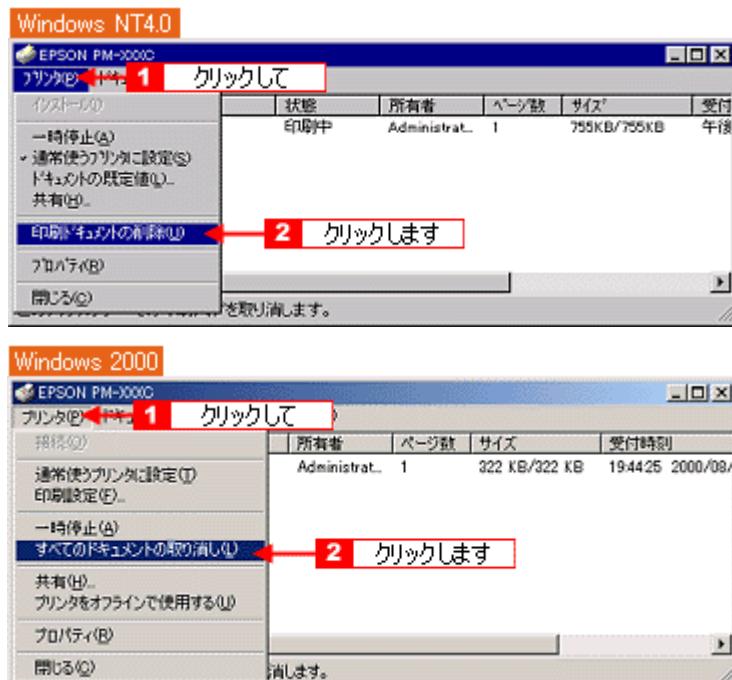
Windows NT4.0/2000 での印刷の強制終了

1. プリンタの電源をオフにします。印刷途中であっても、電源をオフにします。

印刷中の用紙が排紙されます。

電源をオフにすることで、プリンタに残っている印刷途中のデータがクリアされます。

2. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

3. ［プリンタ］メニュー内の［印刷ドキュメントの削除］（Windows NT4.0）/「すべてのドキュメントの取り消し」（Windows 2000）をクリックします。

特定の印刷データだけを削除する場合は、印刷データを選択し、［ドキュメント］メニューの［キャンセル］をクリックします。

ポイント

- プリントマネージャ（上記画面）からプリンタへのデータ転送が終了している場合、プリントマネージャに印刷データは表示されません。その場合は、プリンタの電源をオフにするだけで印刷は止まります。
- ロール紙をご使用の場合は、上記の手順を実行した後、ロール紙をカットして取り除いてください。
  「印刷後のロール紙のカット方法」
  「セットされているロール紙の取り除き方法」

目的別の印刷方法

年賀状の印刷方法

ここでは、官製のお年玉付き年賀ハガキへ印刷する際のポイント（プリンタドライバの設定）についてご説明します。

ポイント

- エプソン製の専用ハガキをお使いになれば、さらにきれいに印刷することができます。
  「最適なハガキの選択」
- ハガキのセット方法は以下のページをご覧ください。
  「ハガキのセット方法」

お年玉付き年賀ハガキに印刷する際のプリンタドライバの設定

印刷時に設定するプリンタドライバの用紙種類の項目は、以下の表を参照して設定してください。

セットしたハガキ	プリンタドライバの用紙種類
お年玉付き年賀ハガキ	普通紙

お年玉付き年賀ハガキ （インクジェット紙）	宛名面	普通紙
	通信面	PM マット紙

ポイント

上の画面の開き方やそのほかの設定など、ハガキへの印刷方法は以下をご覧ください。

「ハガキへの印刷方法」

注 意

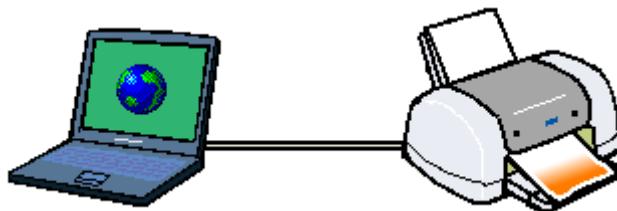
フチなし全面印刷をする場合の注意

フチなし全面印刷機能では、作成したハガキサイズよりわずかに拡大して印刷することによって、フチのない印刷を実現しています。そのため、拡大されて用紙からはみ出した部分（最大で上 3mm/ 左右 2.5mm/ 下 5mm）は印刷されません。

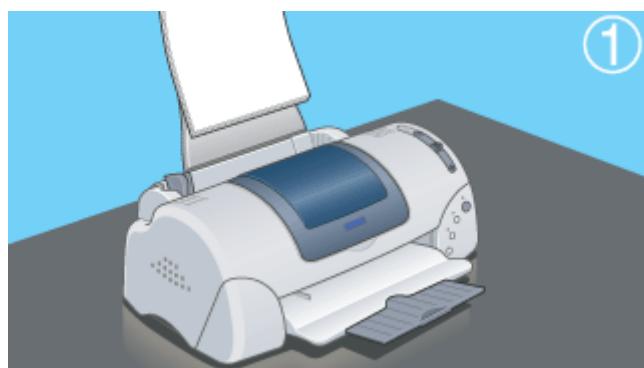
文章を用紙の端ぎりぎりに配置すると、切れてしまう可能性がありますのでご注意ください。また、宛名面に印刷する場合は、郵便番号がずれてしまうため、フチなし全面印刷機能を使わないことをお勧めします。

ホームページの印刷方法

ここでは、Internet Explorer を使用してホームページを印刷する際の手順についてご説明します。

ポイント

インターネット上で表現される画像や音などは、ほとんどの場合、制作者が著作権を有しています。個人で使用する以外の無断複製や無断転用などは著作権法の罰則の対象となります。

1. Internet Explorer を起動して、印刷したいページを開いてください。

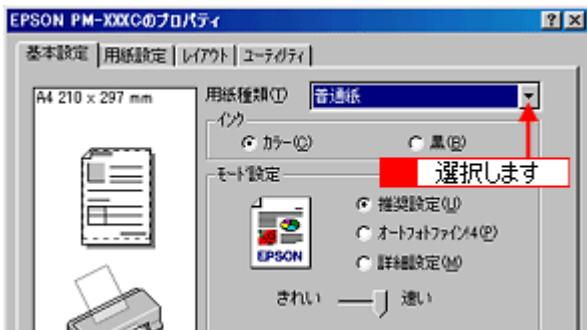
2. 本プリンタの電源をオンにして、用紙をセットします。

3. ［ファイル］メニュー内の［印刷］をクリックします。

4. ［プロパティ］または［詳細設定］ボタンをクリックします。

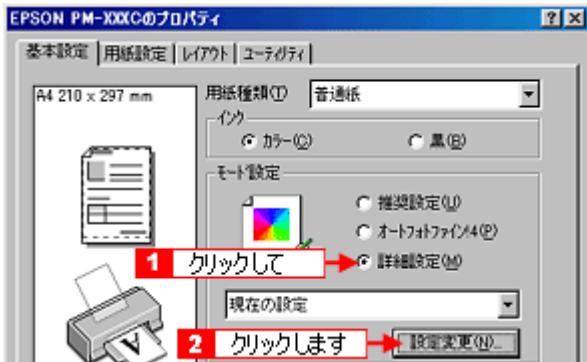
プリンタドライバの設定画面が表示されます。

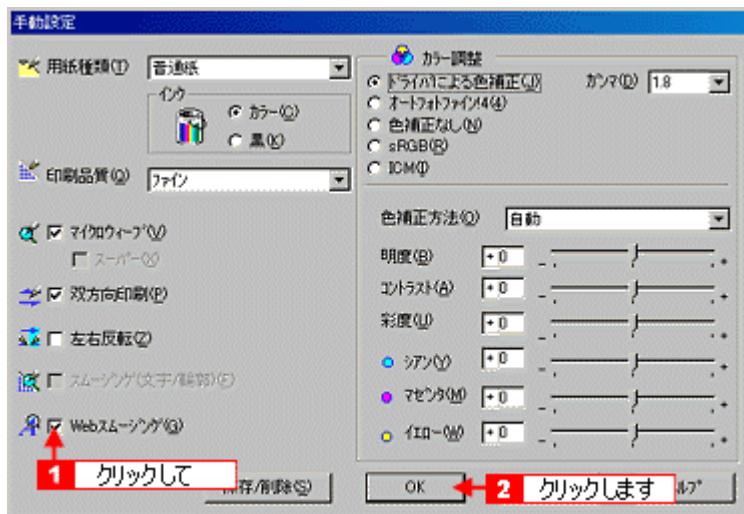
ポイント

［フレームの印刷］などの項目については、ヘルプを参照してください。右上の ? ボタンをクリックしてから知りたい項目の上で再度クリックすると、ヘルプが表示されます。

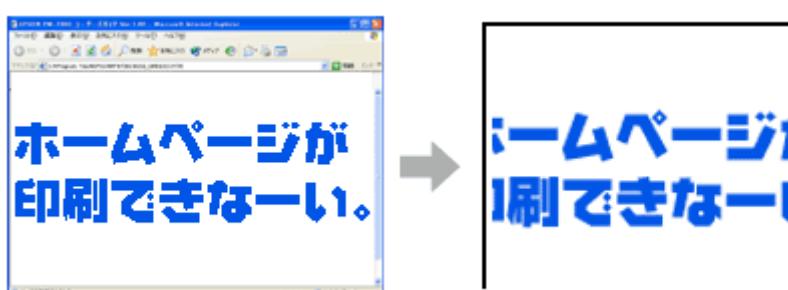
5. ［用紙種類］を選択します。

ポイント

インターネット上の画像は、データ通信を優先するため、基本的に低解像度に設定されています。そのため、専用紙を使用して［フォト］印刷など高解像度で印刷しても、期待した印刷品質が得られない場合があります。

6. モード設定から［詳細設定］を選択して、［設定変更］ボタンをクリックします。

7. ［Web スムージング］にチェックを付けて［OK］ボタンをクリックします。

［Web スムージング］は、Web 上の低解像度のロゴ・イラスト・画像の輪郭をなめらかにして印刷します。

8. ［用紙設定］タブをクリックして、［給紙方法］・［用紙サイズ］を選択します。

9. ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

印刷時、ページの左右が切れてしまう場合

手順 8 の［用紙サイズ］で設定したサイズ（＝印刷データのサイズ）が、ホームページのページサイズより小さいことが考えられます。以下の手順に従って印刷してみてください。

1. ［用紙設定］画面の［用紙サイズ］を、［B4］以上に設定します。

2. ［用紙設定確認］画面が表示されますので、［出力用紙］のリストからプリンタにセットした用紙のサイズを選択します。
「セットした用紙サイズに拡大 / 縮小印刷」

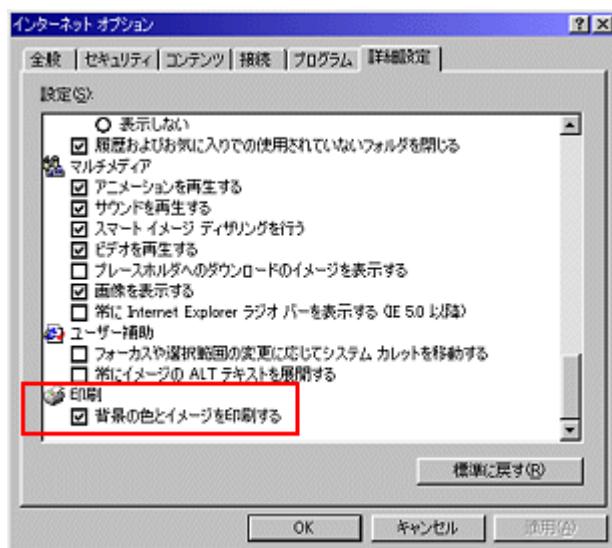
印刷を実行すると、プリンタにセットした用紙のサイズに収まるように、縮小して印刷されます。

ホームページ上のデータが複数ページに渡っている場合

ページのつなぎ目で、画像や文章が印刷されない個所が発生することがあります。

ページ上の背景色などが印刷できない場合

以下の手順に従って設定を変更してください。

1. ［表示］（または［ツール］）メニュー内の［インターネットオプション］をクリックします。
2. ［詳細設定］タブをクリックしてから、スクロールバーで設定項目をスクロールさせます。
3. ［印刷］の項目にある［背景の色とイメージを印刷］のチェックボックスにチェックを付けて、[OK] ボタンをクリックします。

写真の印刷方法

デジタルカメラで撮影した画像データを写真のように印刷したい!! そんなときは以下の説明をご覧ください。

最適な用紙の選択

エプソンでは、写真プリントに最適な用紙を各種用意しております。以下のページを参照して、用途に合った用紙を選択してください。

「最適な普通紙 / 専用紙の選択」
「最適なロール紙の選択」

ポイント

- **写真サイズの L 判／ 2L 判に印刷したい場合**
  PM 写真用紙の L 判／ 2L 判か、各種ロール紙をお使いください。
  89mm 幅のロール紙を使えばカット後 L 判に、127mm 幅のロール紙を使えばカット後 L 判（横方向に印刷時）／ 2L 判（縦方向に印刷時）になります。
- **定形紙にフチなし全面印刷をする場合**
  用紙の種類やサイズによっては、フチなし全面印刷ができません。詳細は以下のページでご確認ください。
  「フチなし全面印刷（定形紙）」

用紙のセット方法

各用紙のセット方法については、以下のページをご覧ください。

「普通紙 / 専用紙のセット方法」
「ロール紙のセット方法」

写真の印刷方法

デジタルカメラで撮影した画像データを印刷する場合は、本プリンタに添付のアプリケーションソフト EPSON PhotoQuicker を使用することをお勧めします。
EPSON PhotoQuicker を使用すれば、写真データを簡単操作で印刷することができます。
EPSON PhotoQuicker からの印刷方法は、以下の取扱説明書をご覧ください。

別冊「EPSON PhotoQuicker 操作ガイド」

印刷後の用紙の取り扱いや保存方法については、以下のページをご覧ください。
「印刷後の用紙の保存方法」

きれいに印刷したい

写真データをよりきれいに印刷するためには、以下の４つのポイントを押さえておきましょう。

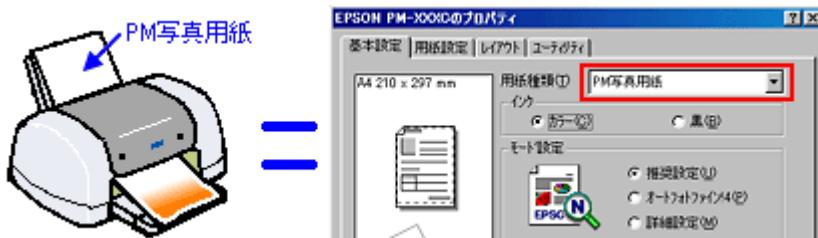
ポイント１　印刷しようとする画像データが、どのくらいの大きさで印刷可能か確認しましょう。

一般的に画像データは、細かい点（画素またはピクセル）の集まりで構成されています。同じサイズの印刷を行う場合には、この画素数が多いほど、なめらかで高画質な印刷を行うことができます。また、印刷サイズが大きくなればなるほど、画素数の多い画像データが必要になります。
デジタルカメラの画像データを例にした場合、画像データのサイズと印刷サイズの関係は以下の通りです。
以下の表を参考にして、印刷サイズに適した画素数の画像データを用意してください。

デジタルカメラ	一般的な記録画素数（ピクセル）	印刷サイズ			
		A6	A5	B5	A4
35 万画素	640 × 480	○	△	△	△
130 万画素	1290 × 960	◎	◎	○	○
211 万画素	1600 × 1200	◎	◎	○	○
300 万画素	2048 × 1536	※	◎	◎	◎

※ オーバースペック：用紙サイズに対して画素数が多すぎます。印刷に時間がかかるだけで、印刷品質の向上は望めません。
◎推奨：用紙サイズに対し理想的な画素数です。高品質な印刷結果を出力できます。
○許容：用紙サイズに対し多少画素数が少なめですが、十分な品質の印刷物を出力できます。
△推奨外：用紙サイズに対し画素数が少なすぎます。印刷結果の品質は期待できません。

ポイント２　専用紙に印刷しましょう。

せっかく完璧な印刷データを作っても、印刷する用紙が普通紙では、高い解像度で印刷することはできません。
PM 写真用紙などの専用紙に印刷すれば、高品位の印刷結果が得られます。
その際、プリンタドライバの［用紙種類］の設定で、使用する専用紙に対応した用紙種類を選択してください。

ポイント

専用紙には、目的に応じてさまざまな種類があります。写真の印刷が目的の場合には、「PM 写真用紙」や「PM マット紙」などの使用をお勧めします。

「印刷サイズに適した画像データを用意する」、「専用紙に印刷する」の 2 点に注意すれば、高品質な印刷を行うことができます。PM 写真用紙に印刷された画像はまさに写真といえます。
通常は、これだけのことで高品質な印刷を行うことができます。
しかし、このように印刷しても、印刷する画像の内容によっては印刷結果に印刷ムラやスジが目立つことがあります。このような場合は、ポイント 3・ポイント 4 をご覧ください。

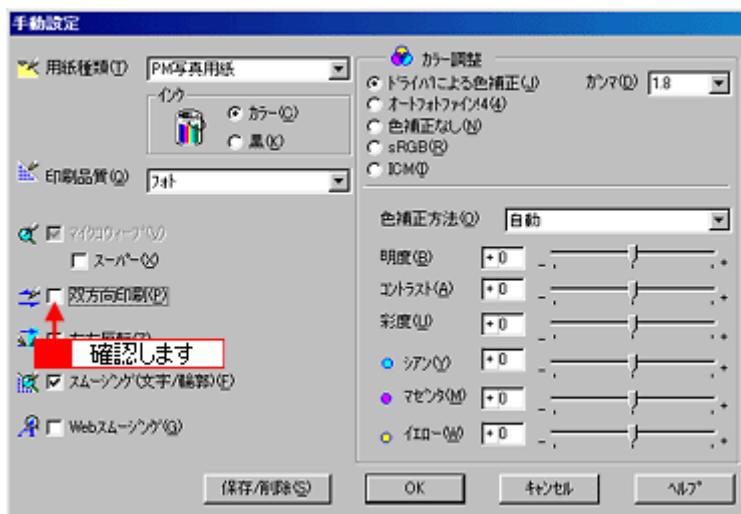
ポイント３　プリンタドライバの詳細設定を変更してみましょう。

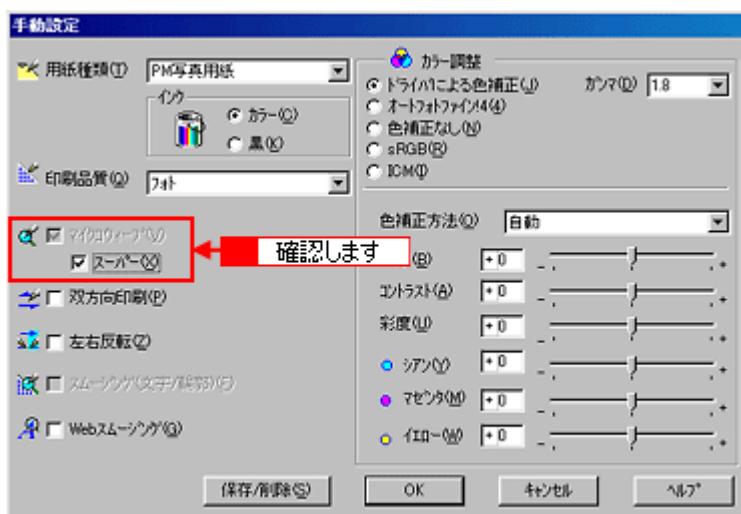
印刷結果を良く見ると印刷ムラやスジが目立つ場合には、プリンタドライバの［手動設定］画面を開き、画面内の設定を変更すれば、印刷ムラなどを目立たなくすることができます。

ポイント

画像データや専用紙の組み合わせによっては、設定を変更しても印刷時間が長くなるだけで、見た目上の印刷品質は変わらない場合もあります。

1. **［双方向印刷］がチェックされている場合は、チェックを外してください。印刷速度は遅くなりますが、印刷品質は向上します。**

   双方向印刷では、プリントヘッドが左右どちらに移動するときでも印刷するので、より高速に印刷できます。ただし、印刷品質が多少低下する場合があります。

2. **［双方向印刷］のチェックを外して印刷しても、印刷ムラが目立つ場合には、［マイクロウィーブ］にチェックを付けます。**

   印刷時の紙送りピッチが少なくなり、印刷ムラが目立たなくなります。さらに［スーパー］にチェックを付けると、より改善されます。ただし、これらの設定を行っても、画像データや専用紙によっては、印刷時間が長くなるだけで見た目上の印刷品質は変わらない場合もあります。

ポイント4　プリンタの状態を確認しましょう。

プリントヘッドの目詰まりなどで、正常な印刷が行われていない可能性もあります。
ノズルチェックパターンの印刷やヘッドクリーニングを行ってみてください。

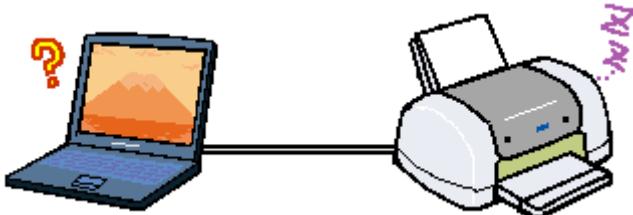
「ノズルチェック」
「ヘッドクリーニング」

ポイント

- このほかに、初心者の方でも簡単に画像データを高画質化できる「オートフォトファイン!4」があります。オートフォトファイン!4は自動的に画像を高画質化して印刷するEPSON独自の画像補正機能です。印刷する際にプリンタドライバで設定すれば、元データに手を加えることなく画像を高画質化して印刷します。
  「写真をきれいに印刷（オートフォトファイン!4)」
- 写真などの画像データは、基本的に細かい点（画素）の集まりで構成されています。この点（ドット）の細かさを表すのが解像度で、解像度の高さがきれいに印刷するポイントになります。デジタルカメラの画像データを印刷する場合には、印刷サイズを大きくすれば解像度は低くなり、小さくすれば解像度は高くなります。
  「解像度とは？」
- ディスプレイに表示された画像と、プリンタで印刷した画像の色合いは完全には一致しません。できるだけ一致させるためには、ディスプレイの調整も必要です。
  「ディスプレイについて」

トラブル対処方法

プリンタの電源がオンにならない

プリンタの電源スイッチを押してもプリンタのランプが 1 つも点灯しない。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

チェック

電源プラグがコンセントから抜けていませんか？

差し込みが浅かったり、斜めになっていないか確認し、しっかりと差し込んでください。また、壁に固定されたコンセントに電源プラグを差し込んでいるか再度確認してください。

チェック

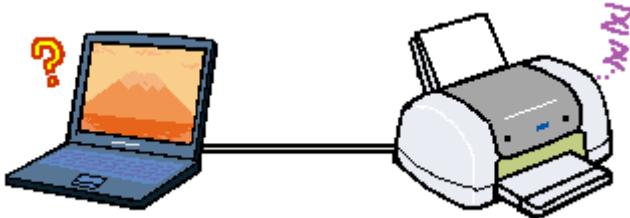
コンセントに電源はきていますか？

ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確認してください。ほかの電気製品が正常に動作するときは、プリンタの故障が考えられます。

ポイント

以上の２点を確認の上で電源スイッチを押しても電源がオンにならない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

電源ランプは点灯しているのに、印刷が始まらない・プリンタが動かない

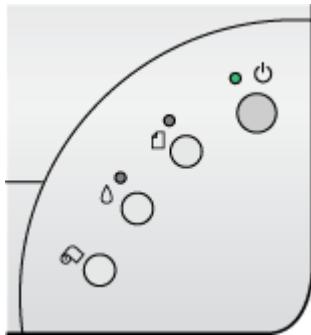
プリンタの電源は入っているけれど、コンピュータから印刷を実行しても印刷が始まらない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

コンピュータの画面に「プリンタが接続されていません。」「用紙がありません。」などのメッセージが表示されていませんか？

画面上に何らかのメッセージ（エラーの内容と対処方法）が表示されている場合は、メッセージに従って原因を解決してください。
何もメッセージが表示されていない場合、またはメッセージが表示されていても原因や対処方法がよくわからない場合は、この項目以降に記載されている各項目を確認して、エラー解除などを行ってください。

チェック

プリンタのランプで、赤いランプが点灯または点滅していませんか？

赤いランプが点灯または点滅している（エラーが発生している）と、プリンタは給紙動作を行わない場合があります。（発生しているエラーの内容によって、給紙できる場合とできない場合があります。）
電源ランプが点灯しているにもかかわらずプリンタがまったく給紙動作をしないといった場合のほとんどは、エラーが発生しているケースのため、まずはランプの状態を確認してください。

赤いランプが点灯 / 点滅している場合のエラーの内容については、以下のページをご参照ください。
「ランプのエラー表示一覧」

チェック

ロール紙に続けて印刷をする場合に、［ロール紙］スイッチを押しましたか？

印刷が終了した時点で［ロール紙］スイッチを 1 回押すと、プリンタは切り取りの目安を印刷してロール紙を紙送りします。この状態で印刷を実行しても、印刷は始まりません。もう一度［ロール紙］スイッチを押してください。プリンタは、ロール紙を印刷開始位置まで戻し、印刷を始めます。
ロール紙への印刷終了後に［ロール紙］スイッチを押した時の動作は次のようになります。

- 1 回目：印刷結果を切り離す目安を印刷して、切り離しやすい位置までロール紙を紙送りします。
- 2 回目：ロール紙を印字開始位置まで戻し、印刷のデータ待ち状態になります。
- 3 秒以上押すと、プリンタ後方へ（ロール紙を取り除くことができる位置まで）用紙を戻します。

チェック

プリンタとコンピュータはしっかりと接続されていますか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されていますか？ケーブルが断線していませんか？変に曲がっていませんか？しっかり接続されていないと印刷されない場合がありますので、よく確認してください。

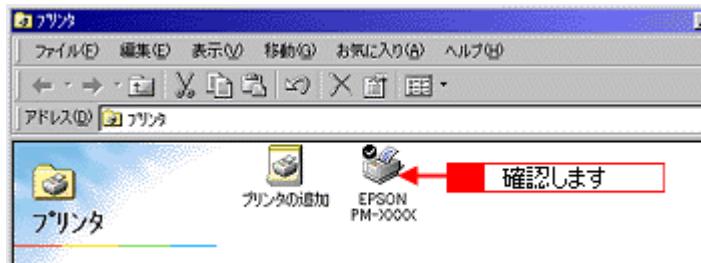
チェック

プリンタとコンピュータの間に、プリンタ切替機やバッファなどを使用していませんか？

一台のプリンタを複数のコンピュータで共有する場合などに使われるプリンタ切替機や、プリンタバッファなどを使用していると、プリンタとコンピュータの情報データのやり取りがうまくいかず、印刷できない場合があります。プリンタとコンピュータを直接接続して、正常に印刷できるかご確認ください。

チェック

本プリンタ用のプリンタドライバが正しくインストールされていますか？

［コントロールパネル］の［プリンタ］フォルダに本プリンタのアイコンが表示されていますか？本プリンタのアイコンがない場合は、プリンタドライバがインストールされていませんので、「スタートアップガイド」の手順説明に従って、インストールをしてください。

上記画面は、Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックすると開きます。

チェック

「印刷先」の設定は正しいですか？

Windows 95/98/Me の場合は、プリンタドライバの［詳細］画面で印刷先のポートの設定をご確認ください。パラレルインターフェイスケーブルをご使用の場合は「LPTx」に、USB ケーブルをご使用の場合は「EPUSBx:」に設定してください。("x" の部分には数字が入ります。)
Windows NT4.0/2000 の場合は、プリンタドライバのプロパティの［ポート］画面で印刷先のポートの設定をご確認ください。パラレルインターフェイスケーブルをご使用の場合は「LPTx」に、USB ケーブルをご使用の場合は「USBxxx:」に設定してください。("x" の部分には数字が入ります。)
実際にプリンタを接続しているポートとは異なるポートを設定していると、プリンタは反応せず、印刷することができません。

上記画面は、以下の手順で開いてください。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。
2. 本プリンタのアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。
3. Windows 95/98/Me の場合は［詳細］タブを、Windows NT4.0/2000 の場合は［ポート］タブをクリックします。

チェック

スプールマネージャまたはプリントマネージャのステータスが「一時停止」になっていませんか？

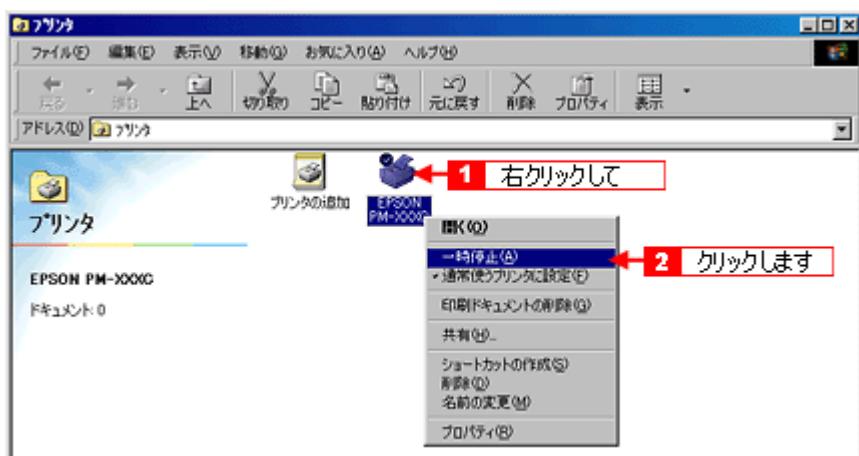
印刷の途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、「一時停止」状態のままになります。このままの状態で印刷を実行しても、プリンタは印刷を開始しません。

スプールマネージャ

印刷データをクリックして［一時停止 / 再開］ボタンをクリックします。

「印刷状況確認画面」

プリントマネージャ

［プリンタ］フォルダを開き、本プリンタのアイコンを右クリックしてから［一時停止］をクリックして、チェックのない状態にします。

チェック

USB ハブをご利用の場合に、コンピュータに直接接続されているハブにプリンタを接続していますか？

USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本プリンタを接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目のハブに接続するか、コンピュータ本体に直接接続してください。

チェック

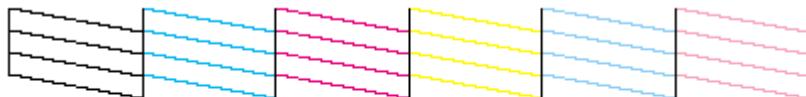
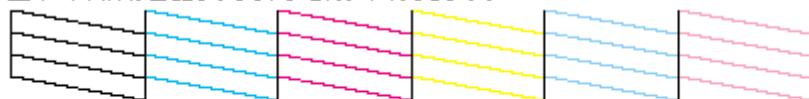
USB ハブが正しく認識されていますか？

Windows 98/Me/2000 の［デバイスマネージャ］で USB ハブが正しく認識されているか確認してください。
正しく認識されている場合は、コンピュータの USB ポートから USB ハブをすべて外してから、本プリンタの USB コネクタをコンピュータの USB ポートに直接接続して印刷を実行してみてください。

チェック

ノズルチェックパターンを印刷してプリンタが故障していないか確認しましょう。

プリンタが内部に持っているノズルチェックパターンを印刷できるかどうかで、故障の有無がわかります。
「ノズルチェック」

正常　ノズルは目詰まりしていません。印刷できます。

異常　ノズルが目詰まりしています。クリーニングを実行してください。

ポイント

- 以上のチェック項目を確認の上で、再度印刷を実行しても印刷が始まらないときは、プリンタドライバが正常にインストールされていない可能性があります。
  ご使用のプリンタのプリンタドライバを一旦アンインストール（削除）してから、再度インストールしてみてください。
  「プリンタドライバの削除方法」
- それでも、印刷できない場合はお買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

動作はするが何も印刷しない

印刷を実行すると用紙を給紙してプリンタは正常に動作しているようなのに、何も印刷しない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？

ノズルチェックでプリントヘッドの状態を確認してください。
プリンタの電源をオンにして、普通紙を複数枚セットしたら、ノズルチェックを実行してください。
「ノズルチェック」

ノズルチェックパターンが正常に印刷されない場合は、プリントヘッドのクリーニングを実行してください。
「ヘッドクリーニング」

チェック

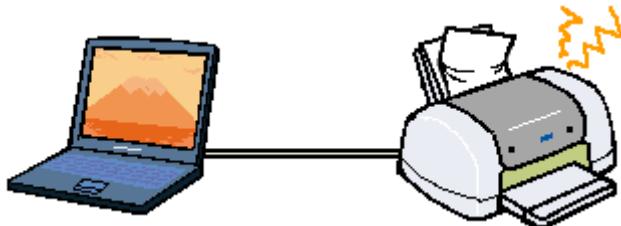
プリンタを長期間使用しないでいませんでしたか？

プリンタを長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。
この場合は、ヘッドクリーニングとノズルチェックを繰り返し実行してください。
5 回繰り返してもノズルチェックパターンの印刷結果がまったく改善されない場合は、プリンタの電源をオフにして一晩以上経過した後、再度印刷を実行してください。ヘッドクリーニングを繰り返した後、時間をおくことによって、目詰まりを起こしているインクが溶解し、正常に印刷できるようになることがあります。なお、ヘッドの目詰まりを防ぐためには、定期的に印刷していただくことをお勧めします。
「ヘッドクリーニング」
「ノズルチェック」

ポイント

それでも印刷できない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

紙送りが正しくできない（定形紙・ハガキ・封筒）

用紙をオートシートフィーダにセットして印刷を実行すると、給紙されない、複数枚重なって給紙される、斜めに給紙される。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

用紙はオートシートフィーダに正しくセットされていますか？

用紙が正しくセットされていないと給紙不良の原因になります。以下の項目をチェックしてください。

- 用紙をオートシートフィーダの右側に沿わせていますか？
- エッジガイドを用紙の側面に合わせていますか？
- 用紙をプリンタ内部へ無理に押し込んでいませんか？
- 用紙は縦方向にセットされていますか？（往復ハガキは横方向）
- プリンタにセットしてある用紙の量が多すぎませんか？
- 用紙をよくさばきましたか？

以下のページを参照して、正しい用紙のセット方法や用紙ごとの取り扱い注意事項をご確認ください。
「普通紙 / 専用紙のセット方法」
「ハガキのセット方法」
「封筒のセット方法」

チェック

ご使用の専用紙には給紙補助が必要ではないですか？

お買い求めいただいた EPSON 純正の専用紙によっては、用紙をセットする前に、専用紙に同梱されている給紙補助シート、もしくは同じサイズの普通紙をセットしないと、最後の 1 枚を正常に給紙できない場合があります。
以下のページを参照して、給紙補助の必要 / 不要をご確認ください。
「普通紙 / 専用紙のセット方法」
「ハガキのセット方法」

チェック

本プリンタで使用できない用紙をお使いではありませんか？

お使いの用紙によっては、給紙できなかったり、正常に印刷できない場合もあります。以下の項目をチェックしてください。

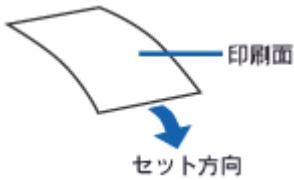
- 用紙にシワや折り目はないですか？
- 厚すぎたり、薄すぎる用紙をお使いではありませんか？
- 用紙が湿気を含んでいませんか？

- 用紙が反っていませんか？
- ルーズリーフ用紙やバインダ用紙などの穴の空いている用紙ではありませんか？

使用できる用紙の種類については、以下のページをご参照ください。
「最適な普通紙 / 専用紙の選択」
「最適なハガキの選択」
「使用できる封筒について」

チェック

PM マット紙は、下図のように多少反りを付けてセットしましたか？

PM マット紙をセットする際は、下図のように多少反りを付けてください。反りを付けないと、正常に給紙されない場合があります。

チェック

プリンタドライバの給紙方法（Windows）/ 給紙装置（Macintosh）の項目が［ロール紙］になっていませんか？

給紙方法 / 給紙装置に［ロール紙］を選択したまま定形紙に印刷を実行すると、プリンタは紙詰まり状態になります。定形紙に印刷を実行する場合は、必ず［オートシートフィーダ］を選択してください。誤って実行してしまった場合は、印刷後に［ロール紙］スイッチを押してください。用紙が排紙されます。

チェック

プリンタは水平な場所に設置されていますか？また、一般の室温環境下に設置されていますか？

設置場所が水平でなかったり、設置場所とプリンタの間に何か物が挟まれていたり、プリンタ底面のゴム製の脚が台からはみ出ていたりすると、内部機構に無理な力がかかってプリンタが歪み、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。一見すると水平に見える場所でも実際は設置面が歪んでいることもあり、このような場所に設置した場合にも同様の症状が現れることがあります。設置面が水平であること、すべての脚が正しく設置していることをご確認ください。
また、一般の室温環境下（室温：15 ～ 25 度、湿度：40 ～ 60%）以外で使用した場合にも、専用紙や専用ハガキを正常に紙送りできない場合があります。

チェック

プリンタ内部に用紙が詰まっていませんか？

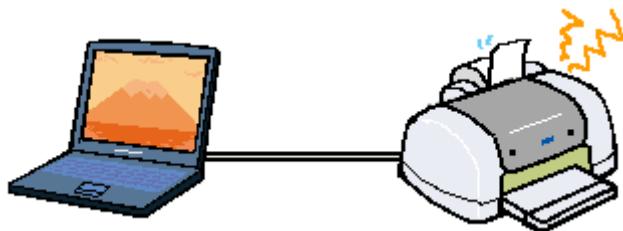
プリンタカバーを開き、プリンタ内部に異物が入っていないか、紙詰まりがないかを調べてください。
もし紙詰まりが発生している場合は、無理に引っ張らずに、次の手順に従って用紙を取り除いてください。

1. 電源をオフにして、プリンタカバーを開けます。
2. 用紙を静かに引き抜きます。このとき、途中から破れてしまった場合は、プリンタ内に用紙が残らないように完全に取り除いてください。
3. プリンタカバーを閉じ、電源をオンにして、用紙をセットしなおします。

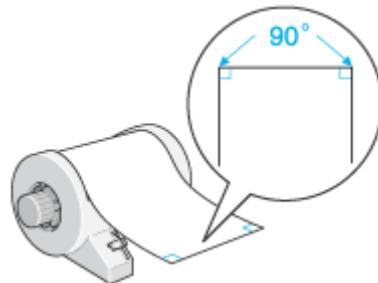
用紙が切れてプリンタ内部に残り、取れなくなってしまった場合は、無理に取ろうとしたりプリンタを分解したりせずに、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。

それでもトラブルが解決しない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

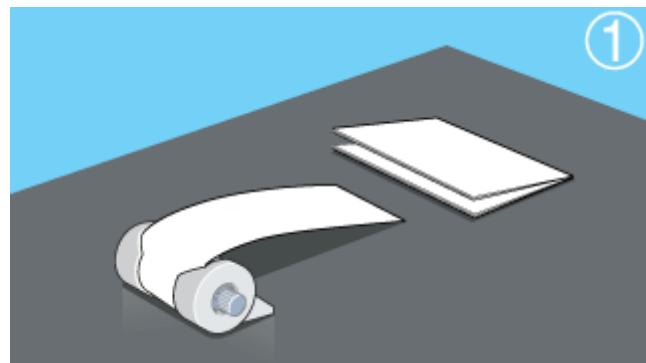
紙送りが正しくできない（ロール紙）

給紙や排紙が思うようにいかない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

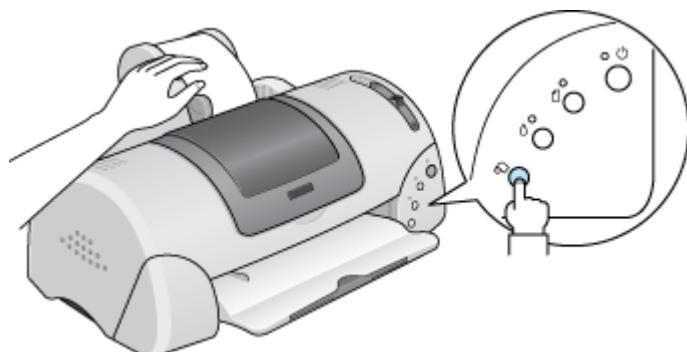
ロール紙が直角にカットされていますか？

以下の図のように、切断面が用紙の端面に対して直角になっていないと、斜めに給紙されてしまう原因となります。定規とカッターを使用して直角になるようにカットしてからプリンタにセットしてください。

チェック

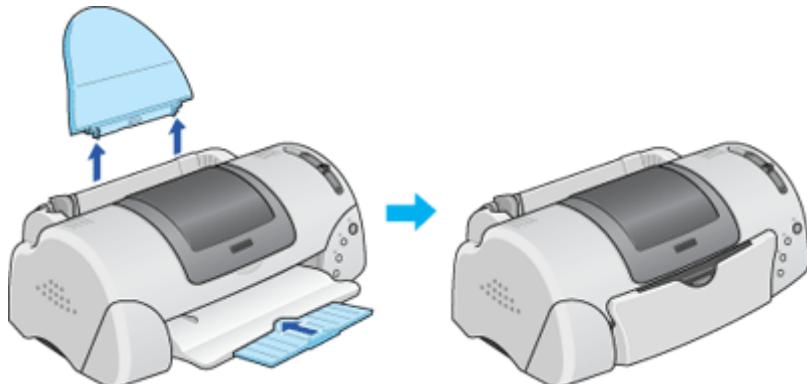
ロール紙の反りを修正してからプリンタにセットしましたか？

ロール紙の反りを修正しないままプリンタにセットすると、正しく給紙できません。必ず、ロール紙に同梱の取扱説明書などの冊子を使用して用紙の反りを修正してください。
なお、反りの修正はロール紙の先端 10cm ぐらいで十分です。ロール紙全体の反りを修正する必要はありません。

チェック

用紙を給紙する際に、用紙に手を添えて［ロール紙］スイッチを押しましたか？

手を添えずに［ロール紙］スイッチを押して用紙を給紙すると、斜めに給紙される原因となります。必ず、手を軽く添えて［ロール紙］スイッチを押してください。

チェック

用紙サポートを取り外していますか？排紙サポートは縮めた状態（一段）にしてありますか？

ロール紙に印刷する場合、用紙サポートは取り外す必要があります。また、排紙サポートは一番縮めた状態（二段目を収納した状態）にする必要があります。

チェック

プリンタドライバの給紙方法（Windows）/ 給紙装置（Macintosh）の項目が［オートシートフィーダ］になっていませんか？

給紙方法 / 給紙装置に［オートシートフィーダ］を選択したままロール紙に印刷を実行すると、ロール紙が余分に給紙されてしまいエラーになります。ロール紙に印刷を実行する場合は、必ず給紙装置に［ロール紙］を選択してください。誤って［オートシートフィーダ］を選択したまま印刷を実行してしまった場合は、プリンタの後部でロール紙を切り、プリンタの電源をオフにしてください。プリンタ内部のロール紙が排紙されます。

チェック

プリンタ内部にロール紙が詰まっていませんか？

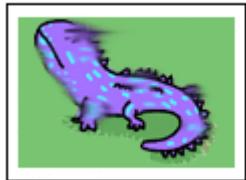
プリンタカバーを開き、プリンタ内部に異物が入っていないか、紙詰まりがないかを調べてください。
もし紙詰まりが発生している場合は、無理に引っ張らずに以下の手順に従ってください。

1. プリンタの電源をオフにしてプリンタカバーを開けます。
2. プリンタ後方に、ロール紙を静かに引き抜きます。
3. プリンタカバーを閉じます。

4. **電源をオンにして、ロール紙をセットしなおします。**

それでもトラブルが解決しない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

印刷面がこすれる、汚れる

印刷を実行すると印刷面がこすれて汚れている。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

プリンタ内部が汚れていませんか？

プリンタの内部がインクで汚れていたりすると、用紙に汚れが付着し、印刷結果を汚すおそれがあります。
定期的にプリンタのお手入れをしてください。
「プリンタが汚れているときは」

チェック

印刷領域を［最大］に設定して印刷していませんか？

プリンタドライバで印刷領域を［最大］に設定して印刷すると、紙送りの機構上、用紙の下端 3mm ～ 14mm の範囲で印刷品質の低下が生じることがあります。また、プリントヘッドが用紙下端とこすれることにより、まれに用紙の最下端部分が汚れることがあります。この場合は、用紙の反りを修正してからプリンタにセットしてください。
それでも汚れが発生する場合は、アジャストレバーを＜＋＞位置に切り替えて印刷してください。

チェック

［四辺フチなし］の設定をして印刷していませんか？

フチなし全面印刷（四辺フチなし印刷）を行う場合は、下記の用紙をお使いになることをお勧めします。

- フォト・プリント紙 2/PM マット紙
- L 判 /2L 判の PM 写真用紙
- ハガキサイズの専用紙 / 官製ハガキ

上記以外の用紙では、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れる場合があります。

チェック

用紙を横方向にセットしていませんか？

用紙は、往復ハガキを使用する場合を除いて、すべて縦方向にセットしてください。
横方向にセットした場合、プリントヘッドが印刷面をこすってしまうことがあります。

チェック

反りのある用紙や、用紙の端面にバリ（用紙の裁断のときに出る「かえり」）のある用紙を使用していませんか？

反りのある用紙や、用紙の端面にバリ（用紙の裁断のときに出る「かえり」）のある用紙に印刷すると、用紙の端がプリントヘッドをこすってしまうことがあります。用紙の反りやバリを取ってから、プリンタにセットしてください。

チェック

エプソン製の専用紙に印刷後、すぐに重ねていませんか？

上記の特殊用紙は普通紙などと比較してインクの乾きが遅いため、印刷直後に手や別の用紙などが印刷面に触れると、汚れることがあります。
印刷直後は印刷面に触れないように、排紙トレイから 1 枚ずつ取り去って十分に乾かしてください。

チェック

ロール紙の残り 20cm くらいの領域に印刷していませんか？

ロール紙の残り 20cm くらいの領域では、画像にズレが入るなど印刷品質が低下する場合があります。この部分には印刷せず、新しいロール紙に交換してから印刷してください。

チェック

ロール紙印刷時に、排紙サポートは一番縮めた状態（一段目）にしてありますか？

排紙サポートが二段目まで引き出されていると、排紙されてきたロール紙が排紙サポートと干渉してたわみ、用紙がプリントヘッドをこすってしまうことがあります。
ロール紙に印刷する場合、排紙サポートは一番縮めた状態（一段目）でご使用ください。

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- **インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。**
  「インターネット FAQ のご案内」
- **インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。**

印刷がぼやける、にじむ、濃い

印刷を実行すると印刷結果がぼやけたり、インクがにじんできれいに印刷できない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

普通紙に写真などを印刷していませんか？

カラー画像やグラフィックスなど、文字などに比べ印刷面積の大きい原稿を普通紙に印刷すると、インクがにじむことがあります。カラー画像などを印刷するときや、より良い品質の印刷をするためには、専用紙のご使用をお勧めします。

チェック

アジャストレバーの設定は正しいですか？

アジャストレバーは、封筒に印刷する場合とそれ以外の用紙に印刷する場合で、切り替える必要があります。アジャストレバーの位置を確認してください。

チェック

古くなったインクカートリッジを使用していませんか？

インクカートリッジは、開封後６ヵ月以内に使い切ってください。
古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。
（未開封のインクカートリッジの推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載してあります。）
「インクカートリッジの交換方法」

チェック

インクカートリッジは推奨品（当社純正品）をお使いですか？

本製品に添付の Windows/Macintosh 用プリンタドライバは、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。
また、純正品以外のカートリッジをお使いになると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるおそれがあります。
インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。
なお、必ず本プリンタに合った型番のものを使用してください。
本プリンタで使用できるインクカートリッジの当社純正品については、以下のページをご参照ください。
「インクカートリッジ交換時の注意事項」

チェック

プリンタドライバでカラー調整の設定をしていませんか？

プリンタドライバの［手動設定］画面の「カラー調整」にて「明度」や「コントラスト」を調整したままだと、印刷結果の濃さが変化します。
プリンタドライバの［手動設定］画面の設定を確認してください。

「手動設定画面」

チェック

双方向印刷時のプリントヘッドのギャップがズレていませんか？

プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷する「双方向印刷」を行っているときに、印刷結果がぼやける場合は、プリントヘッドのギャップがズレている可能性があります。
（ギャップのズレとは、プリントヘッドが左に動くときと右に動くときとで、印刷位置にズレが生じる状態です。縦罫線の場合は、線がガタガタにズレます。写真の印刷のような場合は、インクが正しく重ならなくなるため、印刷結果がぼやけます。）
このようなときは、プリンタドライバの［ユーティリティ］画面内の［ギャップ調整］ボタンをクリックして、ギャップのズレを調整してください。
（なお、双方向印刷は［手動設定］画面で、する / しないを選択できます。）
「ギャップ調整」

チェック

プリンタドライバで設定した用紙種類と、実際に使用している用紙の種類は同じですか？

実際に使用する用紙の種類と、プリンタドライバで設定する「用紙種類」の設定が合っていないと、印刷品質に影響を及ぼします。
実際に使用する用紙の種類とプリンタドライバの設定は、必ず合わせてください。

「基本設定画面」

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
  「インターネット FAQ のご案内」
- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

印刷がかすれる、薄い 、印刷した文字や罫線に白スジが入る

印刷を実行すると印刷結果がぼやけたり、色が薄い、文字や罫線に白いスジが入る。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？

ノズルチェックでプリントヘッドの状態を確認してください。
プリンタの電源をオンにして、普通紙を複数枚セットしたら、ノズルチェックを実行してください。
「ノズルチェック」

ノズルチェックパターンが正常に印刷されない場合は、プリントヘッドのクリーニングを実行してください。
「ヘッドクリーニング」

チェック

古くなったインクカートリッジを使用していませんか？

インクカートリッジは、開封後６ヵ月以内に使い切ってください。
古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。
（未開封のインクカートリッジの推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載してあります。）
「インクカートリッジの交換方法」

チェック

インクカートリッジは推奨品（当社純正品）をお使いですか？

本製品に添付の Windows/Macintosh 用プリンタドライバは、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。
また、純正品以外のカートリッジをお使いになると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるおそれがあります。
インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。
なお、必ず本プリンタに合った型番のものを使用してください。
本プリンタで使用できるインクカートリッジの当社純正品については、以下のページをご参照ください。
「インクカートリッジ交換時の注意事項」

チェック

プリンタドライバでカラー調整の設定をしていませんか？

プリンタドライバの［手動設定］画面の「カラー調整」にて「明度」や「コントラスト」を調整したままだと、印刷結果の濃さが変化します。
プリンタドライバの［手動設定］画面の設定を確認してください。

「手動設定画面」

チェック

双方向印刷時のプリントヘッドのギャップがズレていませんか？

プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷する「双方向印刷」を行っているときに、印刷結果がぼやける場合は、プリントヘッドのギャップがズレている可能性があります。
（ギャップのズレとは、プリントヘッドが左に動くときと右に動くときとで、印刷位置にズレが生じる状態です。縦罫線の場合は、線がガタガタにズレます。写真の印刷のような場合は、インクが正しく重ならなくなるため、印刷結果がぼやけます。）
このようなときは、プリンタドライバの［ユーティリティ］画面内の［ギャップ調整］ボタンをクリックして、ギャップのズレを調整してください。
（なお、双方向印刷は［手動設定］画面で、する / しないを選択できます。）
「ギャップ調整」

チェック

プリンタドライバで設定した用紙種類と実際に使用している用紙の種類は同じですか？

実際に使用する用紙の種類と、プリンタドライバで設定する「用紙種類」の設定が合っていないと、印刷品質に影響を及ぼします。
実際に使用する用紙の種類とプリンタドライバの設定は、必ず合わせてください。

「基本設定画面」

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

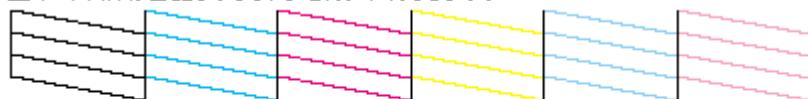
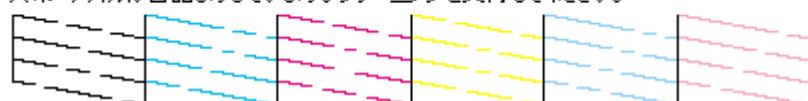
- **インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。**
  「インターネット FAQ のご案内」
- **インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。**

印刷にムラがある、色スジがある

印刷を実行すると色ムラや、色スジが発生してきれいに印刷できない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？

ノズルチェックでプリントヘッドの状態を確認してください。
プリンタの電源をオンにして、普通紙を複数枚セットしたら、ノズルチェックを実行してください。
「ノズルチェック」

ノズルチェックパターンが正常に印刷されない場合は、プリントヘッドのクリーニングを実行してください。
「ヘッドクリーニング」

チェック

双方向印刷時のプリントヘッドのギャップがズレていませんか？

プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷する「双方向印刷」を行っているときに、印刷結果がぼやける場合は、プリントヘッドのギャップがズレている可能性があります。
（ギャップのズレとは、プリントヘッドが左に動くときと右に動くときとで、印刷位置にズレが生じる状態です。縦罫線の場合は、線がガタガタにズレます。写真の印刷のような場合は、インクが正しく重ならなくなるため、印刷結果がぼやけます。）
このようなときは、プリンタドライバの［ユーティリティ］画面内の［ギャップ調整］ボタンをクリックして、ギャップのズレを調整してください。
（なお、双方向印刷は［手動設定］画面で、する / しないを選択できます。）
「ギャップ調整」

チェック

古くなったインクカートリッジを使用していませんか？

インクカートリッジは、開封後 6ヶ月以内に使い切ってください。
古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。
（未開封のインクカートリッジの推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載してあります。）
「インクカートリッジの交換方法」

チェック

インクカートリッジは推奨品（当社純正品）をお使いですか？

本製品に添付の Windows/Macintosh 用プリンタドライバは、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。
また、純正品以外のカートリッジをお使いになると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるおそれがあります。
インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。
なお、必ず本プリンタに合った型番のものを使用してください。
「インクカートリッジ交換時の注意事項」

チェック

プリンタは水平で安定した場所に設置されていますか？

設置場所が水平でなかったり、設置場所とプリンタの間に何か物がはさまれていたり、プリンタ底面のゴム製の脚が台からはみ出ていたりすると、内部機構に無理な力がかかってプリンタが歪み、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。一見すると水平に見える場所でも実際は設置面が歪んでいることもあり、このような場所に設置した場合にも同様の症状が現れることがあります。設置面が水平であること、すべての脚が正しく設置していることをご確認ください。

チェック

印刷後の用紙（PM 写真用紙・PM/MC 写真用紙）を重なった状態で放置していませんか？

印刷後の用紙が重なっていると、重なった部分の色が変わる（重なった部分に跡が残る）ことがあります。印刷後の用紙は、速やかに１枚ずつ広げて乾燥（※）させてください。そうすれば、跡はなくなります。重なっている状態で放置すると、１枚ずつ広げて乾燥させても跡が消えなくなりますのでご注意ください。
※１枚ずつ広げておよそ一昼夜（24 時間）程度乾燥させるか、15 分程度放置した後、普通紙などの吸湿性のある用紙を印刷面に重ねて乾燥させてください。

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
  「インターネット FAQ のご案内」
- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

縦の罫線が左右にガタガタになったり、文字がぼやける

印刷を実行すると縦の罫線が左右にガタガタになったり、文字がぼやけるときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

双方向印刷時のプリントヘッドのギャップがズレていませんか？

プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷する「双方向印刷」を行っているときに縦の罫線が左右にガタガタになったり文字がぼやけるときは、プリントヘッドのギャップがズレている可能性があります。
（ギャップのズレとは、プリントヘッドが左に動くときと右に動くときとで、印刷位置にズレが生じる状態です。ギャップがズレていると、縦罫線の場合は線がガタガタになります。写真の印刷のような場合は、インクが正しく重ならなくなるため、印刷結果がぼやけます。）
このようなときは、プリンタドライバの［ユーティリティ］画面内の［ギャップ調整］ボタンをクリックして、ギャップのズレを調整してください。
（なお、双方向印刷は［手動設定］画面で、する / しないを選択できます。）
「ギャップ調整」

チェック

アジャストレバーの設定は正しいですか？

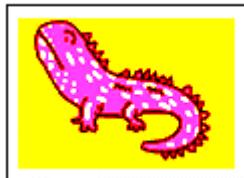
アジャストレバーは、封筒に印刷する場合とそれ以外の用紙に印刷する場合で、切り替える必要があります。アジャストレバーの位置を確認してください。

ポイント

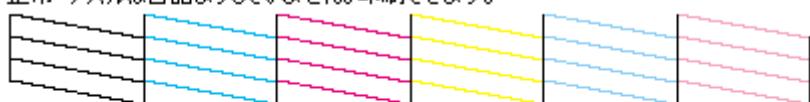
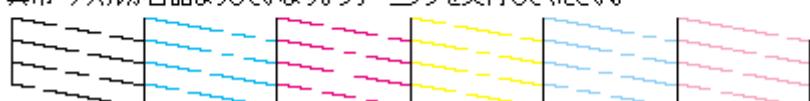
以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
  「インターネット FAQ のご案内」
- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

色合いがおかしい、印刷されない色がある、インクが出ない

印刷を実行すると、思った色合いで印刷されない、また特定の色が印刷されない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていて特定のインクの出が悪いと、色合いがおかしくなります。
ノズルチェックでプリントヘッドの状態を確認してください。
プリンタの電源をオンにして、普通紙を複数枚セットしたら、ノズルチェックを実行してください。
「ノズルチェック」

ノズルチェックパターンが正常に印刷されない場合は、プリントヘッドのクリーニングを実行してください。
「ヘッドクリーニング」

チェック

プリンタドライバでカラー調整の設定をしていませんか？

プリンタドライバの［手動設定］画面の「カラー調整」で「明度」や「コントラスト」などの項目を調整したままだと、印刷結果の色合いが変化します。
プリンタドライバの［手動設定］画面の設定を確認してください。

「手動設定画面」

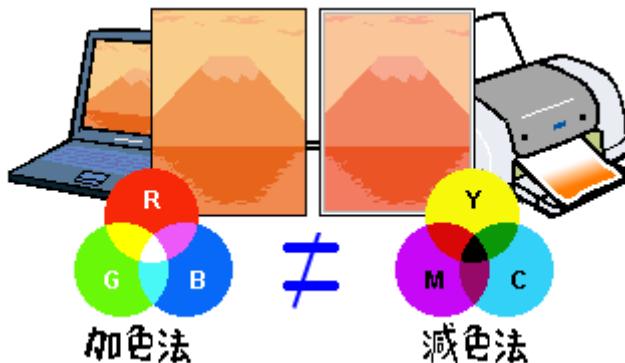
チェック

古くなったインクカートリッジを使用していませんか？

インクカートリッジは、開封後 6ヵ月以内に使い切ってください。
古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。
（未開封のインクカートリッジの推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載してあります。）
「インクカートリッジの交換方法」

チェック

出力装置（ディスプレイ、プリンタ）の発色方法の違いによる差です。

ディスプレイ表示とプリンタで印刷したときの色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。

「色について」

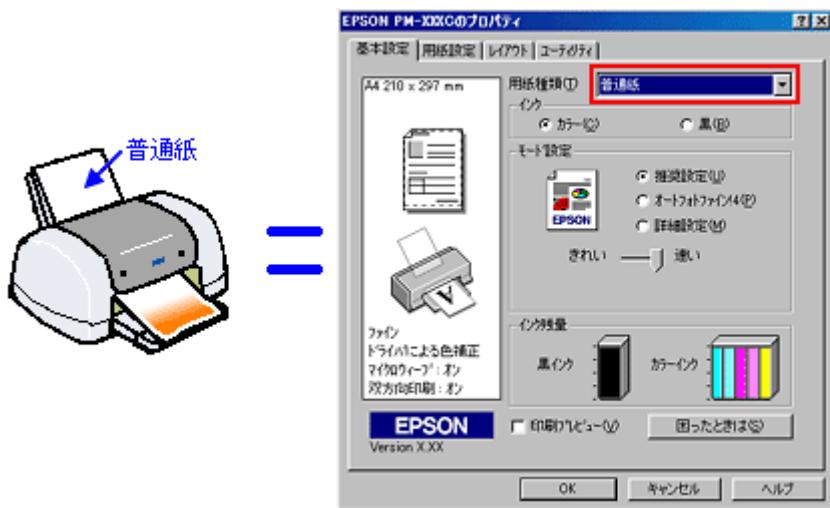
これらの差異を抑え、各機器間の色合いを合わせる機能として、ICM という機能があります。これらの機能を使用して印刷してみてください。
「画面表示と色合いを合わせて印刷」

チェック

プリンタドライバで設定した用紙種類と実際に使用している用紙の種類は同じですか？

実際に使用する用紙の種類と、プリンタドライバで設定する「用紙種類」の設定が合っていないと、印刷品質に影響を及ぼします。
実際に使用する用紙の種類とプリンタドライバの設定は、必ず合わせてください。

「基本設定画面」

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

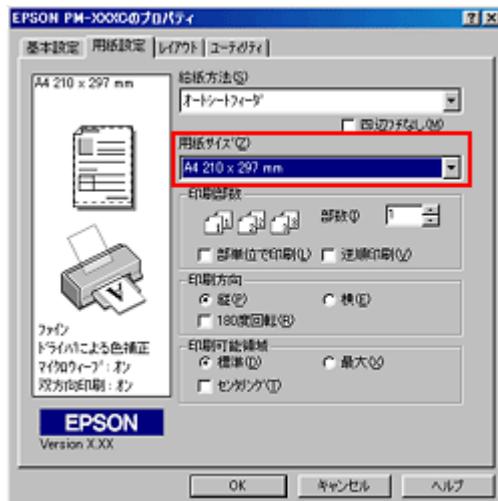
- **インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。**
  「インターネット FAQ のご案内」
- **インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。**

位置がずれる

印刷を実行すると、用紙の思ったところに印刷してくれない場合は、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

プリンタドライバで設定した用紙サイズと、実際に印刷している用紙サイズは同じですか？

プリンタドライバの用紙サイズの設定を、実際に使用する用紙サイズと合わせてください。

「用紙設定画面」

また、印刷データのサイズが実際に使用する用紙サイズよりも大きい（または小さい）場合は、プリンタドライバの「フィットページ」の機能を使用して、実際に使用する用紙サイズに合わせた印刷を行ってください。
「セットした用紙サイズに拡大 / 縮小印刷」

チェック

用紙とエッジガイドの間に、すき間はありませんか？また、用紙が曲がってセットされていませんか？

一旦用紙を取り出して、用紙をよく整えてください。
オートシートフィーダの右側に沿って用紙をセットし、エッジガイドを用紙の側面に正しく合わせてください。

チェック

ポスター印刷や拡大 / 縮小印刷などのプリンタの機能を使用して印刷していませんか？

本プリンタのプリンタドライバは、印刷結果をさまざまな用途でお使いいただくための機能をご用意しています。これらの機能が有効になっていると、画面上での表示と異なる印刷結果を出力することがあります。プリンタドライバの設定を確認してください。
「レイアウト画面」

チェック

ホームページを印刷していませんか？

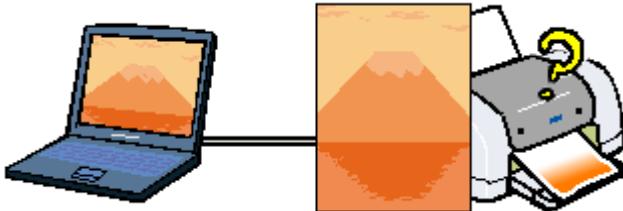
プリンタドライバで設定した［用紙サイズ］（＝印刷データのサイズ）が、ホームページのサイズより小さいことが考えられます。
先に設定した用紙サイズより大きいサイズを設定して、印刷してみてください。例えば、[A4] で位置がずれて（ページが切れて）しまった場合は ［B4］ などを設定してください。
なお、ここで設定したサイズとプリンタにセットした用紙サイズが異なる場合は、縮小して印刷する必要があります。プリンタドライバの［レイアウト］画面で［フィットページ］を選択し、［出力用紙］のリストボックスからプリンタにセットした用紙サイズを選択してください。

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
  「インターネット FAQ のご案内」
- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

フチなし全面印刷ができない

フチなし全面印刷を実行したつもりなのに、フチなしにならない場合は、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

印刷時の設定で、フチなし全面印刷をするように設定しましたか？

EPSON PhotoQuicker またはプリンタドライバで、フチなし全面印刷をするように設定したか確認して、再度印刷してください。

別冊「EPSON PhotoQuicker 操作ガイド」
「フチなし全面印刷（定形紙）」
「フチなし全面印刷（ロール紙）」

チェック

フチなし全面印刷（定形紙）をするデータのサイズは、用紙サイズいっぱいに作成されていますか？

EPSON PhotoQuicker 以外のアプリケーションソフトから印刷する場合、フチなし全面印刷（定形紙）をするデータのサイズは、用紙サイズいっぱいに作成しておく必要があります。

「フチなし全面印刷（定形紙）」

チェック

フチなし全面印刷（ロール紙）をするデータのサイズは、ロール紙の幅サイズに合わせて作成されていますか？

EPSON PhotoQuicker を以外のアプリケーションソフトから印刷する場合、フチなし全面印刷（ロール紙）をするデータのサイズは、ロール紙の幅サイズに合わせて作成しておく必要があります。

「フチなし全面印刷（ロール紙）」

チェック

定形紙にフチなし全面印刷を行う場合、フチなし全面印刷の推奨用紙を使用していますか？

定形紙でフチなし全面印刷を行う場合は、以下の用紙をお使いになることをお勧めします。

- フォト・プリント紙 2/PM マット紙
- L 判 /2L 判の PM 写真用紙
- ハガキサイズの専用紙 / 官製ハガキ

なお、上記以外の用紙では、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れるおそれがあります。また、スーパーファイン専用光沢フィルム・専用 OHP シート・アイロンプリントペーパーには、フチなし全面印刷はできません。

チェック

規格サイズ (*) よりも長さが短い用紙を使っていませんか？

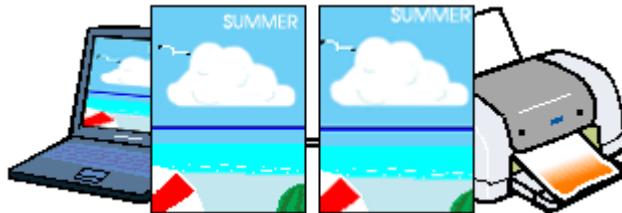
規格サイズよりも長さが約 3mm **以上短い用紙をお使いになると、プリンタは用紙下端に** 3mm **程度の余白を残して印刷を終了します。**
規格サイズの用紙をお使いください。
* A4:210 × 297mm / **ハガキ：**100 × 148mm / L **判：**89 × 127mm / 2L **判：**127 × 178mm

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- **インターネットをお使いの方は、インターネット** FAQ **をご覧ください。**
  「インターネット FAQ **のご案内」**
- **インターネットをお使いでない方、またインターネット** FAQ **をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。**

画像の上下左右が切れる

フチなし全面印刷をしたときに、画像の上下左右が切れる場合は、以下を確認してください。

フチなし全面印刷（四辺フチなし印刷）時は、裁ち落とし印刷（用紙より少しはみ出した印刷）をするために、写真を用紙サイズよりも少し拡大処理します。（最大で上 3mm/ 左右 2.5mm/ 下 5mm。）
拡大処理されて用紙からはみ出した部分は印刷されませんので、ディスプレイ上に表示されている内容と印刷結果でわずかに違いが生じます。

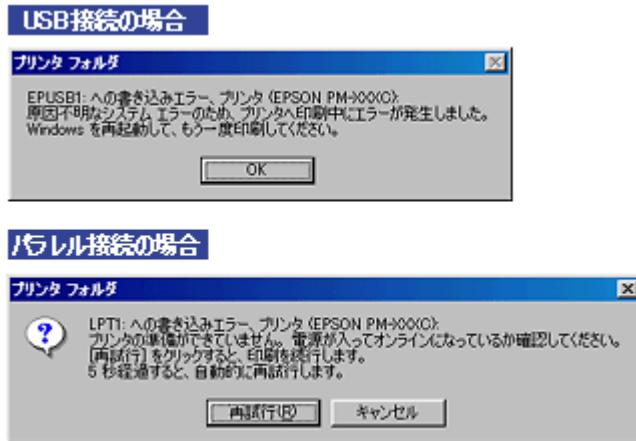
その他のトラブル

チェック

「書き込みエラー」や「通信エラー」などのメッセージがコンピュータの画面上に表示されて、印刷できない

Windows の場合のエラーメッセージ

USB接続の場合

パラレル接続の場合

これらのメッセージは、いくつかの要因により表示されます。

- プリンタドライバが正しくインストールされていない場合。
- コンピュータとプリンタが正しく接続されていない場合。
- プリンタドライバ上の「印刷先のポート」設定が、実際にプリンタを接続しているポートと合っていない場合。

以下のページを参照して、原因の確認とエラー解除を行ってください。
「電源ランプは点灯しているのに、印刷が始まらない・プリンタが動かない」

チェック

クリーニングが動作しない

プリントヘッドのクリーニングを実行してもプリンタがまったく動作しない場合は、操作パネル上の赤いランプが点灯・点滅していないか確認してください。
インク残量が少なくなっているとき、およびインクがなくなっているときは、クリーニングを実行してもプリンタはクリーニングを行いません。
インク残量が少なくなっているとき、またはインクがなくなっているときは、新しいインクカートリッジに交換してからクリーニングを実行してください。
「ランプのエラー表示一覧」
「インクカートリッジの交換方法」

チェック

インクカートリッジの取り付け時、誤って黄色いテープと一緒に青いラベルをはがしてしまった

誤って青いラベルをはがしてしまったインクカートリッジは、使用しないでください。
必ず新しいインクカートリッジを使用し、黄色いテープのみをはがした状態で取り付けてください。青いラベルまではがした場合には、黄色いテープをはがしたとき以上にカートリッジ内に空気が入ってしまうことになります。その場合、インクカートリッジ装着直後はインクが出ますが、時間が経つにつれてインクカートリッジ内のインクの粘度が増し、印刷時に目詰まりを起こす原因となります。
この状態に陥ってからインクカートリッジを交換してクリーニングを行っても目詰まりを解消することができなくなりますので、ご注意ください。

チェック

黒印刷しかしていないのに、いつの間にかカラーインクが減っている

黒印刷しかしない場合でも、以下の動作時にカラーインクが消費されます。
また、カラーインクしか使用しない場合でも、同様の理由で黒インクが消費されます。

- **ヘッドクリーニングをするとき**
  黒インクのみ使用していても、ヘッドクリーニング時は黒・カラーのインクを同時に使用するため、カラーインクも消費されます。

- **セルフクリーニング時**
  セルフクリーニングとは、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能です。印刷を開始するときなどに定期的に行われます。（すべてのインクを微量吐出して、ノズルの乾燥を防ぎます。）

クリーニング時に黒とカラーインクを同時に使用する理由
プリントヘッドのノズルにインクが詰まると、インクが出なくなったりかすれたり、正常に印刷できなくなります。黒のみの印刷をしていても、ある日突然カラー印刷をしたくなった際に正常にインクが出ないということでは、プリンタの性能を発揮できない結果になります。
そのため、目詰まり防止策として、どちらか一方のノズルだけをクリーニングするのではなく、黒・カラー両方のノズルをクリーニングして、双方のノズルを常に良好な状態にしておく仕組みになっています。

チェック

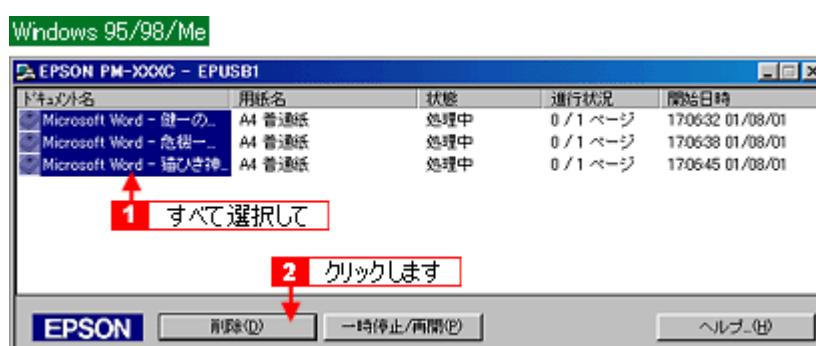
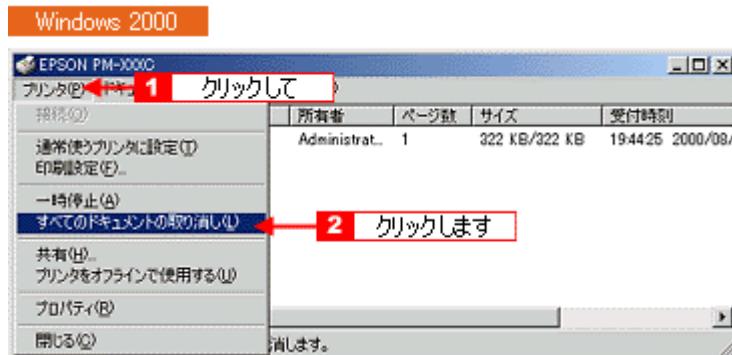
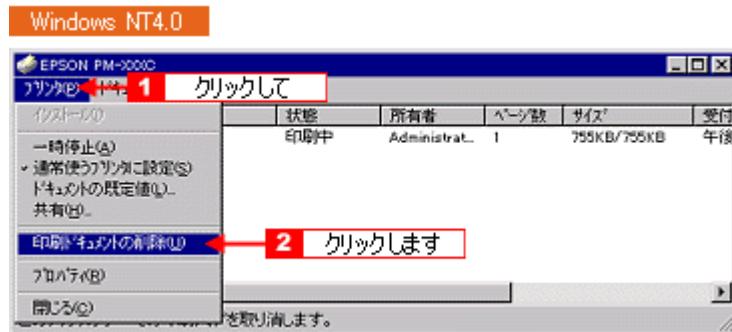
意味不明の文字や記号が印刷される（文字化けする）

印刷を実行すると意味不明な文字や記号が印刷される。また、意味不明な文字や記号を少しずつ印刷しながら、大量の用紙を排紙する。
こういった現象は、コンピュータからプリンタに送られてくるデータが初めから壊れていたり、送られてくる途中で壊れてしまうことが原因として考えられます。
以下のチェック項目を確認してください。

印刷に失敗したり、中止したデータがスプールマネージャに残っていませんか？

プリンタの電源をオフにして、印刷を中止します。スプールマネージャを開き、残っているデータを削除してください。
（スプールマネージャ内に複数のデータが待機している場合は、すべて削除してください。）
データの削除が終了したらプリンタの電源をオンにして、再度印刷を実行してください。

Windows NT4.0

Windows 2000

「印刷の中止方法」

プリンタケーブルが外れかかっていませんか？

コンピュータとプリンタに、プリンタケーブルがしっかり差し込まれていることを確認してください。外れかかっていると、印刷や動作がおかしくなる場合があります。

プリンタとコンピュータの間に、プリンタ切替機やバッファなどを使用していませんか？

一台のプリンタを複数のコンピュータで共有する場合などに使われるプリンタ切替機や、プリンタバッファなどを使用していると、プリンタとコンピュータの情報データのやり取りがうまくいかず、文字化けなどが発生する場合があります。
プリンタとコンピュータを直接接続して、正常に印刷できるかご確認ください。

チェック

印刷後の用紙（PM 写真用紙・PM/MC 写真用紙）に、重なった際の跡が残る

印刷後の用紙を重なった状態で放置していませんか？
印刷後の用紙が重なっていると、重なった部分の色が変わる（重なった部分に跡が残る）ことがあります。印刷後の用紙は、速やかに 1 枚ずつ広げて乾燥（※）させてください。そうすれば、跡はなくなります。重なっている状態で放置すると、１枚ずつ広げて乾燥させても跡が消えなくなりますのでご注意ください。
※１枚ずつ広げておよそ一昼夜（24 時間）程度乾燥させるか、15 分程度放置した後、普通紙などの吸湿性のある用紙を印刷面に重ねて乾燥させてください。

チェック

NEC 製 98 版 Windows 95 を使用して印刷ができない

NEC PC-9821 シリーズに変換コネクタ（ハーフピッチ 36 ピン→ 14 ピン）が装着されていませんか？
変換コネクタ（ハーフピッチ 36 ピン→ 14 ピン）を取り外して、エプソン製ケーブル PRCB5N で接続してください。

チェック

プリンタドライバのコピーができてしまったら？

本プリンタのプリンタドライバがインストールされている状態で新たに本プリンタのプリンタドライバをインストールすると、［プリンタ］フォルダの中に［EPSON PM-XXXX コピー 2］、［EPSON PM-XXXX コピー 3］というように、コピーという名称でアイコンが増えていきます。
この場合、コンピュータにはもっとも新しいバージョンのプリンタドライバが登録されています。プリンタフォルダの中にはコピーも含めていくつかの本プリンタのアイコンが存在することになりますが、どれを使用しても同じように印刷が可能です。
したがって、［EPSON PM-XXXX］のアイコンを残して、コピーのアイコンをすべて削除しても問題ありません。

チェック

最新のプリンタドライバを入手したい

通常は本製品に同梱されているプリンタドライバで問題なくご利用いただけますが、アプリケーションソフトなどのバージョンアップに伴い、プリンタドライバのバージョンアップが必要な場合があります。
そのような場合は、以下のページを参照して、プリンタドライバを入手してください。
「最新プリンタドライバ類の入手方法」

チェック

コンピュータ、マウスがまったく動かなくなってしまったら？

以下の方法でコンピュータを再起動してください。ただし、保存していないデータは失われます。
通常、プリンタドライバが原因でコンピュータやマウスが動かなくなってしまうことはありません。このようなことが頻繁に起こる場合には、原因の 1 つとして、コンピュータのシステムや OS の環境によることが考えられます。OS やコンピュータにインストールされているユーティリティなどの取扱説明書を参照して確認を行ってください。

DOS/V 機をご使用の場合

「Ctrl」キー、「Alt」キー、「Delete」キーの 3 つのキーを同時に押してください。

Ctrl ＋ Alt ＋ Delete

NEC98 シリーズ、EPSON PC シリーズをご使用の場合

「CTRL」キー、「GRPH」キー、「DEL」キーの 3 つのキーを同時に押してください。

CTRL ＋ GRPH ＋ DEL

チェック

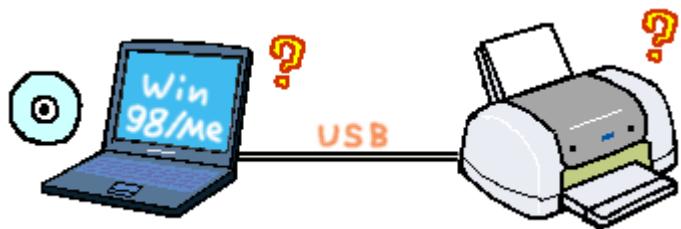
漏洩電流について

本プリンタは、社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しています。
しかし、多数の周辺機器を接続している環境下では、本プリンタに触れた際に電気を感じることがあります。
このようなときには、本プリンタを接続しているコンピュータなどからアース（接地）を取ることをお勧めいたします。
本プリンタからアースを取る場合には、カラリオインフォメーションセンターまたはエプソンの修理窓口までお問い合わせください。

お問い合わせの多い Q&A

お問い合わせの多い項目をピックアップしました。

チェック

Windows 98/Me を使用して USB ケーブルで接続する際に、正常にインストールできない、印刷できない

USB ケーブルを使用する場合に必要な EPSON USB プリンタデバイスドライバは、一定のルールに基づいてインストールしないと正常にインストールできません。インストールの際は、必ず本プリンタに添付の「スタートアップガイド」の手順説明に従ってインストールしてください。
何らかの原因で、正常にインストールできない、印刷できないなどの症状が発生した場合は、いくつかの項目をチェックして、再度インストール作業を実行する必要があります。詳しくは、「スタートアップガイド」をご覧ください。

チェック

最新のドライバを入手するにはどうしたら良いですか？

機能改善のために、プリンタドライバがバージョンアップすることがあります。通常は、プリンタに同梱されているドライバで問題なくご使用いただけますが、より快適に印刷を行っていただくため、最新のプリンタドライバをご使用いただくことをお勧めします。
「最新プリンタドライバ類の入手方法」

チェック

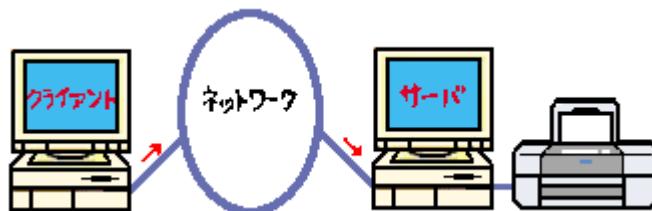
Windows 98/Me 環境におけるプリンタドライバの削除・再インストール方法

通常は、本書に記載されている削除方法に従って、プリンタドライバを削除してください。
「プリンタドライバの削除方法」
「EPSON USB プリンタデバイスドライバの削除方法（Windows 98/Me）」
ただし、何らかの原因で削除が途中で終了してしまった場合などは、プリンタソフトウェア CD-ROM に収録されているアンインストーラファイルを実行する必要があります。
Windows を起動して、プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

1. マイコンピュータをダブルクリックして開きます。
2. CD-ROM のアイコンを右クリックして［エクスプローラ］をクリックします。
3. ［WIN9X］フォルダをダブルクリックして開きます。
4. ［EPUSBUN.exe］ファイルをダブルクリックします。
5. この後は、画面の指示に従ってください。

削除を実行したら、「スタートアップガイド」の手順に従ってプリンタドライバなどのインストールを実行してください。

チェック

本プリンタをネットワーク上で使用するための方法

ネットワーク環境下において、本プリンタをネットワークプリンタ（共有プリンタ）としてお使いいただくことができます。イラストで示したように、インターフェイスカードやネットワークサーバを使用することなくプリンタをネットワーク上で共有する接続形態を「ピアトゥピア接続」と呼びます。プリンタを直接接続し、ほかのユーザーに共有させるコンピュータをプリントサーバと呼び、そのプリンタを利用するユーザーをクライアントと呼びます。
詳しくは以下のページをご覧ください。
「ネットワークでプリンタを共有する方法」

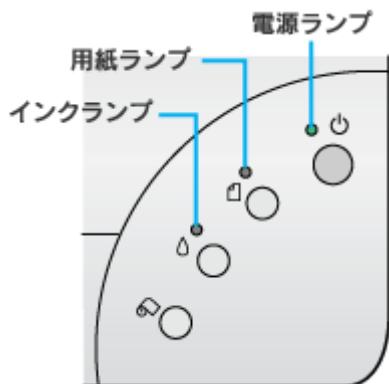
チェック

印刷時に複数の用紙やハガキが重なったまま給紙されてしまうのですが、どうすれば良いのでしょうか？
プリンタの給紙がうまくいかない場合の対処方法は？

用紙がうまく給紙できない場合には、用紙が正しくセットされているか、セットした用紙の枚数が多すぎないかなど、いくつかのチェック項目があります。以下のページを参照して、チェック項目をご確認ください。

「紙送りが正しくできない（定形紙・ハガキ・封筒）」

ランプのエラー表示一覧

プリンタにエラー（正常でない状態）が発生したときは、プリンタのランプが点滅／点灯してお知らせします。

電源ランプ

ランプの状態	点灯	点滅
内容	印刷データ待ちの状態です。	印刷中／インクカートリッジの交換中／インクの確認中のいずれかの状態です。
対処方法	正常な状態です。	正常な状態です。

インクランプ

ランプの状態	点灯	点滅
内容	黒、カラーどちらかのインクがなくなりました。※	黒、カラーどちらかのインクが残り少なくなりました。

<table>
<tr><td rowspan="4">対処方法</td><td colspan="3">［インク］スイッチを押してください。
プリントヘッドがインクカートリッジ交換位置に移動して、インクランプの状態が変わり、どちらのインクがなくなったかを知ることができます。</td></tr>
<tr><td>点滅1</td><td>点滅2</td><td>点灯</td></tr>
<tr><td>黒インク</td><td>カラーインク</td><td>両方のインク、またはインクカートリッジがセットされていません。</td></tr>
<tr><td colspan="3">インクがなくなっている場合
新しいインクカートリッジに交換してください。
「インクカートリッジの交換方法」

インクが残り少なくなっている場合
新しいインクカートリッジを準備してください。</td></tr>
</table>

※インクカートリッジを交換した後に点灯した場合は、正しくインクカートリッジが認識されていません。もう一度インクカートリッジをセットしなおしてみてください。

用紙ランプ

<table>
<tr><td>ランプの状態</td><td>点灯</td><td>点滅</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>用紙がセットされていません。（印刷実行時のみのエラーです。）</td><td>印刷中に紙詰まりが発生しました。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">対処方法</td><td rowspan="2">用紙をセットして、定形紙の場合は［用紙］スイッチを、ロール紙の場合は［ロール紙］スイッチを押してください。</td><td>定形紙
［用紙］スイッチを押して詰まっている用紙を排紙します。
排紙されずにプリンタ内部に残っている場合は、電源をオフにしてから用紙を取り除きます。</td></tr>
<tr><td>ロール紙
印刷された部分を切り離し、ロール紙を取り除きます。
「セットされているロール紙の取り除き方法」</td></tr>
</table>

ランプの組み合わせによるエラー表示

ランプの状態	同時点滅	交互点滅
内容	キャリッジ（インクカートリッジをセットしている部分）が正常に動作してない、またはその他のエラーが発生しました。	プリンタ内部の部品調整が必要です。

対処方法	一旦電源をオフにして、再度オンにしてください。それでもエラーが解除されない場合は、電源をオフにして、プリンタ内部に異物（輸送用の保護具、用紙など）が入っていないか確認し、電源をオンにしてください。	一旦電源をオフにして、再度電源をオンにしてください。それでもエラーが解除されない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理相談窓口へご相談ください。

ポイント

処置した後もエラー表示が続く場合はお買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。
お問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

インクカートリッジの交換方法

インクカートリッジの交換方法

黒 / カラーどちらか片方のインクがなくなると、インクランプが点灯し、印刷ができなくなります。黒 1 色のモノクロ印刷を行う場合でも、カラーインクがなくなっているとプリンタが動作しません。
通常は、コンピュータの画面上に「黒（またはカラー）インクがなくなりました。」というメッセージが表示されますので、［対処方法］ボタンをクリックしてインクカートリッジを交換するか、下記の手順で交換してください。

注 意

インクカートリッジ取り扱い上の注意事項をご確認ください。
「インクカートリッジ交換時の注意事項」

ポイント

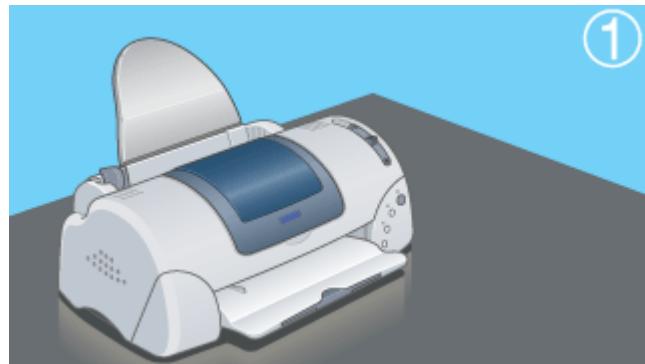
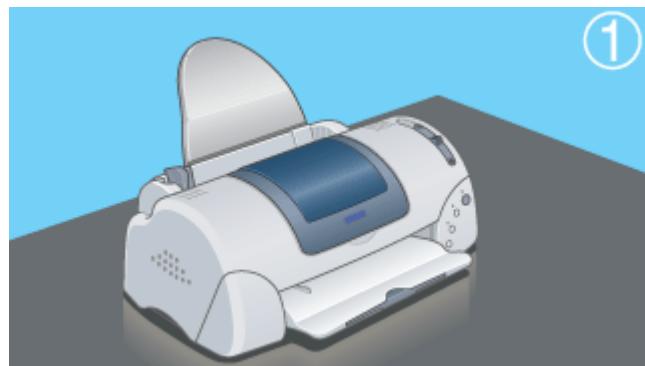
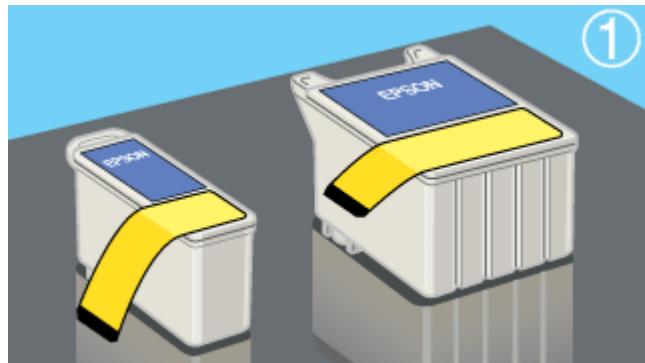
コンピュータの画面上にメッセージが表示されない場合
黒 / カラーどちらのインクがなくなっているかをランプで確認してから、下記の手順でインクカートリッジを交換してください。
「ランプのエラー表示一覧」

1. **新しいインクカートリッジを用意します。**

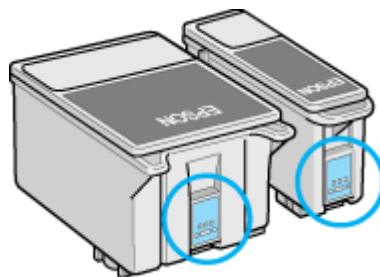
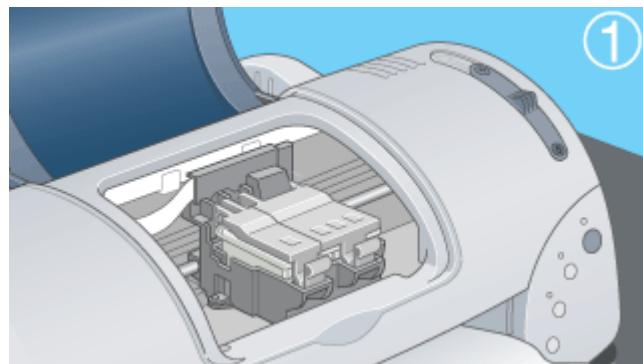
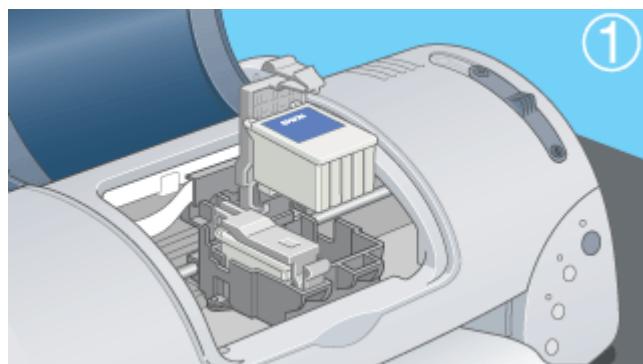
   インクカートリッジの当社純正品は、下記の通りです。

インクカートリッジの種類	型番
黒インクカートリッジ	IC1BK13
カラーインクカートリッジ	IC5CL13

2. **［インク］スイッチを押します。**

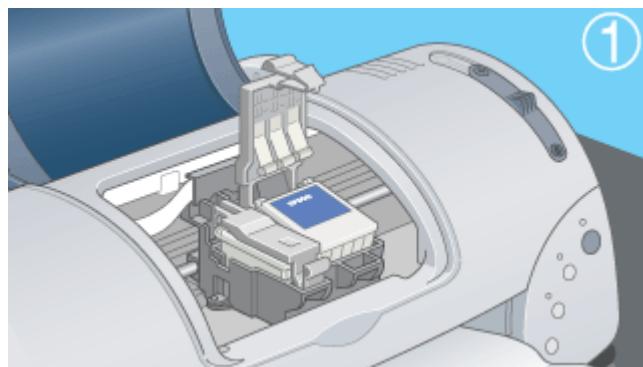
   プリントヘッドがインクカートリッジ交換位置まで移動し、電源ランプが点滅します。

3. **プリンタカバーを開けます。**

4. **新しいインクカートリッジを袋から取り出し、EPSON マークの印刷されたラベルをはがさないようにして、黄色いテープのみをはがします。**

（以降、カラーインクカートリッジを交換する例です。黒インクカートリッジもほぼ同じ手順で交換できます。）

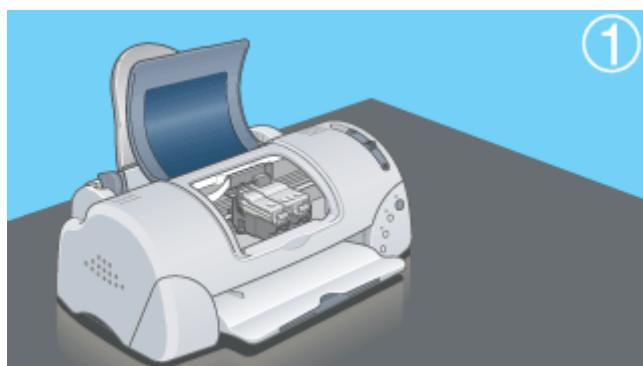
注 意

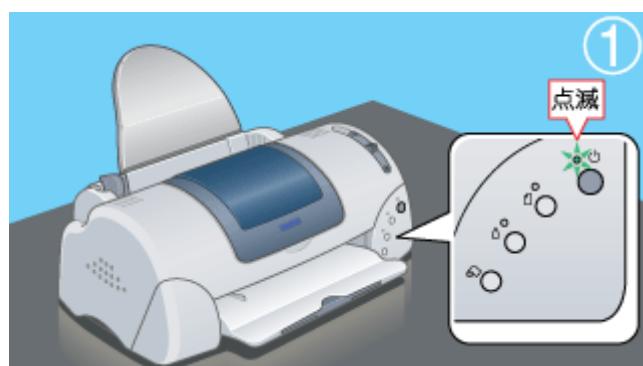
- 黄色いテープは必ずはがしてください。はがさないままセットすると印刷できません。また、そのインクカートリッジは使用できなくなります。
- EPSON マークの印刷されたラベルは、絶対にはがさないでください。EPSON マークの印刷されたラベルをはがしたインクカートリッジを使用すると、インクの粘度が増し、プリントヘッドのノズルが目詰まりして印刷できなくなる場合があります。
- インクカートリッジ底面の透明フィルムは、はがさないでください。
- インクカートリッジに付いている緑色の基板部分には触らないでください。正常に動作・印刷できなくなるおそれがあります。

5. **固定カバーを引き上げ、古いインクカートリッジを取り出します。**

6. **インクカートリッジの EPSON マークを固定カバー側に向け、固定カバーのツメの上にインクカートリッジのツメを載せるようにして置きます。**

注意

- インクカートリッジのツメを固定カバーの下にもぐらせないでください。固定カバーを破損するおそれがあります。
- インクカートリッジは、無理に押し込まないようにしてください。

7. **インクカートリッジが確実にセットされるように、固定カバーを手前に倒し、しっかりと固定します。**

   セットには多少力が必要です。固定カバーの上面をしっかり押し込んでください。

8. **プリンタカバーを閉じ、［インク］スイッチを押します。**

   プリントヘッドが右に移動し、インクの充てんが始まります。

9. **電源ランプの点滅が点灯に変わったら充てんは終了です。（インクの充てんには約 1 分かかります。）**

   以上でインクカートリッジの交換は終了です。

注意

- 充てん中（電源ランプの点滅中）は、電源をオフにしないでください。充てんが完全に行われず、印刷ができなくなるおそれがあります。
- 取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にインクが付着している場合がありますので、周囲を汚さないように注意してください。

ポイント

使用済みのインクカートリッジは、ポリ袋などに入れて、リサイクルに出すか、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。
また弊社では、環境保全活動の一環として、「使用済みインクカートリッジ回収ポスト」を全国の一部パソコンショップに設置し、使用済みカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みインクカートリッジは、ぜひ最寄りの回収拠点までお持ちいただき、回収ポストに投函してくださいますようご協力をお願いいたします。
回収ポストの設置店は、エプソン販売のホームページで確認できます。（http://www.i-love-epson.co.jp）

インクカートリッジ交換時の注意事項

インクカートリッジを交換する前に、以下の注意事項をお読みください。

インクカートリッジの種類

使用できるインクカートリッジの当社純正品は、下記の通りです。

インクカートリッジの種類	型番
黒インクカートリッジ	IC1BK13
カラーインクカートリッジ	IC5CL13

! 注意

- 本プリンタに添付の Windows/Macintosh 用プリンタドライバは、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。
- 純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるおそれがあります。

インクカートリッジ取り扱い上の注意事項

インクカートリッジを交換する前に以下の注意事項をご確認ください。

使用上のご注意

- インクカートリッジは、取り付ける直前に開封してください。開封した状態で長時間放置すると、正常に印刷できなくなる場合があります。また、開封後は 6ヶ月以内に使い切ってください。古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。（未開封のインクカートリッジの推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載してあります。）
- インクカートリッジに付いている緑色の基板部分には触らないでください。正常に動作・印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジは分解しないでください。
- 本プリンタで使用するインクカートリッジは IC チップでインク残量などカートリッジ固有の情報を管理しているため、途中で抜いても再使用が可能です。ただし、再装着の際にはプリンタの信頼性を確保するため、インクが消費されます。
- 使用途中で取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にほこりが付かないように注意して、プリンタと同じ環境下で保管してください。なお、インク供給孔内部には弁があるため、ふたや栓をする必要はありませんが、供給孔部で周囲を汚さないようにご注意ください。
- インクカートリッジのインク供給孔部には触らないでください。
- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3 時間以上室温で放置してから使用してください。
- インクカートリッジは、個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。期限を過ぎたものをご使用になると、印刷品質に影響を与える場合があります。
- インクカートリッジは強く振らないでください。カートリッジからインクが漏れることがあります。

- EPSON マークの印刷されたラベルは、絶対にはがさないでください。EPSON マークの印刷されたラベルをはがしたインクカートリッジを使用すると、インクの粘度が増し、プリントヘッドが目詰まりして印刷できなくなる場合があります。

注意

- **インクカートリッジを取り扱うときは、インクが目に入ったり皮膚に付着しないように注意してください。目に入った場合はすぐに水で洗い流し、皮膚に付着した場合はすぐに水や石けんで洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。万一、異常がある場合は、すぐに医師にご相談ください。**
- **インクは飲まないでください。また、インクが手などに付いてしまった場合は、時間がたつと落ちにくくなるので、すぐに石けんや水で洗い流してください。インクが目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。**

保管上のご注意

- インクカートリッジは、冷暗所で保管してください。
- インクカートリッジは、子供の手の届かない所に保管してください。また、インクは飲まないでください。

交換時のご注意

- インクカートリッジへのインクの補充はしないでください。正常に動作・印刷ができなくなるおそれがあります。インクカートリッジは IC チップにインク残量を記憶しています。このため、インクを補充しても IC チップ内の残量値が書き換わることはなく、使用できるインク量は変わりません。
- プリンタの電源が入っていない状態で無理にインクカートリッジを交換しないでください。インク残量の検出が正しく行われず正常な印刷ができなくなります。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。故障の原因になります。
- インクカートリッジを取り外したまま、プリンタを放置しないでください。プリントヘッドが乾燥して印刷できなくなる場合があります。
- 交換作業中はプリンタの電源をオフにしたり、電源コードをコンセントから抜いたりしないでください。プリントヘッドが乾燥して印刷できなくなる場合があります。
- インクカートリッジは、黒・カラー両方ともセットしてください。どちらか片方だけセットされた状態では、プリンタは動作しません。
- 充てん中（電源ランプが点滅中）は、電源をオフにしないでください。充てんが完全に行われずに、印刷ができなくなる場合があります。
- 使用済みのインクカートリッジは、インク供給孔部にインクが付着している場合がありますので注意してください。交換作業後、使用済みのインクカートリッジはポリ袋などに入れて、リサイクルに出すか、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

インク消費について

各インクカートリッジは、印刷時以外にも次の場合に消費されます。

- 印刷を開始するときなどに定期的に実施されるセルフクリーニング時
- プリントヘッドのクリーニング時
- インクカートリッジ装着時

インクカートリッジのリサイクルについて

弊社では、環境保全活動の一環として、「使用済みインクカートリッジ回収ポスト」を全国の一部パソコンショップに設置し、使用済みカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みインクカートリッジは、ぜひ最寄りの回収拠点までお持ちいただき、回収ポストに投函してくださいますようご協力をお願いいたします。
回収ポストの設置店は、エプソン販売のホームページで確認できます。（http://www.i-love-epson.co.jp）

お勧めの機能

フチなし全面印刷（定形紙）

通常の印刷では、プリンタの構造上どうしても上下左右に余白ができてしまい、用紙いっぱいに印刷することができませんが、フチなし全面印刷機能を使用すると、フチ（余白）のない印刷が可能になります。

ポイント

- 用紙の上下端では、印刷品質を保持するために、印刷速度が極端に遅くなります。
- 四辺フチなし印刷を行う場合、プリンタドライバの［レイアウト］画面の機能は使用できません。

フチなし全面印刷の推奨用紙

フチなし全面印刷を行う場合は、以下の用紙をお使いになることをお勧めします。

- フォト・プリント紙 2/PM マット紙
- L 判 /2L 判の PM 写真用紙
- ハガキサイズの専用紙 / 官製ハガキ

注 意

- 上記以外の用紙では、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れるおそれがあります。
- スーパーファイン専用光沢フィルム・専用 OHP シート・アイロンプリントペーパーには、フチなし全面印刷はできません。

EPSON PhotoQuicker を使ってフチなし全面印刷

フチなし全面印刷をする場合は、本プリンタに添付のアプリケーションソフト EPSON PhotoQuicker を使用することをお勧めします。
EPSON PhotoQuicker を使用すれば、フチなし全面印刷が簡単にできます。
EPSON PhotoQuicker を使っての印刷方法は、以下の取扱説明書をご覧ください。
別冊「EPSON PhotoQuicker 操作ガイド」

EPSON PhotoQuicker 以外のアプリケーションソフトを使ってフチなし全面印刷

印刷データの作成

フチなし全面印刷をするデータは、用紙サイズいっぱいに作成してください。余白設定のできるアプリケーションソフトをご使用の場合は、余白を「0mm」に設定してください。
データサイズの変更についての詳細は、アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

用紙サイズ	印刷データのサイズ
A4（210 × 297mm）	210 × 297mm
ハガキ（100 × 148mm）	100 × 148mm
L 判（89 × 127mm）	89 × 127mm
2L 判（127 × 178mm）	127 × 178mm

フチなし全面印刷は、印刷データを用紙サイズよりわずかに拡大して印刷します。そのため、用紙からはみ出した部分（最大で上 3mm/ 左右 2.5mm/ 下 5mm）は印刷されません。本番の印刷前に、試し印刷することをお勧めします。

印刷時の設定

1. **印刷実行前にプリンタドライバの［用紙設定］画面を開きます。**

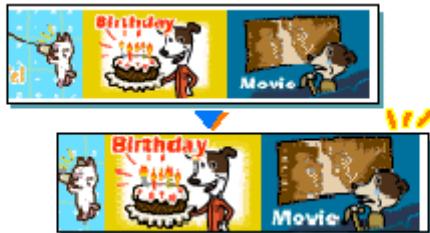
   プリンタドライバの設定画面を開いたら、［用紙設定］タブをクリックします。

2. **［給紙方法］のリストボックスから、［オートシートフィーダ］を選択して、［四辺フチなし］をチェックします。**

3. **［用紙サイズ］のリストボックスから、「A4」/「ハガキ」/「L 判」/「2L 判」のいずれかを選択します。**

4. **プリンタドライバのその他の設定を確認して、［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

フチなし全面印刷（ロール紙）

通常のロール紙印刷では、プリンタの構造上どうしても左右に余白ができてしまい、用紙いっぱいに印刷することができません。フチなし全面印刷機能を使用すると、フチ（余白）のない印刷が可能になります。

EPSON PhotoQuicker を使ってフチなし全面印刷

フチなし全面印刷をする場合は、本プリンタに添付のアプリケーションソフト EPSON PhotoQuicker を使用することをお勧めします。
EPSON PhotoQuicker を使用すれば、フチなし全面印刷が簡単にできます。
EPSON PhotoQuicker を使っての印刷方法は、以下の取扱説明書をご覧ください。
別冊「EPSON PhotoQuicker 操作ガイド」

EPSON PhotoQuicker 以外のアプリケーションソフトを使ってフチなし全面印刷

アプリケーションソフトによっては、連続のフチなし印刷ができないものがあります。

1. **アプリケーションソフトで、印刷データの用紙サイズを設定または確認します。**

   多くのアプリケーションソフトでは、［ファイル］メニューの［用紙設定］や［ページ設定］などをクリックして表示される項目で設定できます。詳細は、アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

ロール紙の幅	印刷データのサイズ
89mm	［L 判］または［名刺］を選択します。 またユーザー定義サイズで用紙幅が 89mm の用紙を新規作成することもできます。
100mm	［ハガキ］または［4 × 6 判］を選択します。 またユーザー定義サイズで用紙幅が 100mm の用紙を新規作成することもできます。
127mm	［L 判（横）］または［2L 判］を選択します。 またユーザー定義サイズで用紙幅が 127mm の用紙を新規作成することもできます。
210mm（A4）	［A4］を選択します。 またユーザー定義サイズで用紙幅が 210mm の用紙を新規作成することもできます。

- フチなし全面印刷機能では、設定した用紙サイズよりわずかに拡大して印刷することによって、フチのない印刷を実現しています。そのため、拡大されて用紙からはみ出した部分（最大で左右 2.5mm）は、印刷されません。

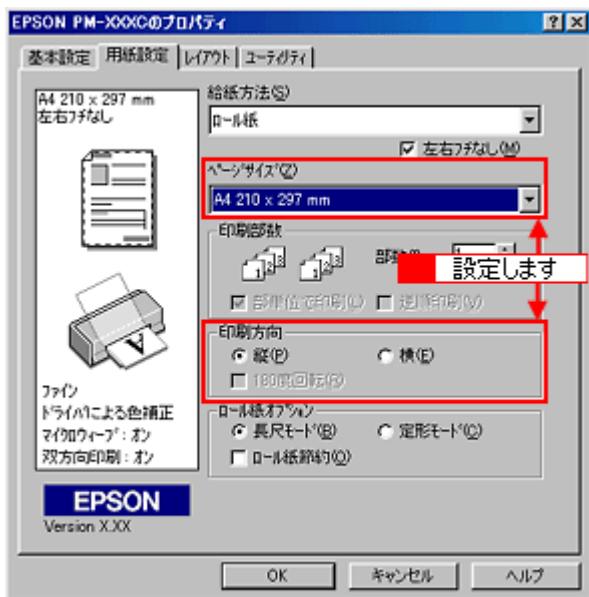
- ユーザー定義サイズでパノラマ写真のような帯状に長いサイズを設定した場合は、自動的に拡大して印刷されないため、左右に余白ができてしまうことがあります。その場合は、印刷データのサイズをロール紙の幅より +4mm 大きく設定してください。印刷データのサイズの変更方法については、アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

2. **プリンタドライバの［用紙設定］画面を開きます。**

   プリンタドライバの設定画面を開いたら、［用紙設定］タブをクリックします。

3. **［給紙方法］のリストボックスから、［ロール紙］を選択して［左右フチなし］をチェックします。**

4. **［ページサイズ］と［印刷方向］を設定します。**

   ［ページサイズ］は、手順 1 で設定した印刷データの用紙サイズを選択してください。
   ［印刷方向］は、プリンタドライバの画面左部で実際の印刷方向を確認して設定してください。

5. **［ロール紙］オプションの各項目を設定します。**

   定形サイズの画像を印刷する場合は、［定形モード］を選択してください。
   帯状に長いサイズの画像を印刷する場合は、［長尺モード］を選択してください。

6. **プリンタドライバのその他の設定を確認して、印刷を実行します。**

PRINT Image Matching 機能

PRINT Image Matching とは？

PRINT Image Matching とは、この機能を搭載したデジタルカメラと対応プリンタを組み合わせて使用することで、きれいな印刷を簡単に実現することのできるシステムです。
PRINT Image Matching 機能対応のデジタルカメラで撮影すると、プリンタはこのコマンドに従って印刷します。これにより、撮影時にデジタルカメラが意図した通りの最適な色合いで印刷できます。

どんな効果があるの？

「デジタルカメラの画像を印刷してみたら、思っていたイメージとちょっと違う」というケースがありませんか？それはデジタルカメラとプリンタのマッチングがうまく取れていないからです。そこで効果を発揮するのが PRINT Image Matching です。

効果 1

「色」や「明るさ」の情報をプリントコマンドにしてプリンタに伝えることにより、印刷時の「色」や「明るさ」が最適になります。
色の表現力の豊かさを決める「色空間」、色の明るさを決める「プリントガンマ」という画像の品質を決める項目をプリントコマンドで伝達して印刷します。

ガンマ値の違いによる明るさの比較

γ=1.4

γ=1.8

γ=2.2

効果 2

撮影時の意図が印刷結果に反映されます。
例えば、マクロ写真なら「狙った通りの色鮮やかでくっきりとした画質」で印刷、ポートレート写真なら「やわらかなトーンで美しい肌色」で印刷など、撮影時にデジタルカメラでプリントコマンドが設定されていれば、デジタルカメラの意図したイメージそのままに印刷できます。

シャープでコントラストの高いプリント

軟調で肌色部分を記憶色に補正したプリント

効果 3

デジタルカメラの個性をプリンタで表現できます。
PRINT Image Matching 機能搭載デジタルカメラと PRINT Image Matching 対応プリンタを組み合わせれば、デジタルカメラが持っている個性を印刷画像に反映できます。これにより、PRINT Image Matching 機能搭載のデジタルカメラの機種によって、あるいはそのカメラの設定によって、プリント画像の色合いに違いが現れます。

デジタルカメラ以外には利用できないの？
PRINT Image Matching は、デジタルカメラ画像だけでの利用に限りません。画像を取り扱う入力機器やアプリケーションソフトなどへの対応が計画されていますので、今後多くの PRINT Image Matching 対応製品から、より効果的な印刷ができるようになります。

どうやって使うの？

PRINT Image Matching 機能搭載のデジタルカメラで撮影し、本プリンタで EPSON PhotoQuicker を使って印刷してください。

ポイント

- ご利用のデジタルカメラに PRINT Image Matching 機能が搭載されているかどうか、またデジタルカメラの使用方法については、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- PRINT Image Matching 機能を使って印刷するには、PRINT Image Matching に対応したプリンタドライバと EPSON PhotoQuicker3.0 以降を組み合わせて印刷する必要があります。（本製品に添付のプリンタドライバは、PRINT Image Matching に対応しています。）

PRINT Image Matching 機能が有効になる用紙について

以下の用紙において、PRINT Image Matching 機能が有効になります。

- PM 写真用紙
- PM/MC 写真用紙＜半光沢＞
- PM マット紙
- フォト・プリント紙 2
- スーパーファイン専用光沢フィルム
- フォト・クオリティ・カード 2
- PM マットハガキ

ポイント

- 上記以外の用紙では、PRINT Image Matching 機能は無効になります。
- 印刷時、上記の用紙に対応した［用紙種類］を選択してください。

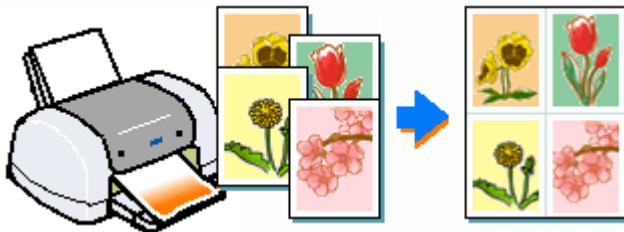
印刷手順

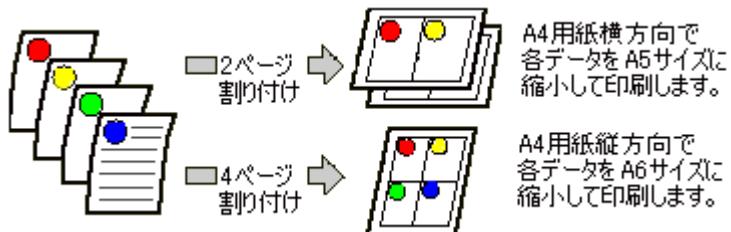
EPSON PhotoQuicker で写真データ（プリントコマンドが付加された画像ファイル）を読み込みます。後は、印刷したい画像を指定するだけで簡単に印刷できます。

ポイント

- 「写真編集」画面で PRINT Image Matching 機能の有効／無効を選択できます。
- EPSON PhotoQuicker を使用せず、PRINT Image Matching 未対応の一般のレタッチソフトから印刷する場合には、PRINT Image Matching 機能はご利用になれません。
  また、PRINT Image Matching 未対応の一般のレタッチソフトで保存したものを EPSON PhotoQuicker で読み込んで印刷する場合も、PRINT Image Matching 機能はご利用になれません。
- EPSON PhotoQuicker の使用方法については、「EPSON PhotoQuicker 操作ガイド」をご参照ください。

複数ページを 1 枚に割付印刷

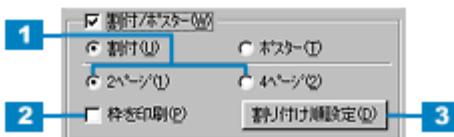
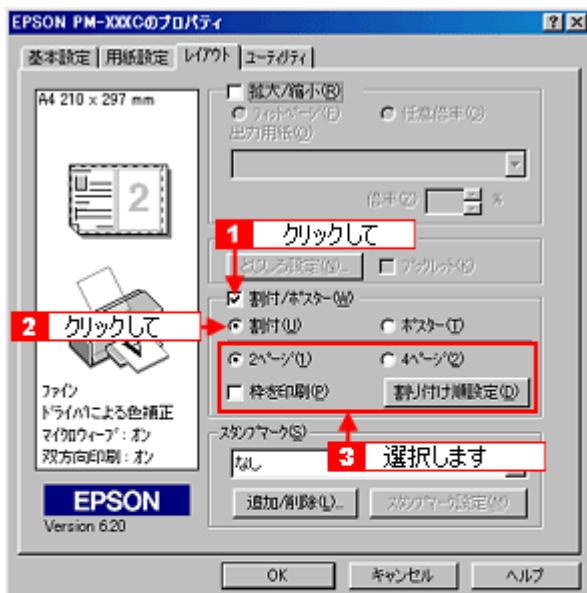
1 枚の用紙に 2 ページまたは 4 ページ分の連続したデータを割り付けて印刷することができます。

ポイント

- A4 サイズで作成した連続データを割り付け印刷すると以下のように印刷されます。

- 拡大 / 縮小機能（フィットページ機能）を同時に使用することで、印刷データと異なるサイズの用紙にも割り付けて印刷できます。

- この機能は、［用紙設定］画面の［給紙方法］で、［オートシートフィーダ（四辺フチなし「チェック無」）］を選択した場合のみ有効です。

1.　印刷の実行前にプリンタドライバの［レイアウト］画面を開きます。

プリンタドライバの設定画面を開いたら、［レイアウト］タブをクリックします。

2.　［割付 / ポスター］にチェックを付け、［割付］のラジオボタンをクリックして、各項目を設定します。

1	2 ページ /4 ページ	1 枚に割り付けるページ数を選択します。
2	枠を印刷	割り付けたページに枠線を印刷する場合に選択します。
3	割り付け順設定	クリックすると、連続したページをどのような順番で 1 枚に割り付けるかを設定することができます。

3. ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

セットした用紙サイズに拡大 / 縮小印刷

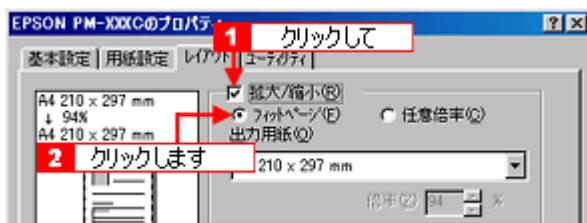
「A4 サイズで作った印刷データを、別のサイズの用紙に印刷したい」、そんなときはフィットページ機能を使用して印刷してください。拡大 / 縮小率を自動的に設定して印刷することができます。

ポイント

この機能は、[用紙設定] 画面の [給紙方法] で、[オートシートフィーダ (四辺フチなし「チェック無」)] を選択した場合のみ有効です。

1. **印刷の実行前にプリンタドライバの [レイアウト] 画面を開きます。**

   プリンタドライバの設定画面を開いたら、[レイアウト] タブをクリックします。

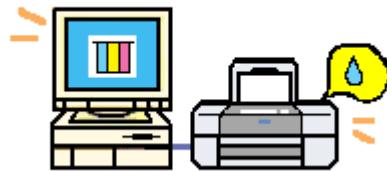
2. **[拡大 / 縮小] にチェックを付け、[フィットページ] のラジオボタンをクリックします。**

3. **[出力用紙] のリストボックスから、プリンタにセットした用紙のサイズを選択します。**

   [用紙設定] 画面で設定してある用紙サイズ (= 印刷データのサイズ) に対して、拡大 / 縮小率が自動的に設定されます。

[任意倍率] を選択すると、拡大 / 縮小率を自分で設定できます。

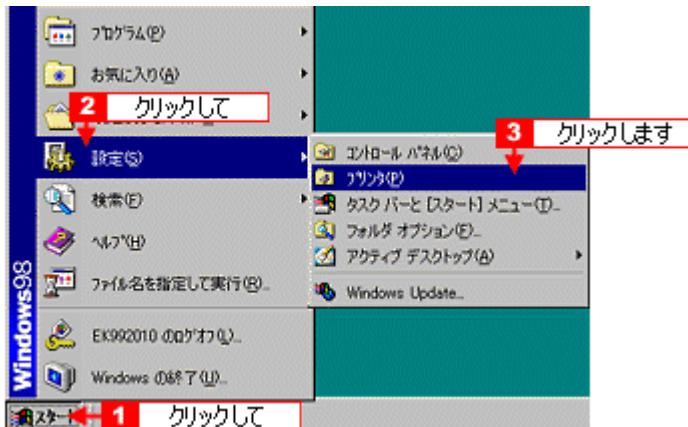
4. **[OK] ボタンをクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

プリンタの状態を画面で確認

プリンタが印刷できる状態か、インク残量はどのくらいか、プリンタがエラー状態になっていないかなどを、コンピュータの画面で確認することができます。
以下の手順で、確認画面を表示させてください。

ポイント

プリンタの状態を確認するためには、EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされている必要があります。通常、プリンタドライバと一緒にインストールされますが、インストールされていない場合は、以下のページを参照してインストールしてください。

「EPSON プリンタウィンドウ !3 のインストール方法」

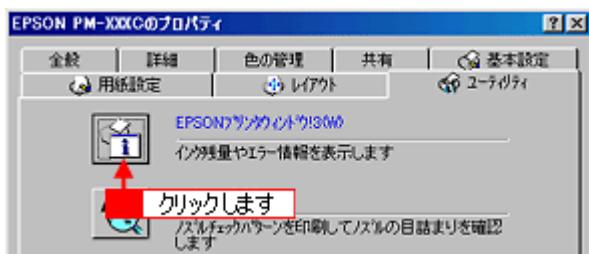
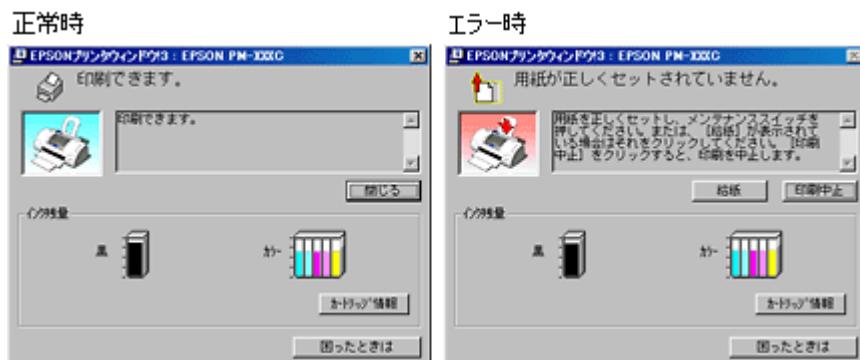
1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

2. 本プリンタのアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。Windows NT4.0 の場合は［ドキュメント規定値］、Windows 2000 の場合は［印刷設定］をクリックします。

   プリンタドライバの設定画面が表示されます。

3. ［ユーティリティ］タブをクリックします。

［ユーティリティ］画面が表示されます。

4.　［EPSON プリンタウィンドウ !3］をクリックします。

EPSON プリンタウィンドウ !3 が表示されます。

5.　プリンタの状態を確認します。

ポイント

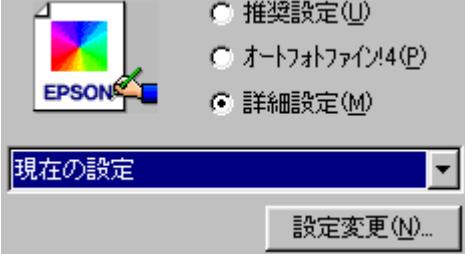
- エラー状態になっている場合は、表示されているメッセージに従ってエラーを解除してください。
- 画面の項目については、以下のページをご覧ください。
  「プリンタ詳細画面」

各画面と項目の説明

基本設定画面

［基本設定］画面では、印刷の品質にかかわる項目を設定します。

No.	項目		説明	
1	用紙種類		印刷する用紙の種類を、リストボックスの中から選択します。	
2	インク		インクの種類を［カラー］と［黒］から選択します。［黒］を選択するとモノクロ印刷になります。	
3	モード設定	推奨設定	自動的に最適な設定で印刷したい場合に選択します。用紙種類によっては［きれい / 速い］、または［高精細 / きれい］を選択できます。	
			高精細	［きれい］より印刷品質を重視して印刷する場合に選択します。
			きれい	印刷品質を重視して印刷する場合に選択します。
			速い	印刷速度を重視して印刷する場合に選択します。
		オートフォトファイン!4		

	ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像や PhotoCD データなどを、自動的に補正して印刷する場合に選択します。コントラスト、彩度、カラーバランスが適切でないデータにも最適な補正を加え、高画質化して印刷することができます。また［手動設定］画面では、さらに詳細な設定をすることができます。		
	プリセットメニュー	印刷する際の画像の色調を、［標準］［人物］［風景］［ソフトフォーカス］［セピア］の中から選択することができます。	
		標準	EPSON 標準の色調で印刷するモードです。
		人物	人物が写っている画像に対して最適な補正を加えて印刷するモードです。
		風景	風景が写っている画像に対して最適な補正を加えて印刷するモードです。
		ソフトフォーカス	画像が柔らかいタッチになるように補正を加えて印刷するモードです。
		セピア	セピア調で印刷するモードです。
	デジタルカメラ	デジタルカメラで撮影した画像を印刷する場合に選択します。デジタルカメラのデータに対して最適な補正を加えて印刷します。	
詳細設定			
	［詳細設定］を選択すると、［設定変更］ボタンとリストボックスが有効になります。リストボックスからは用途に合わせたプリセットメニューを選択することができます。［設定変更］ボタンをクリックすると、［手動設定］画面が表示されます。		
	プリセットメニュー	次のリストの中から、用途に合わせたプリセットメニューを選択することができます。 用紙種類によって、選択できるメニューが異なります。	
		超高精細	最高の印刷品質が得られる設定で印刷するモードです。
		高精細	高い印刷品質が得られる設定で印刷するモードです。
		エコノミー	試し印刷に向いた印刷モードです。印刷速度が速くなります。
		ICM	ICM 機能を使用してスキャナから取り込んだ画像と、プリンタでの印刷結果の色合いを合わせる場合に選択します。
		sRGB	スキャナやディスプレイなどの機器が sRGB に対応している場合に選択します。ご利用の機器が sRGB に対応しているかは、各機器のメーカーにお問い合わせください。
	［設定変更］ボタン	クリックすると［手動設定］画面が表示されます。 「手動設定画面」	

4	インク残量	インク残量の目安が表示されます。カラーインクは一番残量の少ない色に合わせて全色同じレベルで表示されます。以下の場合は、表示がグレーアウトされます。 • EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしていない場合。 • プリンタの電源がオフになっている場合。 • インターフェイスケーブルが抜けている、またはしっかり接続されていない場合。 • プリンタとの通信ができない場合。
5	困ったときは	クリックすると、ユーザーズガイドの［トラブル対処方法］のページが表示されます。なお、ユーザーズガイドがインストールされていない場合は、インターネットを通してエプソン販売ホームページの FAQ ページへ接続されます。
6	印刷プレビュー	チェックを付けると、印刷前に印刷イメージを確認する［プレビュー］画面を表示することができます。 「プレビュー画面」

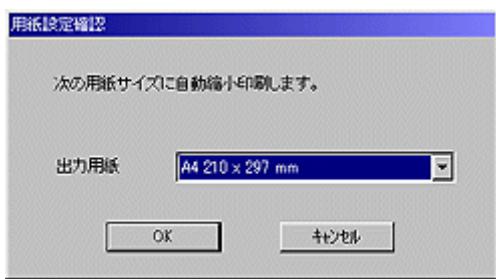
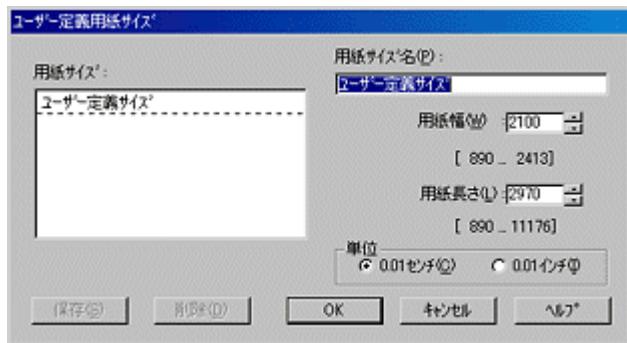
用紙設定画面

［用紙設定］画面では、印刷の方向や印刷の部数などを設定することができます。［用紙サイズ］の設定項目は、必ずアプリケーションソフトで設定している用紙サイズに合わせてください。設定が合っていないと、レイアウトが崩れたり、部分的に印刷されないなどの現象が発生します。

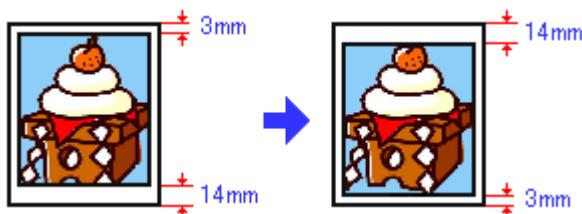
1	給紙方法	給紙方法を選択します。	
		オートシートフィーダ	オートシートフィーダにセットした用紙に印刷する場合に選択します。
		ロール紙	ロール紙に印刷する場合に選択します。
2	四辺フチなし/左右フチなし	フチなし全面印刷をする場合に選択します。	
		四辺フチなし（オートシートフィーダ設定時）	定形紙に余白 0mm で印刷する場合に選択します。 用紙の種類やサイズによっては、フチなし全面印刷ができません。詳細は以下のページでご確認ください。 「フチなし全面印刷（定形紙）」
		左右フチなし（ロール紙設定時）	ロール紙に左右余白 0mm にして印刷する場合に選択します。 「フチなし全面印刷（ロール紙）」
3	用紙サイズ/ページサイズ	印刷データの用紙サイズをリストボックスの中から選択します。給紙方法によってセットできる用紙サイズが異なります。	

ポイント

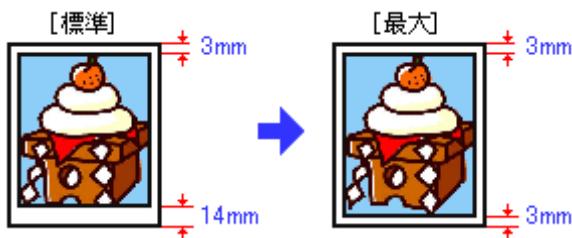
- 印刷データの用紙サイズが、プリンタにセットした用紙サイズよりも大きい場合は、必ずプリンタにセットした用紙に合うように縮小して印刷してください。縮小せずに印刷するとプリンタ内部がインクで汚れるおそれがあります。
  「セットした用紙サイズに拡大 / 縮小印刷」

- A4 を超えたサイズを選択すると以下の画面が表示されます。プリンタにセットした用紙サイズを［出力用紙］のリストボックスから選択してください。自動的に縮小印刷されます。

- ユーザー定義サイズを選択すると、定形外の用紙サイズを登録して印刷することができます。
「定形外の用紙サイズに印刷」

- ロール紙に印刷する場合、［給紙方法］に必ず［ロール紙］を選択してください。［ロール紙］以外を選択して印刷すると、ロール紙が余分に給紙されてしまいエラーになります。誤って実行してしまった場合は、プリンタの後部でロール紙を切り離し、プリンタの電源をオフにしてください。プリンタ内部のロール紙が排紙されます。

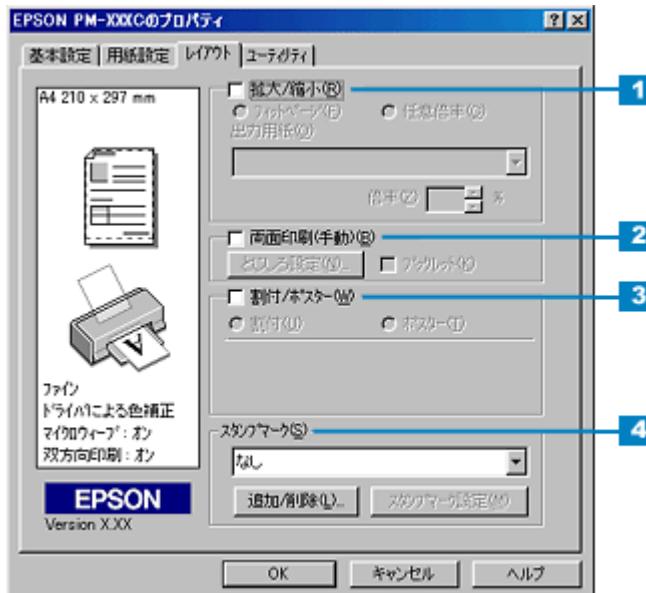
4	印刷部数	複数部印刷する場合に、印刷の部数（コピー数）を入力します。最大 9999 部まで印刷できます。	
		部単位で印刷	1 部ずつ印刷する場合に選択します。 ［給紙方法］で［ロール紙］を選択した場合は設定できません。
		逆順印刷	最終ページから印刷する場合に選択します。 ［給紙方法］で［ロール紙］を選択した場合は設定できません。
5	印刷方向	印刷方向を選択します。［横］を選択すると印刷イメージが 90 度回転されます。	
		180 度回転印刷	印刷イメージを 180 度回転させて印刷する場合に選択します。 ［給紙方法］で［ロール紙］/［四辺フチなし］を選択した場合は設定できません。

印刷推奨領域印刷時（印刷可能領域［標準］選択時）に 180 度回転印刷を行うと、印刷データ上部の余白が 14mm になります。

6	印刷可能領域	印刷する領域（位置）を選択します。 ［給紙方法］で［ロール紙］を選択した場合は設定できません。	
		標準	印刷推奨領域に印刷する場合に選択します。
		最大	印刷可能領域に印刷する場合に選択します。
		センタリング	用紙上下の余白が均等になるように印刷する場合に選択します。

ポイント

本プリンタの印刷推奨領域は、用紙の上左右 3mm 下 14mm を除いた部分です。
しかし、［最大］を選択することで下 14mm の余白を 3mm にして印刷することができます。ただし、広がった印刷領域（下 3 〜 14mm）では、印刷品質が低下するおそれがあります。また、PM 写真用紙（A4）・PM/MC 写真用紙では、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れるおそれがあります。

7	ロール紙オプション	［給紙方法］から［ロール紙］を選択すると有効になります。ロール紙に印刷する場合にのみ必要な設定です。	
		長尺モード	印刷するデータが帯状に長い場合に選択します。選択すると、［ロール紙節約］の項目が有効になります。
		定形モード	印刷するデータがページ単位に分かれている場合に選択します。選択すると、［ページ枠印刷］の項目が有効になります。
		ロール紙節約	データの最後に余白部分がある場合に選択すると、その余白は印刷されません。
		ページ枠印刷	印刷データが複数ページに渡るときや、複数部印刷するときなどに、ページを区切るための線を印刷する場合に選択します。ページごとの色調が同一で、ページの区切りが不明な場合にページ枠を印刷しておくと、切り取る際に便利です。

レイアウト画面

［レイアウト］画面では、印刷データを拡大 / 縮小したり、スタンプマークを印刷したりすることができます。

ポイント

［レイアウト］画面での設定は、［用紙設定］画面の［給紙方法］で、［オートシートフィーダ（四辺フチなし「チェック無」）］を選択した場合のみ有効です。

1	拡大 / 縮小	チェックすると、拡大 / 縮小印刷ができます。	
		フィットページ	プリンタにセットした用紙サイズに合わせて、自動的に拡大 / 縮小して印刷する場合に選択します。チェックを付けてから、出力用紙のリストボックスで、プリンタにセットした用紙サイズを選択してください。
		任意倍率	任意の倍率を指定して印刷する場合に選択します。10% 〜 400% の間で倍率を指定できます。チェックを付けてから、任意の倍率を指定してください。
2	両面印刷（手動）	チェックすると、両面印刷ができます。 表面に奇数ページが印刷され、用紙をセットしなおして裏面に偶数ページが印刷されます。 「両面印刷」	
		［とじしろ設定］ボタン	クリックすると、とじしろの位置と幅を設定することができます。
		ブックレット	チェックすると、用紙の両面にページを面付けして、冊子になるように印刷します。

ポイント

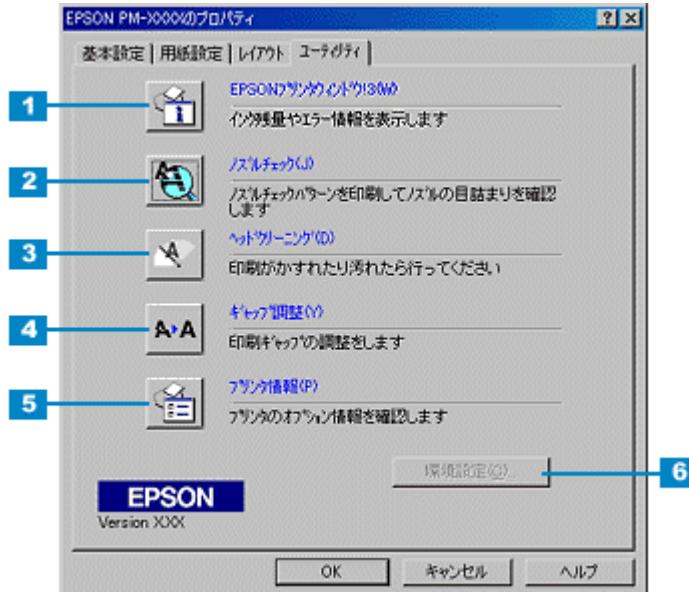
EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしていない場合、両面印刷機能は使用できません。
「EPSON プリンタウィンドウ !3 のインストール方法」

割り付け印刷時

ポスター印刷時

No.	項目		説明
3	割り付け	チェックすると、2 ページまたは 4 ページ分の連続した印刷データを縮小して、1 枚にまとめて印刷することができます。	
		2 ページ /4 ページ	1 枚に割り付けるページ数を選択します。
		枠を印刷	割り付けたページに枠線を印刷する場合に選択します。
		[割り付け順設定] ボタン	クリックすると、連続したページをどのような順番で 1 枚に割り付けるかを設定することができます。
	ポスター	チェックすると、大きなポスターを作ることができます。 1 ページ分のデータが分割されて自動的に拡大印刷されます。4 分割したデータを A4 用紙 4 枚に印刷してつなぎ合わせると、およそ A2 サイズの印刷結果を作ることができます。	
		4/9/16 ページ	1 ページのデータを何枚の用紙に分割するか選択します。
		[設定] ボタン	クリックすると、貼り合わせるためのガイド線や、余白を切り離すための切り取り線の印刷設定ができます。また、分割したページ内の一部分だけを印刷したい場合に、その一部分を選択することもできます。
4	スタンプマーク	チェックすると、あらかじめ用意されているパターンや単語を、印刷データに重ねて印刷することができます。	
		メニュー	リストボックスから、印刷するスタンプマークを選択します。
		[追加 / 削除] ボタン	クリックすると、オリジナルのマークや任意の単語をスタンプマークとして登録することができます。 「オリジナルスタンプマークを重ねて印刷」
		[スタンプマーク設定] ボタン	クリックすると、リストボックスで選択したスタンプマークの濃さや色、また位置などを設定することができます。

ユーティリティ画面

［ユーティリティ］画面では、プリンタをメンテナンスするための各種機能を実行することができます。各機能を使用する前にプリンタの電源をオンにしてください。

1	EPSON プリンタウィンドウ !3	プリンタの状態を監視する「EPSON プリンタウィンドウ !3」を起動する場合にクリックします。EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしていない場合は、グレーアウト表示になります。 「プリンタ詳細画面」
2	ノズルチェック	プリントヘッドのノズルの目詰まりを確認する場合にクリックします。 「ノズルチェック」
3	ヘッドクリーニング	プリントヘッドのノズルをクリーニングする場合にクリックします。 「ヘッドクリーニング」
4	ギャップ調整	双方向印刷時に縦の罫線がずれたり、ピントがぼけたような印刷結果になる場合にクリックします。 「ギャップ調整」
5	プリンタ情報	色の再現性を向上させるためのプリンタ ID 情報を取得する場合にクリックします。 「色の再現性を向上するプリンタ情報の取得」
6	環境設定	印刷の高速化やプログレスメータ表示、EPSON プリンタポートに関する設定をする場合にクリックします。［環境設定］ボタンを有効にするには、以下の手順でプリンタドライバの画面を開いてください。 1. ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。 2. 本プリンタのアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。 3. ［ユーティリティ］タブをクリックします。 「環境設定画面」

手動設定画面

［手動設定］画面では印刷の品質にかかわる詳細な設定をすることができます。

ポイント

「用紙種類」「印刷品質」などの設定の組み合わせで、選択できる項目が変わります。

1	用紙種類	印刷する用紙の種類を、リストボックスから選択します。	
2	インク	インクの種類を［カラー］と［黒］から選択します。［黒］を選択するとモノクロ印刷になります。	
3	印刷品質	印刷の品質を、リストボックスから選択します。	
		ドラフト	試し印刷に向いているモードです。インク消費量をセーブしながら高速に印刷します。
		ファイン	日常使用に最適なモードです。
		スーパーファイン	高品質な印刷結果が得られるモードです。ただし、印刷時間が多少かかります。
		フォト	スーパーファインより美しい写真品質が得られるモードです。ただし、印刷時間が多少かかります。
		スーパーフォト	フォトよりもさらに美しい写真品質が得られるモードです。ただし、印刷時間が多少かかります。
4	マイクロウィーブ	チェックすると、行ごとのムラを少なくして印刷することができます。	
		スーパー	行ごとのムラをさらに少なくしたい場合に選択します。ただし、印刷時間が長くなります。 ［印刷品質］で［フォト］を選択した場合のみ設定できます。
5	双方向印刷	チェックすると、プリントヘッドが左から右に戻るときにも印刷します。 印刷速度を重視したい場合は、チェックしてください。 印刷品質を重視したい場合は、チェックしないでください。	
6	左右反転	チェックすると、左右を反転させて印刷することができます。 アイロンプリントペーパーに印刷する場合は、チェックしてください。	
7	スムージング （文字 / 輪郭）	チェックすると、テキストや線画の輪郭を滑らかにして印刷することができます。ただし、印刷時間が多少長くなります。	
8	Web スムージング	チェックすると、Web 上の低解像度のロゴ・イラスト・画像の輪郭を、滑らかにして印刷することができます。	

9	ドライバによる色補正		
	色補正方法	次の「色補正方法」に従い、印刷するデータの色バランスを整えることができます。	
		自動	文書内のオブジェクトに対して最適な色処理をして印刷するモードです。通常はこのモードで使用してください。
		自然な色あい	より自然な発色状態になるように色処理をして印刷するモードです。
		あざやかな色あい	彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くして印刷するモードです。
	各スライドバーについて	明度	画像全体の明るさをバーで調整できます。標準を 0 として、− 25 〜＋ 25% の間で、マイナス（−）方向には暗くプラス（+）方向には明るくなります。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。
		コントラスト	画像の明暗比をバーで調整できます。標準を 0 として、− 25 〜＋ 25% の間で調整できます。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。
		彩度	画像の彩度（色のあざやかさ）をバーで調整できます。標準を 0 として、− 25 〜＋ 25% の間で調整できます。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。［インク］で［黒］を選択した場合は調整できません。
		シアン / マゼンタ / イエロー	それぞれの強さだけをバーで調整できます。標準を 0 として、− 25 〜＋ 25% の間で調整できます。［インク］で［黒］を選択した場合は調整できません。
10	ガンマ値	ガンマ値は、画像階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位で、この値を変更することで中間調の明るさの見え方が変わります。	
		1.5	ガンマ値 1.8 に比べて柔らかい感じの画像が印刷されます。
		1.8	ガンマ値 1.5 に比べ立体感とメリハリのある画像が印刷されます。通常はこの設定を選択してください。
		2.2	スキャナやディスプレイが sRGB に対応している場合に選択します。sRGB を選択しても同様の結果が得られます。

	<−>	0	<+>
シアン	赤みを強くします		青紫（シアン）を強くします
マゼンタ	緑色を強くします		赤紫（マゼンタ）を強くします
イエロー	青色を強くします		黄色（イエロー）を強くします

11	オートフォトファイン !4 （カラー印刷の場合のみ）		
		ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像や PhotoCD のデータなどを印刷する場合に選択すると、自動的に補正されて印刷されます。コントラスト、彩度、カラーバランスが適切でないデータにも最適な補正が加えられ、高画質で印刷されます。	
		色調	印刷する際の画像の色調の補正方法を［標準］［硬調］［鮮やか］［セピア］［モノクロ］［色調補正なし］の項目から選択することができます。それぞれの効果は、各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。
		効果	印刷する際に画像に特殊効果を加えて印刷することができます。［シャープネス］［ソフトフォーカス］［キャンバス］［和紙］［なし］の中から選択してください。それぞれの効果は、各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。スライドバーでは、加える効果の強弱を調整することができます。
		デジタルカメラ用補正	デジタルカメラで撮影した画像を印刷する場合に選択すると、最適な補正が加えられ印刷されます。

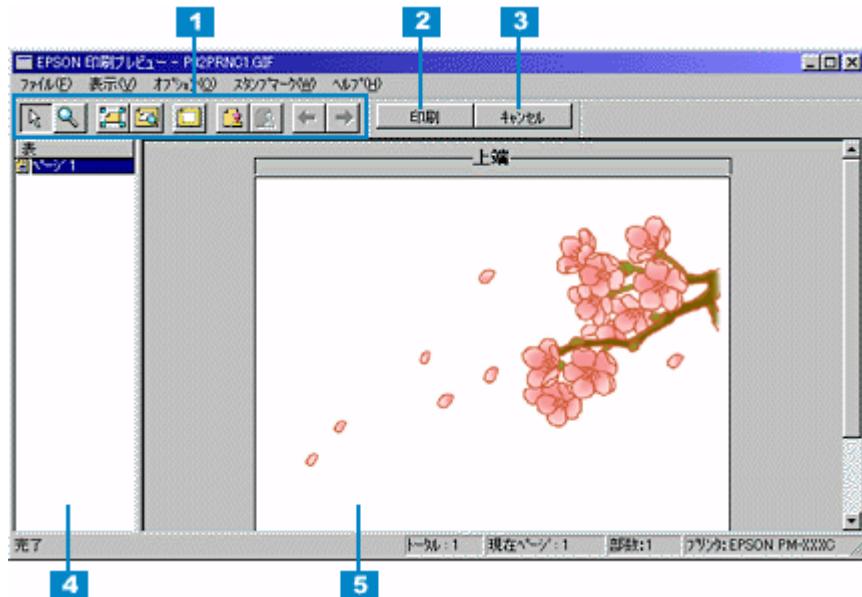
ポイント

- 画像のサイズやコンピュータの性能によっては印刷時間が多少長くなります。
- オートフォトファイン !4 は 1677 万色（24bit）の色情報を持った画像データに対して、もっとも有効に機能します。256 色などの少ない色情報の画像データには、有効に機能しません。アプリケーションソフトなどで色数を増やしてください。
- エプソン製デジタルカメラの画像転送ソフトでオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン !4 は使用しないでください。

12	色補正なし	ドライバでの色補正を行わない場合に選択します。ICM 用プロファイルを作成する際の基準色を印刷する場合や、アプリケーションソフト上で色合わせの設定をして印刷する場合に選択します。通常は選択しないでください。	
13	sRGB	スキャナやディスプレイなどが sRGB に対応している場合に選択します。	
14	ICM （Image Color Matching） （Windows NT4.0 を除く）	Windows の ICM（Image Color Matching）を使用してスキャナから取り込んだ画像と、プリンタの出力結果の色合いを合わせるときに選択します。 「画面表示と色合いを合わせて印刷」	
15	各種ボタン	［保存 / 削除］ボタン	クリックすると、［手動設定］画面で設定した値を保存しておくことができます。保存した設定値は、［基本設定］画面のリストボックスから呼び出すことができます。
		［OK］ボタン	クリックすると、変更した値を有効にして［基本設定］画面に戻ります。
		［キャンセル］ボタン	クリックすると、変更した値を無効にして［基本設定］画面に戻ります。
		［ヘルプ］ボタン	クリックすると、［手動設定］画面の項目を説明したファイルが表示されます。

プレビュー画面

印刷の実行前に印刷イメージを確認することができます。［基本設定］画面の［印刷プレビュー］にチェックを付けてから印刷を実行します。

印刷データが複数ページに渡る場合など、データ容量が大きい場合は、イメージを表示するまでに時間がかかります。

1		スタンプマークを移動したり回転したりするボタンです。
		表示している画像を拡大 / 縮小するボタンです。 拡大する場合は、ボタンをクリックしてから拡大したいところへカーソルを移動させ、マウスをクリックします。縮小したい場合は、マウスの右ボタンをクリックします。
		画面のサイズいっぱいに拡大表示するボタンです。
		最大の倍率で拡大表示するボタンです。
		印刷データの余白境界線をグレーのラインで示すようにするボタンです。実際に印刷はされません。クリックすると表示は消えます。
		スタンプマークを印刷データに印刷するためのメニューを開くボタンです。
		スタンプマークの設定を解除するボタンです。
		表示するページを切り替えるボタンです。

2	[印刷]	印刷を実行するボタンです。
3	[キャンセル]	印刷を中止してプリンタドライバの設定画面を閉じるボタンです。
4	ﾍﾟｰｼﾞ 1 ﾍﾟｰｼﾞ 2 ﾍﾟｰｼﾞ 3	印刷するページ、しないページを切り替えることができます。対象のページをクリックして選択してから、［オプション］メニューをクリックして、印刷する / しないを切り替えてください。
5	印刷イメージ	印刷イメージが表示されます。印刷するページが複数ある場合には 4 の項目で選択したページの印刷イメージが表示されます。

ポイント

- ポスター印刷時には、全体のページと分割したページの両方を確認することができます。
- ［表示］メニューの［虫眼鏡］を選択すると、一部分だけを拡大して表示することができます。

環境設定画面

［環境設定］画面では、プログレスメータの表示や EPSON プリンタウィンドウ !3 の表示（モニタ）を設定することができます。

［環境設定］画面の開き方

コントロールパネルの［プリンタ］フォルダからプリンタドライバの設定画面を開く必要があります。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。
2. 本プリンタのアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。
   Windows NT4.0 の場合は［ドキュメントの既定値］、Windows 2000 の場合は［印刷設定］をクリックします。
3. ［ユーティリティ］タブをクリックします。

1	部数印刷高速化	チェックすると、1 部目の印刷処理データをハードディスクに保存し、2 部目以降は、そのデータを使用することで印刷速度を高速化することができます。チェックしないと、ハードディスクの使用量が減ります。通常はチェックして使用してください。
2	プログレスメータ表示	チェックすると、印刷実行時に印刷の進行状況が表示されます。
3	EPSON プリンタポート使用 （DOS/V 機、Windows 95/98/Me のみ）	チェックすると、EPSON プリンタポートドライバを使用して、印刷を高速化することができます。通常はチェックした状態で使用してください。USB ケーブル接続時（EPUSB ポート接続時）はご利用いただけません。
4	［モニタの設定］	クリックすると、EPSON プリンタウィンドウ !3 のモニタ設定画面が表示されます。 「モニタの設定画面」
5	DMA 転送 （DOS/V 機、Windows 95/98/Me のみ）	DMA 転送の状態が表示されます。USB ケーブル接続時（EPUSB ポート接続時）はご利用いただけません。

6	フォルダ選択	スプールファイルや部数印刷高速化機能を使用する際に、一時的にデータを保存するフォルダを選択できます。通常は、設定の必要はありません。 Windows 95/98/Me をご利用で、ハードディスクのドライブが 1 台の場合は表示されません。
7	常に RAW データをスプールする （Windows NT4.0/Windows 2000のみ）	チェックすると、ご利用のアプリケーションソフトによっては高速に印刷できる場合があります。

印刷状況確認画面

プログレスメータ

プログレスメータは、印刷を実行すると画面右下に表示されます。プログレスメータではコンピュータの印刷処理状況やインク残量・データ情報などが確認できるほか、印刷を中止することができます。

ポイント

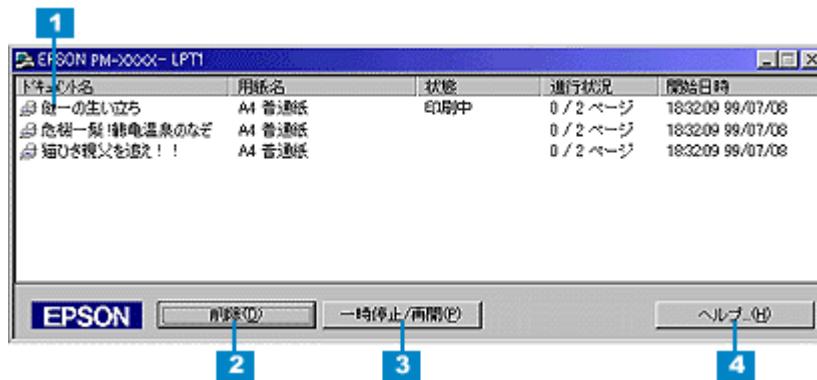
EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされていない場合は、プログレスメータは表示されません。
「EPSON プリンタウィンドウ !3 のインストール方法」

1	印刷データ情報	印刷しているファイルの名称と出力ページ数、および印刷中のページが表示されます。
2	状態表示	アイコンによって現在のプリンタの状態が表示されます。
3	インク残量	インク残量の目安が表示されます。
4	進行状況	コンピュータ上の印刷処理にかかる時間を予測し、進行状況が表示されます。
5	［印刷中止］	印刷を中止するボタンです。
6	［一時停止］	印刷を一時停止するボタンです。
7	プリンタドライバ設定情報	プリンタドライバで設定した値が表示されます。
8	［ワンポイントアドバイス］	［ワンポイントアドバイス情報］の表示 / 非表示を切り替えるボタンです。
9	ワンポイントアドバイス情報	プリンタを使用する上でのポイントとなるアドバイスが表示されます。
10	［詳しくは］	ワンポイントアドバイス情報に表示された内容の具体的な方法を表示するボタンです。

ポイント

印刷データによっては、画面右上に印刷終了までの時間が表示されます。

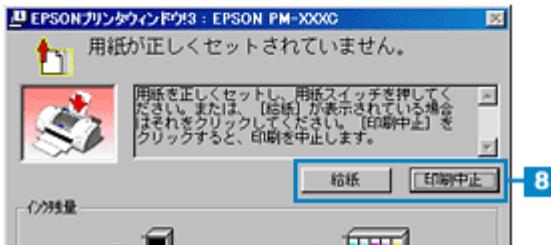
スプールマネージャ（Windows 95/98/Me）

スプールマネージャは、印刷を実行するとタスクバー上に表示されます。クリックするとスプールマネージャが開きます。印刷データは、スプールマネージャに蓄えられ、そこからプリンタに出力されます。こうすることによって、印刷実行中も別の作業をすることができます。スプールマネージャでは、印刷データの情報や印刷待ちのデータなどが確認できるほか、印刷の中止・削除を実行することができます。

1	印刷ジョブ一覧	印刷中のデータの名称・用紙サイズ・状態・進行状況・印刷実行日時が表示されます。
2	[削除]	印刷を中止して印刷データを削除するボタンです。削除する印刷データをクリックしてからこのボタンをクリックします。印刷データが選択されていない場合は、一番上の印刷データが削除されます。
3	[一時停止 / 再開]	印刷を一時停止 / 再開するボタンです。停止する印刷データをクリックしてからこのボタンをクリックします。
4	[ヘルプ]	ヘルプ情報を表示するボタンです。このボタンをクリックすると、スプールマネージャの詳細を参照できます。

プリンタ詳細画面

［プリンタ詳細］画面では、プリンタの状態やインクの残量などを確認できます。

画面の開き方

「プリンタの状態を画面で確認」

1	メッセージ	プリンタの状態やエラーが発生した場合の状況、対処方法が表示されます。
2	プリンタ	プリンタの状態がグラフィックで表示されます。
3	［閉じる］ボタン	ウィンドウを閉じるボタンです。
4	インク残量	インクカートリッジ（カラー・黒）内のインク残量の目安が表示されます。カラーインクの残量は、一番少ないインク残量に合わせて全色同じレベルで表示されます。
5	印刷可能枚数の表示	インク残量が 50%以下になった場合に、プリンタからインク残量の情報を取得して、最後に印刷したページの印刷可能枚数の目安が表示されます。
6	［カートリッジ情報］ボタン	セットされているインクカートリッジの名称や型番、製造年月日などを表示するボタンです。
7	［困ったときは］	［困ったときは］ボタンをクリックすると、ユーザーズガイドの「トラブル対処方法」のページが表示されます。なお、ユーザーズガイドがインストールされていない場合は、インターネットを通してエプソン販売ホームページの FAQ ページに接続されます。
8	［対処方法］ボタン	プリンタにエラーなどが発生した場合に対処方法を表示するボタンです。上記画面は給紙エラーの場合です。

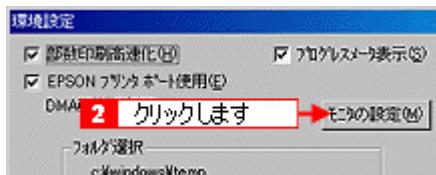
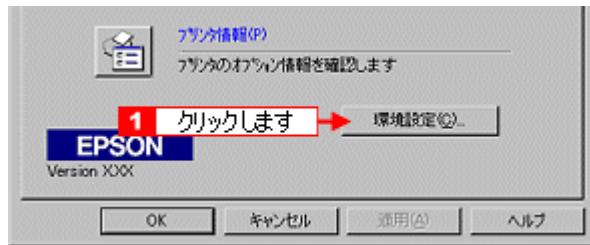
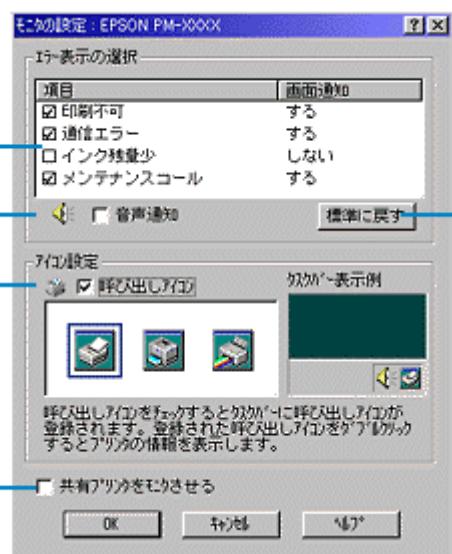
ポイント

- 5,6 の機能は、ローカル接続時のみご利用いただけます。
- ロール紙に複数部印刷する場合や複数ページに渡るデータを印刷する場合の［印刷可能枚数表示］は、最初のページから最終ページまでのデータを元に計算して表示します。

モニタの設定画面

［モニタの設定］画面では、呼び出しアイコンの登録やプリンタがどのような状態のときにお知らせするかを設定することができます。

ポイント

- **プリンタドライバからの開き方**
  プリンタドライバの［ユーティリティ］画面にある［環境設定］ボタンをクリックし、［環境設定］画面内の［モニタの設定］ボタンをクリックして開きます。

- **呼び出しアイコンからの開き方**
  呼び出しアイコンが登録されている場合は、呼び出しアイコンを右クリックして表示されたメニューから［モニタの設定］をクリックします。

1	エラー表示の選択	プリンタがどのような状態のときに画面上でお知らせするかを選択することができます。画面上で知らせて欲しい項目をチェックしてください。
2	音声通知	チェックすると、音声でも通知されるようになります。

ポイント

お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合は、音声通知機能は使用できません。

3	［標準に戻す］	［エラー表示の選択］で選択した項目を初期状態に戻すボタンです。
4	アイコン設定	［呼び出しアイコン］をチェックすると、タスクバー上に［呼び出しアイコン］が登録されます。［呼び出しアイコン］をダブルクリックすると［プリンタ詳細］画面が開きます。右クリックして［モニタの設定］をクリックすると［モニタの設定］画面が表示されます。
5	共有プリンタをモニタさせる	チェックすると、プリンタを共有している場合に、他の使用者がプリンタの状態を確認できるようになります。

EPSON プリンタウィンドウ !3 の動作環境

EPSON プリンタウィンドウ !3 の動作環境は、以下の通りです。

- IBM PC-AT 互換機（双方向通信機能※ 1 のある機種）※ 2
- NEC PC-9821 シリーズ（双方向通信機能※ 1 のある機種）※ 3

※ 1　お使いのコンピュータのパラレルインターフェイスが、双方向通信機能に対応しているかは、各コンピュータメーカーにお問い合わせください。

※ 2　パラレル接続をご利用の場合、インターフェイスケーブルは「PRCB4N」を使用してください。

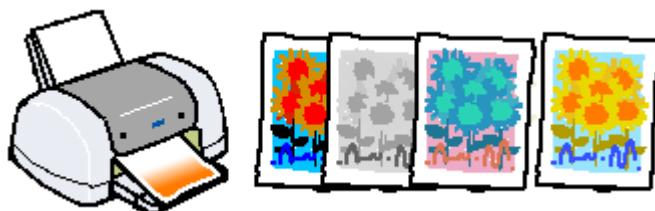
※ 3　パラレル接続をご利用の場合、インターフェイスケーブルは「PRCB5N」を使用してください。

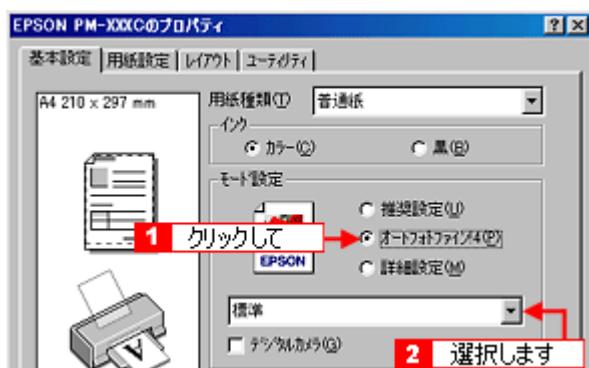
ポイント

- お使いのコンピュータの機種によりプリンタを接続するために使用するケーブルが異なりますのでご注意ください。
- NEC PC-9821 シリーズをお使いの場合、Windows NT4.0/2000 でのローカルプリンタの監視はできません。
- 推奨以外のインターフェイスケーブルを使用したり、プリンタ切換機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などをコンピュータとプリンタの間に装着すると、双方向通信やデータ転送が正常にできない場合があります。

プリンタドライバ関連情報

写真をきれいに印刷（オートフォトファイン !4）

写真をきれいに印刷したい場合は、オートファイン !4 機能を使って印刷してみましょう。
オートフォトファイン !4 は、元のデータに手を加えることなく、自動的に高画質化して印刷できる機能です。

1. **印刷の実行前にプリンタドライバの［基本設定］画面を開きます。**
2. **モード設定から［オートフォトファイン !4］を選択して、リストボックスから印刷データにかける効果を選択します。**

   ［デジタルカメラ］のチェックボックスは、デジタルカメラで撮影した画像を印刷する際に選択してください。
   ただし、エプソン製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン !4 は使用しないでください。

標準	EPSON 標準の色調にして印刷するモードです。

人物	人物が写っている画像に対して最適な補正を加えて印刷するモードです。
風景	風景が写っている画像に対して最適な補正を加えて印刷するモードです。
ソフトフォーカス	画像が柔らかいタッチになるような補正を加えて印刷するモードです。
セピア	セピア調にして印刷するモードです。

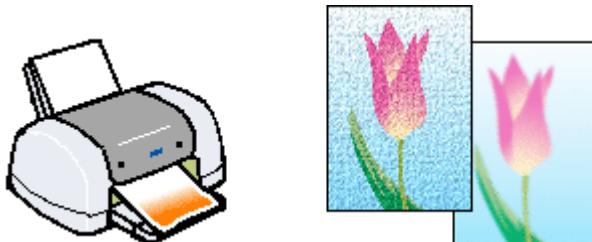
デジタルカメラ	デジタルカメラで撮影した画像を印刷する場合に選択します。 デジタルカメラのデータに対して最適な補正力が加えられて、印刷されます。

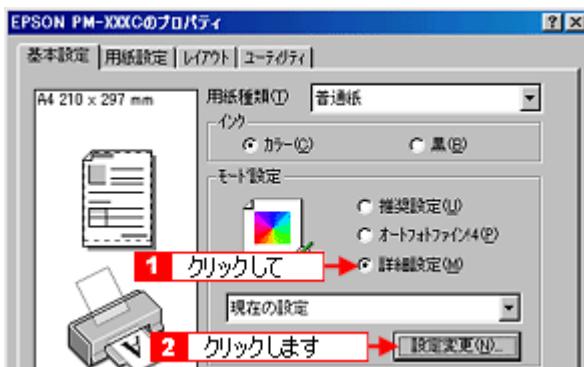
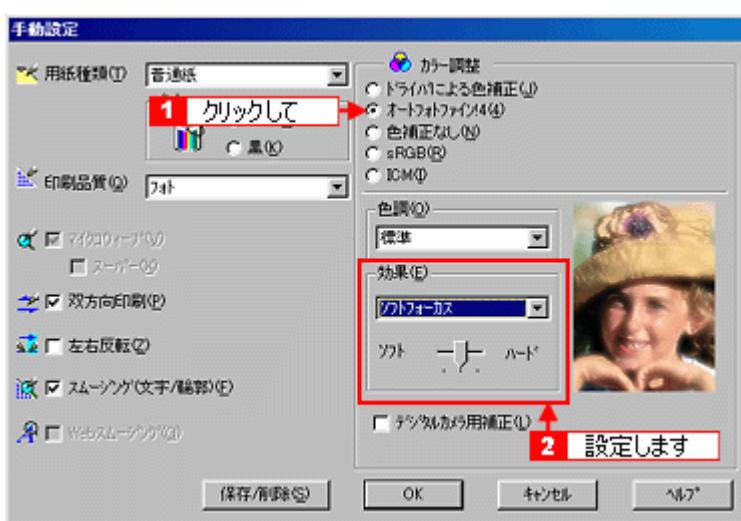
ポイント

［手動設定］画面ではオートフォトファイン !4 の効果を詳細に設定することができます。
「手動設定画面」

3. ［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。

写真に特殊効果を加えて印刷（オートフォトファイン !4）

写真に特殊効果を加えて印刷したい場合は、オートフォトファイン !4 機能を使って印刷してみましょう。
オートフォトファイン !4 では、元のデータに手を加えることなく、「ソフトフォーカス」や「和紙」などの特殊効果を加えて印刷することができます。

1. 印刷の実行前にプリンタドライバの［基本設定］画面を開きます。

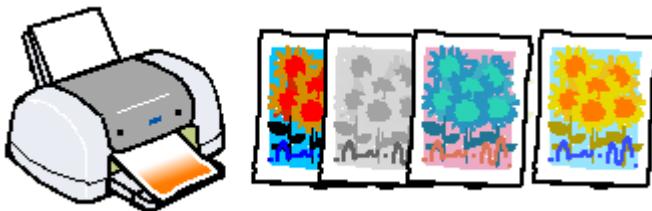
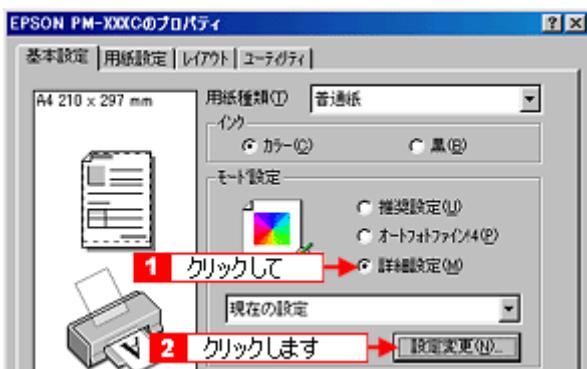
2. モード設定から［詳細設定］を選択して、［設定変更］ボタンをクリックします。

3. ［オートフォトファイン !4］のラジオボタンをクリックして選択し、効果のリストボックスから、印刷データにかける効果を選択します。

シャープネス	画像の輪郭を強調して印刷するモードです。
ソフトフォーカス	ソフトフォーカスレンズを使って撮影した写真のように印刷するモードです。
キャンバス	キャンバス地に描いたイメージになるように印刷するモードです。
和紙	和紙に描いたイメージになるように印刷するモードです。

ポイント

効果の強さを調節するには、リストボックス下のスライドバーを使用してください。

4. ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

色を微調整して印刷

印刷物の色合いや明度などを微調整して印刷することができます。

1. **印刷の実行前にプリンタドライバの［基本設定］画面を開きます。**
2. **モード設定から［詳細設定］を選択して、［設定変更］ボタンをクリックします。**

3. **［ドライバによる色補正］のラジオボタンをクリックして選択します。**

   以下に説明する 1 から 5 の各項目を設定して［OK］ボタンをクリックします。

1	色補正方法	次の「色補正方法」の設定に従い、印刷するデータの色バランスを整えます。		
		自動	文書内のオブジェクトに対して最適な色処理をします。通常は、この設定でご使用ください。	
		自然な色あい	より自然な発色状態になるように色処理します。	
		あざやかな色あい	彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くする処理をします。	
2	明度	画像全体の明るさをバーで調整できます。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で、マイナス（－）方向には暗く、プラス（＋）方向には明るくなります。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。		
		設定－	設定 0	設定＋
3	コントラスト	画像の明暗比をバーで調整できます。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で調整できます。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。		
		設定－	設定 0	設定＋
4	彩度	画像の彩度（色のあざやかさ）をバーで調整できます。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で調整できます。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。「インク」で［黒］を選択した場合は、調整できません。		
		設定－	設定 0	設定＋

5		それぞれの強さだけをバーで調整できます。標準を 0 として－ 25 〜＋ 25% の間で調整できます。［インク］で［黒］を選択した場合は、調整できません。		
	シアン			
		設定－	設定 0	設定＋
	マゼンタ			
		設定－	設定 0	設定＋
	イエロー			
		設定－	設定 0	設定＋

4. ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

ポイント

［手動設定］画面の［保存 / 削除］ボタンをクリックすることにより、ここでの設定は、保存しておくことができます。保存した設定値は、［基本設定］画面のリストボックスから呼び出すことができます。

定形外の用紙サイズに印刷

例えば CD-ROM のブックレットサイズの用紙に印刷しようと思ったことはありませんか？プリンタドライバにあらかじめ用意されていないサイズの用紙に印刷する場合は、まず以下の手順で用紙サイズを登録する必要があります。

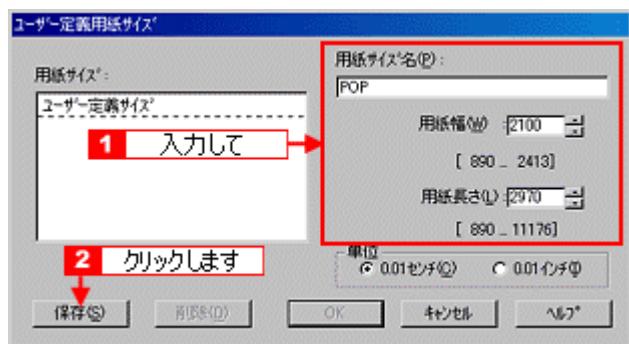
1. **プリンタドライバの［用紙設定］画面を開きます。**

   プリンタドライバの設定画面を開いたら、［用紙設定］タブをクリックします。

2. **［用紙サイズ］のリストボックスの中から［ユーザー定義サイズ］を選択します。**

   ［ユーザー定義用紙サイズ］画面が表示されます。

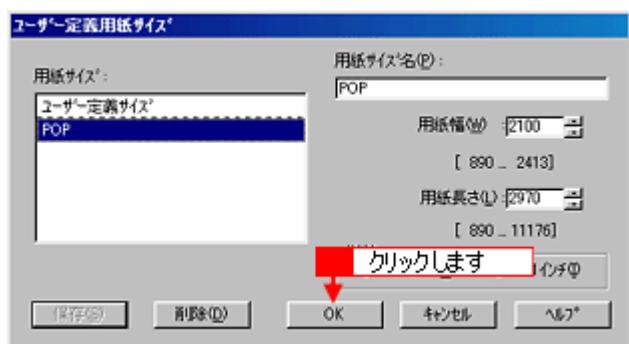
3. **［用紙サイズ名］と印刷したい［用紙幅］・［用紙長さ］を入力してから、［保存］ボタンをクリックします。**

   単位表示をセンチまたはインチに切り換えることができます。数値の基準が 0.01 になっていますので、以下の表を参照して間違えないように入力してください。

入力例（0.01 センチ）	cm で表すと
1000 2000	10cm 20cm

ポイント

［用紙サイズ名］の入力可能文字数は、全角 12 文字・半角 24 文字です。

4. ［OK］ボタンをクリックします。

これで用紙サイズのリストボックスに、設定した用紙サイズが登録されました。

この後は通常印刷する手順と同様に、印刷を実行してください。

両面印刷

用紙の両面に印刷したい場合は、以下の手順に従ってください。

ポイント

- EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされていない場合は、両面印刷機能は使用できません。
- 共有プリンタとしてネットワークを介して本プリンタを接続している場合、両面印刷機能は使用できません。
- 両面印刷に使用する用紙は、表裏の印刷品質に差の出ない両面上質普通紙のご使用をお勧めします。
- 用紙の種類や印刷するデータの内容によっては、用紙の裏面にインクがにじむ場合があります。
- この機能は、［用紙設定］画面の［給紙方法］で、［オートシートフィーダ（四辺フチなし「チェック無」）］を選択した場合のみ有効です。

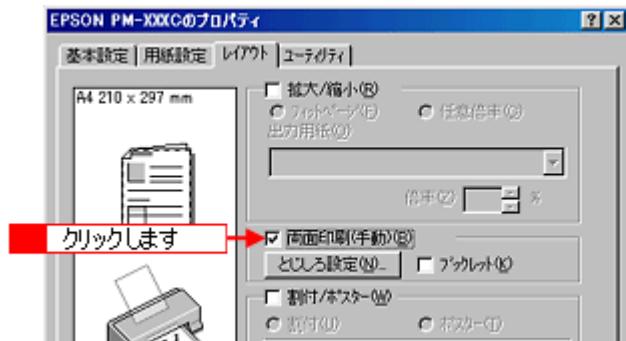
注 意

両面印刷に対応していない用紙は、使用しないでください。

1. 印刷の実行前にプリンタドライバの［レイアウト］画面を開きます。

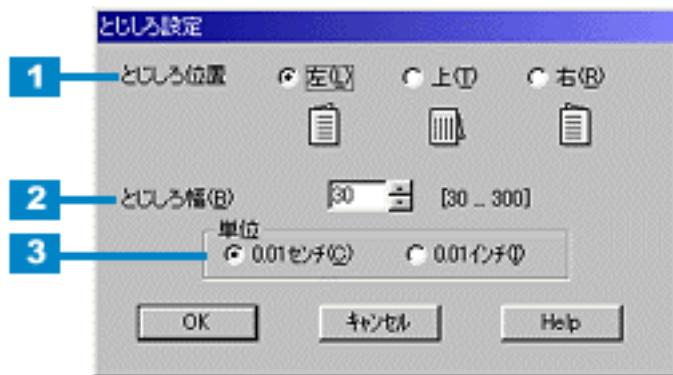
   プリンタドライバの設定画面を開いたら、［レイアウト］タブをクリックします。

2. ［両面印刷（手動）］をチェックします。

   ［とじしろ設定］ボタンと［ブックレット］のチェックボックスが有効になります。

ポイント

［ブックレット］にチェックすると、印刷した用紙が冊子に仕上がるように印刷できます。

3. 必要に応じて［とじしろ設定］ボタンをクリックしてとじしろの位置と幅を設定します。

   初期設定の状態では、とじしろ位置は用紙の左側、とじしろ幅は 3mm に設定されています。

1	とじしろ位置	複数ページを印刷して用紙をとじる場合、用紙のどの方向をとじるか選択します。選択した位置に、[とじしろ幅] で設定した幅の余白ができます。
2	とじしろ幅	[とじしろ位置] で選択した位置に、何 mm の余白を設けるか設定します。3 ～ 30mm の間で設定できます。入力の単位が 0.01cm になっているため、3mm の場合は、「30」と入力してください。
3	単位	入力の単位を 0.01cm または 0.01 インチで切り替えることができます。

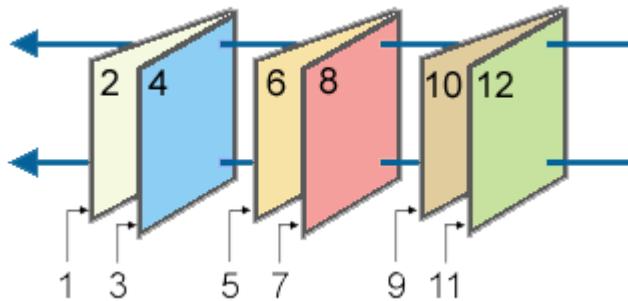
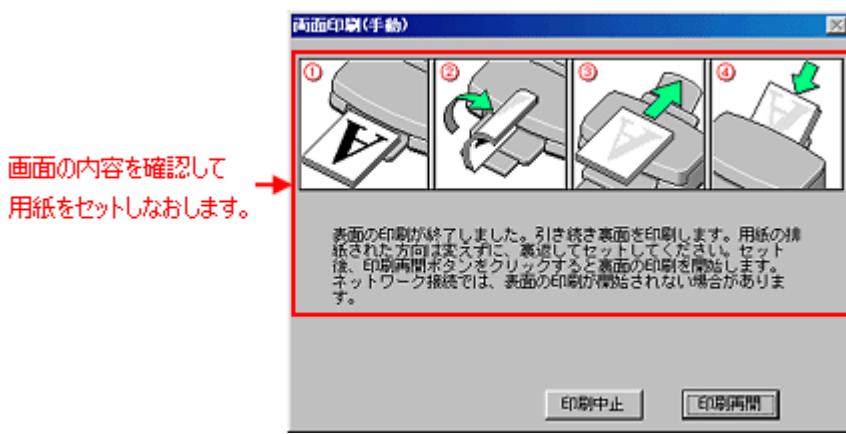
ポイント

ご利用のアプリケーションソフトによっては、設定したとじしろ幅と実際の印刷結果が異なることがあります。試し印刷をするなどしてとじしろ幅をご確認ください。

4. [OK] ボタンをクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

奇数ページが印刷されます。画面に案内画面が表示されるまでお待ちください。

ポイント

[ブックレット] にチェックが付いている場合の印刷順序は以下のようになります。
下図の場合、用紙を 2 つに折りたたんだ際に外側にくる面（1, 4, 5, 8, 9, 12 ページ）を先に印刷します。外側の印刷が終了してから用紙をセットしなおし、内側にくる面（2, 3, 6, 7, 10, 11 ページ）を印刷します。

5. **奇数ページの印刷が終了すると［案内］画面が表示されます。画面の表示に従って用紙の裏面を上に向けて、オートシートフィーダにセットしなおします。**

6. **［印刷再開］ボタンをクリックします。**

残りの偶数ページが印刷されます。

これで両面印刷は完了です。

マル秘などのスタンプマークを重ねて印刷

印刷データに「秘」などのマークや単語を重ね合わせて印刷することができます。

ポイント

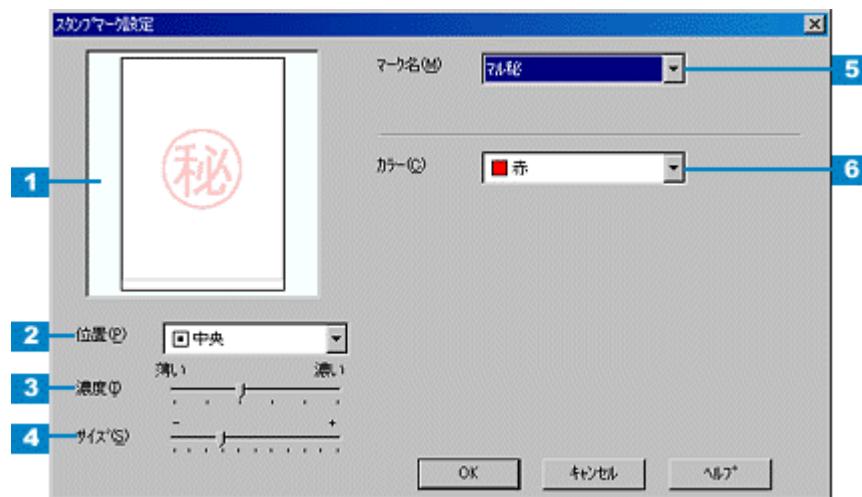
この機能は、[用紙設定] 画面の [給紙方法] で、[オートシートフィーダ（四辺フチなし「チェック無」)] を選択した場合のみ有効です。

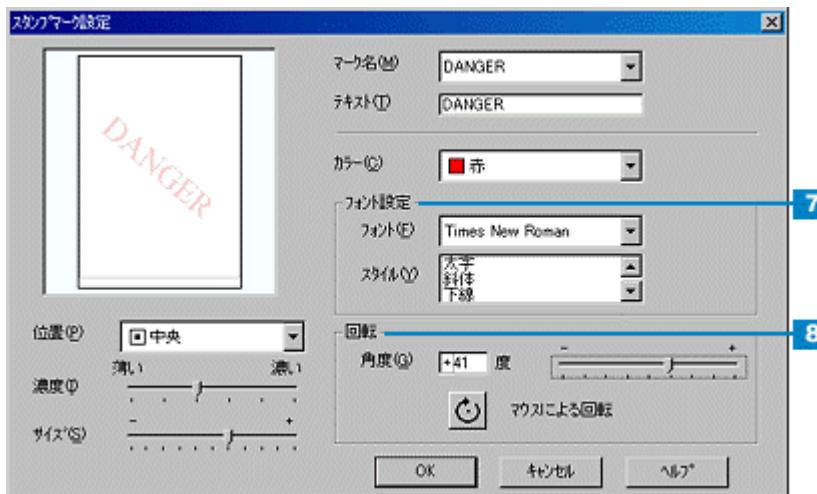
1. **印刷の実行前にプリンタドライバの [レイアウト] 画面を開きます。**

   プリンタドライバの設定画面を開いたら、[レイアウト] タブをクリックします。

2. **[スタンプマーク] のリストボックスから重ね合わせるマークを選択します。**

3. **リストボックスからスタンプマークを選択すると [スタンプマーク設定] ボタンが有効になります。**

   [スタンプマーク設定] ボタンをクリックするとスタンプマーク印刷の詳細な設定が行えます。

1	レイアウト	設定したイメージが表示されます。
2	位置	マークの印刷位置をリストボックスから選択できます。
3	濃度	印刷する際のマークの濃さを調整できます。
4	サイズ	マークの印刷サイズを設定することができます。
5	マーク名	印刷するスタンプマークをリストボックスから選択します。
6	カラー	マークの印刷カラーをリストボックスから選択できます。ただし、新規に登録したマークの色指定はできません。

リストボックスからオリジナルで登録した単語のスタンプマークを選択すると、以下の画面が表示されます。
初期状態では、登録されている単語はありません。以下のファイルを参照して任意の単語を登録してください。
「オリジナルスタンプマークを重ねて印刷」

7	フォント設定	入力した単語をどのようなフォントで印刷するか選択することができます。	
		フォント	コンピュータにインストールされているフォントの中からお好きなフォントを選択することができます。リストボックスから選択してください。
		スタイル	フォントの形状を太字や斜体などに変更することができます。
8	回転	印刷するスタンプマークの角度の設定ができます。入力欄に角度を直接入力するか、スライドバーをスライドさせてください。また、ボタンをクリックしてから左上のレイアウト画面でマークをドラックして回転させることもできます。	

4. ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

オリジナルスタンプマークを重ねて印刷

プリセットマークのほかにお好みの画像（BMP）や任意の単語を登録して（合計 10 個まで）、そのオリジナルマークを重ね合わせて印刷することができます。

ポイント

この機能は、［用紙設定］画面の［給紙方法］で、［オートシートフィーダ（四辺フチなし「チェック無」）］を選択した場合のみ有効です。

画像の登録方法

1. **アプリケーションソフトでオリジナルデータを作成し、BMP 形式で保存します。**

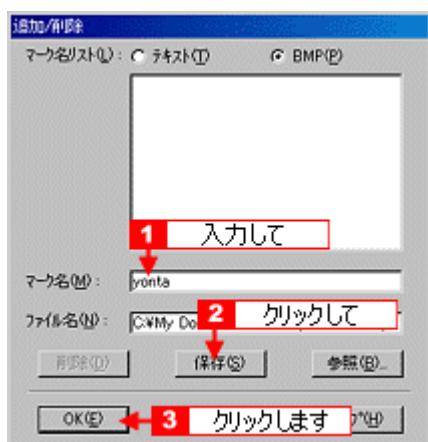
   ファイル形式には BMP、TIFF、JPG など多くのファイル形式があります。保存の際に BMP を選択して保存してください。

2. **［追加 / 削除］ボタンをクリックします。**

3. **「マーク名リスト」の［BMP］のラジオボタンをクリックして選択してから、［参照］ボタンをクリックします。**

4. **マークを保存したディレクトリを選択し、登録するマークをクリックして、［OK］ボタンをクリックします。**

5. **［マーク名］を入力し、［保存］ボタンをクリックして、［OK］ボタンをクリックします。**

これでマーク名のリストにオリジナルマークが加えられました。

この後の印刷手順は、以下のページをご覧ください。
「マル秘などのスタンプマークを重ねて印刷」

単語の登録方法

1. **［追加 / 削除］ボタンをクリックします。**

2. **「マーク名リスト」の［テキスト］のラジオボタンをクリックしてから、［テキスト］にお好きな単語を入力します。**

3. ［保存］ボタンをクリックしてから、［OK］ボタンをクリックします。

これでマーク名のリストにオリジナルの単語が加えられました。

この後の印刷手順は、以下のページをご覧ください。
「マル秘などのスタンプマークを重ねて印刷」

拡大 / 縮小して印刷

拡大 / 縮小して印刷したいときは、以下の手順に従ってください。

ポイント

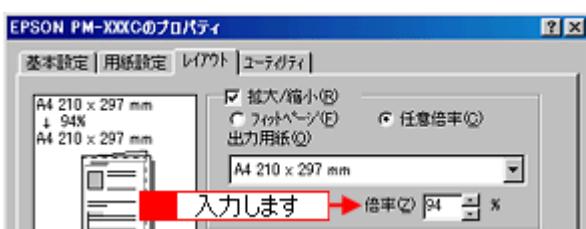
この機能は、[用紙設定] 画面の [給紙方法] で、[オートシートフィーダ（四辺フチなし「チェック無」)] を選択した場合のみ有効です。

1. 印刷の実行前にプリンタドライバの [レイアウト] 画面を開きます。

   プリンタドライバの設定画面を開いたら、[レイアウト] タブをクリックします。

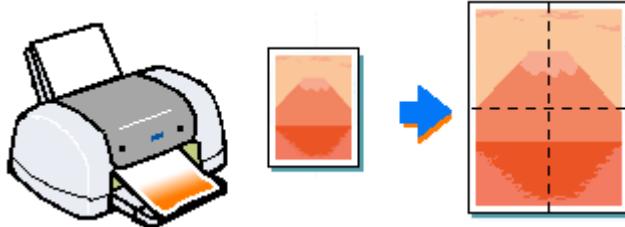
2. [拡大 / 縮小] にチェックを付け、[拡大 / 縮小] の [任意倍率] のラジオボタンをクリックします。

   [出力用紙] のリストボックスと [倍率] の入力欄が有効になります。

3. 数値を直接入力するか、右側の三角マークをクリックして数値を変更します。

4. [OK] ボタンをクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

[フィットページ] にチェックを付けて、[出力用紙] のリストボックスからプリンタにセットした用紙サイズを選択すると、自動的に拡大 / 縮小して印刷できます。

大きなポスターになるように印刷

ポスター印刷機能は、印刷データを自動的に拡大して、プリンタにセットした用紙に分割して印刷することのできる機能です。印刷結果をつなぎ合わせれば、大きなポスターやカレンダーを作ることができます。

ポイント

この機能は、［用紙設定］画面の［給紙方法］で、［オートシートフィーダ（四辺フチなし「チェック無」）］を選択した場合のみ有効です。

1. **印刷の実行前にプリンタドライバの［レイアウト］画面を開きます。**

   プリンタドライバの設定画面を開いたら、［レイアウト］タブをクリックします。

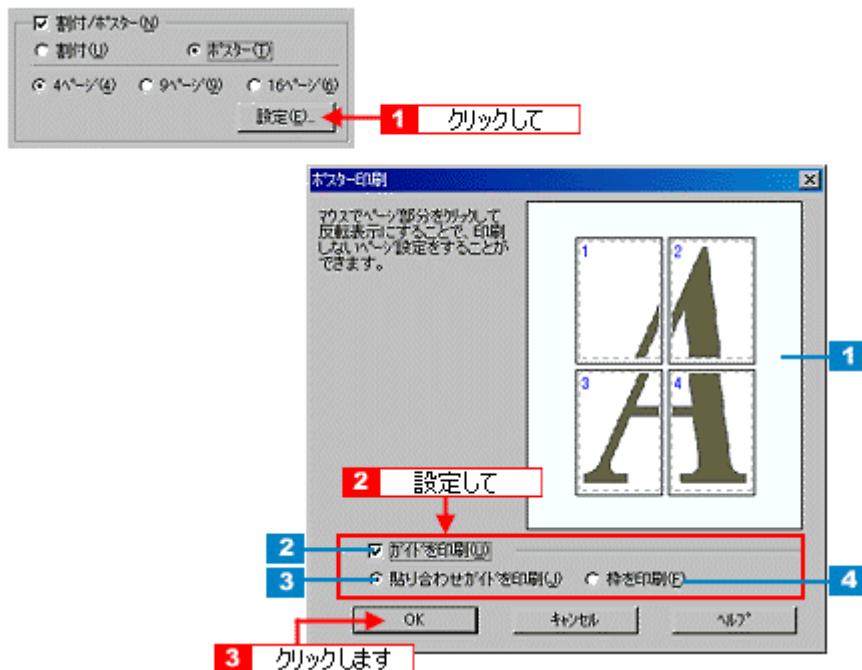
2. **［割付 / ポスター］にチェックを付け、［ポスター］のラジオボタンをクリックします。**

3. **印刷したデータを何分割で出力するか設定します。**

   A4 サイズで制作したデータを 4 分割にして、A4 用紙 4 枚に出力すれば、つなぎ合わせたときにほぼ A2 サイズになります。

ポイント

ポスターで 4 ページ設定にすると A4 サイズの用紙が 4 枚必要です。9 ページでは 9 枚、16 ページでは 16 枚の A4 サイズの用紙が必要となります。

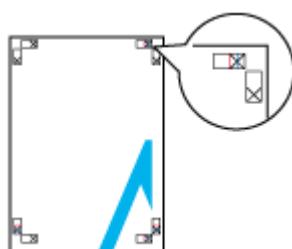
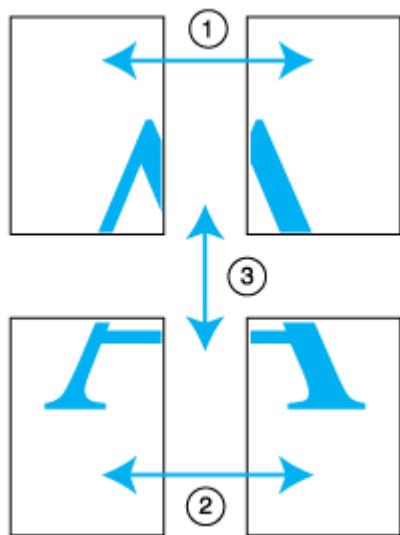
4. ［設定］ボタンをクリックして、その他の項目を設定します。

1	印刷面の選択	分割したページの印刷する / しないをクリックすることで選択できます。全体の中の一部を印刷したいときに便利です。印刷しない部分は、グレーで表示されます。
2	ガイドを印刷	チェックすると、貼り合わせるためのガイドや枠線が印刷されます。
3	貼り合わせガイドを印刷	チェックすると、貼り合わせる際に用紙を重ねられるように、部分的に重複して印刷されます。また、貼り合わせるためのガイドも印刷されます。
4	枠を印刷	チェックすると、余白部分を切り取る際のガイド線が印刷されます。

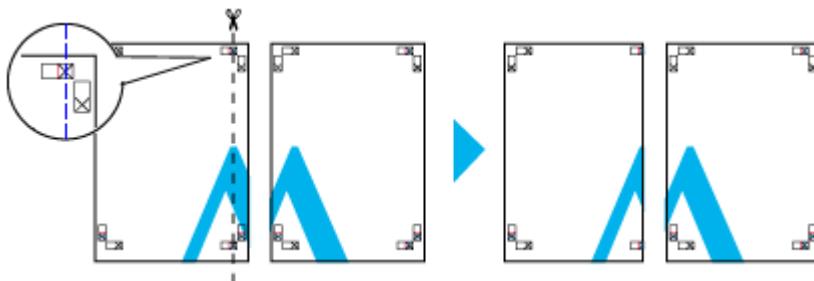
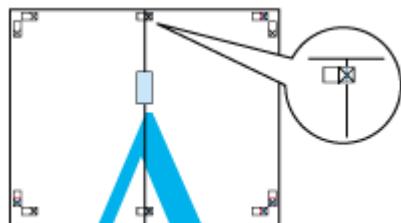
ポイント

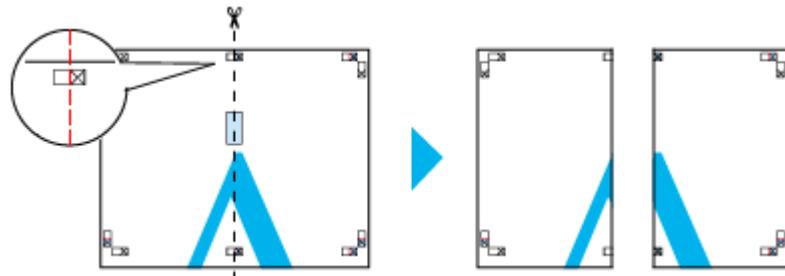
貼り合せ後の仕上がりサイズについて
［ガイドを印刷「チェック無」］と［枠を印刷］を選択した場合の仕上がりサイズは、同じになります。［貼りあわせガイド］を選択した場合の仕上がりサイズは、上記よりも小さくなります。

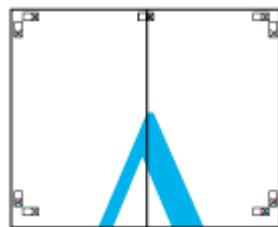
5. ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

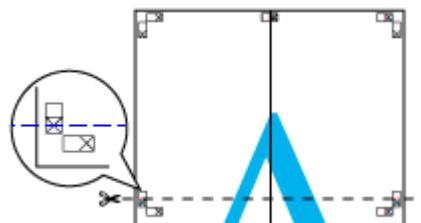
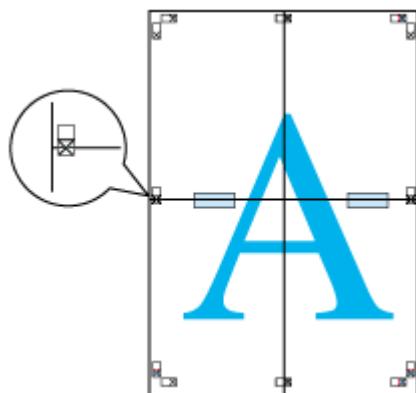
貼り合わせガイド印刷時の用紙の貼り合わせ方法

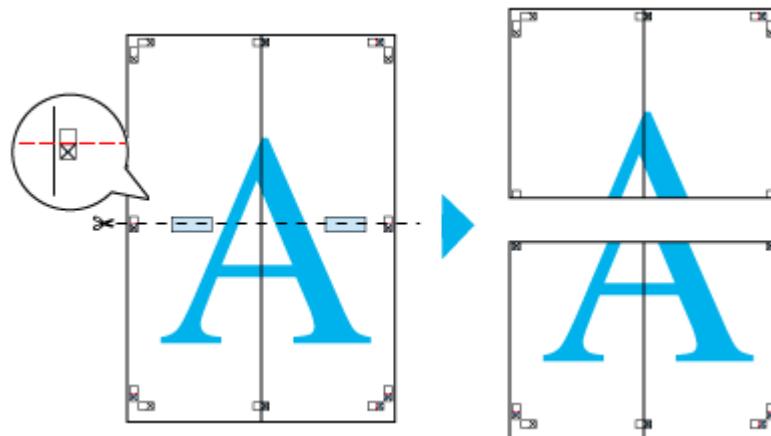
ポスター印刷時に［貼り合わせガイドを印刷］を選択して印刷した場合、下図のような貼り合わせガイドが印刷されます。ここでは、その貼り合わせガイドを使用して用紙を貼り合わせる方法をご説明します。

ポイント
ここでは 4 枚の用紙を貼り合わせる方法についてご説明します。下図の順番で貼り合わせます。

1. 上段の 2 枚の用紙を用意します。
2. 左側の用紙の貼り合わせガイド（縦方向の青線）を結ぶ線で切り落とします。

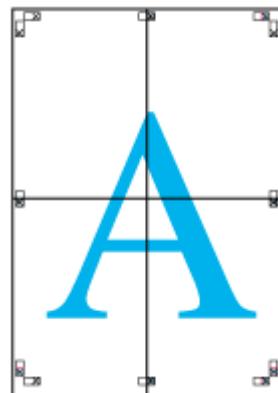
   モノクロ印刷の場合、貼り合わせガイドは黒線になります。

3. 切り落とした左側の用紙を、右側の用紙の上に重ねます。このとき、貼り合わせガイドの×印を図のように重ね、裏面にテープを貼って仮止めします。

4. 2 枚の用紙を重ねたまま、貼り合わせガイド（縦方向の赤線）を結ぶ線で切り落とします。

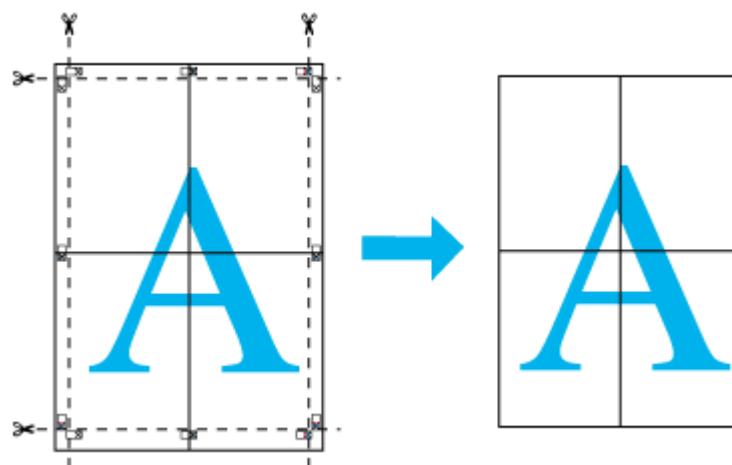
   モノクロ印刷の場合、貼り合わせガイドは黒線になります。

5. 2 枚の用紙の切り落とした辺を貼り合わせます。

   裏面にテープなどを貼り、つなぎ合わせてください。

6. 下段の 2 枚の用紙も、ステップ 2 〜 5 に従って貼り合わせます。
7. 上段の用紙の貼り合わせガイド（横方向）の青線を結ぶ線で切り落とします。

   モノクロ印刷の場合、貼り合わせガイドは黒線になります。

8. 切り落とした上段の用紙を、下段の用紙の上に重ねます。このとき、貼り合わせガイドの×印を図のように重ね、裏面にテープを貼って仮止めします。

9. 2 枚の用紙を重ねたまま、貼り合わせガイド（横方向の赤線）を結ぶ線で切り落とします。

モノクロ印刷の場合、貼り合わせガイドは黒線になります。

10. 2 枚の用紙の切り落とした辺を貼り合わせます。

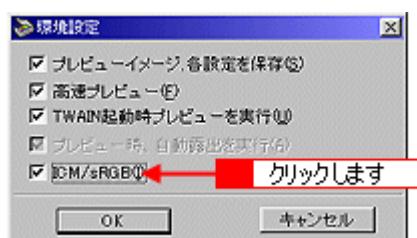
裏面にテープなどを貼り、つなぎ合わせてください。

11. すべての用紙を貼り合わせたら、外側の切り取りガイドに合わせて余白を切り取ります。

大きなポスターが完成します。

画面表示と色合いを合わせて印刷

スキャナで取り込んだ画像、ディスプレイ上の表示そしてプリンタでの出力結果。これら 3 者間ではそれぞれの色の発色方法が異なるため、完全に相互の色合いを合わせることはできません。ただし、[ICM] というカラーマネージメントシステムを使用することによって、色合いを近づけることができます。ここでは、スキャナ・ディスプレイ・プリンタドライバでの設定方法をご説明します。

ICM（Image Color Matching）	Microsoft 社の開発したカラーマネージメントシステムです。

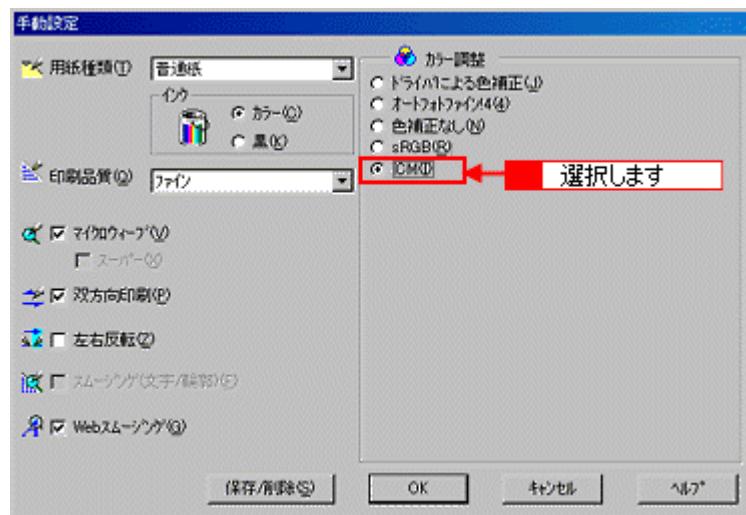
スキャナでの設定

スキャナで取り込んだ画像をほかの機器と色合わせする場合は、画像を取り込む際にスキャナの取り込みソフトで [ICM] を選択します。

ディスプレイでの設定

ディスプレイとプリンタでは発色方法が異なるため色合いを完全に一致させることはできません。ただし、以下の場合に色合いを近づけることが可能です。

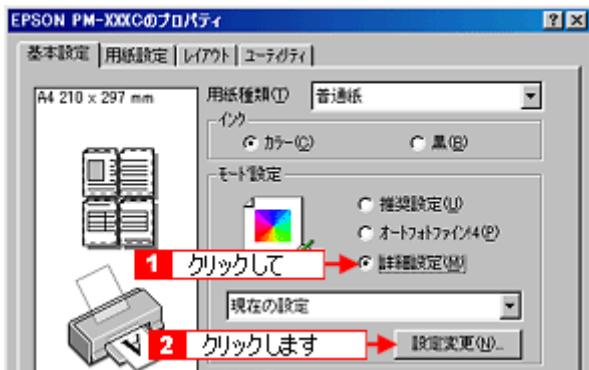
- ディスプレイの調整機能によって、ディスプレイをガンマ 2.2、色温度 6500K に調整した場合。
- Windows 98/Me/2000 使用時に、ご利用のディスプレイの ICC プロファイル（色特性データファイル）がメーカーから支給されており ICC プロファイルに対応したアプリケーションソフトを使用している場合。

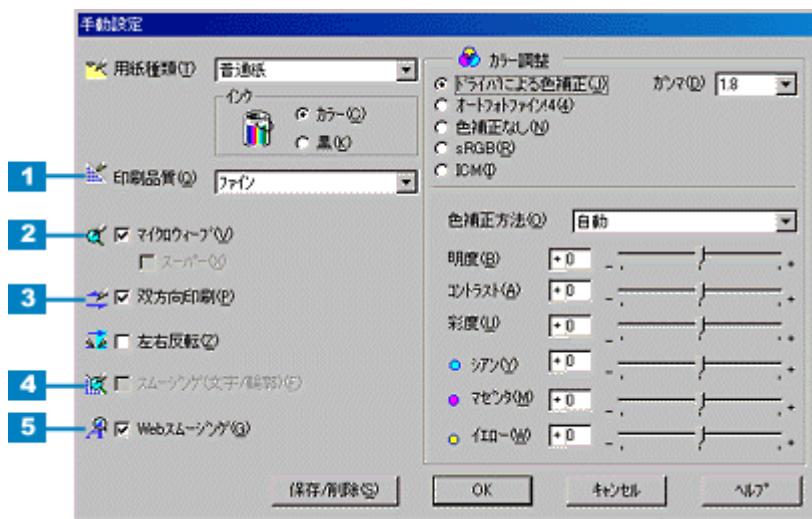
プリンタドライバでの設定

印刷結果を色合わせするときは、印刷実行の際にプリンタドライバの［手動設定］画面を開き、[ICM] 選択して印刷を実行します。

印刷設定を細かく指定

印刷の品質にかかわる設定は、通常［基本設定］画面で設定すれば十分ですが、細かく設定したい場合は、［手動設定］画面で行います。

1. 印刷の実行前にプリンタドライバの［基本設定］画面を開きます。

2. モード設定から［詳細設定］を選択して、［設定変更］ボタンをクリックします。

3. ［手動設定］画面の各項目を設定します。

ポイント

［用紙種類］、［印刷品質］の組み合わせによって、選択できる項目が変わります。

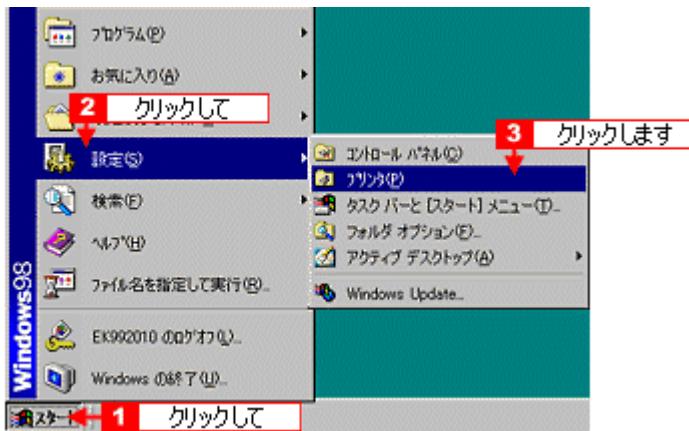
1	印刷品質	印刷品質をリストボックスから選択します。	
		ドラフト	試し印刷に向いているモードです。インク消費量をセーブしながら高速で印刷します。
		ファイン	日常使用に最適なモードです。
		スーパーファイン	高品質な印刷結果が得られるモードです。ただし、印刷時間が多少かかります。
		フォト	スーパーファインより美しい写真品質が得られるモードです。ただし、印刷時間が多少かかります。
		スーパーフォト	フォトよりもさらに美しい写真品質が得られるモードです。ただし、印刷時間は多少かかります。
2	マイクロウィーブ	チェックすると、行ごとの印刷ムラを少なくして印刷することができます。	
		スーパー	行ごとの印刷ムラをさらに少なくしたい場合に選択します。ただし、印刷時間が長くなります。［印刷品質］で［フォト］を選択した場合のみ設定できます。
3	双方向印刷	チェックすると、プリントヘッドが左から右に戻るときにも印刷します。 印刷速度を重視したい場合は、チェックしてください。 印刷品質を重視したい場合は、チェックしないでください。	
4	スムージング	チェックすると、テキストや線画の輪郭を滑らかにして印刷することができます。ただし、印刷時間が多少長くなります。	
5	Webスムージング	チェックすると、Web 上の低解像度のロゴ・イラスト・画像の輪郭を滑らかにして印刷することができます。	

ポイント

- ［保存 / 削除］ボタンをクリックすることにより、ここでの設定を保存しておくことができます。保存した設定値は、［基本設定］画面のリストボックスから呼び出すことができます。
- ［手動設定］画面のその他の項目については、以下のページをご覧ください。
  「手動設定画面」

プリンタドライバを開いたときの設定（初期設定）を、頻繁に使う設定に変更

印刷前に設定するプリンタドライバの初期値が、頻繁に使う設定ではない場合、毎回変更するのは面倒ですよね。
そんなときは、以下の手順に従って、その頻繁に使う値を設定してください。
ここで設定した値は、印刷前にアプリケーションソフトから開いたプリンタドライバの初期値になります。

1. **Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。**

2. **本プリンタのアイコンを右クリックして［プロパティ］をクリックします。Windows NT4.0 の場合は［ドキュメントの既定値］、Windows 2000 の場合は［印刷設定］をクリックします。**

   プリンタドライバの設定画面が開きます。

3. **［基本設定］［用紙設定］［レイアウト］［手動設定］各画面の項目を、頻繁に使う設定に変更して［OK］ボタンをクリックします。**

   ここでの設定値が、アプリケーションソフトから開いたプリンタドライバの初期値になります。

EPSON プリンタウィンドウ !3 のインストール方法

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、通常プリンタドライバのインストール後引き続きインストールされます。何らかの理由で改めて EPSON プリンタウィンドウ !3 だけをインストールする場合は、以下の手順に従ってください。

1. 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をコンピュータにセットします。

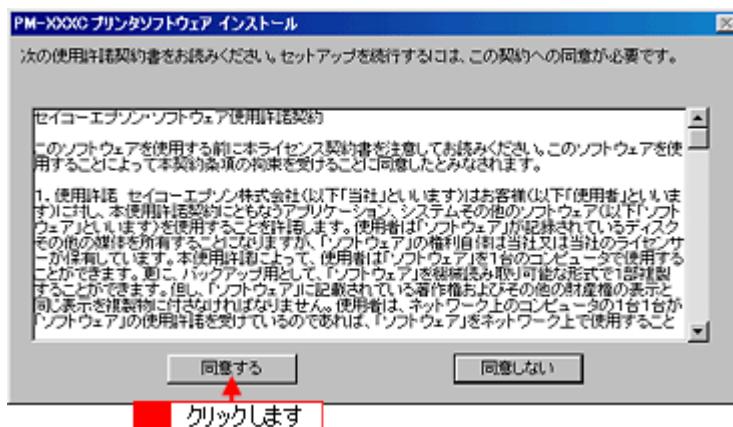
2. 以下の画面が表示されたら［ソフトウェアのインストール］をクリックして、［次へ］ボタンをクリックします。

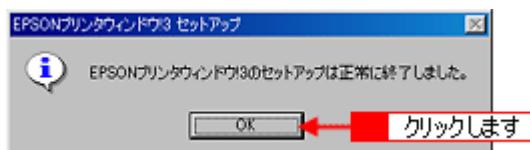
画面が表示されない場合は、［マイコンピュータ］の中にある［CD-ROM］アイコンをダブルクリックして開き、［Setup］アイコンをダブルクリックしてください。

3. ［ソフトウェア選択］ボタンをクリックします。

4. ［EPSON プリンタウィンドウ !3］だけにチェックを付けて、［OK］ボタンをクリックします。

5. ［OK］ボタンをクリックします。

6. **画面の内容を確認して、［同意する］ボタンをクリックします。**

7. **［OK］ボタンをクリックします。**

これで EPSON プリンタウィンドウ !3 のインストールは終了です。Windows を再起動すると、EPSON プリンタウィンドウ !3 が使用できるようになります。

プリンタドライバの削除方法

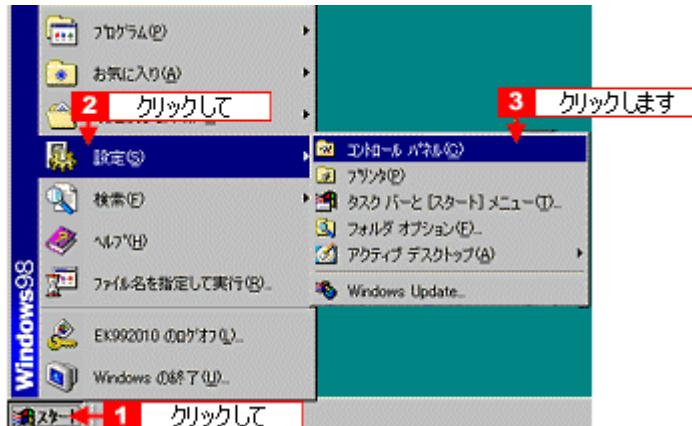
プリンタドライバを削除（アンインストール）するときは、以下の手順に従ってください。EPSON プリンタウィンドウ!3 も一緒に削除されます。
Windows 98/Me をご使用で USB インターフェイスケーブル接続されている場合は、プリンタドライバの削除が終了したら、EPSON USB プリンタデバイスドライバの削除も実行してください。

ポイント

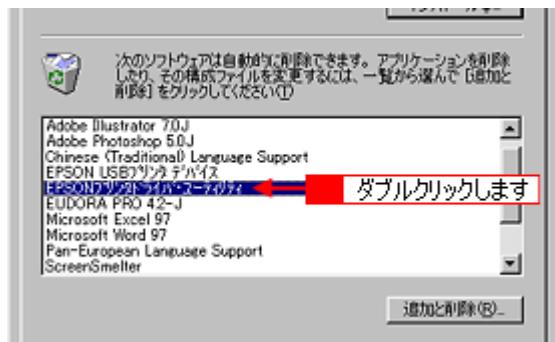
- EPSON USB プリンタデバイスドライバは、Windows 98/Me で USB 接続をご利用の場合にのみ必要なドライバです。
  「EPSON USB プリンタデバイスドライバの削除方法（Windows 98/Me）」
- プリンタドライバと同時にインストールしたユーザーズガイドは、ここでの手順では、削除されません。
  「ユーザーズガイドの削除方法」
- Windows NT4.0/2000 で削除する場合は、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログオンする必要があります。

1. **プリンタの電源をオフにしてケーブルを取り外します。**

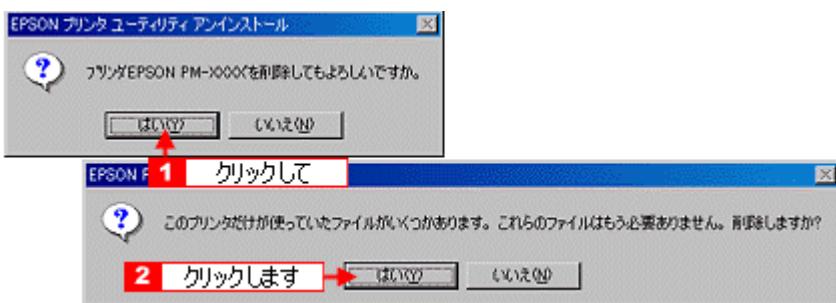
   パラレルインターフェイスケーブルをご利用の場合は、コンピュータの電源を一旦オフにしてケーブルを取り外し、その後、手順 2 にお進みください。

2. **Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。**

3. **［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。**

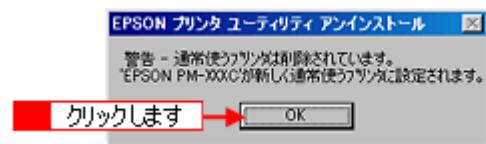
4. **［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］をダブルクリックします。**

   Windows 2000 の場合は、［プログラムの変更と削除］を選択して［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］の［変更 / 削除］ボタンをクリックします。

5. **本プリンタのアイコンをクリックして［OK］ボタンをクリックします。**

6. **［はい］ボタンをクリックします。**

7. **［はい］ボタンをクリックしてから、［はい］ボタンをクリックします。**

8. **プリンタドライバを削除した後、再度インストールする場合（バージョンアップする場合など）には、［いいえ］ボタンをクリックします。**

   ユーザー定義情報ファイルには、オリジナルスタンプマークやユーザー定義サイズなどのご自分で登録された情報が保存されています。このファイルを削除せずに残しておけば、再度インストールした際に、改めてオリジナルスタンプマークなどを登録する必要がなくなります。
   削除後、本プリンタをご使用にならない場合やすべての情報を削除したい場合は、［はい］ボタンをクリックしてください。

9. ［OK］ボタンをクリックします。

10. ［OK］ボタンをクリックします。

これでプリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除は完了しました。

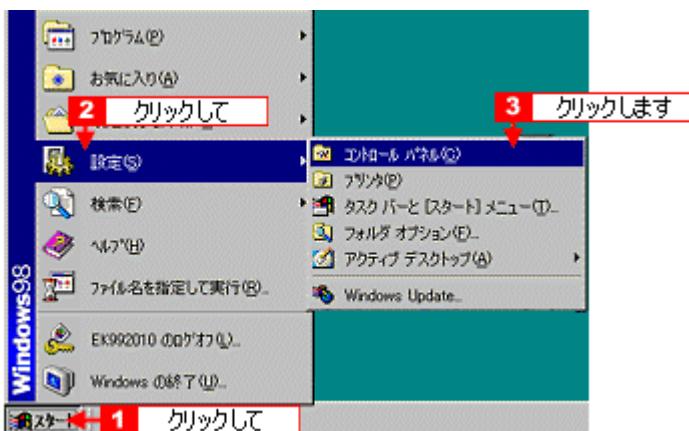
ポイント

再度、プリンタドライバ /EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールする場合は、一旦コンピュータを再起動してください。

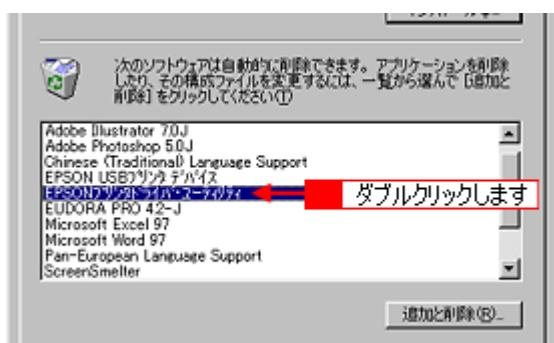
EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除方法

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、通常プリンタドライバを削除するときに同時に削除されます。ここでは、EPSON プリンタウィンドウ !3 だけを削除（アンインストール）する場合の手順をご説明します。

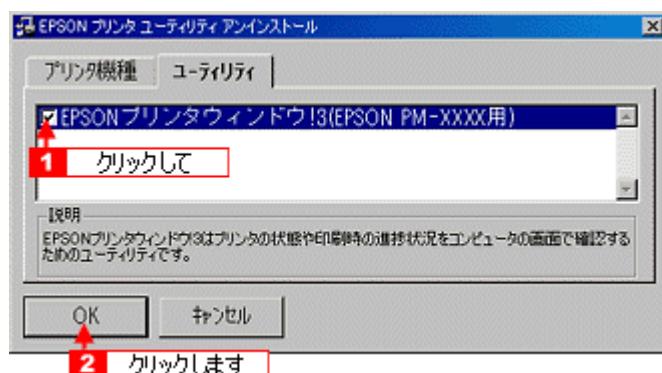
Windows NT4.0/2000 で削除する場合は、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログオンする必要があります。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。

2. ［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

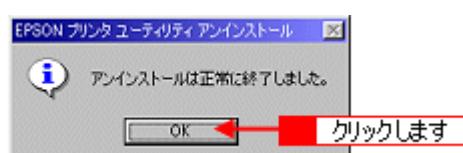
3. ［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］をダブルクリックします。

Windows 2000 の場合は、［プログラムの変更と削除］を選択して［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］の［変更 / 削除］ボタンをクリックします。

4. プリンタドライバのアイコン表示のない余白部分をクリックしてから、［ユーティリティ ］タブをクリックします。

どのプリンタドライバも選択されていない状態にします。

5. 本プリンタ用の［EPSON プリンタウィンドウ !3］にチェックを付けてから、［OK］ボタンをクリックします。

6. ［はい］ボタンをクリックします。

7. ［OK］ボタンをクリックします。

これで EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除は完了しました。

EPSON USB プリンタデバイスドライバの削除方法（Windows 98/Me）

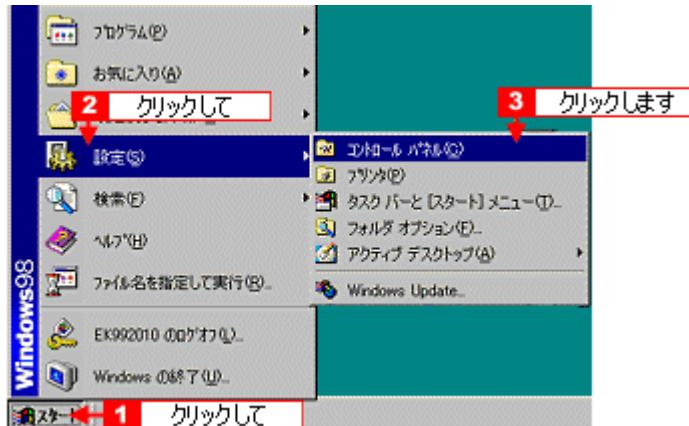
EPSON USB プリンタデバイスドライバは、Windows 98/Me で USB 接続をご利用の際に必要なドライバです。EPSON USB プリンタデバイスドライバを削除（アンインストール）する場合は、以下の手順に従ってください。

注意

- EPSON USB デバイスドライバを削除する前にプリンタドライバを削除してください。
  「プリンタドライバの削除方法」
- USB デバイスドライバを削除すると、USB 接続しているほかのエプソン製プリンタも利用できなくなります。

ポイント

Windows 2000 では、OS 標準の USB デバイスドライバを使用するため削除の必要はありません。

1. **プリンタから USB ケーブルを取り外します。**
2. **Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。**

3. **［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。**

4. **［EPSON USB プリンタデバイス］をダブルクリックしてから、［はい］ボタンをクリックします。**

［USB プリンタデバイス］の項目が表示されない場合

インストールが不完全なまま終了していると［USB プリンタデバイス］の項目が表示されない場合があります。その場合は、プリンタソフトウェア CD-ROM 内の［EPUSBUN.exe］ファイルを実行してください。

1. コンピュータに「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。
2. ［エクスプローラ］などで CD-ROM に収録されたファイルを表示します。
3. ［WIN9X］フォルダをダブルクリックして開きます。
4. ［epusbun.exe］アイコンをダブルクリックします。

5. ［はい］ボタンをクリックします。

コンピュータが再起動します。これで EPSON USB プリンタデバイスドライバの削除（アンインストール）は終了です。

最新プリンタドライバ類の入手方法

プリンタドライバ /EPSON プリンタウィンドウ！ 3 をバージョンアップすることにより、今まで起こっていたトラブルが解消されることがあります。できるだけ最新のプリンタドライバ /EPSON プリンタウィンドウ！ 3 をお使いいただくことをお勧めします。

注意

- 最新バージョンのプリンタドライバまたは EPSON プリンタウィンドウ！3 をインストールする前に､必ず旧バージョンを削除してください。

  プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ！ 3 をバージョンアップする場合
  「プリンタドライバの削除方法」

  プリンタドライバだけをバージョンアップする場合
  「プリンタドライバの削除方法」

  EPSON プリンタウィンドウ！ 3 だけをバージョンアップする場合
  「EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除方法」

- プリンタドライバだけをバージョンアップしようとしてプリンタドライバを削除すると、EPSON プリンタウィンドウ！ 3 も一緒に削除されます。新しいプリンタドライバをインストール後、EPSON プリンタウィンドウ！ 3 もインストールしてください。
  「EPSON プリンタウィンドウ !3 のインストール方法」

ポイント

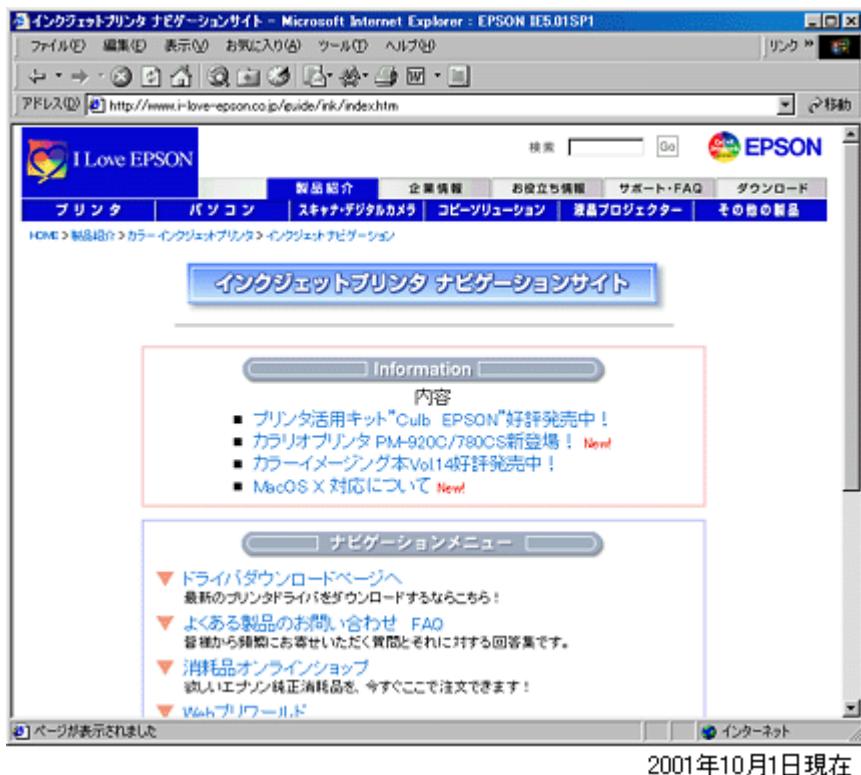
プリンタドライバ類のバージョンは、数字が大きいほど新しいバージョンになります。数字が同じ場合は、数字の後ろに付いているアルファベットが後のもの（A より B、B より C...）が新しいバージョンになります。

最新のプリンタドライバ /EPSON プリンタウィンドウ！ 3 を入手するには、以下の 2 つの方法があります。ご都合の良い方法で入手してください。

インターネットから入手する方法

エプソン販売のホームページからダウンロードしてください。
【アドレス】http://www.i-love-epson.co.jp/guide/ink/

ダウンロード方法 / インストール方法は、ダウンロードするページに掲載されていますので、そちらをご覧ください。

2001年10月1日現在

郵送で入手する方法

インターネットを利用できない方のために、「エプソンディスクサービス」にて CD-ROM での郵送（実費）を承っております。お申し込み方法・料金など詳しくは、「EPSON FAX インフォメーション」の資料でご確認ください。「EPSON FAX インフォメーション」については、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

プリンタドライバのシステム条件

付属のプリンタドライバを使用するために最小限必要なハードウェアおよびシステム条件は次の通りです。

Windows 95

オペレーティングシステム	Windows 95 日本語版
CPU	i486SX（R）以上
主記憶メモリ	8MB 以上
ハードディスク空き容量	50MB 以上
インターフェイス	パラレル
ディスプレイ	VGA（640 × 480）以上の解像度

Windows 98

オペレーティングシステム	Windows 98 日本語版
CPU	i486DX（R）66MHz 以上
主記憶メモリ	16MB 以上
ハードディスク空き容量	50MB 以上
インターフェイス	パラレル /USB
ディスプレイ	VGA（640 × 480）以上の解像度

Windows Me

オペレーティングシステム	Windows Me 日本語版
CPU	Pentium（R）150MHz 以上
主記憶メモリ	32MB 以上
ハードディスク空き容量	50MB 以上
インターフェイス	パラレル /USB
ディスプレイ	VGA（640 × 480）以上の解像度

Windows NT 4.0

オペレーティングシステム	Windows NT4.0 日本語版
CPU	i486（25MHz）以上× 86 系または Pentium （R）

主記憶メモリ	16MB 以上
ハードディスク空き容量	50MB 以上
インターフェイス	パラレル
ディスプレイ	VGA（640 × 480）以上の解像度

Windows 2000

オペレーティングシステム	Windows 2000 日本語版
CPU	Pentium（R）133MHz 以上
主記憶メモリ	64MB 以上
ハードディスク空き容量	40MB 以上 （推奨 100MB 以上）
インターフェイス	パラレル /USB
ディスプレイ	VGA（640 × 480）以上の解像度

Macintosh

システムソフトウェア	Mac OS 8.x（8.0 は除く）/Mac OS 9.x （USB インターフェイスを標準装備している機種）
メモリ空き容量	A4 サイズの用紙へ印刷する場合 フォアグラウンドプリント時 ：14MB 以上の空きメモリ容量 （推奨 29MB 以上） バックグラウンドプリント時 ：16MB 以上の空きメモリ容量 （推奨 48MB 以上）
ハードディスク空き容量	16MB 以上の空き容量＋印刷する文書サイズの約 2 倍の空き容量

サービス・サポートのご案内

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス / サポートをご案内いたします。

エプソン FAX インフォメーション

エプソン製品に関する最新情報を FAX でお知らせします。最新ドライバ情報、Q&A 集など、製品のご使用に関しても有効な情報が 24 時間いつでも取り出せます。FAX 付属の電話機（プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種）からおかけになり、音声案内に従って操作してください。ご希望の資料はメニュー（資料番号００）で資料番号をご確認ください。

FAX 番号	「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

カラリオインフォメーションセンター

エプソンプリンタに関するご質問やご相談に電話でお答えします。

受付時間	「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。
電話番号	

インターネットサービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。

エプソン販売 WWW SERVER	http://www.i-love-epson.co.jp

ショールーム

エプソン製品を見て触れて操作できるショールームです。所在地については「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

エプソンディスクサービス

最新のプリンタドライバなどを有償でご用意いたします。エプソンディスクサービスでは、発送に関するお問い合わせについてのみお答えいたします。技術的な質問に関しましては、インフォメーションセンターへお問い合わせください。

入手方法

1. 「エプソン ＦＡＸ インフォメーション」から「各種最新ドライバのご案内と入手方法について」を入手してください。

2. **郵便局に備え付けの振込用紙を使用し、指定口座に代金をお振り込みください。**

3. **エプソン ＦＡＸ インフォメーションにて入手した申込書に必要事項を記入し、お振り込みの際に受け取られた払込受領証のコピーを所定場所に貼付して、エプソンディスクサービスに ＦＡＸ（もしくは郵送）にて送付してください。**

パソコンスクール

専任のインストラクターが、エプソン製品のさまざまな使用方法を楽しくわかりやすく効果的にお教えいたします。

お問い合わせ先	「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

保守サービス

保守サービスについては、以下のページを参照してください。
「修理に出すときは」

修理に出すときは

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず「ユーザーガイド」の「トラブル対処方法」をよくお読みください。
そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

お買い求めいただいた販売店	
エプソン修理センター	お問い合わせ先については、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細につきましては、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。
エプソン修理センターのお問い合わせ先については、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

種類	概要	修理代金	
		保証期間内	保証期間外
持込／送付修理	故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。	無償	基本料 + 技術料 + 部品代 修理完了品をお届けした時にお支払いください。
ドア to ドアサービス	• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 • 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア to ドアサービス料金のみ）	有償 （ドア to ドアサービス料金 + 修理代）

通信販売のご案内

エプソン製品の消耗品・オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライ株式会社の通信販売をご利用ください。

ご注文方法

インターネットで	ホームページ : http://www.epson-supply.co.jp
お電話で	電話番号 :0120-251-528（フリーダイヤル） 受け付け時間 :AM9:30 ～ PM6:15（土・日・祝祭日を除く）
FAX で	「FAX 情報サービス」をご利用ください。ファクシミリ付属の電話機（プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種）から電話をおかけになり、音声案内に従って操作してください。必要な情報が 24 時間いつでも取り出せます。 FAX 番号 : 03-4306-1182 「FAX 情報サービスメニュー」の BOX 番号は 001 です。

※電話番号のかけ間違いにご注意ください。

お届け方法

当日配送	当日 PM4:30 までのご注文受付分は、即日配送手配いたします（在庫分のみ）。
お届け予定日	本州・四国…翌日　北海道・九州…翌々日

お支払い方法

代金引換	商品お受け取り時に、商品と引き換えに宅配便配送員へ代金をお支払いください。
クレジットカード	お取り扱いカード : UC、JCB、VISA、Master、NICOS 支払い回数 : 1 回払い
銀行振込	法人でのお申し込みに限ります。事前にご審査、ご登録が必要になります。下記にご連絡ください。 電話番号 : 0120-251-528（フリーダイヤル）

送料

お買い上げ金額の合計が 5,000 円以上（消費税別）の場合は、全国どこへでも送料は無料です。5,000 円未満（消費税別）の場合は、全国一律 500 円（消費税別）です。

消耗品カタログの送付

プリンタの消耗品・関連商品のカタログをお送りいたします。カタログの配送につきましては、会員登録が必要になります。入会金、年会費は不要です。詳細については、上記のインターネット、電話、FAX にてご確認ください。

その他の情報

印刷後の用紙の保存方法

印刷後は、変色を防ぐために以下の内容を参考にして正しい展示・保存を行ってください。正しい展示・保存を行うことによって、印刷直後の色合いを長期間保つことができます。

ポイント

- 一般的に印刷物や写真などは、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響などで退色（変色）していきます。エプソン製専用紙も同様ですが、保存方法に注意することで、変色の度合いを低く抑えることができます。
- 各専用紙の詳しい印刷後の取り扱い方法は、専用紙のパッケージに添付されている取扱説明書をご参照ください。

乾燥方法

乾燥していない状態でアルバムなどに保存するとにじみが発生することがありますので、印刷後は印刷面が重ならないように注意して、十分に乾燥させてください。すべての印刷物を広げて乾燥させるスペースがない場合は、重ねて乾燥させることも可能ですが、その場合はまずそれぞれを 15 分程度乾燥させた後、必ず吸湿性のあるコピー用紙などを一枚ずつ印刷面に挟んで乾燥させてください。

注 意

- ドライヤーなどを使用して乾燥させないでください。
- 直射日光に当てないでください。

保存・展示方法

乾燥後は、以下の説明を参照して速やかに保存・展示を行ってください。

クリアファイルやアルバムに入れ、暗所で保存

光や空気を遮断することで変色の度合いを極めて低く抑える、一番良い保存方法です。

ガラス付き額縁に入れて展示

空気を遮断する展示方法で、変色の度合いを抑えることができます。

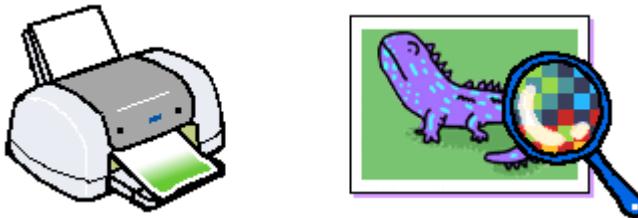
ポイント

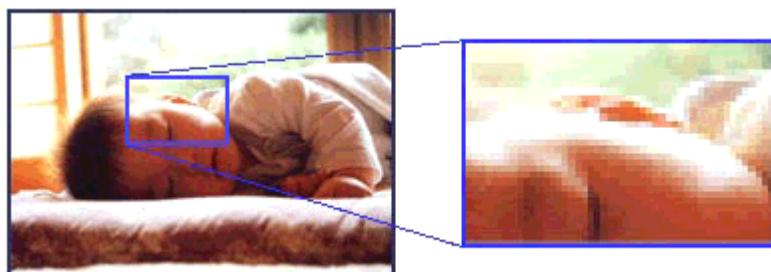
- クリアファイルは、用紙よりも大きいサイズのものをご使用ください。
- 光沢フィルム・OHP シート・ミニフォトシールは、印刷面にシートが密着するタイプのアルバムなどには入れないでください。印刷結果がにじむ場合があります。間紙を挟んでクリアファイルに入れてください。

注 意

- ガラス付き額縁などに入れた場合も、屋外での展示は避けてください。
- 写真現像室など化学物質がある場所での保存・展示は避けてください。

解像度とは？

より美しい画像を印刷するためには、本プリンタの性能に見合った適度な解像度の画像データを用意する必要があります。ここでは、画像データと本プリンタの解像度についてご説明します。

解像度とは

デジタルカメラなどの画像は、基本的にすべて点（ドット）の集まりで構成されています。
ですから、この点が多ければ多いほどきめこまかい表現が可能になり、解像度が高いことになります。この解像度を示す単位として通常用いられるのが「dpi」［25.4mm あたりのドット数（Dot per Inch）］という単位で、これは、25.4mm（1インチ）あたりにどれだけの点が含まれているかを示しています。

例えば、本プリンタの特長の 1 つである 2880dpi 印刷とは、25.4mm（1 インチ）の長さ当りに 2880 個のインクの点を並べて打つことにより画像を構成していることを意味します。

画像データの解像度と本機の解像度の関係

本プリンタの持つ 2880dpi 高記録解像度で印刷しても、画像データの解像度が低ければ思うような印刷結果は得られません。本プリンタの解像度（印刷モード）に応じた画像データが必要です。
基本的には、画像データの解像度を上げれば画質も必然的に向上するわけですが、解像度を上げすぎても、印刷速度が遅くなるだけで大きな画質向上効果は望めません。本プリンタの出力解像度に合わせた、適度な解像度のデータをご用意ください。

100dpiの画像データ

240dpiの画像データ

ポイント

本プリンタの各印刷モード（解像度）で理想的な印刷結果を出力するためには、下表の解像度の画像データをご用意ください。（カラー印刷の場合。）
黒インクのみを使用してモノクロ印刷を行う場合は、印刷解像度と同じ解像度の画像データをご用意ください。

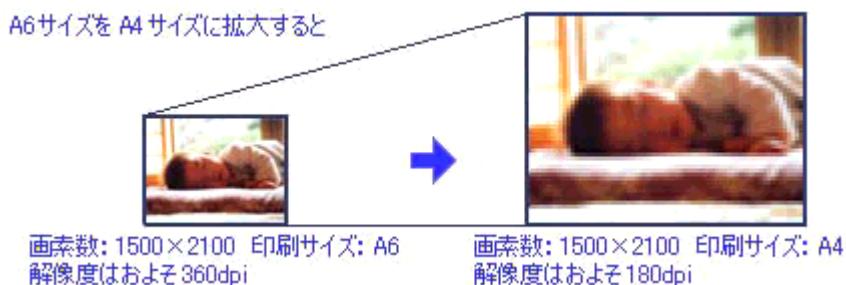
印刷モード(品質)	画像データの解像度の目安
	100dpi　200dpi　300dpi　400dpi
ファイン印刷	●●●●●●●●
スーパーファイン印刷	●●●●●●●●
フォト印刷	●●●●●●●●
スーパーフォト印刷	●●●●●●●●

印刷サイズと解像度の関係

1 つの画像データに含まれる点（ドット）の総数を画素数（ピクセル数）と呼びます。画素数は、アプリケーションソフトなどで調整しない限り、拡大 / 縮小してもその数は変わりません。
つまり、先ほど説明したように、300dpi の画像データは、そのままのサイズで印刷すれば、十分な品質の印刷結果を期待することができますが、拡大印刷すると、画像を構成する点（ドット）も大きくなることで、解像度が低下し、好ましい画像品質は得られません。
逆に、画素数の多いデータを小さなサイズに印刷すれば、解像度は上がりますが、印刷時間がかかるだけで見た目には画像品質の向上は認識できません。

A6サイズを A4 サイズに拡大すると

画素数：1500×2100　印刷サイズ：A6
解像度はおよそ 360dpi

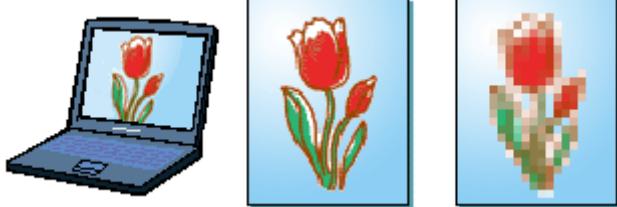
画素数：1500×2100　印刷サイズ：A4
解像度はおよそ 180dpi

下表は、各入力装置で生成される画像データの基本的な画素数および画像データ容量（ファイルサイズ）と、印刷サイズごとの画像品質の関係を示しています。※ランクの場合は、画像データの解像度をアプリケーションソフトなどで調整する必要があります。

入力装置 / 品質		原稿サイズ	画素数（ピクセル）	画像データ容量	印刷サイズ			
					A6	A5	B5	A4
デジタルカメラ	35 万画素	-	640 × 480	900KB	○	△	△	△
	87 万画素	-	1024 × 768	2.3MB	◎	○	○	△
	13 万画素	-	1290 × 960	3.52MB	◎	◎	○	○
	214 万画素	-	1600 × 1200	5.5MB	◎	◎	○	○
	314 万画素	-	2048 × 1536	9.0MB	※	◎	◎	◎
フィルムスキャナ	1200dpi		1700 × 1100	5.4MB	◎	◎	○	○

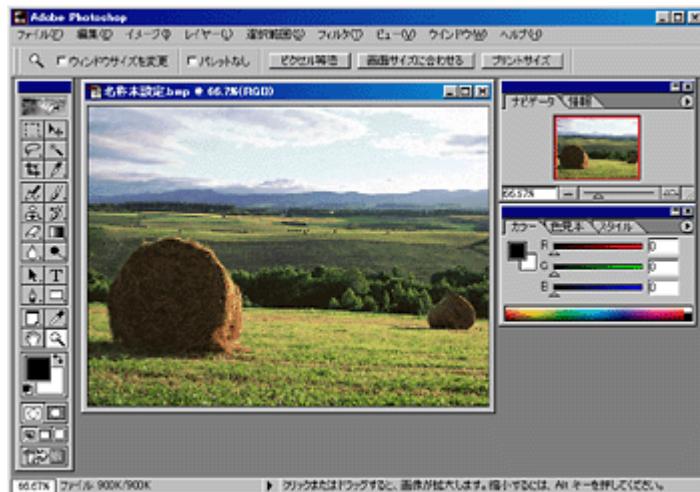
フラットヘッドスキャナ	300dpi	4 × 6	1200 × 1800	6.2MB	◎	◎	○	○
		A4	2550 × 3600	26.3MB	※	※	※	◎
	600dpi	4 × 6	2400 × 3600	24.7MB	※	※	◎	◎
		A4	5100 × 7200	105.1MB	※	※	※	※
	1200dpi	4 × 6	4800 × 7200	100MB	※	※	※	※
		A4	10200 × 14000	420MB	※	※	※	※
Photo CD	BASE	-	768 × 512	1.1MB	○	△	△	△
	4BASE	-	1536 × 1024	4.5MB	◎	◎	○	○
	16BASE	-	3072 × 2048	18.0MB	※	※	◎	◎

※ オーバースペック：用紙サイズに対して画素数が多すぎます。印刷に時間がかかるだけで、印刷品質の向上は望めません。
◎推奨：用紙サイズに対し理想的な画素数です。高画質な印刷結果を出力できます。
○許容：用紙サイズに対し多少画素数が少なめですが、十分な品質の印刷物を出力できます。
△推奨外：用紙サイズに対し画素数が少なすぎます。印刷結果の品質は期待できません。

画像の解像度の調整方法

写真などの画像データは、解像度が高すぎるとデータ容量が大きくなり、印刷速度が遅くなるだけで大きな画質向上効果は望めません。
ここでは、本プリンタの出力解像度に合わせた適度な解像度のデータを用意するために、解像度の調整方法をご説明します。

ポイント

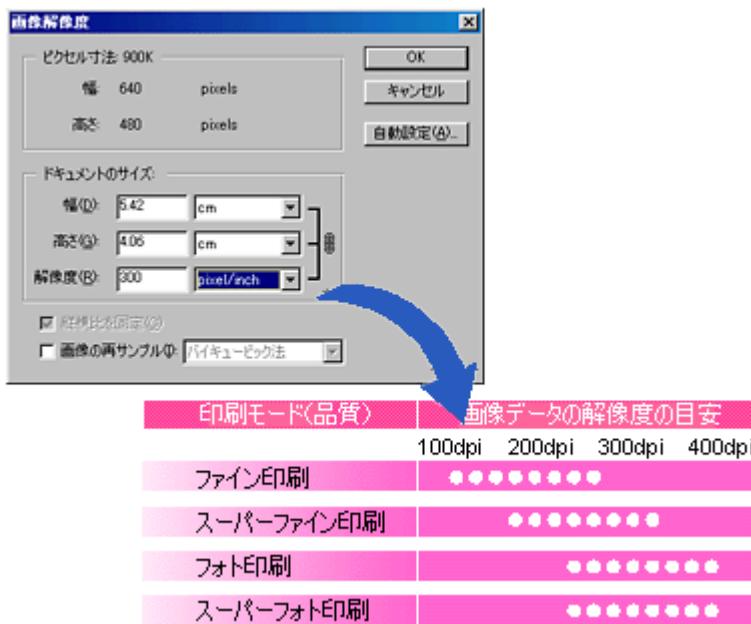
- 画像ファイルの解像度を変更するためには、画像修正用のアプリケーションソフトが必要です。
- ここで使用している画面は Adobe Photoshop のものです。
- 低解像度の画像の印刷品質は、解像度を上げてもほとんどの場合向上しません。

1. 画像修正用のアプリケーションソフトを起動して、解像度を調節したい画像データを開きます。

2. 画像データの解像度を調整するための画面を表示します。

   設定画面は、［画像解像度］や［画像サイズ］などの項目を選択すると表示されます。アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

3. **画像データの解像度を調整します。**

［解像度］は、以下の表を参照して印刷したい画質に合わせて設定します。高画質に印刷するためには 240 ～ 300dpi（または Pixel/inch）程度に設定するのが良いでしょう。

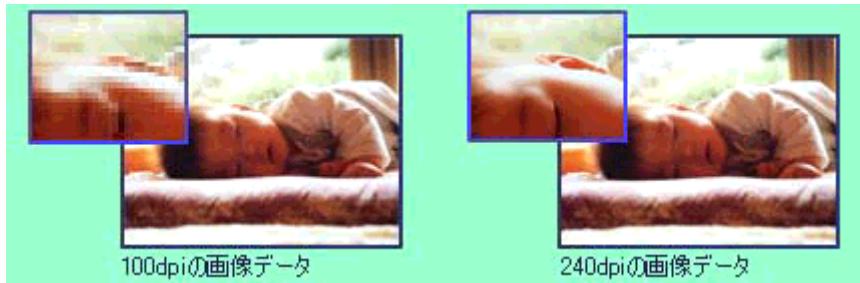
印刷モード(品質)	画像データの解像度の目安（100dpi　200dpi　300dpi　400dpi）
ファイン印刷	●●●●●●●●
スーパーファイン印刷	●●●●●●●●
フォト印刷	●●●●●●●●
スーパーフォト印刷	●●●●●●●●

ポイント

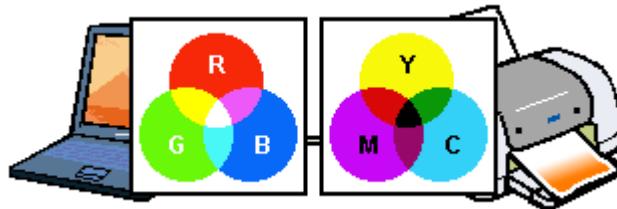
設定によっては、解像度を変更すると、ファイルサイズ（データ容量）も同時に変更されます。画像をきれいにまたは大きく印刷しようとすればするほど、ファイルサイズは大きくなります。ファイルサイズが大きすぎると、ご利用のコンピュータの性能によっては印刷に非常に時間がかかることがあります。

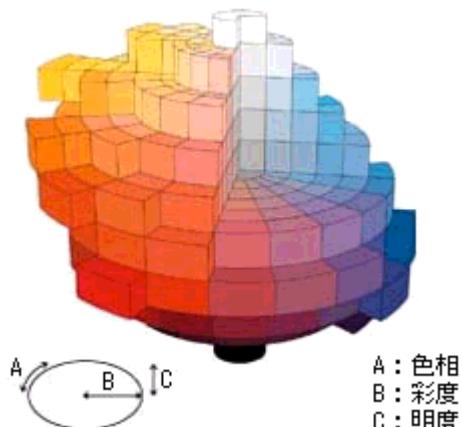
4. **変更した画像を保存します。**

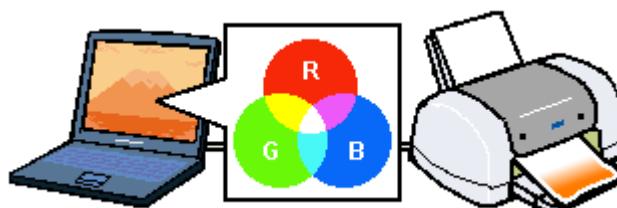
これで、解像度が変更されました。この後は、用途に応じて作業を進めてください。

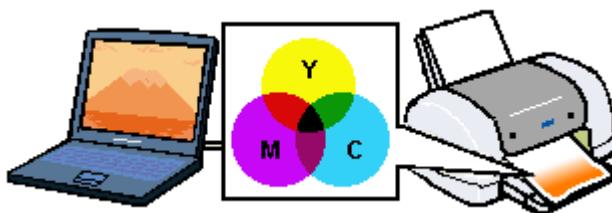
ポイント

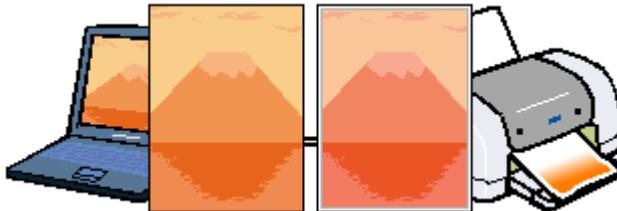
ファイルを別名で保存して、解像度の変更前と変更後を印刷して比べると、解像度についてさらに理解できます。

色について

普段、何気なく見ているディスプレイや紙の上で表現される“色”にも、さまざまな要素が含まれています。ここでは、カラー印刷の知識の基礎となる、「色」についてご説明します。

色の要素

一般に「色」というと赤や青などの色相（色合い）を指すことが多いのですが、色を表現する要素には、色相のほかに彩度、明度という要素があります。
彩度はあざやかさの変化を表す要素で、白みを帯びていない度合をいいます。
例えば赤色の場合、彩度を上げるとより赤くなりますが、彩度を落とすに従って無彩色になっていき、最後はグレーになります。
明度はその字の通り、明るさ、つまり光の強弱を表す要素です。明度を上げればより白っぽく、逆に明度を落とせば暗くなります。
下の図（色立体と呼びます）は円周方向が色相変化を、半径方向が彩度変化を、高さ方向が明度変化を表します。

ディスプレイの発色プロセス<加法混色>

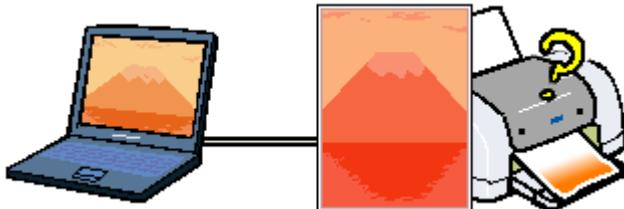
色は光によって表現されますが、ここでは、光がどのように色を表現するかをご説明します。
例えば、テレビやディスプレイなどを近くで良く見ると、赤（R）、緑（G）、青（B）の 3 色の光が見えます。
これは「光の三原色」と呼ばれるもので、光はこれら 3 色の組み合わせでさまざまな色を表現します。
この方法は、どの色も光っていない状態（全てが 0: 黒）を起点に、全ての色が光っている状態（全てが 100: 白）までを色を加えることで表現するため、CRT ディスプレイで表現される色は、加法混色（加色法）と呼ばれます。

プリンタ出力の発色プロセス<減法混色>

加法混色で色が表現できるのは、そのもの自らが光を発することができる場合です。しかし多くの場合、自ら光を出すことはないため、反射した光で色を表現することになります。（正確には、当たった光のうち一部の色を吸収（減色）し、残りの色を反射することで色を表現します。）
例えば「赤いインク」の場合、次のようになります。
一般的に見られる「光」の中には、さまざまな色の成分が含まれています。
この光が赤いインクに当たった場合、ほとんどの色の成分がインクに吸収されてしまいますが、赤い色の成分だけは、吸収されずに反射されます。この反射した赤い光が目に入り、その物体（インク）が赤く見えるのです。
このような方法を減法混色（減色法）と呼び、プリンタのインクや絵の具などはこの減法混色によって色を表現します。このとき、基本色となる色は加法混色の RGB ではなく、混ぜると黒（光を全く反射しない色）になるシアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）の 3 色です。この 3 色を一般に「色の三原色」と呼び、「光の三原色」と区別します。
理論的には C・M・Y の 3 色を混ぜると黒になります。しかし一般に印刷では、より黒をくっきりと表現するために黒 （BK）インクを使用し、C・M・Y・BK の 4 色で印刷します。

出力装置による発色の違い<ディスプレイとプリンタ出力>

コンピュータで作成したグラフィックスデータをプリンタに出力するとき、この加法混色と減法混色を考え合わせる必要があります。なぜなら、CRT ディスプレイで表現される色は加法混色であるのに対して、プリンタで表現される色は減法混色であるからです。
この R・G・B → C・M・Y 変換はプリンタドライバで行いますが、ディスプレイの調整状態によっても変化するため、完全に一致させることはできません。
このように発色方法の違いにより、ディスプレイ上と実際の印刷出力の色合いに差異が生じます。しかし、これらの差異をできる限り合わせこむことが可能です。

ポイント

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画 （C・M・Y）→ ディスプレイ （R・G・B）→ 印刷（C・M・Y）の変換が必要になり、さらに一致させることが難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチングの方法をキャリブレーションと呼び、市販のスキャナユーティリティソフトウェアの中にはこの機能があるものがあります。

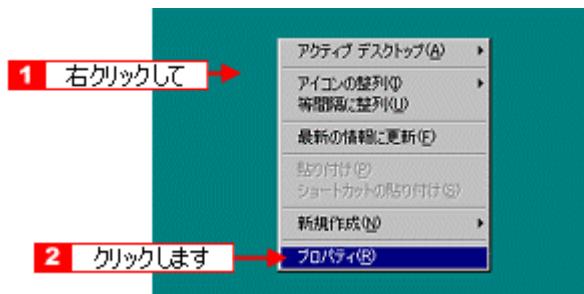
ディスプレイについて

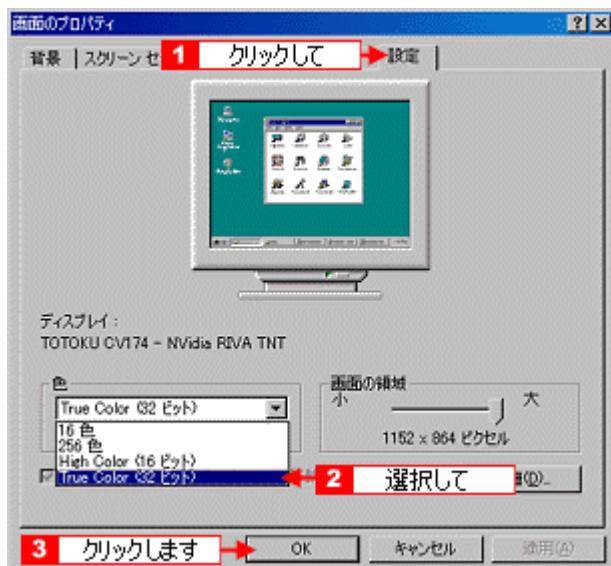
ディスプレイ上で表示される画像などをいくつの色数を使って表現するかについて、設定を変更することができます。色数は［256 色］・［16bit（65,000）色］・［24bit（1,677 万）色］など何段階かに設定することができますが、ディスプレイ上でよりきれいに表現するためには［16bit］・［24bit］などの値に設定する必要があります。
また、ディスプレイの調整をすることで、ディスプレイ上の表示と印刷結果の色合いを近づけることができます。

ディスプレイの表示色の設定

ポイント

設定できる値や各項目名は、ディスプレイを使用するためのドライバなどの性能によって異なります。詳しくは、お買い求めいただいたコンピュータメーカーやグラフィックスカードのメーカーへお問い合わせください。

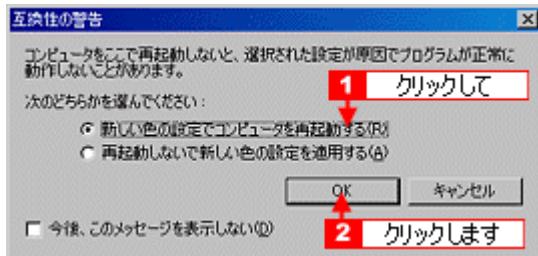
1. 画面上のアイコンのない場所にカーソルを移動させ、右クリックしてから［プロパティ］をクリックします。

すべてのアプリケーションソフトを終了させてから設定することをお勧めします。

2. ［設定］（または［ディスプレイの詳細］）のタブをクリックして、［色］（［カラーパレット］）のリストボックスから［High Color（16bit）］または［True Color（24bit）］などをクリックして選択します。

表示される内容は、ディスプレイを使用するためのドライバなどによって異なります。

3. ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じます。

以上で、設定は終了です。

ポイント

以下の画面が表示された場合は、Windows を再起動します。

ディスプレイの調整方法

ディスプレイはその機器ごとに表示特性が異なり、赤っぽく表示するディスプレイもあれば、青っぽく表示するディスプレイもあります。
このように偏った表示をしている状態では、スキャナから取り込んだ画像や Photo CD などの画像を、適切な明るさや色合いで表示することはできません。また、印刷結果も予測できません。そこで、ディスプレイの調整が必要になります。

ポイント

- ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）を本格的に行うためには、測定機器などが必要になり、また非常に手間がかかります。ここでは簡易的な調整手順を紹介します。ディスプレイの調整方法については、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。
- これらの調整を行うと、一部の明るさや色合いを原稿または印刷結果に近づけることができますが、すべてを近づけることはできません。最も気になる部分（肌色など）を重点的に調整してください。

1. ディスプレイの電源をオンにして 30 分以上放置し、ディスプレイの表示を安定させます。

室内の照明環境を一定にします。自然光は避けて、一定の照明条件になるようにフードを装着すると良いでしょう。

2. ディスプレイのカラーバランス（色温度）を調整できる場合は、6500K に調整します。

3. **ディスプレイのブライトネス調整を行います。**

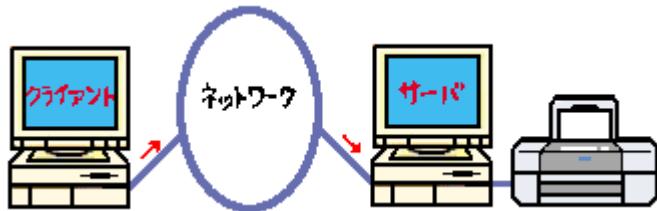
4. **ディスプレイでコントラスト調整ができる場合は、スキャナで取り込んだ画像の色が原稿または本機の印刷結果に近くなるように調整を行います。**

5. **調整が終了したら、ディスプレイのダイヤルなどが動かないように固定します。**

   これらの調整を行うと、一部の明るさや色合いを原稿または印刷結果に近づけることができますが、合わない部分もあります。最も気になる部分（肌色など）を重点的に調整してください。

書籍のご案内
「カラーマネージメント !」
カラーマネージメントシステムの使いこなしテクニックが徹底解説されています。モニタキャリブレーションについても詳しく解説されています。
ISBN4-87280-336-1　発行所：株式会社 IDG コミュニケーションズ（1998 年初版発行）

ネットワークでプリンタを共有する方法

Windows のネットワーク環境では、コンピュータに直接接続したプリンタをほかのコンピュータから共有することができます。ネットワークで共有するプリンタをネットワークプリンタと呼びます。プリンタを直接接続するコンピュータは、プリンタの共有を許可するプリントサーバの役割をはたします。ほかのコンピュータは、プリントサーバに印刷許可を受けるクライアントになります。クライアントは、プリントサーバを経由してプリンタを共有することになります。

ポイント

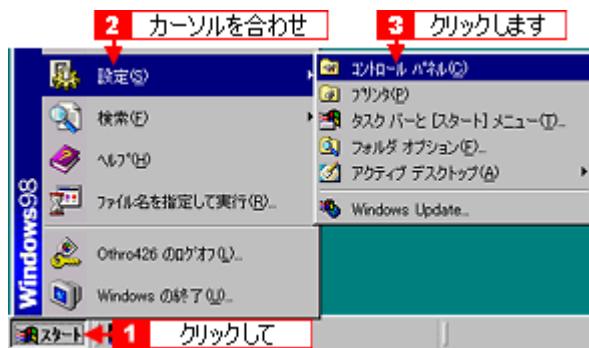
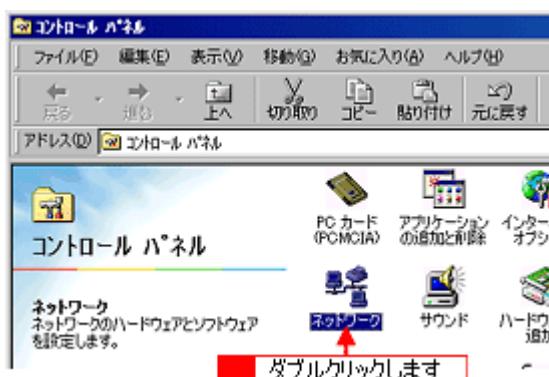
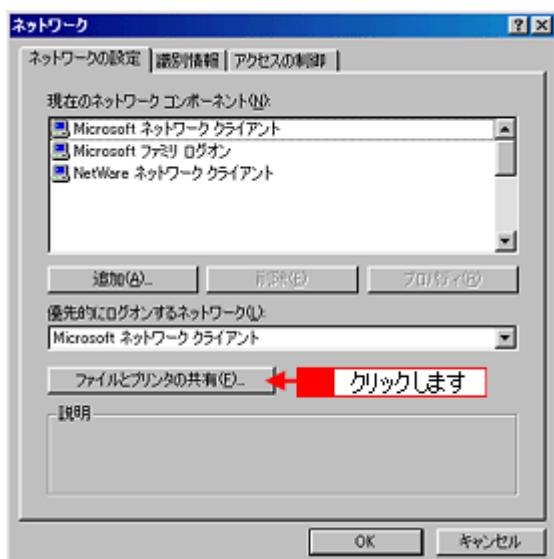
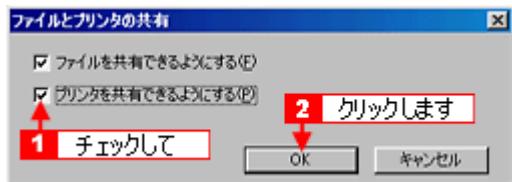
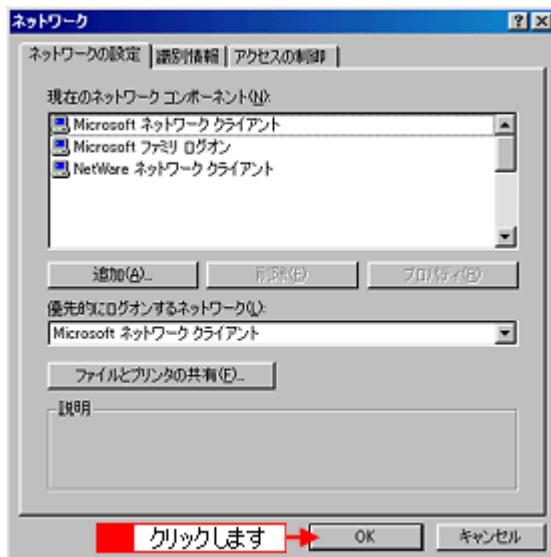
- 上図のようにインターフェイスカードやネットワークサーバを使用することなく、プリンタをネットワークで共有する接続形態を「ピアトゥピア接続」と呼びます。
- Windows 95/98/ Me で EPSON プリンタウィンドウ！3 を使用している場合、IPX/SPX 互換プロトコルが設定されていると、通信エラーが発生することがあります。IPX/SPX 互換プロトコルの設定を解除することで通信エラーの回避ができます。
- ここでの設定方法は、ネットワーク環境が構築されていること、プリントサーバとクライアントが同一ネットワーク管理下にあることが前提となります。
- ここでの説明は、Microsoft ネットワークの場合です。

ここでは、プリンタを共有させるためのプリントサーバと、共有プリンタを利用するクライアントそれぞれの設定方法をご説明します。ご利用の OS に合わせて、設定方法をお選びください。

「プリントサーバの設定（Windows 95/98/Me）」
「プリントサーバの設定（Windows NT4.0/2000）」
「クライアントの設定（Windows 95/98/Me）」
「クライアントの設定（Windows NT4.0）」
「クライアントの設定（Windows 2000）」

プリントサーバの設定（Windows 95/98/Me）

Windows 95/98/Me が稼動するプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。

2. ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

3. ［ファイルとプリンタの共有］ボタンをクリックします。

4. ［プリンタを共有できるようにする］にチェックを付けて、［OK］ボタンをクリックします。

5. ［OK］ボタンをクリックします。

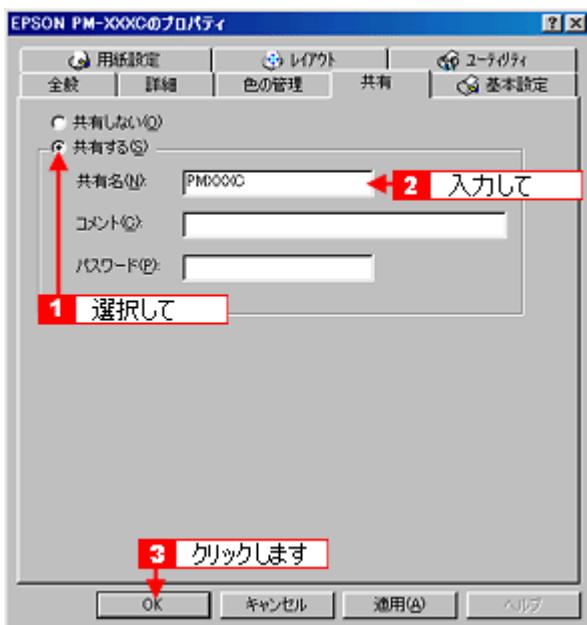
ポイント

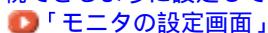
- ［ディスクの挿入］メッセージが表示された場合は、Windows 95/98/Me の CD-ROM をコンピュータにセットし、［OK］ボタンをクリックして、画面の指示に従ってください。
- 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後、手順 1 に従ってコントロールパネルを開いてから、手順 6 にお進みください。

6. コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

7. 本プリンタのアイコンを右クリックして、［共有］をクリックします。

8. ［共有する］を選択して、［共有名］を入力し、［OK］ボタンをクリックします。

必要に応じて、［コメント］と［パスワード］を入力します。

ポイント

- 共有名には、スペースやハイフン（－）を使用しないでください。エラーが発生するおそれがあります。
- クライアント側で EPSON プリンタウィンドウ！3 を使用する場合は、プリントサーバ側で、共有プリンタを監視できるように設定してください。
「モニタの設定画面」

これでプリンタを共有するためのプリントサーバ側の設定は完了です。
続いてクライアント側を設定してください。
「クライアントの設定（Windows 95/98/Me）」
「クライアントの設定（Windows NT4.0）」
「クライアントの設定（Windows 2000）」

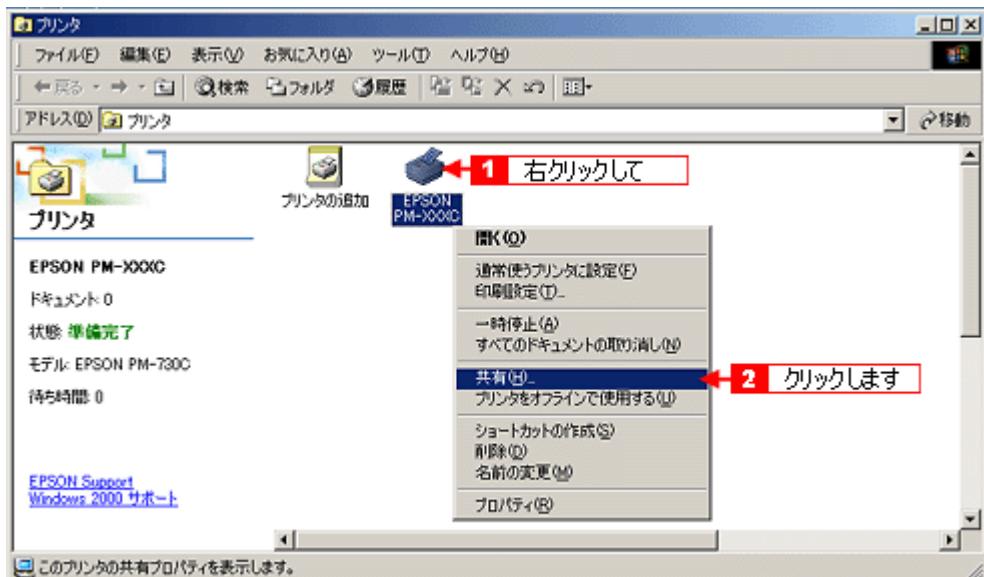
プリントサーバの設定（Windows NT4.0/2000）

Windows NT4.0/2000 が稼動するプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

ポイント

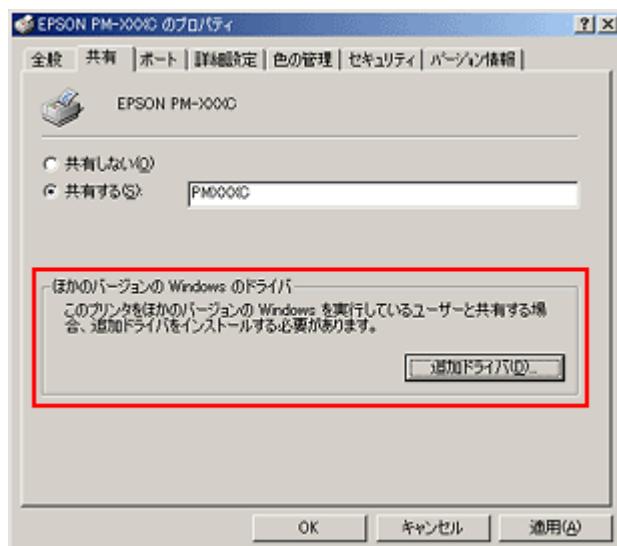
- 管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）で、Windows NT4.0/2000 にログオンする必要があります。
- 画面は Windows 2000 です。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

2. 本プリンタのアイコンを右クリックして、［共有］をクリックします。

3. ［共有する］を選択して、［共有名］を入力します。

共有名には、スペースやハイフン（－）を使用しないでください。エラーが発生するおそれがあります。

代替ドライバ（Windows NT4.0）/ 追加ドライバ（Windows 2000）について

プリンタをネットワークで共有する場合、プリンタドライバをプリントサーバ・クライアント両方にインストールする必要があります。
プリントサーバにはプリンタソフトウェア CD-ROM からインストールしますが、プリントサー OS とクライアント OS が同じ場合、クライアントはプリントサーバにインストールされているプリンタドライバを自動コピーでインストールすることができます。（プリンタソフトウェア CD-ROM は使用しません。）
しかし、プリントサーバ OS とクライアント OS が異なる場合は、自動コピーでインストールすることはできません。
代替 / 追加ドライバ機能は、プリントサーバ OS とクライアント OS が異なる場合でも自動コピーでインストールできるように、プリントサーバにクライアント OS 用のプリンタドライバをインストールしておく機能です。

代替 / 追加ドライバを機能がご利用できるプリントサーバ OS とクライアント OS の組み合わせは以下の通りです。

プリントサーバ OS	クライアント OS
Windows NT4.0 （ただし、Windows NT4.0 Service Pack5 以降が対象となります。）	Windows 95/98/Me
Windows 2000	Windows 95/98/Me/NT4.0

代替 / 追加ドライバをインストールする場合は、手順 4 を行わずに、手順 4 の次に記載されている説明「代替 / 追加ドライバのインストール方法」をご覧ください。

ポイント

- **クライアント側で EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する場合**
  プリンタサーバ側で、共有プリンタを監視できるように設定してください。
  「モニタの設定画面」
- **ネットワークプリンタに対するセキュリティの設定（クライアントのアクセス許可）**
  ネットワークプリンタに対するセキュリティの設定（クライアントのアクセス許可）を設定してください。印刷が許可されないクライアントは、プリンタを共有できません。詳しくは Windows のヘルプをご覧ください。

4. ［OK］ボタンをクリックします。

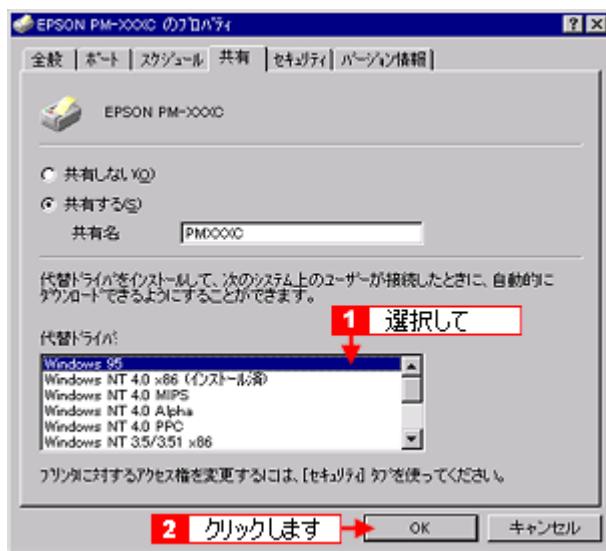
これでプリンタを共有するためのプリントサーバ側の設定は完了です。
続いて各クライアント側を設定してください。
「クライアントの設定（Windows 95/98/Me）」
「クライアントの設定（Windows NT4.0）」
「クライアントの設定（Windows 2000）」

代替 / 追加ドライバのインストール方法

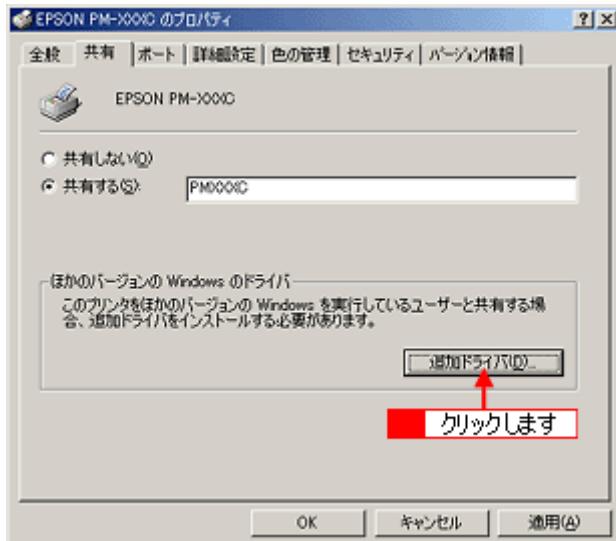
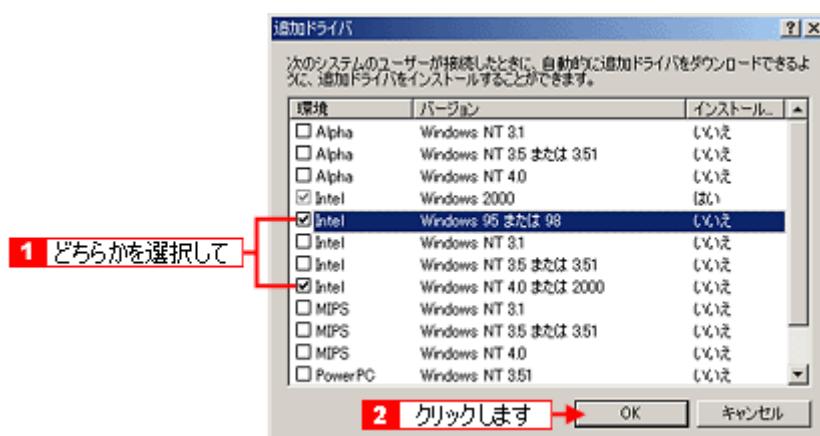
以下の説明は、上記の手順 3 の続きです。

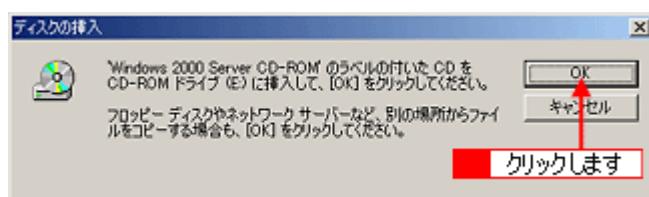
1. クライアント用にインストールする代替 / 追加ドライバを選択します。

Windows NT4.0 プリントサーバの場合

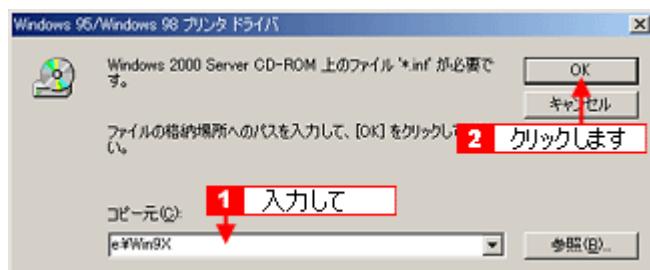
［Windows 95］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。
クライアント OS が Windows 98/Me の場合でも、［Windows 95］を選択してください。

［Windows 95］以外の代替ドライバは選択しないでください。

Windows 2000 プリントサーバの場合

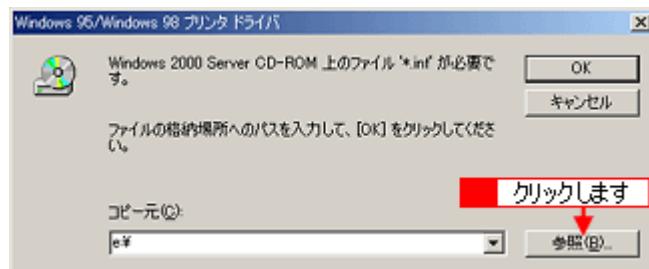
1. ［追加ドライバ］ボタンをクリックします。

2. Windows 95/98/Me クライアント用の追加ドライバをインストールする場合は、[Intel Windows 95 または 98] を選択して、[OK] ボタンをクリックします。
   Windows NT4.0 クライアント用の追加ドライバをインストールする場合は、［Intel Windows NT4.0 または 2000］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

ポイント

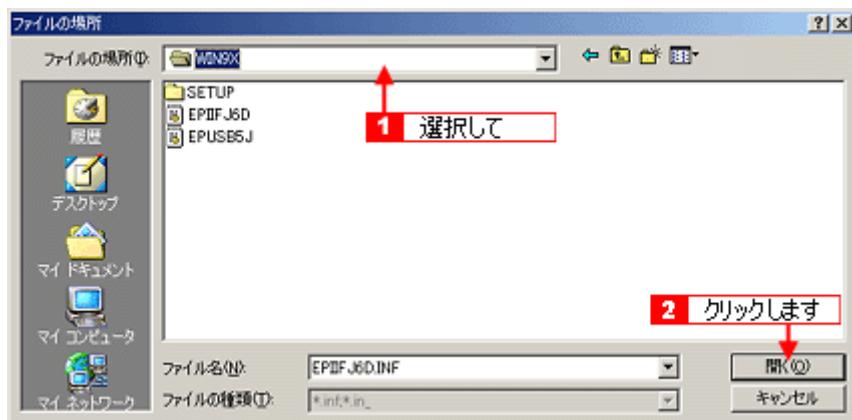
- ［Intel Windows 95 または 98］と［Intel Windows NT4.0 または 2000］以外の代替ドライバは選択しないでください。
- 以下のメッセージが表示されたら、プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットして、［OK］ボタンをクリックします。

画面の CD-ROM ドライブの記号は環境によって異なります。

2. メッセージに表示されたクライアント用のプリンタドライバが収録されているドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力して、［OK］ボタンをクリックします。

手順 1 で複数のクライアントを選択した場合は、手順 2 へ戻ります。

クライアントの OS	Windows 95/98/Me	Windows NT4.0
セット先ドライブ名	D ドライブ E ドライブ F ドライブ など	
入力例	d:¥Win9X e:¥Win9X f:¥Win9X	d:¥Winnt40 e:¥Winnt40 f:¥Winnt40

入力方法がわからない場合

以下の手順で指定することができます。

1. ［参照］ボタンをクリックします。

2. 上表の入力例に記載されているご利用の OS フォルダを、[ファイルの場所] から選択します。

Windows 2000 をご使用の場合

[デジタル署名が見つかりませんでした] というメッセージが表示されることがあります。この場合は [はい] をクリックして、そのままインストール作業を進めてください。本プリンタに添付のプリンタドライバであれば問題なくお使いいただけます。

3. **Windows 2000 の場合は、[閉じる] ボタンをクリックします。**

Windows NT4.0 の場合は、代替ドライバのインストールが終了すると、プロパティ画面は自動的に閉じます。

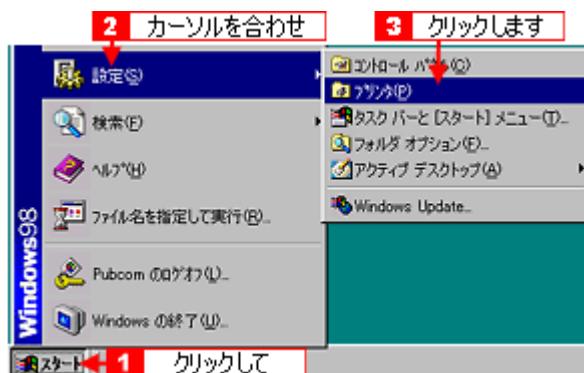
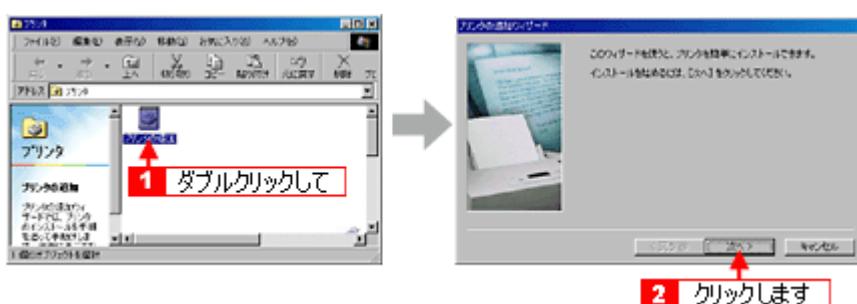
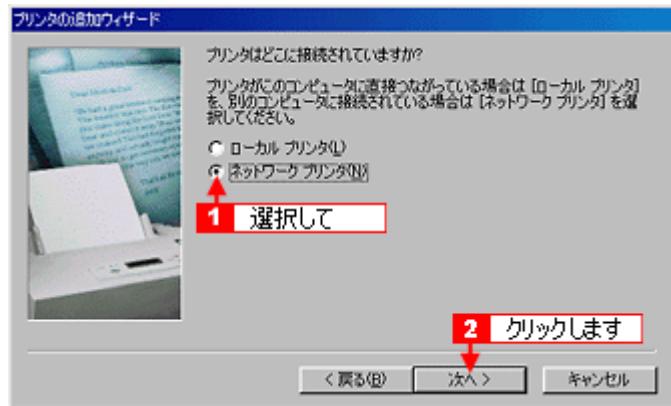
これでプリンタを共有するためのプリントサーバ側の設定は完了です。
続いて各クライアント側を設定してください。
「クライアントの設定（Windows 95/98/Me）」
「クライアントの設定（Windows NT4.0）」
「クライアントの設定（Windows 2000）」

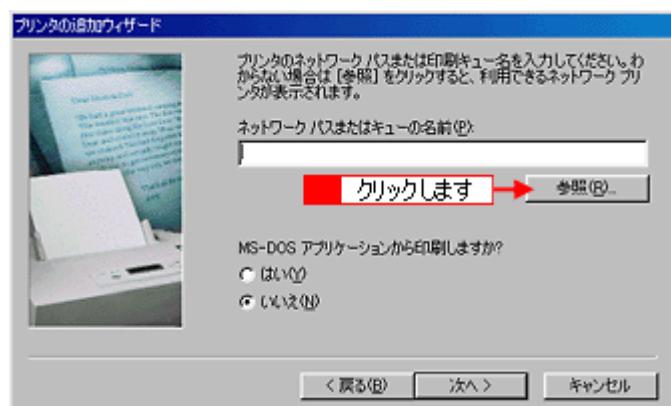
クライアントの設定（Windows 95/98/Me）

ここでは、ネットワーク環境が構築されている状態で、ネットワークプリンタに接続してプリンタドライバをインストールする方法をご説明します。

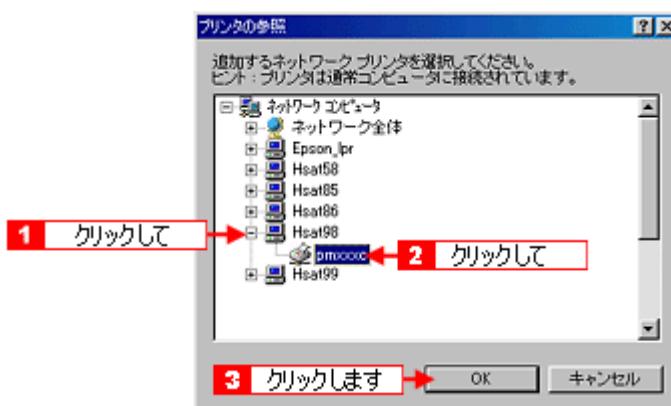
ポイント

- プリンタを共有する場合は、プリントサーバを設定する必要があります。以下のページを参照して、プリントサーバの設定をしてください。
  「プリントサーバの設定（Windows 95/98/Me）」
  「プリントサーバの設定（Windows NT4.0/2000）」
- ここではサーバを使用した環境での一般的な（Microsoft ワークグループ）接続方法について説明します。ご利用の環境によっては以下の手順で接続できない場合もあります。その場合はネットワーク管理者にご相談ください。
- ここでは［プリンタ］フォルダからネットワークプリンタに接続してプリンタドライバをインストールする方法をご説明します。Windows デスクトップ上の［ネットワークコンピュータ］や［マイネットワーク］から、共有プリンタに接続してプリンタドライバをインストールすることもできます。最初の接続方法が異なるだけで、基本的な設定方法はここまでの説明と同じです。

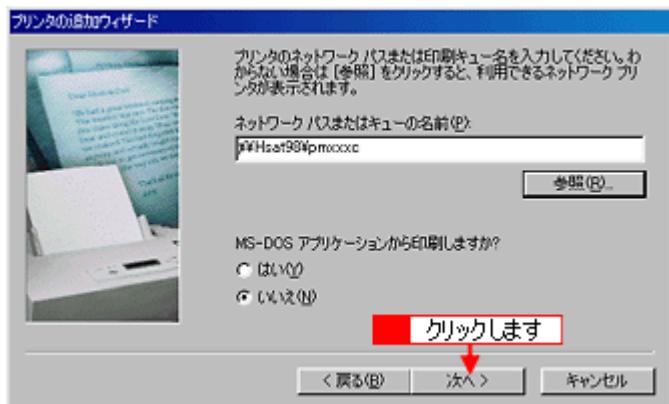
1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックして、［次へ］ボタンをクリックします。

3. ［ネットワークプリンタ］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

4. ［参照］ボタンをクリックします。

ご利用のネットワーク構成図が表示されます。

［ネットワークパスまたはキューの名前］の入力欄に、以下の書式で（半角文字）で直接入力することもできます。
￥￥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名￥共有プリンタ名

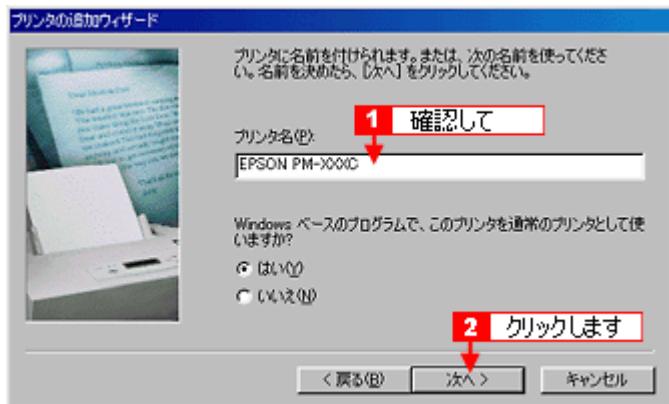
5. プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）の［+］をクリックし、共有プリンタの名前をクリックして、［OK］ボタンをクリックします。

画面のネットワーク構成は、ご利用の環境によって異なります。

ポイント

プリンタの名称は、プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）によって変更されている場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご相談ください。

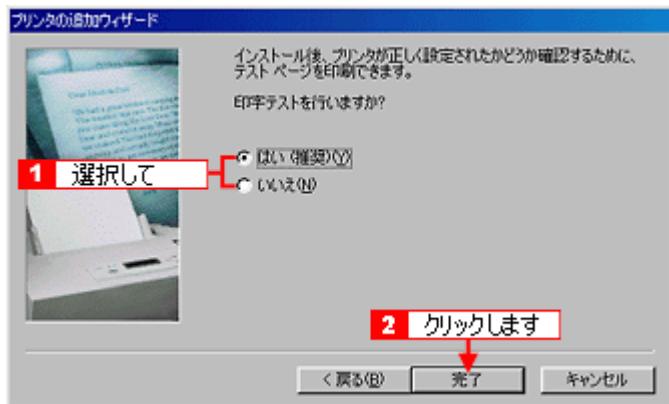
6. ［次へ］ボタンをクリックします。

ポイント

既にプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するかを選択する必要があります。選択を促す画面が表示されたら、メッセージに従って選択してください。

7. 接続する共有プリンタ名を確認して、［次へ］ボタンをクリックします。

ポイント

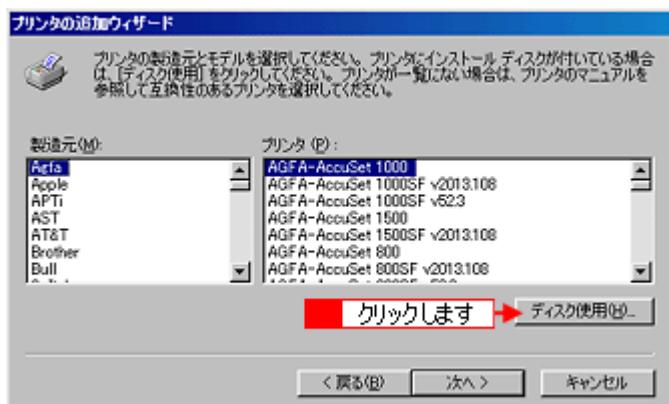
- プリンタ名を変更することができます。変更したプリンタ名は、クライアントコンピュータ上での名前となります。
- 手順 6 の次に上記画面が表示されない場合は、プリントサーバが Windows NT4.0/2000 で、代替 / 追加ドライバをインストールしていない場合です。その場合は、手順 9 の次に記載されている説明「プリンタソフトウェア CD-ROM を使ってインストール」をご覧ください。

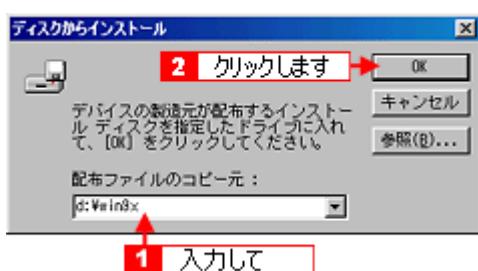
8. テストページを印刷するかどうかを選択して、［完了］ボタンをクリックします。

プリントサーバにインストールされているプリンタドライバが自動コピーでインストールされます。

9. **以下のページを参照して、EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールします。**

「EPSON プリンタウィンドウ !3 のインストール方法」

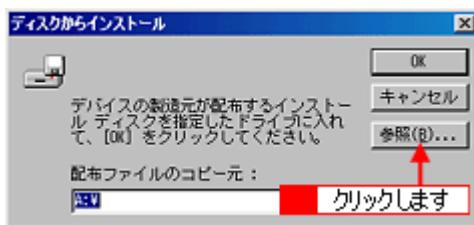
プリンタソフトウェア CD-ROM を使ってインストール

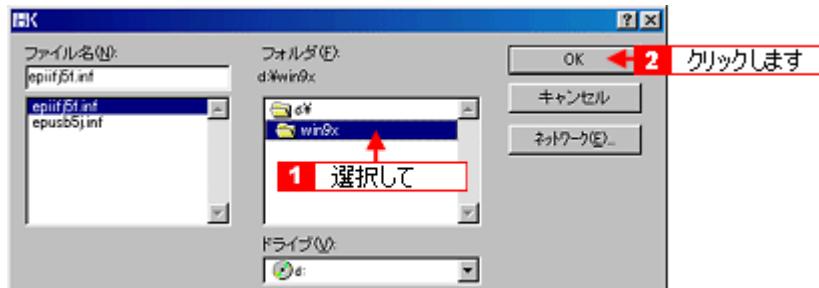
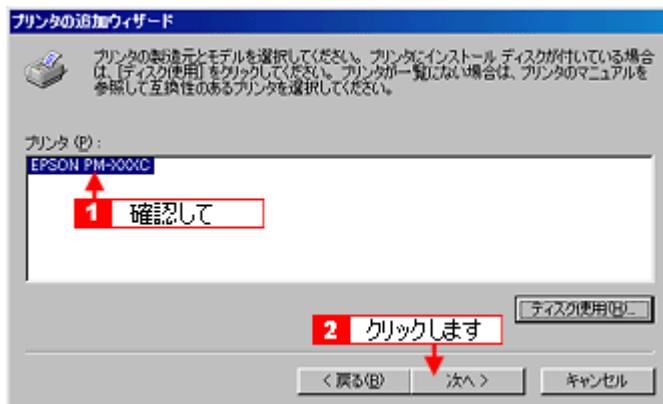
1. **手順 6 の後に以下の画面が表示されたら、［ディスク使用］ボタンをクリックします。**

2. **プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

3. **プリンタドライバが収録されているドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力して、［OK］ボタンをクリックします。**

セット先ドライブ名	入力例

Dドライブ Eドライブ Fドライブ など	d:¥Win9X e:¥Win9X f:¥Win9X など

入力方法がわからない場合

以下の手順で指定することができます。

1. ［参照］ボタンをクリックします。

2. ［ドライブ］または、［ファイルの場所］から［CD-ROM］のアイコンを選択して、上表の入力例に記載されているご利用のOS フォルダを選択します。

4. **プリンタ名を確認して、［次へ］ボタンをクリックします。**

5. **この後は、画面の指示に従ってください。**

6. **プリンタドライバのインストールが終了したら、以下のページを参照して、EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールします。**

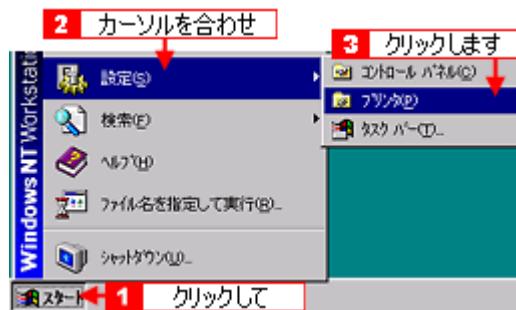
「EPSON プリンタウィンドウ !3 のインストール方法」

クライアントの設定（Windows NT4.0）

ここでは、ネットワーク環境が構築されている状態で、ネットワークプリンタに接続してプリンタドライバをインストールする方法をご説明します。

ポイント

- プリンタを共有する場合は、プリントサーバを設定する必要があります。以下のページを参照して、プリントサーバの設定をしてください。
  「プリントサーバの設定（Windows 95/98/Me）」
  「プリントサーバの設定（Windows NT4.0/2000）」
- ここでは、サーバを使用した環境での一般的な（Microsoft ネットワーク）接続方法について説明します。ご利用の環境によっては以下の手順で接続できない場合もあります。その場合はネットワーク管理者にご相談ください。
- ここでは［プリンタ］フォルダからネットワークプリンタに接続してプリンタドライバをインストールする方法をご説明します。Windows デスクトップ上の［ネットワークコンピュータ］や［マイネットワーク］から、共有プリンタに接続してプリンタドライバをインストールすることもできます。最初の接続方法が異なるだけで、基本的な設定方法はここでの説明と同じです。
- 管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）で、Windows NT4.0 にログオンする必要があります。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

3. ［ネットワークプリンタサーバー］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

4. **プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、共有プリンタの名前をクリックして、[OK] ボタンをクリックします。**

画面のネットワーク構成は、ご利用の環境によって異なります。

ポイント

- プリンタの名称は、プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）によって変更されている場合があります。ご利用のネットワーク管理者にご相談ください。
- 既にプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するかを選択する必要があります。選択を促す画面が表示されたら、メッセージに従って選択してください。

5. **通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**

ポイント

手順 4 の次に上記画面が表示されない場合は、プリントサーバが Windows 95/98/Me の場合か、プリントサーバが Windows 2000 で追加ドライバをインストールしていない場合です。その場合は、手順 7 の次に記載されている説明「プリンタソフトウェア CD-ROM を使ってインストール」をご覧ください。

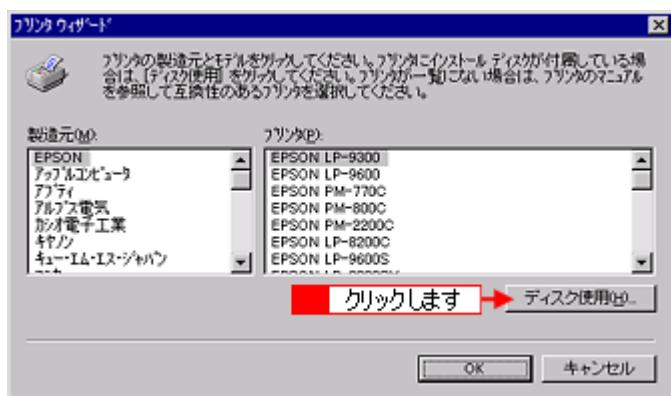
6. ［完了］ボタンをクリックします。

7. 以下のページを参照して、EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールします。

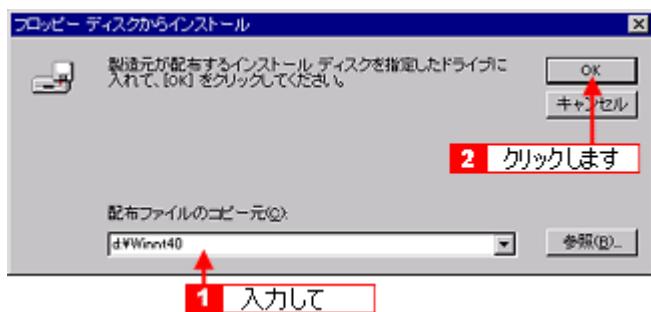
「EPSON プリンタウィンドウ !3 のインストール方法」

プリンタソフトウェア CD-ROM を使ってインストール

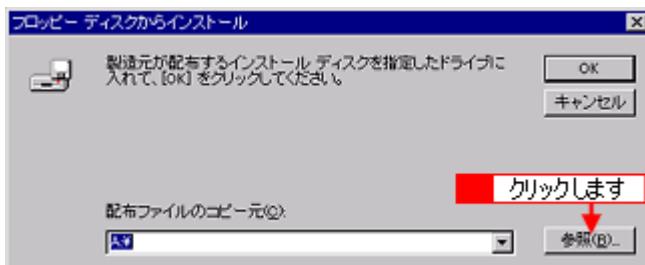
プリントサーバが Windows 95/98/Me の場合か、プリントサーバが Windows 2000 で追加ドライバをインストールしていない場合は、ネットワークプリンタに接続してから、以下の手順を続けてください。

1. 手順 4 の後に以下の画面が表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

2. ［ディスク使用］ボタンをクリックします。

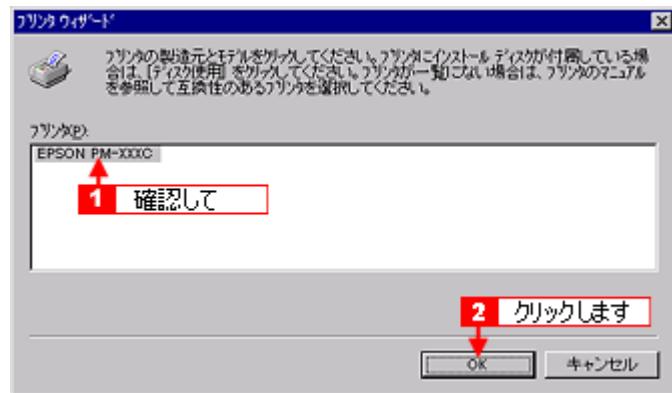
3. プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

4. プリンタドライバが収録されているドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力して、[OK] ボタンをクリックします。

セット先ドライブ名	入力例
D ドライブ E ドライブ F ドライブ など	d:¥Winnt40 e:¥Winnt40 f:¥Winnt40 など

入力方法がわからない場合

以下の手順で指定することができます。

1. ［参照］ボタンをクリックします。

2. ［ドライブ］または［ファイルの場所］から［CD-ROM］のアイコンを選択して、上表の入力例に記載されているご利用の OS フォルダを選択します。

5. プリンタ名を確認して、［次へ］ボタンをクリックします。

6. この後は、画面の指示に従ってください。

7. プリンタドライバのインストールが終了したら、以下のページを参照して、EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールします。

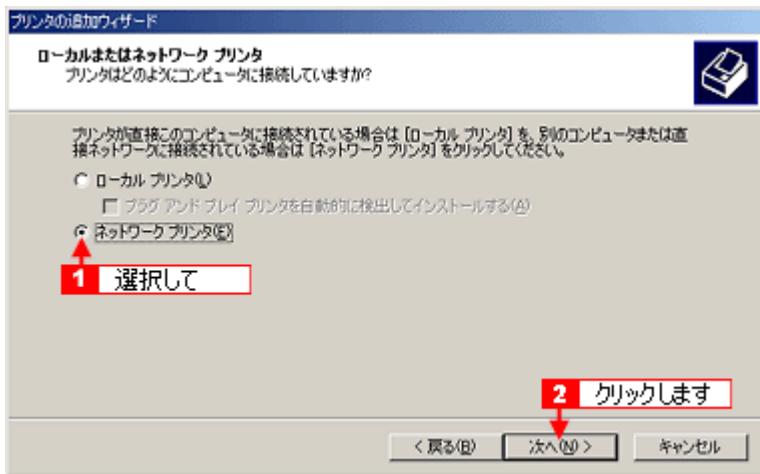
「EPSON プリンタウィンドウ !3 のインストール方法」

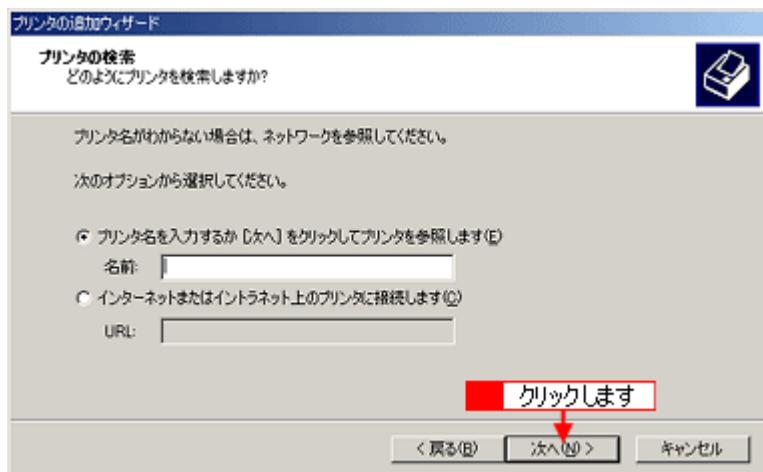
クライアントの設定（Windows 2000）

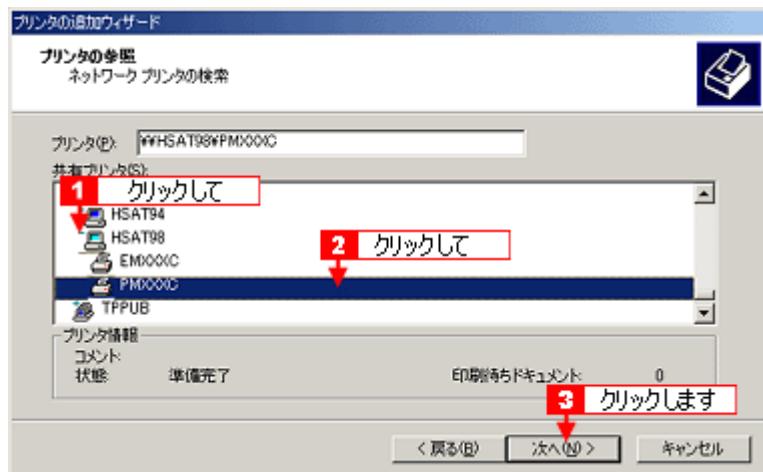
ここでは、ネットワーク環境が構築されている状態で、ネットワークプリンタに接続してプリンタドライバをインストールする方法をご説明します。

ポイント

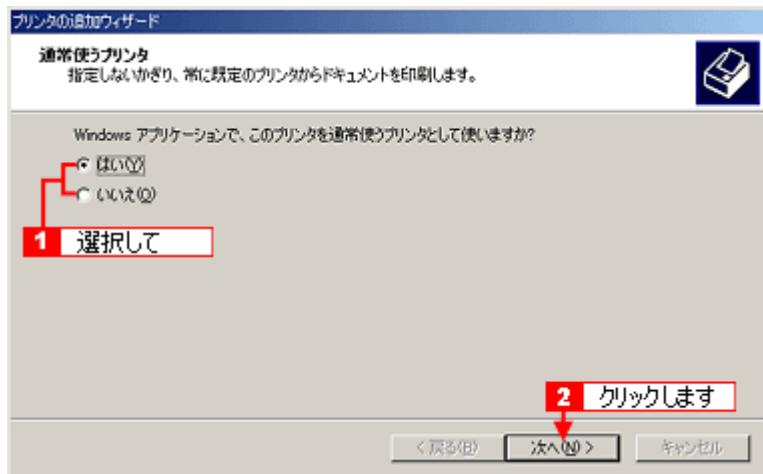
- プリンタを共有する場合は、プリントサーバを設定する必要があります。以下のページを参照して、プリントサーバの設定をしてください。
  「プリントサーバの設定（Windows 95/98/Me）」
  「プリントサーバの設定（Windows NT4.0/2000）」
- ここではサーバを使用した環境での一般的な（Microsoft ネットワーク）接続方法についてご説明します。ご利用の環境によっては以下の手順で接続できない場合もあります。その場合はネットワーク管理者にご相談ください。
- ここでは［プリンタ］フォルダからネットワークプリンタに接続してプリンタドライバをインストールする方法をご説明します。Windows デスクトップ上の［ネットワークコンピュータ］や［マイネットワーク］から、共有プリンタに接続してプリンタドライバをインストールすることもできます。最初の接続方法が異なるだけで、基本的な設定方法はここでの説明と同じです。
- 管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）で、Windows 2000 にログオンする必要があります。
- プリントサーバーが Windows NT4.0 の場合は、以下ページをご覧ください
  「プリントサーバが Windows NT4.0 の場合のクライアント（Windows 2000）の設定」

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。
2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックして、［次へ］ボタンをクリックします。
3. ［ネットワークプリンタ］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

4. 共有プリンタ名を入力するか、［次へ］ボタンをクリックします。

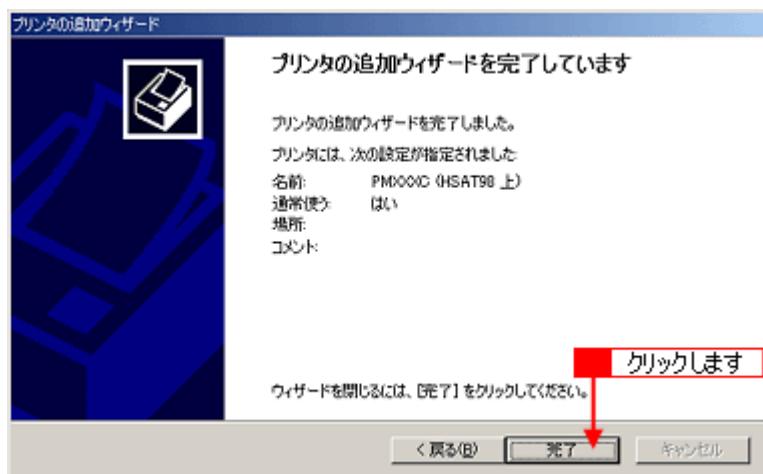
   共有プリンタ名がわかっている場合は直接ボックスに入力できますが、ここでの説明は、共有プリンタ名がわからないことを前提に［次へ］ボタンをクリックして手順を進めます。

5. **共有プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、共有プリンタの名前をクリックして、［次へ］ボタンをクリックします。**

画面のネットワーク構成は、ご利用の環境によって異なります。

ポイント

- プリンタの名称は、プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）によって変更されている場合があります。ご利用のネットワーク管理者にご相談ください。
- 既にプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するかを選択する必要があります。選択を促す画面が表示されたら、メッセージに従って選択してください。

6. **通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**

ポイント

手順 5 の次に上記画面が表示されない場合は、プリントサーバが Windows 95/98/Me の場合です。その場合は、手順 8 の次に記載されている説明「プリンタソフトウェア CD-ROM を使ってインストール」をご覧ください。

7. **設定の内容を確認して、[完了] ボタンをクリックします。**

8. **以下のページを参照して、EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールします。**

「EPSON プリンタウィンドウ !3 のインストール方法」

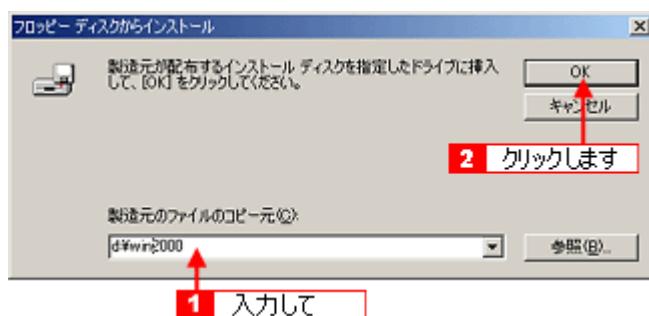
プリンタソフトウェア CD-ROM を使ってインストール

プリントサーバが Windows 95/98/Me の場合は、ネットワークプリンタに接続してから、以下の手順を続けてください。

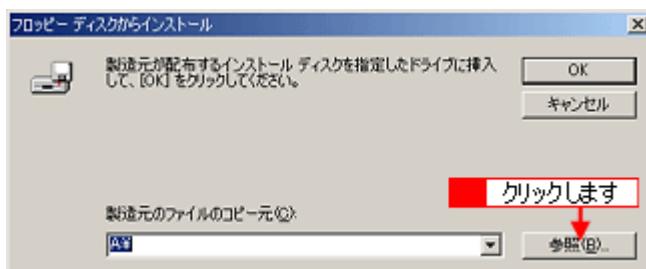
1. **手順 5 の後に以下の画面が表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。**

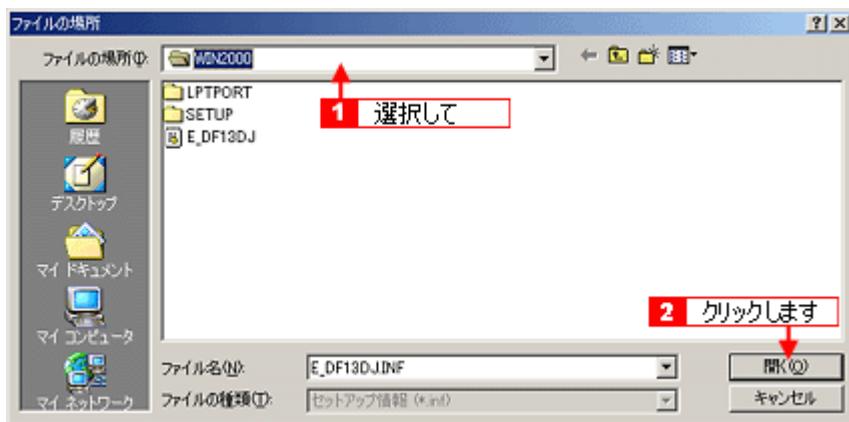
2. ［ディスク使用］ボタンをクリックします。

3. プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

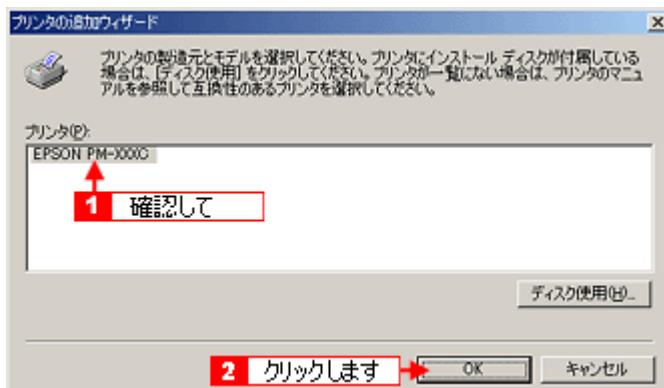
4. プリンタドライバが収録されているドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力して、［OK］ボタンをクリックします。

セット先ドライブ名	入力例
D ドライブ E ドライブ F ドライブ など	d:¥Win2000 e:¥Win2000 f:¥Win2000 など

入力方法がわからない場合

以下の手順で指定することができます。

1. ［参照］ボタンをクリックします。

2. ［ドライブ］または［ファイルの場所］から［CD-ROM］のアイコンを選択して、上表の入力例に記載されているご利用の OS フォルダを選択します。

［デジタル署名が見つかりませんでした］というメッセージが表示された場合

この場合は［はい］をクリックして、そのままインストール作業を進めてください。本プリンタに添付のプリンタドライバであれば問題なくお使いいただけます。

5. プリンタ名を確認して、［OK］ボタンをクリックします。

6. この後は、画面の指示に従ってください。

7. プリンタドライバのインストールが終了したら、以下のページを参照して、EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールします。

「EPSON プリンタウィンドウ !3 のインストール方法」

プリントサーバが Windows NT4.0 の場合のクライアント（Windows 2000）の設定

ここでは、プリントサーバが Windows NT4.0 の場合のクライアント（Windows 2000）の設定方法をご説明します。

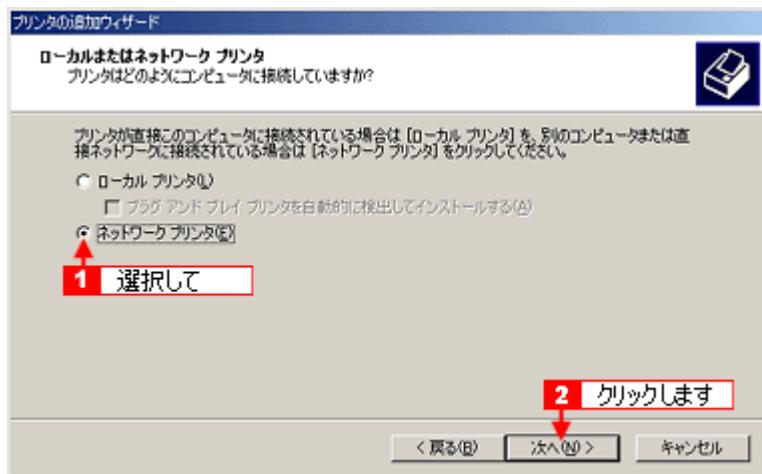
ポイント

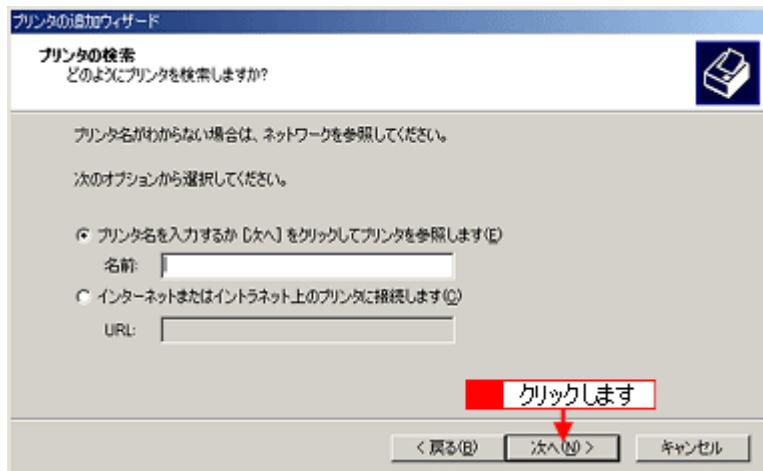
- ここではサーバを使用した環境での一般的な（Microsoft ネットワーク）接続方法についてご説明します。ご利用の環境によっては以下の手順で接続できない場合もあります。その場合はネットワーク管理者にご相談ください。
- ここでは［プリンタ］フォルダからネットワークプリンタに接続してプリンタドライバをインストールする方法をご説明します。Windows デスクトップ上の［ネットワークコンピュータ］や［マイネットワーク］から、共有プリンタに接続してプリンタドライバをインストールすることもできます。最初の接続方法が異なるだけで、基本的な設定方法はここでの説明と同じです。
- 管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）で、Windows 2000 にログオンする必要があります。

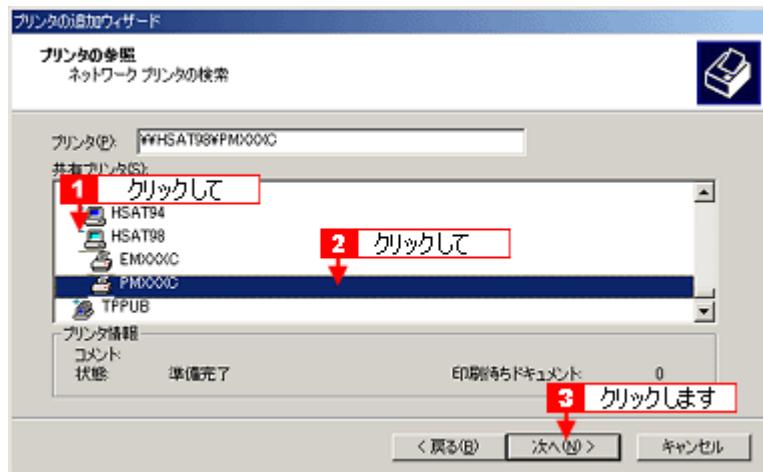
1. 「スタートアップガイド」の手順に従って、本プリンタのプリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールします。

ポイント

インストールの際、プリンタの電源を入れるように指示する画面では、［検索中止］をクリックしてインストールを完了してください。実際にプリンタの電源を入れる必要はありません。

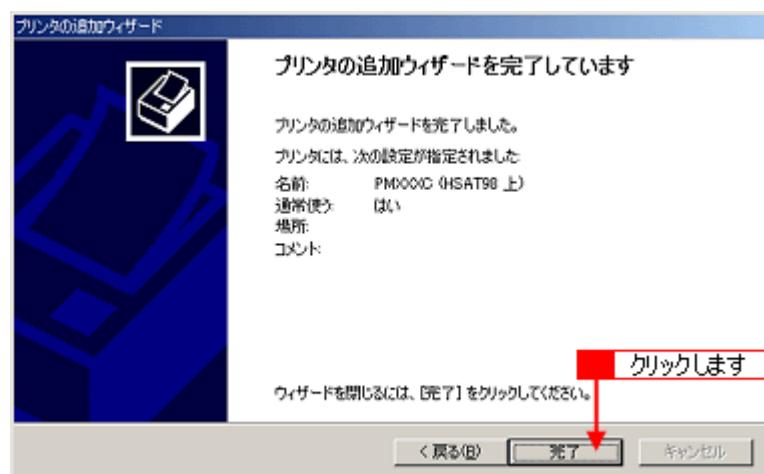
2. Windows の［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。
3. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックして［次へ］ボタンをクリックします。
4. ［ネットワークプリンタ］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

5. 共有プリンタ名を入力するか、［次へ］ボタンをクリックします。

   共有プリンタ名がわかっている場合は直接ボックスに入力できますが、ここでの説明は、共有プリンタ名がわからないことを前提に［次へ］ボタンをクリックして手順を進めます。

6. **共有プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、共有プリンタの名前をクリックして、［次へ］ボタンをクリックします。**

画面のネットワーク構成は、ご利用の環境によって異なります。

ポイント

- **プリンタの名称は、プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）によって変更されている場合があります。ご利用のネットワーク管理者にご相談ください。**
- **既にプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するかを選択する必要があります。選択を促す画面が表示されたら、メッセージに従って選択してください。**

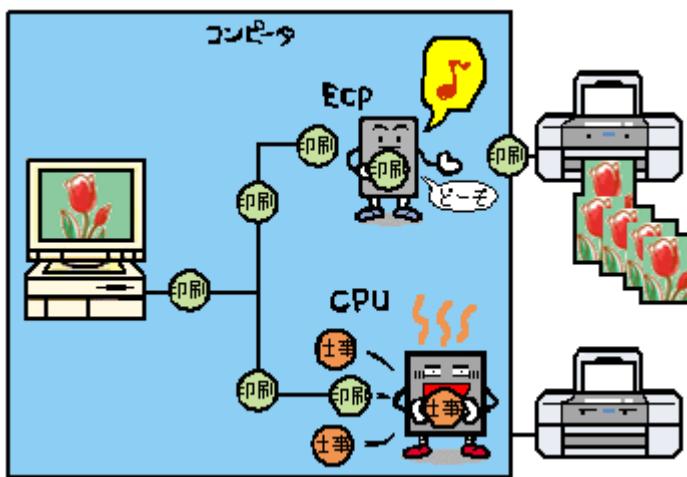
7. **通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**

8. **設定の内容を確認して、［完了］ボタンをクリックします。**

以上で、クライアントの設定は終了です。

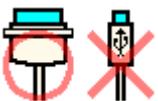
印刷を高速化する方法

プリンタをパラレルインターフェイスケーブルで接続している場合（Windows 2000 を除く）は、データの転送方法に「DMA（ディーエムエー）転送」を使用することで、印刷を高速化することができます。

DMA 転送とは

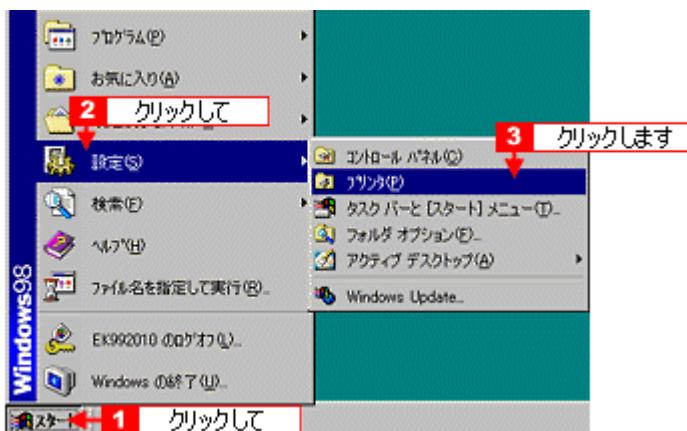
通常、印刷データは、コンピュータの頭脳である CPU（Central Processing Unit）を通してプリンタへ送られます。しかし、CPU は同時いくつもの処理をこなしているため、この方法では CPU に負担がかかり効率的にプリンタへデータを送ることはできません。コンピュータに ECP コントローラチップを搭載した機種の場合は、印刷データの流れの設定を変更することで、CPU を介することなく印刷データをプリンタへ直接送ることができます。これによって、処理工程が減り、効率的にプリンタへ印刷データが送られるため、結果として印刷速度が向上することになります。このようなデータ転送の形式を、DMA（Direct Memory Access）転送と呼びます。

DMA 転送を設定する前に

プリンタドライバで DMA 転送を行う前に以下の項目の確認、設定が必要です。

1		ご利用のコンピュータは DOS/V 機で ECP コントローラチップが搭載されていますか？ ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照していただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。
2		ご利用のコンピュータで DMA 転送が可能ですか？ ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照していただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。
3		BIOS セットアップでパラレルポートの設定が「ECP」または「ENHANCED」になっていますか？ ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照していただき BIOS の設定をしてください。BIOS 設定は、本機のプリンタドライバを一度削除（アンインストール）してから行ってください。設定後、再度プリンタドライバをインストールしてください。 ※「ECP」、「ENHANCED」以外の表記の場合もあります。

4		パラレルケーブルでプリンタとコンピュータを接続していますか？ USB インターフェイスケーブルでは、DMA 転送機能はご利用いただけません。

Windows 95/98/Me での設定方法

Windows 95/98/Me をご利用の方は、以下の手順に従って DMA 転送の設定をしてください。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

2. 本プリンタのアイコンを右クリックし、メニューの［プロパティ］をクリックします。

3. ［ユーティリティ］タブをクリックし、［環境設定］ボタンをクリックします。

4. **ご利用のコンピュータ上で DMA が設定されているかどうか設定状況を確認します。**

「DMA 転送の設定を行うとより高速な出力が可能になります。」と表示されている場合のみ手順 5 に進みます。何も表示されない場合は、現在の状態で DMA 転送はご利用いただけません。

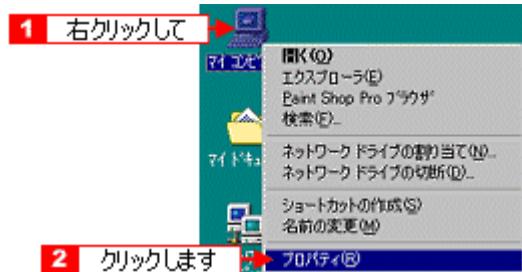
画面上の表示	対処方法
DMA 転送で印字します。	すでに DMA 転送が設定されています。[OK] ボタンをクリックして設定を終了してください。
DMA 転送の設定を行うとより高速な出力が可能になります。	手順 5 に進みます。
何も表示されない場合	DMA 転送はできません。

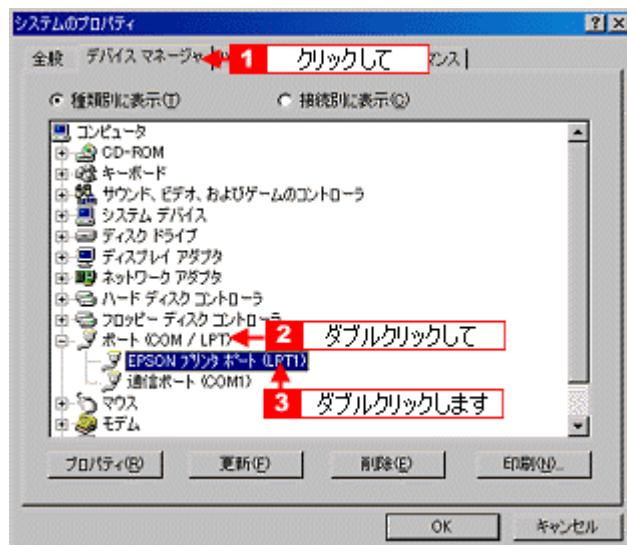
ポイント

- 上記ステップで何も表示されない場合、コンピュータの BIOS 設定でパラレルポートを「ECP」または「ENHANCED」に設定すると、「DMA 転送」による印字が可能になる場合があります。各コンピュータメーカーに DMA 転送が可能かどうかお問い合わせの上、BIOS のパラレルポート設定を行ってください。

- BIOS のパラレルポート設定を行う場合は、本プリンタのプリンタドライバを削除してから設定し、再度プリンタドライバをインストールしてください。
  「プリンタドライバの削除方法」

5. **ご利用のコンピュータ上で DMA が設定されているかどうか設定状況を確認します。**

   画面左上の［マイコンピュータ］を右クリックして［プロパティ］をクリックします。

6. **［デバイスマネージャ］タブをクリックしてから、［ポート（COM&LPT）］アイコンをダブルクリックして、本プリンタが接続されているポートをダブルクリックします。**

   プリンタの接続先を変更していない場合は、［LPT1］を選択します。

7. **［リソース］タブをクリックし、［自動設定を使う］のチェックボックスをクリックしてチェックを外します。**

   自動設定時に設定されている I/O ポートアドレス（I/O の範囲）が、次のステップで必要になります。メモ用紙などに控えておいてください。画面は Windows 98 のものを使用しています。

8. 「基にする設定」（Windows 98/Me）または「設定の登録名」（Windows 95）のリストボックスの中から、自動設定時に設定されていた I/O ポートアドレス（I/O の範囲）が変更されずに「DMA」「IRQ」（割込み要求）の設定が表示される基本設定を探します。

9. ［OK］ボタンをクリックします。

これで、データの転送方法が「DMA 転送」に変更されました。

- BIOS の設定を変更した場合は、プリンタドライバを削除した後、再度インストールしてください。
- 一部のコンピュータでは、上記の設定をしたにもかかわらず、DMA 転送がご利用になれない場合があります。この場合は、お使いのコンピュータのメーカーに DMA 転送が可能かどうかお問い合わせください。

Windows NT4.0 での設定方法

Windows NT4.0 をご利用の場合は、BIOS のパラレルポートの設定を「ECP」モードに設定した上で、本プリンタのプリンタドライバをインストールすることにより DMA 転送をご利用いただくことができます。本プリンタのプリンタドライバをインストールすると、自動的に DMA 転送が設定されます。DMA 転送を使用しない場合は、以下の手順に従ってください。

ポイント

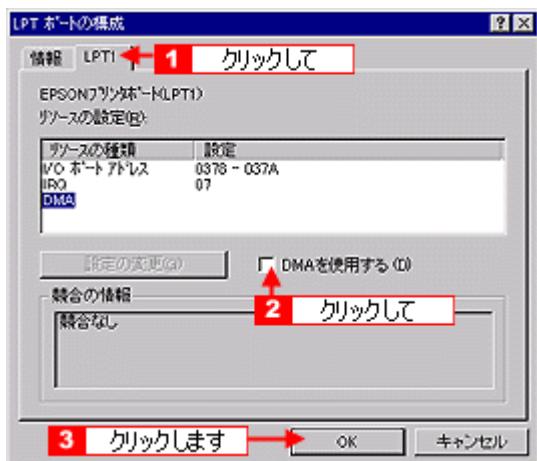
- BIOS の設定方法については、ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照してください。
- お使いのコンピュータに ECP コントローラチップが搭載されているかどうか、また、DMA 転送が可能かどうかはご利用のコンピュータメーカーにお問い合わせください。
- PC-9800/9821 シリーズのコンピュータは、ご利用になれません。

1. **Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。**

2. **本プリンタのアイコンを右クリックし、メニューの［プロパティ］をクリックします。**

3. **「ポート」タブをクリックし、［ポートの構成］ボタンをクリックします。**

4. **［LPT1］タブをクリックします。**

   ［DMA を使用する］のチェックボックスをクリックしてチェックを外すと、DMA 転送を行いません。

ポイント

拡張スロットに LPT **が装着されている場合のみ、**LPT2,LPT3 **が表示されます。**LPT2,LPT3 **の構成情報には、拡張ボードで設定されている** I/O **アドレスが表示されます。**IRQ,DMA **は、拡張ボードの設定を手動で設定する必要があります。**
設定方法は、［リソースの設定］の［IRQ**］［**DMA**］をダブルクリックするか、［**IRQ**］［**DMA**］をクリックして、設定の変更ボタンをクリックして設定してください。**

USB とパラレル接続ケーブルを変更するときの注意

Windows 98/Me/2000 の場合、USB インターフェイスケーブルとパラレルインターフェイスケーブルどちらを接続しても本プリンタをご利用いただくことができます。ただし、それぞれのケーブルでは必要なドライバや接続先の指定が異なりますので以下の手順に従ってケーブルを交換してください。

USB ケーブルをパラレルケーブルに変える場合

ポイント

プリンタの接続先（ポート）を［EPUSBx:］から［LPTx:］に変更するだけでもパラレルケーブル接続で印刷することはできますが、より良い環境で印刷していただくために以下の方法に従ってください。

1. **プリンタの電源をオフにします。**
2. **プリンタドライバ、EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除します。**

   削除の方法は、以下のページを参照してください。
   「プリンタドライバの削除方法」
3. **Windows を終了させ、コンピュータの電源をオフにします。**
4. **USB ケーブルを取り外し、パラレルケーブルを接続します。**

   接続の方法は「スタートアップガイド」を参照してください。
5. **プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 を再度インストールします。「スタートアップガイド」を参照してインストールを実行してください。**

   これで、パラレルケーブルから印刷できるようになりました。再び、USB ケーブルへ戻す場合は、ケーブルを接続しなおしてプリンタの接続先を「LPTx:」から「EPUSBx:」に変更します。Windows 2000 の場合は、「LPTx:」から「USBxxx:」に変更します。

プリンタの接続先の変更方法

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。
2. 本プリンタのアイコンを右クリックして、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。
3. Winsdows 98/Me の場合は、［詳細］タブをクリックし、［印刷先のポート］で「LPTx:」から「EPUSBx:」に変更します。
   Windows 2000 の場合は、［ポート］タブをクリックし、［印刷するポート］の中から［USBxxx:］を選択します。

パラレルケーブルを USB ケーブルに変える場合

ご利用のコンピュータは USB 接続の動作を保証されたコンピュータですか？
USB 接続をする前にシステム条件の確認をしてください。
Windows 環境で本プリンタを USB 接続するためには、以下の条件をすべて満たしている必要があります。

- USB に対応していて、コンピュータメーカーにより USB ポートの動作が保証されているコンピュータ。
- Windows 98/Me/2000 のいずれかがプレインストールされているコンピュータ（購入時、すでにインストールされているコンピュータ）、または Windows 98 がプレインストールされていて Windows Me/2000 にアップグレードしたコンピュータ。

1. **プリンタの電源をオフにします。**

2. **プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除します。**

   削除の方法は、以下のページを参照してください。
   「プリンタドライバの削除方法」

3. **コンピュータの電源をオフにします。**

4. **パラレルケーブルを取り外します。**

5. **USB ケーブルを接続します。**

   プリンタとコンピュータそれぞれにしっかりと接続してください。接続の方法については、「スタートアップガイド」を参照してください。

6. **この後は、「スタートアップガイド」の手順に従って、プリンタドライバなどをインストールします。**

   Windows 98/Me で USB 接続をご利用の場合は、プリンタドライバ、EPSON プリンタウィンドウ !3 のほかに、EPSON USB プリンタデバイスドライバもインストールします。

ポイント

インストールは、必ず「スタートアップガイド」の手順に従ってください。

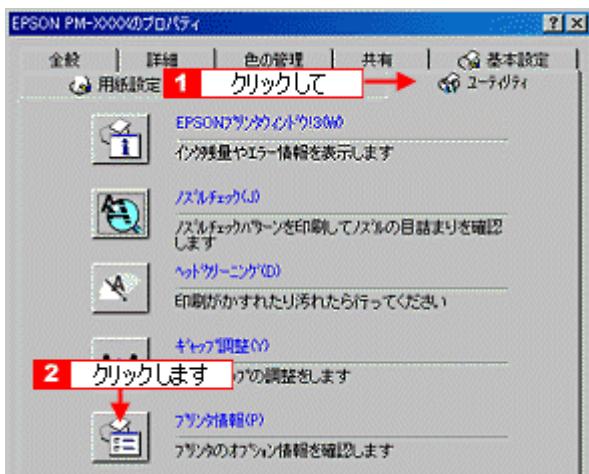
色の再現性を向上するプリンタ情報の取得

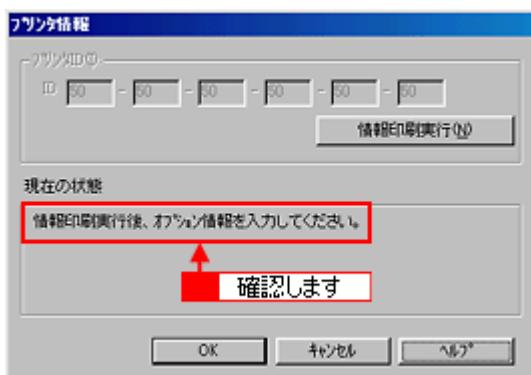
色の再現性を向上させるためにプリンタ ID 情報を取得します。

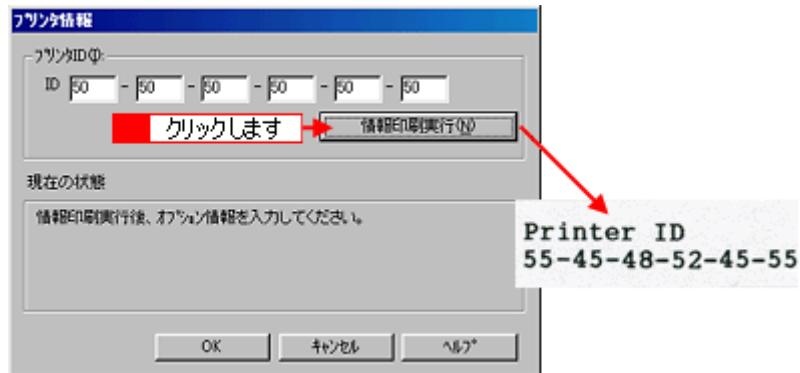
ポイント

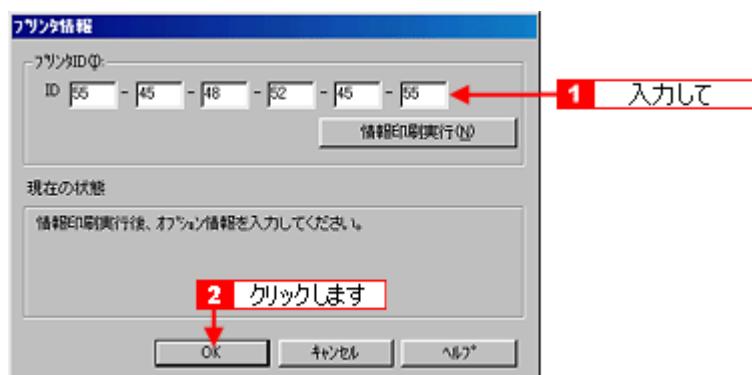
プリンタ ID 情報は、EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしている場合、自動的に取得されます。この場合、以下で説明している設定は不要です。

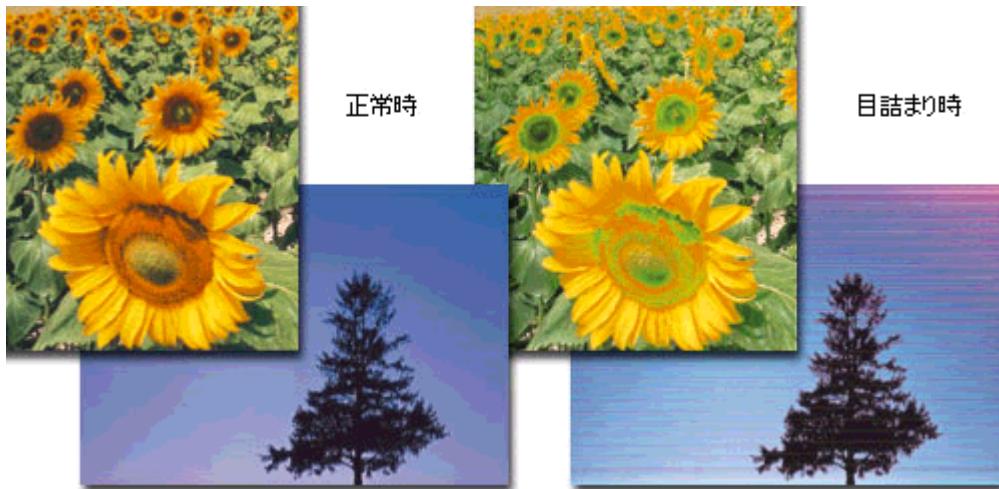
1. **プリンタの電源をオンにします。**

2. **プリンタドライバの［ユーティリティ］タブをクリックして［ユーティリティ］画面を開き、［プリンタ情報］ボタンをクリックします。**

3. **現在の状態を確認します。**

	画面上の表示	対処
表示例 1	情報印刷実行後、オプション情報を入力してください。	手順４に進みます。
表示例 2	オプション情報は既に設定されています。入力の必要はありません。	［OK］ボタンをクリックして設定を終了します。

4. **プリンタに A4 サイズの普通紙をセットして、［情報印刷実行］ボタンをクリックします。**

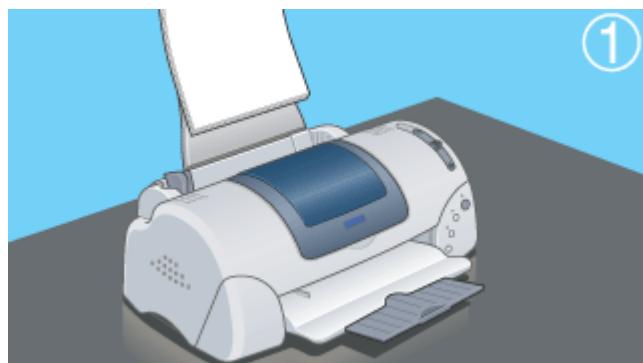
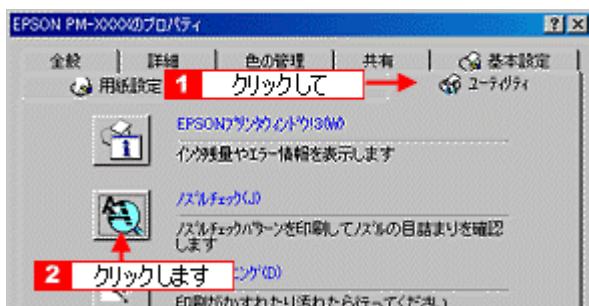
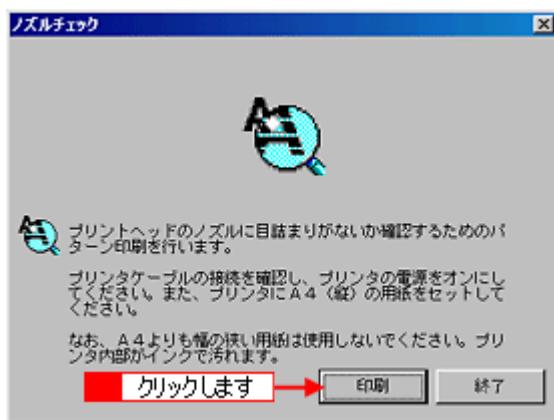
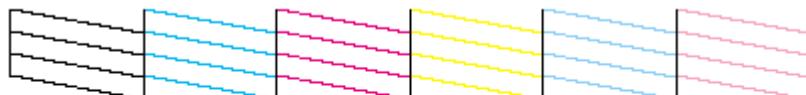
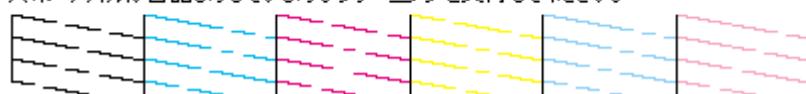
プリンタ ID が印刷されます。

5. **印刷されたプリンタ ID を半角文字で入力し、[OK］ボタンをクリックします。**

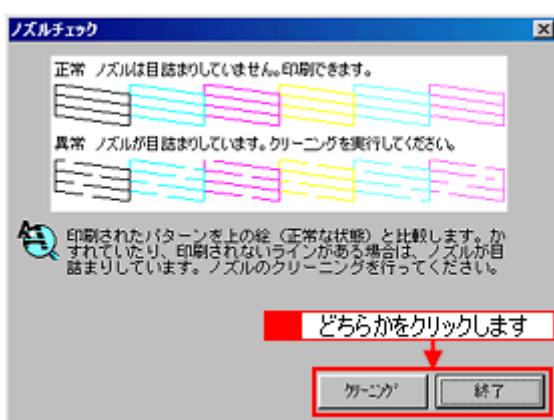
   これで、プリンタ ID 情報が設定できました。

ノズルチェック

ノズルチェックとは、プリントヘッドのノズルが目詰まりしていないかを確認するためのパターンを印刷する機能です。ノズルチェックパターンの印刷がかすれたり、すき間があいている場合はノズルが目詰まりしていますので、ヘッドクリーニングを実行してノズルの目詰まりを除去してください。

ノズルチェックは、用紙 / インクランプの点滅・点灯中は実行できません。まず、エラーを解除してください。

「ランプのエラー表示一覧」

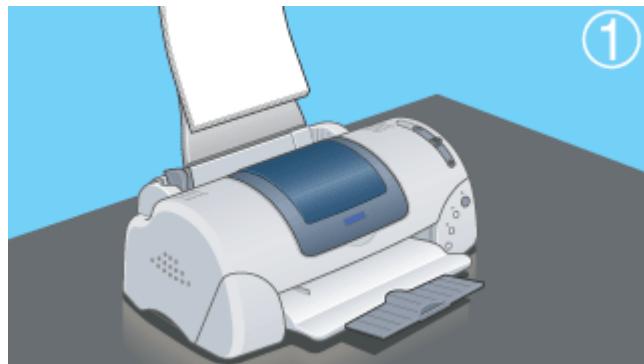
コンピュータからの実行方法

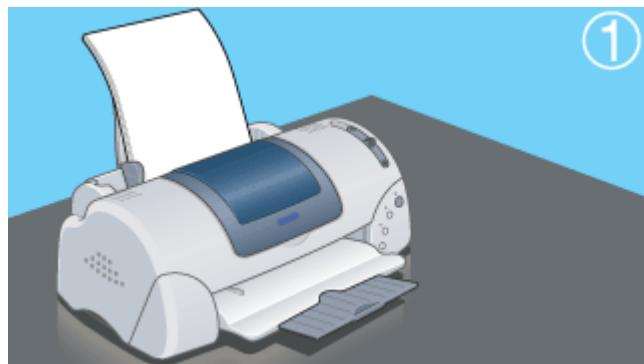
1. プリンタの電源をオンにし、A4（縦）サイズの普通紙を複数枚プリンタにセットします。

2. プリンタドライバの［ユーティリティ］タブをクリックしてから、［ノズルチェック］ボタンをクリックします。

3. ［印刷］ボタンをクリックします。

4. 印刷されたラインがかすれたり消えたりしていないかを確認します。

5. 目詰まりがない（すべてのラインが印刷されている）場合は、［終了］ボタンをクリックします。目詰まりがあった（印刷されないラインがある）場合は、［クリーニング］ボタンをクリックしてプリントヘッドをクリーニングします。

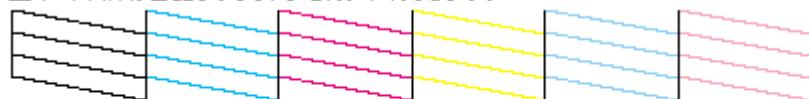
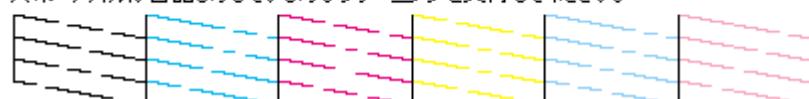
ポイント

［クリーニング］ボタンをクリックするとプリントヘッドのクリーニングが始まります。クリーニングが終了したら、もう一度ノズルチェックを実行して目詰まりが解消されたか確認してください。

プリンタからの実行方法

ノズルチェックがコンピュータから実行できない場合は、プリンタのスイッチ操作で実行してください。

1. **プリンタの電源をオフにして、A4（縦）サイズの普通紙を複数枚プリンタにセットします。**

2. **［用紙］スイッチを押したまま［電源］スイッチを押します。**

   ［電源］スイッチからはすぐに手を離しても結構ですが、［用紙］スイッチはプリントヘッドが動き出すまで押したままにしてください。

3. **印刷結果を確認します。**

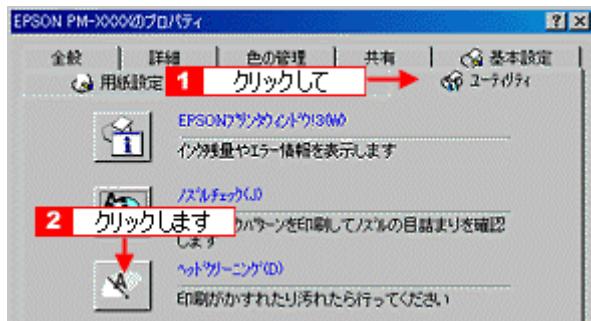
   正常の例のようにすべてのラインが印刷されていれば、目詰まりはしていません。印刷されないラインがある場合は、ヘッドのクリーニングをしてください。

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングとは、印刷品質を維持するために、プリントヘッドのノズルを清掃する機能です。文字や画像がかすれたり、明らかに印刷データと異なる色で印刷されるなどの症状が出た場合は、次の手順に従ってヘッドクリーニングをしてください。

ポイント

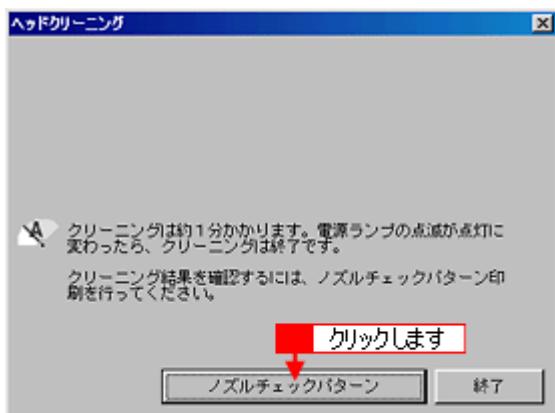
- ヘッドクリーニングは黒とカラーのインクを両方使います。文字がかすれたり、明らかに印刷したデータと異なる色で印刷されるなどの症状が出るとき以外は必要ありません。
- ヘッドクリーニングは、用紙 / インクランプが点滅、または点灯しているときは行えません。この場合、まずエラーを解除してください。
「ランプのエラー表示一覧」

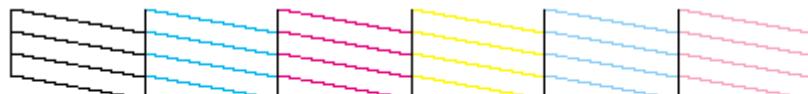
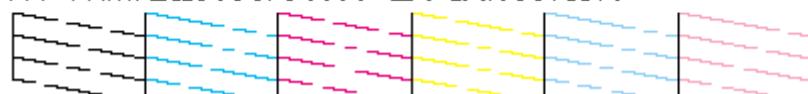
コンピュータからの実行方法

1. プリンタの電源をオンにします。
2. プリンタドライバの［ユーティリティ］タブをクリックしてから、［ヘッドクリーニング］ボタンをクリックします。

3. ［スタート］ボタンをクリックします。

   プリンタの電源ランプが点滅し、ヘッドクリーニングが始まります。ヘッドクリーニングは約 1 分間続きます。電源ランプの点滅が点灯に変ったら、ヘッドクリーニングは終了です。

4. ［ノズルチェックパターン］ボタンをクリックして、ノズルチェックパターンを印刷します。
ラインがすべて印刷されていることを確認してください。

ノズルチェックパターンを印刷する場合は、A4 サイズの普通紙をプリンタにセットしてください。
ノズルチェックパターンを印刷しない場合は、［終了］ボタンをクリックしてください。

ポイント

- 印刷結果がかすれたり、すき間があく場合は、もう一度ヘッドクリーニングを実行してください。

- ヘッドクリーニングは黒とカラーのインクを両方使います。文字がかすれたり、明らかに印刷データと異なる色で印刷されるなどの症状が出るとき以外は必要ありません。

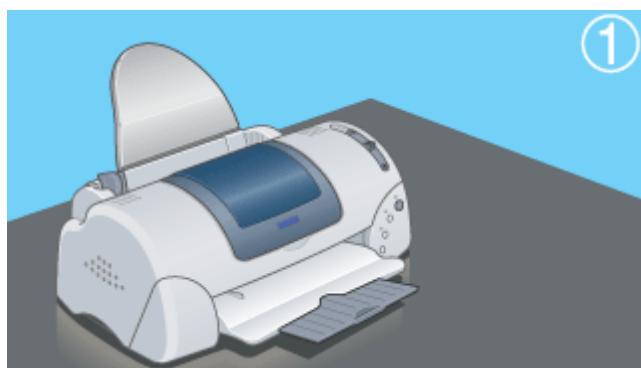
プリンタからの実行方法

ヘッドクリーニングがコンピュータから実行できない場合は、プリンタのスイッチ操作で実行してください。

ポイント

ヘッドクリーニングした後は、必ずノズルチェックを行い、クリーニング結果を確認してください。

1. **プリンタの電源をオンにします。**
2. **［インク］スイッチを 3 秒間押したままにします。**

   プリンタがヘッドクリーニングを実行します。ヘッドクリーニングは約 1 分間続きその間、電源ランプが点滅します。電源ランプの点滅が点灯に変わったら、ヘッドクリーニングは終了です。

3. **ヘッドクリーニング後は、ノズルチェックパターンを印刷してラインがかすれたりしていないか確認してください。**

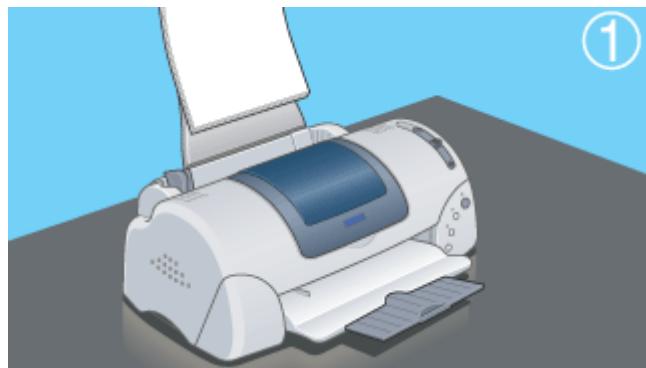
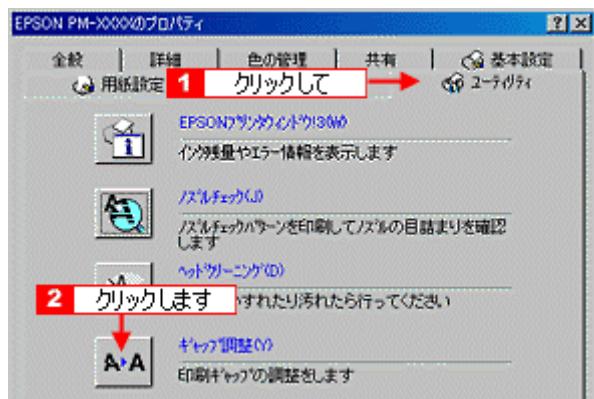
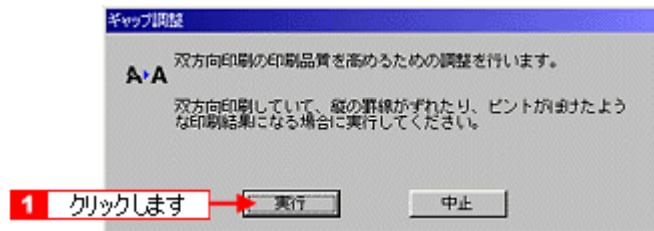
   印刷結果がかすれたり、すき間があく場合は、再度クリーニングを実行してください。
   「ノズルチェック」

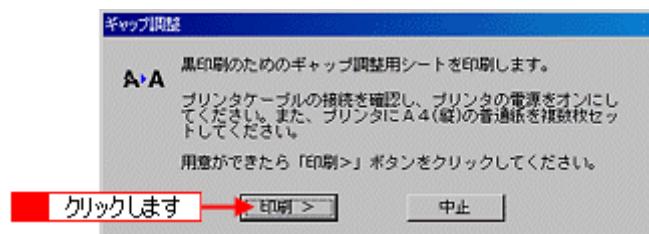
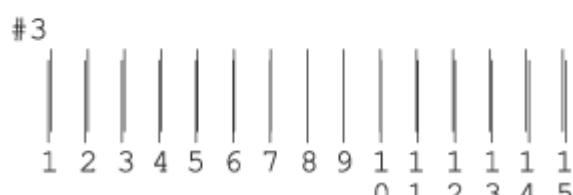
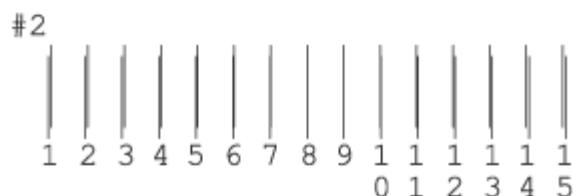
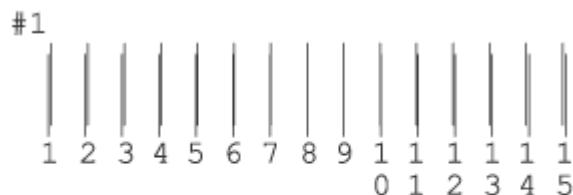
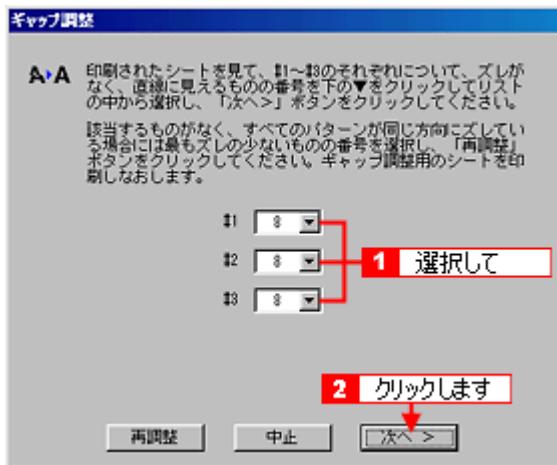
ギャップ調整

双方向印刷をしていて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になるときは、プリントヘッドのギャップを調整してください。

ポイント

- アジャストレバーの設定がセットした用紙の厚さに適していないと、上記のような印刷結果になる場合があります。アジャストレバーの設定を確認してください。
- 双方向印刷をする設定になっているかどうかは、プリンタドライバの［基本設定］画面の左部［現在の設定値］を見るとわかります。

1. プリンタの電源をオンにして、A4（縦）サイズの普通紙を複数枚プリンタにセットします。

2. プリンタドライバの［ユーティリティ］タブをクリックしてから、［ギャップ調整］ボタンをクリックします。

3. ［実行］ボタンをクリックします。

4. ［印刷］ボタンをクリックします。

黒印刷のためのギャップ調整用シートが印刷されます。

5. 印刷されたシートを見て、＃１・＃２・＃３それぞれズレのない直線に見える番号（1 〜 15）を探します。

6. 最も直線に見えた番号をリストの中から選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

これで黒印刷のためのギャップ調整は完了です。

すべての直線がズレている場合は、最も直線に近い番号を選択して [再調整] ボタンをクリックし、手順 5 へ戻ります。

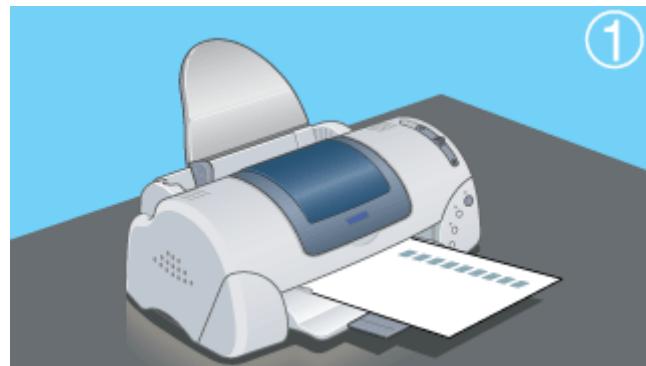
7. 次にカラー印刷のためのギャップ調整を行います。普通紙の代わりに A4 サイズのスーパーファイン専用紙 2 を 1 枚セットします。

スーパーファイン専用紙 2 については、以下のページをご覧ください。

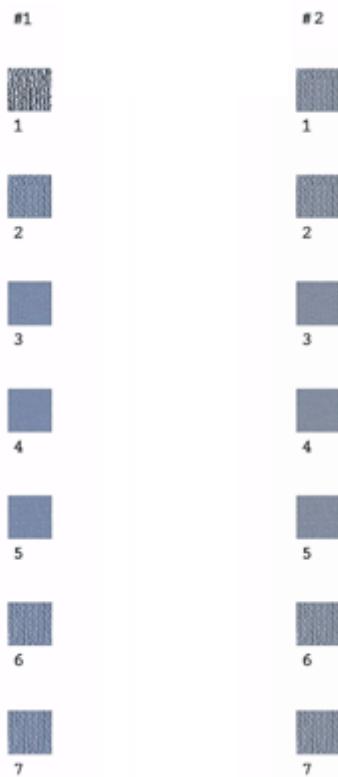
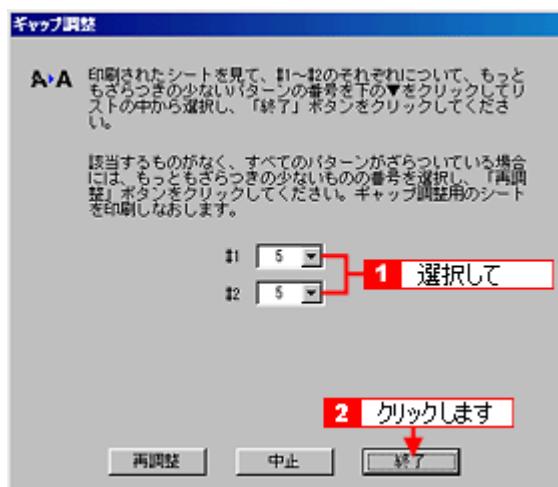
「最適な普通紙 / 専用紙の選択」

8. ［印刷］ボタンをクリックします。

カラー印刷のためのギャップ調整シート（# 1）が印刷されます。

9. 画面の指示に従い、印刷された用紙をもう一度同じ向きにプリンタにセットします。

10. 用意ができたら［印刷］ボタンをクリックします。

カラー印刷のためのギャップ調整用シート（＃ 2）が印刷されます。

11. 印刷されたシートを見て、＃ 1・＃ 2 ごとに最もざらつきが少ないパターンの番号（1 〜 7）を探します。

12. **最もざらつきの少ないパターンの番号をリストの中から選択し、[終了] ボタンをクリックします。**

これでカラー印刷のためのギャップ調整は完了です。

ポイント

すべてのパターンにざらつきがある場合は、最もざらつきの少ないパターンの番号を選択して［再調整］ボタンをクリックし、手順 8 へ戻ります。

長期間使用しないときは

プリンタを長期間使用しないときは、インクカートリッジを取り付けたまま、水平な状態で保管してください。
なお、プリンタを長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥し、目詰まりを起こすことがあります。ノズルの目詰まりを防ぐために、定期的に印刷していただくことをお勧めします。

注意

- インクカートリッジは、絶対に取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。
- プリンタは傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態で保管してください。

ポイント

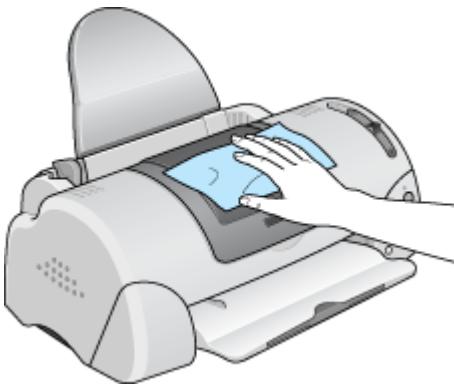
- 長期間使用していないプリンタをお使いになる場合は、必ずノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドのノズルの状態を確認してください。ノズルチェックパターンがきれいに印刷できない場合は、ヘッドクリーニングをしてから印刷してください。
- ヘッドクリーニングは続けて実行せずに、必ずノズルチェックパターンの印刷結果を確認してから実行してください。
- 長期間使用していないプリンタの場合、ヘッドクリーニングを数回実行しないと、ノズルチェックパターンが正常に印刷されないことがあります。ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に 5 回以上繰り返してもノズルチェックパターンの印刷結果がまったく改善されない場合は、プリンタの電源をオフにして一晩以上放置した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してください。ヘッドクリーニングを繰り返した後、時間をおくことによって、目詰まりを起こしているインクが溶解し、正常に印刷できるようになることがあります。
「ノズルチェック」
「ヘッドクリーニング」
- 上記の手順を実行しても正常に印刷できない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理窓口の連絡先については、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

プリンタが汚れているときは

いつでも快適にお使いいただくために、以下の方法でプリンタのお手入れをしてください。

外装面のお手入れ

1. **プリンタから用紙を取り除きます。**
2. **電源をオフにして、電源ランプが消えてから電源プラグをコンセントから抜きます。**
3. **柔らかい布を使って、ほこりや汚れを注意深く払います。**

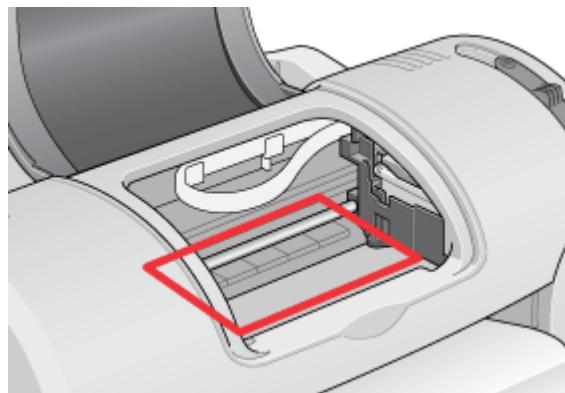
   プリンタ外装面の汚れがひどいときは、中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れをふきとります。最後に、乾いた柔らかい布で水気をふきとります。

! 注 意

- プリンタ内部に水気が入らないように、プリンタカバーは閉めた状態でふいてください。プリンタ内部が濡れると、電気回路がショートするおそれがあります。
- ベンジン・シンナー・アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。プリンタの表面や内部が変質・変形するおそれがあります。
- 硬いブラシを使用しないでください。プリンタ表面を傷付けることがあります。

プリンタ内部のお手入れ

1. **プリンタから用紙を取り除きます。**
2. **電源をオフにして、電源ランプが消えてから電源プラグをコンセントから抜きます。**
3. **プリンタカバーを開けて、よく絞った布でプリンタ内部をふきます。このとき、インクの吸収部分（スポンジ）、キャリッジ周辺部分およびプリントヘッド周りは絶対にふかないでください。**

! 注 意

- プリンタ内部の用紙送り部分（下図の赤枠部分）をふく場合には、突起物がありますので、けがをしないよう注意してふいてください。

- プリントヘッド手前の金属部分には、帯状の油（グリス）が塗布されています。使用しているうちに黒くなってきますが、ふき取らずにそのままの状態でお使いください。
- 白いケーブルには、手を触れないでください。

自動メンテナンス機能について

本プリンタには、プリントヘッドを常に良好な状態に保ち、最良の印刷品質を得るための「セルフクリーニング機能」と「キャッピング機能」があります。

セルフクリーニング

セルフクリーニングとは、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能で、印刷を開始するときなどに行われます。すべてのインクを微量吐出して、ノズルの乾燥を防ぎます。

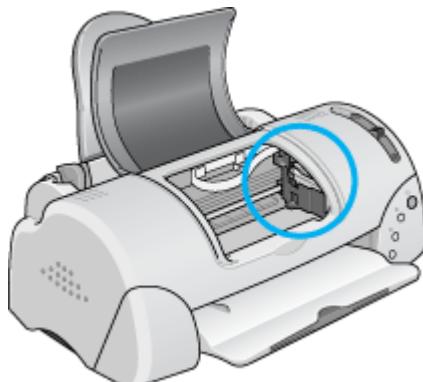
注意

セルフクリーニングが実行されているときに電源をオフにすると、クリーニングが終了してから電源が切れます。電源をオフにした後でもプリンタが動作しているときはコンセントを抜かないでください。

キャッピング

キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために、自動的にプリントヘッドにキャップ（フタ）をする機能です。キャッピングは、次のタイミングで行われます。

- 印刷終了後（印刷データが途絶えて）、数秒経過したとき
- 印刷停止状態になったとき

キャッピング位置はプリンタの右端です。キャッピングされているときはプリントヘッドが見えません。

キャッピングされていないときは、一度電源をオン・オフするとキャッピングされます。

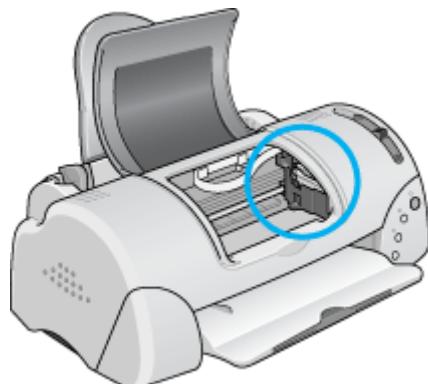
注意

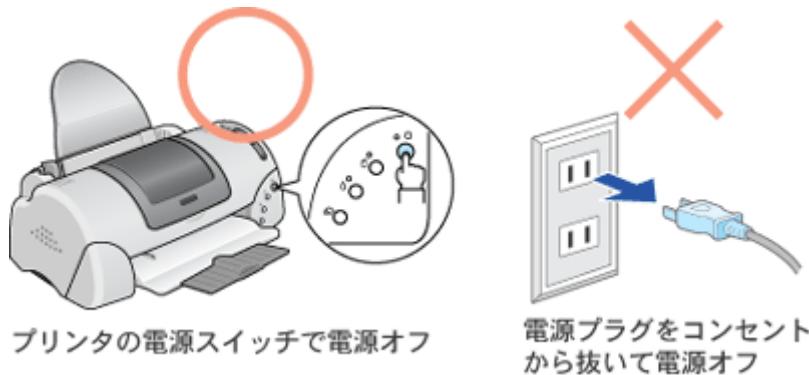
- キャッピングされていない状態で長時間放置すると、印刷不良の原因になります。プリンタを使用しないときは、プリントヘッドがキャッピングされていることを確認してください。
- 用紙が詰まったときやエラーが起こったときなど、キャッピングされていないまま電源をオフにした場合は、再度電源オンにしてください。しばらくすると、自動的にキャッピングが行われますので、キャッピングを確認した後で 電源 をオフにしてください。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。
- プリンタの電源がオンの状態で、コンセントを抜かないでください。キャッピングされない場合があります。

プリントヘッドのノズルのお話

油性のペンや万年筆は、ペン先を空気中に放置しておくと、インクが乾いて書き味が非常に悪くなってしまいます。(場合によっては、書けなくなってしまうこともあります。)
実は、インクジェットプリンタもこれと同じです。
インクジェットプリンタのプリントヘッド先端には、ノズルという、インクを吐出するための小さな穴が多数空いています。プリンタは、その穴から小さなインク滴をものすごい速さでたくさん吐出して印刷をしていますが、この部分が長時間空気中に放置されていると、インクが乾き、ノズルが目詰まりして印刷品質が低下してしまいます。

ところで、油性のペンや万年筆には乾燥を防ぐための「キャップ」がありますよね。実は、プリンタにもプリントヘッドを保護するためのキャップがあります。そして、印刷をしていないときは常にこのキャップでプリントヘッドを乾燥から守っています。

通常、電源がオフになっているとプリントヘッドは右端にあります。この状態のとき、プリントヘッドはキャッピングされています。印刷をしている間はキャップが外れていますが、印刷が終わって数秒経過すると自動的に右端に移動してキャッピングされます。また、印刷中であっても、電源スイッチをオフにするとプリントヘッドは右端に戻ってキャッピングされます。

ここで、プリントヘッドを正しくキャッピングするために注意していただきたいことがあります。正しくキャッピングするためには、電源のオン / オフを電源スイッチで行ってください。プリンタの電源スイッチで電源をオフにすることで、しっかりとキャッピングされてから電源が切れます。もし、電源プラグを抜いて電源を切ったりすると、正しくキャッピングされずに電源が切れて、プリントヘッドが乾燥してしまうおそれがあります。また、電源プラグをコンピュータ背面のサービスコンセントや、スイッチ付きテーブルタップに接続した場合も、キャッピングされていない状態で電源が切れてしまうおそれがあります。こういったことを回避するためにも、電源プラグは壁などに直付けされているコンセントに差し込み、電源のオン / オフは電源スイッチで行うようにしてください。

電源プラグをコンセントから抜いて電源オフ

さて、正しくキャッピングがされていればプリントヘッドの乾燥を防げることがおわかりいただけたと思いますが、これで安心かというと、そうではありません。もう一度油性のペンや万年筆などを思い出していただきたいのですが、これらは正しくキャップされていても、長期間放置しておくと書けなくなってしまいます。これは、キャップをしてあっても、少しずつインクが揮発してペン先が乾燥してしまうためです。
インクジェットプリンタも、まったく同じです。正しくキャッピングされていても、長期間放置していると、いつの間にかプリントヘッドが乾燥して、印刷できなくなってしまいます。
これを防ぐためには、ぜひ、プリンタを定期的に使ってください。定期的に印刷することによって、プリントヘッドは常に最適な状態に保たれます。

なお、電源のオン / オフを正しく電源スイッチで行い、また、定期的に印刷をしているにもかかわらずノズルが目詰まりしてしまうことがあります。この原因は、印刷中の用紙から生じる粉（紙粉）や、小さなインクかすなどです。ノズルとインク滴は非常に小さいため、小さなゴミが付着しただけでも、インクが出なくなってしまいます。
これを防ぐために、プリンタは定期的にセルフクリーニング（自動的にプリントヘッドをきれいにする動作）を行っています。しかし、それでも目詰まりが発生してしまった場合は、プリンタドライバの「ユーティリティ」画面を開いて、「ヘッドクリーニング」を実行してください。ヘッドクリーニングを実行することで、ノズルの目詰まりや、付着したゴミが除去されます。

ユーザーズガイドの削除方法

ハードディスクの容量不足などで、インストールされているユーザーズガイドを削除する場合は、以下の手順に従ってください。

ポイント

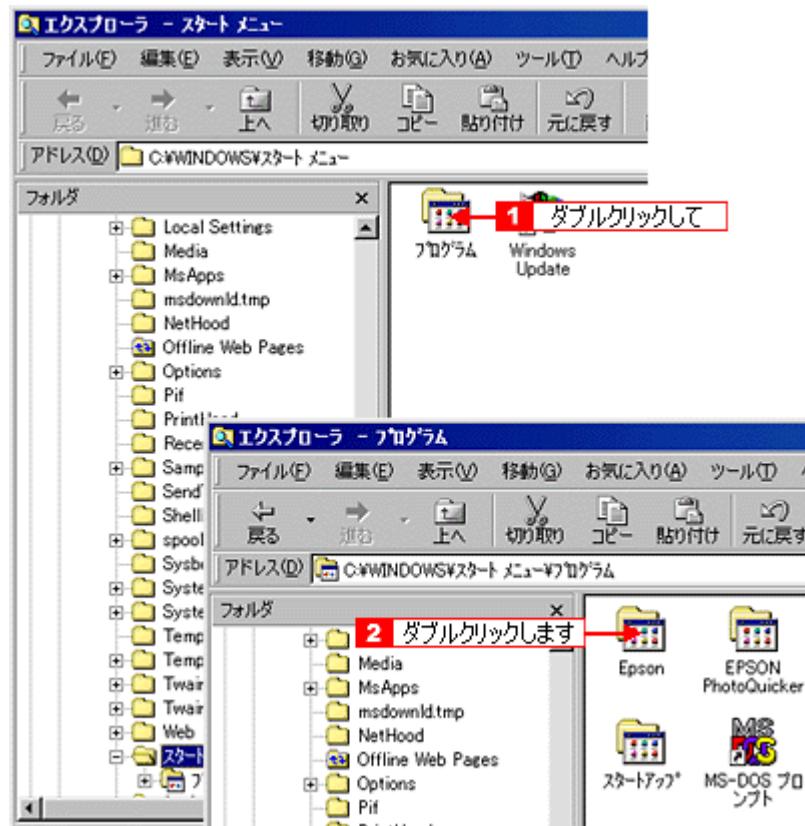
Windows NT4.0/2000 で削除する場合は、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログオンする必要があります。

1. **デスクトップ上の［EPSON PM-XXXC ユーザーズガイド］アイコンを右クリックして、［削除］をクリックします。**

   ［EPSON PM-XXXC ユーザーズガイド］のショートカットアイコンが削除されます。

2. **Windows の［スタート］ボタンを右クリックして、［エクスプローラ］をクリックします。**

   Windows 2000 の場合は、［エクスプローラ All Users］を選択します。エクスプローラが起動されます。

3. **［プログラム］アイコンをダブルクリックして、［EPSON］アイコンをダブルクリックします。**

4. ［EPSON PM-XXXC ユーザーズガイド］アイコンを右クリックして、［削除］をクリックします。

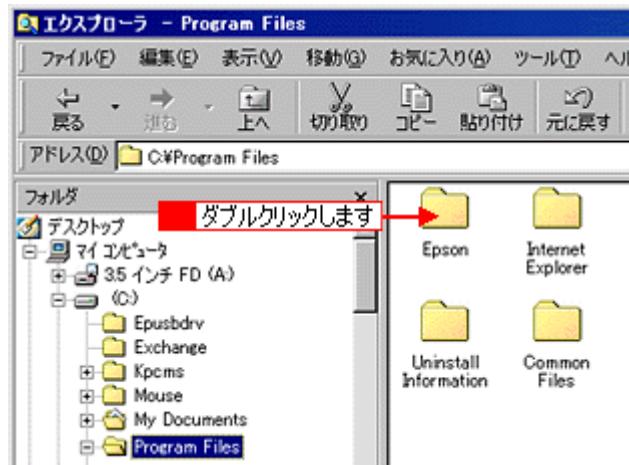
［EPSON PM-XXXC ユーザーズガイド］のショートカットアイコンが削除されます。

ポイント

確認画面が表示された場合は、［はい］ボタンをクリックします。

5. ご利用の OS がインストールされているドライブの［Program Files］を選択します。

以下の画面は、ご利用の OS が C ドライブにインストールされている場合です。

6. ［Epson］フォルダをダブルクリックします。

7. ［PmXXXC］フォルダを右クリックして、［削除］をクリックします。

確認画面が表示された場合は、［はい］ボタンをクリックします。

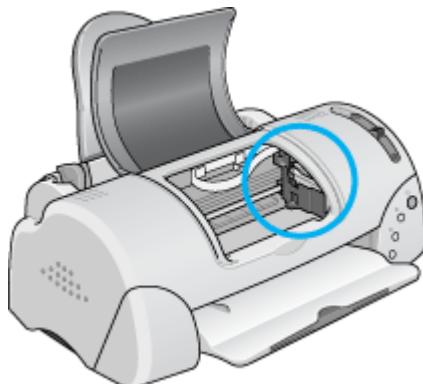
［PmXXXC］フォルダが削除されます。
以上で、ユーザーズガイドの削除は終了です。

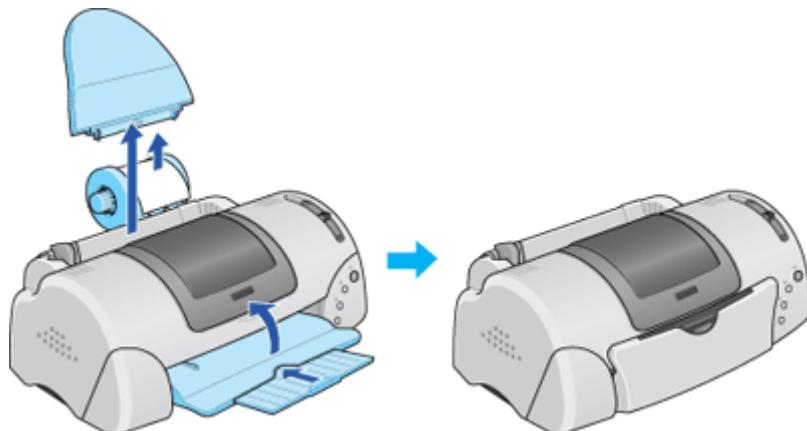
プリンタを輸送するときは

プリンタを輸送するときは、プリンタを衝撃などから守るために十分に注意して梱包してください。

1. **プリンタから用紙を取り除きます。**
2. **プリンタカバーを開け、プリントヘッドが右端のキャッピング位置にあることを確認します。**

   プリントヘッドがキャッピング位置にない場合は、電源をオン / オフしてください。

注意

インクカートリッジは、絶対に取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。

3. **プリンタの電源がオフになっていることを確認します。**
4. **排紙サポートを収納し、排紙トレイを閉じ用紙サポートなどの付属品を取り外します。**

5. **電源プラグをコンセントから抜き、インターフェイスケーブルをプリンタから取り外します。**
6. **梱包材を取り付け、プリンタを水平にして梱包箱に入れます。**

   上記の手順でしっかりと梱包したら、輸送の準備は整いました。

注意

プリンタは傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態のまま輸送してください。

輸送後に印刷不良が発生したときは、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。

「ヘッドクリーニング」

プリンタのランプ表示

プリンタのランプ表示については、以下のページをご覧ください。

「ランプのエラー表示一覧」

推奨インターフェイスケーブルについて

インターフェイスケーブルは、エプソン純正品のご使用をお勧めします。

USB ケーブル

エプソン純正品型番	USBCB1

パラレルケーブル（Windows のみ）

パラレルケーブルには種類があります。コンピュータに応じて適切なケーブルをご使用ください。

	メーカー	機種	接続ケーブル	備考
DOS/V 系	EPSON	DOS/V 仕様機	PRCB4N	-
	IBM、富士通、東芝、他各社			
	NEC	PC-98NX シリーズ		
98 系	EPSON	EPSON PC シリーズデスクトップ	＃ 8238	※ 1
		EPSON PC シリーズ NOTE	市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用ください。	※ 1
	NEC	PC-9821 シリーズ （ハーフピッチ 36 ピン）	PRCB5N	-
		PC-9821 シリーズデスクトップ （14 ピン）	＃ 8238	※ 1 ※ 2
		PC-9821 シリーズ NOTE （ハーフピッチ 20 ピン）	市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用ください。	※ 1 ※ 2

※ 1： Windows 95/98/Me の双方向通信機能および EPSON プリンタウィンドウ !3 は、コンピュータの機能制限により対応できません。

※ 2： ハーフピッチ 36 ピンの PC には、PRCB5N をご使用ください。

ポイント

- 推奨ケーブル以外のケーブルを使用したり、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などをコンピュータとの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。
- ECP モード対応の DOS/V 系コンピュータを ECP モードで接続する（DMA 転送をする）場合は、必ず PRCB4N をご使用ください。

プリンタの仕様

プリンタの技術的な仕様について記載します。

基本仕様

印字方式	インクジェット
ノズル配列	ブラック：48 ノズル カラー：48 ノズル × 5 色
印字方向	双方向最短距離印字（ロジカルシーキング付き）
解像度	2880 × 720dpi（最大）※ 1
紙送り方式	ASF 式フリクションフィード
入力データバッファ	32KByte

※ 1 dpi:25.4mm あたりのドット数（Dot Per Inch）

インク仕様

形態	専用インクカートリッジ
型番	IC1BK13（黒インクカートリッジ）
	IC5CL13（カラーインクカートリッジ）
推奨使用期間	個装箱に記載されている期限 開封から 6ヵ月以内
保存温度	保存時：－ 30 度～ 40 度 （40 度の場合 1ヵ月以内）
	輸送時：－ 30 度～ 60 度 （60 度の場合 120 時間以内、40 度の場合 1ヵ月以内）
	本体装着時：－ 20 度～ 40 度 （40 度の場合 1ヵ月以内）
外形寸法	黒インクカートリッジ： 幅 20.1mm ×奥行き 66.85mm ×高さ 38.5mm
	カラーインクカートリッジ： 幅 49.1mm ×奥行き 66.85mm ×高さ 38.5mm
寿命	黒インクカートリッジ： 540 ページ（A4、ISO/IEC 10561 Letter Pattern at 360dpi）
	カラーインクカートリッジ： 220 ページ（A4、各色紙面占有率 5%, 360dpi で印刷時） ※この数値はカラーインクカートリッジを交換後、連続印刷した場合の値です。
	各インクカートリッジの寿命は、プリントヘッドのクリーニング回数によって変わります。

! 注意

- インクは－ 15 度以下の環境で長時間放置すると凍結します。万一凍結した場合は、室温（25 度）で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。

- インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えたりしないでください。

用紙仕様

以下のページをご参照ください。

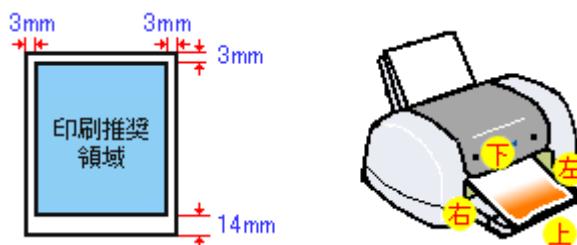
「最適な普通紙 / 専用紙の選択」
「最適なハガキの選択」
「使用できる封筒について」
「最適なロール紙の選択」

印刷領域と余白について

定形紙

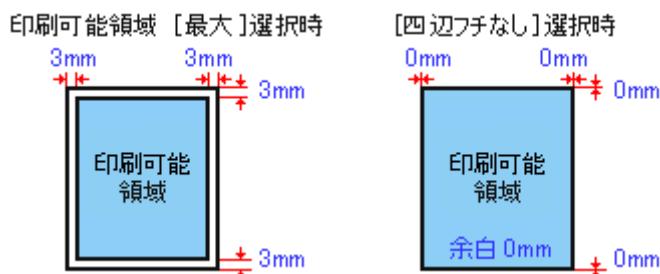
本プリンタは、標準設定で印刷する場合、紙送りの機構上どうしても用紙の上下左右に余白が必要です。通常は上、左、右に各 3mm、下に 14mm の余白が必要ですが、プリンタドライバで設定することにより、四辺フチなし（余白 0mm）または用紙下部の余白を 3mm にすることができます。

印刷推奨領域

本プリンタの印刷推奨領域は下図の通りです。（上 3mm、下 14mm、左 3mm、右 3mm を除く範囲。）通常はこの領域にのみ印刷されます。

ポイント

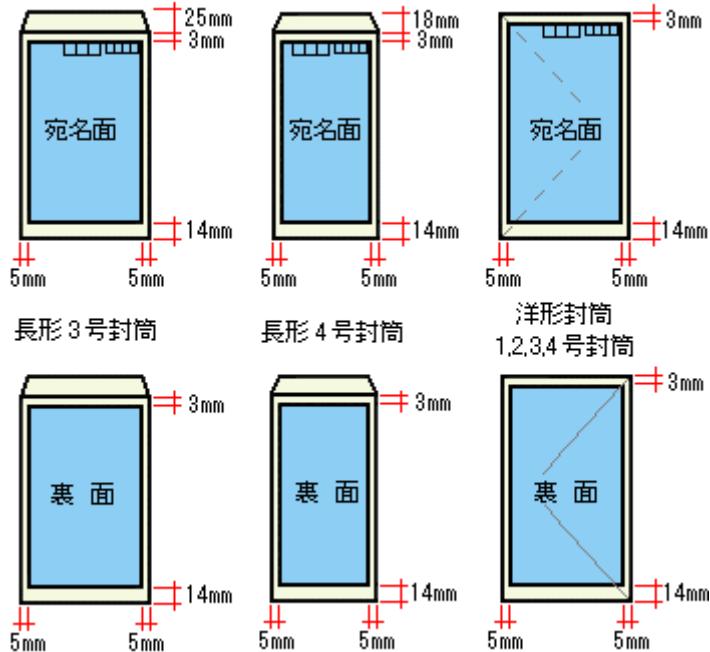
- フォトカード 2 は、「印刷推奨領域」に印刷することを前提にミシン目が入っていますので、印刷推奨領域に印刷することをお勧めします。（印刷可能領域いっぱいに印刷しても、印刷推奨領域外の部分が無駄になります。）
- 用紙幅が 216mm を超える場合は、右側の余白が 3mm 以上になります。

印刷可能領域

本プリンタの印刷可能領域は、以下の通りです。

ポイント

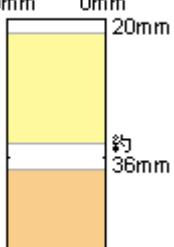
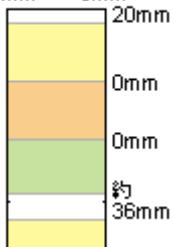
- 印刷データの内容によっては、印刷推奨領域外において印刷品質が低下する場合があります。
- フチなし全面印刷は、印刷したデータを用紙サイズよりわずかに拡大して印刷します。そのため用紙からはみ出した部分（最大で上 3mm/ 左右 2.5mm/ 下 5mm）は印刷されません。本番の印刷前に試し印刷をすることをお勧めします。

封筒

封筒へ印刷する場合は、以下の領域に印刷してください。

ロール紙

ロール紙に印刷する場合の余白は、プリンタドライバの設定によって変わります。

プリンタドライバで［給紙方法］に［ロール紙］を選択して、［左右フチなし］を選択しない場合	
	• 印刷を実行すると、印刷データ上部の余白は 20mm、左右の余白は 3mm 以上になります。 • 印刷終了後、［ロール紙］スイッチを 1 回押すと印刷データの下端から約 12mm のところに切り取りの目安を印刷します。 • もう一度［ロール紙］スイッチを押してから次の印刷を実行した場合、印刷データ間の余白は約 36mm になります。

図	説明
左 3mm　右 3mm　20mm　0mm　0mm　約 36mm	• 複数ページに渡るデータや複数印刷する場合、連続して印刷を実行する場合、ページ間の余白は、0mm になります。
プリンタドライバで［給紙方法］に［ロール紙］を選択して、［左右フチなし］を選択した場合	
左 0mm　右 0mm　20mm　約 36mm	• 印刷を実行すると、印刷データ上部の余白は 20mm になります。 • 左右の余白を 0mm にして印刷します。 • 印刷終了後、［ロール紙］スイッチを１回押すと印刷データの下端から約 12mm のところに切り取りの目安を印刷します。 • ［ロール紙］スイッチをもう一回押してから次の印刷を実行した場合、印刷データ間の余白は約 36mm になります。
左 0mm　右 0mm　20mm　0mm　0mm　約 36mm	• 複数ページに渡るデータや複数部印刷する場合、また連続して印刷を実行する場合、ページ間の余白は 0mm になります。左右の余白も 0mm ですので、全面印刷が可能になります。

ポイント

データ間の余白は、印刷するデータの内容などにより多少異なります。

電気関係仕様

項目	仕様
定格電圧	AC100V
入力電圧範囲	AC90 ～ 110V
定格周波数	50 ～ 60Hz
入力周波数範囲	49.5 ～ 60.5Hz
定格電流	0.4A
消費電力	連続印刷時平均約 12W（ISO/IEC 10561 レターパターン印字） 待機時約 3W
漏洩電流	0.25mA 以下［社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）パソコン業界基準（PC-11-1988）に適合］

適合規格、規制	国際エネルギースタープログラム、高調波抑制対策ガイドライン、VCCI クラス B

総合仕様

プリントヘッド寿命	30 億ショット（1 ノズルあたり）	
温度	動作時	10 度～ 35 度
	保存時	－ 20 度～ 40 度（40 度の場合 1ヵ月以内）
	輸送時	－ 20 度～ 60 度（60 度の場合 120 時間以内、40 度の場合 1ヵ月以内）
湿度	動作時	20 ～ 80%（非結露）
	保存時	20 ～ 85%（非結露）
	輸送時	5 ～ 85%（非結露）
	湿度(%) この範囲で使用してください 80 55 20 10 27 35 温度(℃)	
プリンタ重量	約 3.8kg（インクカートリッジを除く）	
プリンタ外形寸法	幅 450mm ×奥行き 490mm ×高さ 280mm （使用時）	

パラレルインターフェイス仕様

データ転送方式	8 ビットパラレル
同期方式	外部供給ストローブパルス信号
ハンドシェイク	ACKNLG および BUSY 信号
ロジックレベル	TTL レベル（IEEE-1284 Level 1 devics）
適合コネクタ	57-30360（アンフェノール）の 36 ピンプラグまたは同等品（インターフェイスケーブルは必要最短距離とすること）

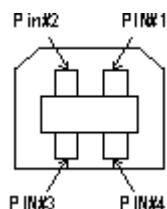
USB インターフェイス仕様

仕様

規格	Universal Serial Bus Specifications Revision 1.1 Universal Serial Bus Device Class Definition for Printing Devices Version 1.1
転送速度	12Mbps（Full speed Device）

データフォーマット	NRZI
適合コネクタ	USB Series B
許容ケーブル長	2 ［m］

入力コネクタにおける信号の配列及び信号の説明

ピン番号	信号名	入力 / 出力	機能
1	VCC	-	ケーブル電源、最大電流 100mA
2	-Data	双方向	データ
3	+Data	双方向	データ、1.5kΩ の抵抗を経由して +3.3V にプルアップ
4	Ground	-	ケーブルグラウンド

初期化

プリンタは次の 3 つの方法で、初期化（イニシャライズ）されます。

初期化の種類	方法
ハードウェア	電源投入時の初期化です。プリンタのメカニズムやソフトウェア設定をすべて初期化し、入力データバッファをクリアします。
ソフトウェア	ソフトウェアにより、ESC ＠ （プリンタ初期化）コマンドが送られたときの初期化です。コントロールコードにより選択された機能や設定された値を、電源投入時と同じ状態にします。プリンタのメカニズムは初期化しないで、入力データバッファもクリアしません。
パネル操作	電源スイッチを切断してから 10 秒以内に再投入したとき、またはプリンタが INIT 信号を受信したときの初期化です。用紙を排出してからプリントヘッドをキャッピングします。さらに、入力データバッファをクリアします。プリンタのメカニズムは初期化しません。

商標等

商標について

- Adobe、Adobe Photoshop、Acrobat は Adobe Systems Incorporated の各国での商標または登録商標です。
- PC-9801/9821 シリーズおよび PC98-NX シリーズは日本電気株式会社の商標です。
- IBM PC、DOS/V、IBM は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Apple の名称、Macintosh、PowerMacintosh、AppleTalk、EtherTalk、漢字 Talk、TrueType、iMac、Mac OS、ColorSync および FireWire は Apple Computer,Inc. の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows NT および Internet Explorer は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Netscape, Netscape Navigator, Netscape ONE,Netscape の N ロゴおよび操舵輪のロゴは、米国およびその他の諸国の Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。
- Intel、Pentium は Intel Corporation の登録商標です。
- そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。

表記について

- Microsoft(R) Windows(R) 95 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) 98 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) Millennium Edition operating system 日本語版
- Microsoft(R) WindowsNT(R) operating system Version4.0 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) 2000 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) XP Home Edition operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) XP Professional operating system 日本語版

以上の OS の表記について本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 95、Windows 98、Windows Me、WindowsNT4.0、Windows 2000、Windows XP と表記しています。

また、Windows 95、Windows 98、Windows Me、WindowsNT4.0、Windows 2000、Windows XP を総称する場合は［Windows］、複数の Windows を併記する場合は［Windows 95/98/Me］のように、Windows の表記を省略することがあります。

ヘルプ

ここでは、本ユーザーズガイドの使い方を記載しています。

本文中で使用している記号について

記号	説明
! 注意	**注意：** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。
! 注意	**製品注意：** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本体が損傷する可能性が想定される内容を示します。
ポイント	**ポイント：** お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと（操作）、知っておいていただきたいことを記載しています。必ずお読みください。

各ボタン、ハイパーリンクについて

ボタン	説明
｜メイン｜ ｜ MAIN ｜	**メイン：** 本ユーザーズガイドの最初のページ（メイン画面）を表示します。
｜内容一覧｜	**内容一覧：** 本ユーザーズガイドのもくじ（内容一覧）のページを表示します。
｜ << ｜	**前のページへ：** 現在表示している画面の前のページにジャンプします。
｜ >> ｜	**次のページへ：** 現在表示している画面の次のページにジャンプします。
｜ SUB MENU ｜	**１つ上の一覧表示へ：** 現在表示している画面のひとつ上のメニューにジャンプします。
	参照： 関連したページへジャンプします。

印刷時のご注意

本ユーザーズガイドを印刷する場合に、いくつかの注意点があります。

- 本ユーザーズガイドは、ブラウザでの表示を前提として制作してあります。
- 本ユーザーズガイドは、フレーム機能を使用して表示しております。印刷の際は、本文の表示されている領域を１度クリックしてから、印刷を実行してください。
- 複数ページに渡って印刷する場合、ページのつなぎ目で画像や文章が印刷されない個所が発生することがあります。
- 本文中の GIF アニメーションや表示用のオブジェクトなど、正しく印刷されない場合があります。（GIF アニメーションは、1 コマのみ印刷。）
- ページの右側が印刷されずに切れてしまう場合は、ブラウザの［ファイル］メニュー内の［ページ設定］にて、左右の余白を 10 ミリ以下に設定してください。

- ページ上の背景色などが印刷できない場合は、以下の手順に従って設定を変更してください。

1）［表示］メニュー（Internet Explorer 5.0 の場合は［ツール］メニュー）内の［インターネットオプション］をクリックします。
2）［詳細設定］タブをクリックしてからスクロールバーで設定項目をスクロールさせます。
3）［印刷］の項目にある［背景の色とイメージを印刷 ...］のチェックボックスにチェックを付けて［OK］ボタンをクリックします。

テスト印刷用サンプル

『スタートアップガイド』のテスト印刷の手順説明に従って、この画面を印刷してください。

皆様、はじめまして。

私は、『ソフトウェア CD-ROM』に収録されている『EPSON プリンタ攻略ガイド』の案内役の " 博士 " です。
『EPSON プリンタ攻略ガイド』では、皆様に本製品の機能をフルに活用していただけるよう、いろいろな情報をご紹介してまいりますので、ぜひご一緒に、エプソンプリンタの世界をのぞいてみてください。

また、すぐに使える便利な添付データもたくさんご用意いたしましたので、「とにかく何か印刷してみたい！」という方も、ぜひご活用ください。

それでは、『EPSON プリンタ攻略ガイド』の中で皆様とお会いできることを楽しみにしております。

『EPSON プリンタ攻略ガイド』の見方については、『スタートアップガイド』をご覧ください。
また、本ユーザーズガイドを印刷する際の注意事項に関しては、以下の参照先をご覧ください。
「印刷時のご注意」

インターネット FAQ のご案内

本書の「トラブル対処方法」をご覧いただいても、問題が解決しない。ちょっとわからないことがある。
こんな時に、お客様の環境がインターネット接続環境を備えている場合※は、インターネット FAQ をお勧めします。

※プロバイダの契約がすんでいる。メールアドレスを保有している。

インターネット FAQ

エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容を FAQ としてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。

http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

ナビゲーションサイト

また、インクジェットプリンタの「ナビゲーションサイト」では、EPSON プリンタに関する情報をまとめて掲載しております。ぜひご活用ください。

http://www.i-love-epson.co.jp/guide/ink/

本機を Windows XP で使用するときは

本機を Windows XP で使用する場合、Windows 2000 と同様の操作で使用できます。したがって、ユーザーズガイドに記載されている「Windows 2000」を「Windows XP」に置きかえれば、Windows XP での操作説明になります。ただし、次の点が Windows 2000 と異なります。次の点に注意して使用してください。

[プリンタ] フォルダを開く

[プリンタ] フォルダを開いて本機のアイコンを表示する場合は、次の手順を実行します。

1. **[スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。**
2. **[プリンタとその他のハードウェア] をクリックし、[プリンタと FAX] をクリックします。**

コントロールパネルを表示する

コントロールパネルを表示する場合は、次の手順を実行します。

[スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。

インストールしたプログラムを起動する

Windows 2000 では [スタート] ボタンをクリックして [プログラム] にカーソルを合わせて起動するプログラムを、Windows XP で起動する場合、次の手順を実行します。

[スタート]ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]にカーソルを合わせて、起動するプログラム名をクリックします。

プリンタを共有する

プリントサーバーを設定する

プリントサーバーの設定は Windows NT4.0/2000 の場合と同様の操作をします。ただし、次の点が異なります。

- [共有] 画面で [このプリンタを共有する] を選択します。
- Windows XP プリントサーバーの代替 / 追加ドライバを使用できるクライアント OS は、Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 です。

代替/追加ドライバのインストール方法はWindows 2000の場合と同様の操作をします。ただし、次の点が異なります。
Windows 95/98/Me クライアント用の追加ドライバをインストールする場合は、[追加ドライバ] 画面で、[Intel Windows 95,98 および Me] を選択します。
「プリントサーバの設定（Windows NT4.0/2000）」

クライアントを設定する

クライアントの設定は Windows 2000 の場合と同様の操作をします。ただし、次の点が異なります。

- プリンタを追加するときは、[プリンタのインストール] をクリックします。

- ［プリンタの追加ウィザード］画面の［ローカルまたはネットワークプリンタ］画面で、［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択します。
  「クライアントの設定（Windows 2000）」

プリンタソフトウェアを削除するときとプリンタの共有設定をするときの注意

「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーでログオンして実行してください。「制限」アカウントのユーザーでは実行できません。Windows XP をインストールしたときのユーザーは「コンピュータの管理者」アカウントになっています。

Windows XP でのプリンタドライバのシステム条件

オペレーティングシステム	Windows XP 日本語版
CPU	クロック速度 300 MHz 以上
主記憶メモリ	128MB 以上
ハードディスク空き容量	50MB 以上（推奨 100MB 以上）
インターフェイス	パラレル /USB
ディスプレイ	Super VGA（800 × 600）以上の解像度

用語集

以下に説明されている用語の中には、エプソンプリンタ独自の用語で一般的に使われている語意とは多少異なるものがあります。

「英数字記号」
「ア」「イ」「エ」「オ」「カ」「キ」「ク」「コ」「サ」「シ」「ス」「セ」「ソ」
「タ」「チ」「ツ」「テ」「ト」「ニ」「ネ」「ノ」「ハ」「ヒ」「フ」「へ」「ホ」
「マ」「ミ」「メ」「モ」「ユ」「ヨ」「ラ」「リ」「レ」「ロ」「ワ」

英数字記号

@nifty（アットニフティー）
パソコン通信サービスの 1 つ。

180 度回転印刷
プリンタドライバの機能で、印刷イメージを 180 度回転して印刷する。

BIOS（バイオス）
Basic Input Output System の略。コンピュータを動作させるための基本的なプログラム群のこと。

Bit（ビット）
コンピュータが扱うデータの最小単位で、0 か 1 を表す。binary digit（２進法）の略。

BMP（ビーエムピー）
画像データを保存するファイル形式の 1 つ。Windows 上で一般的に使用されている。

Byte（バイト）
コンピュータやプリンタなどが扱う情報（データ量）の単位。1Byte=8Bit で構成され、1Byte で英数カナ文字 1 文字、2Byte で漢字 1 文字を表現することができる。

DMA（ディーエムエー）転送
本機をパラレルインターフェイスに接続している場合に使用可能な、印刷を高速化するためのデータ転送方法。コンピュータが DMA 転送可能な仕様の場合のみ設定可能。

dpi（ディーピーアイ）
Dot Per Inch の略。解像度の単位で、25.4mm（1 インチ）幅に印字または表示できるドット数を示す。

ECP（イーシーピー）
パラレルポートの拡張仕様の 1 つ。Extended Capability Port の略。

EPSON CardMonitor（エプソンカードモニタ）
コンピュータの PC スロットを監視するソフトウェア。

EPSON NATURAL PHOTO COLOR（エプソンナチュラルフォトカラー）
ディスプレイ上の色域制限（sRGB）にとらわれずに、自然界の色により近い印刷を行うための EPSON 独自の画像処理技術。

EPSON PhotoStarter（エプソンフォトスターター）
EPSON CardMonitor により起動されるソフトウェア。自動的にメモリカードに記録された写真データをコンピュータに保存したり、EPSON PhotoQuicker などのアプリケーションソフトを起動する。

EPSON PhotoQuicker（エプソンフォトクイッカー）
デジタルカメラで撮影した写真データなどを簡単な操作で定形紙やロール紙に印刷するソフトウェア。

EPSON プリンタウィンドウ !3

インク残量や本機の状態をコンピュータ上でモニタすることのできるユーティリティ。プリンタドライバのインストールに続けてインストールされる。

EPSON USB プリンタデバイスドライバ

Windows 98/Me 環境で本機を USB 接続する場合に必要なソフトウェア。コンピュータに EPSON USB プリンタデバイスドライバをインストールすることで、USB 接続したプリンタがコンピュータに認識される。

ESC/P（イーエスシーピー）

Epson Standard Code for Printer の略。セイコーエプソンが標準化した、ターミナルプリンタ用コントロールコード体系。

I/O（アイオー）ポート

Input/Output Port の略。コンピュータと周辺装置との間で情報をやりとりするための出入り口。コンピュータとプリンタの間でデータをやり取りしたり、本機のステータスをコンピュータが読みとったりする。

I/O（アイオー）ポートアドレス

I/O ポートを区別するためにつけられた番号のこと。

ICM（アイシーエム）

Windows 95/98/Me/2000 用のカラーマネージメント機能の 1 つ。原画（印刷データ）、印刷結果の色の合わせ込みを行う。

JIS（ジス）コード

Japan Industrial Standard の略。日本工業規格で規定した、日本国内の文字コードの規格。

JPEG（ジェイペグ）

デジタルカメラの写真データの標準的な圧縮形式。圧縮率が高い割に画像の劣化が少ない。

KByte（キロバイト）

データ量の単位。1KByte=1024Byte。

OS（オーエス）

Operating System の略。コンピュータのシステムを管理する基本ソフトウェア。Windows、Mac OS もその中の 1 つ。

PDF（ピーディーエフ）

Portable Document Format の略。電子形式書類の一種で、無償配布の Acrobat Reader とソフトウェアによって閲覧できる。

PRINT Image Maching（プリントイメージマッチング）

デジタルカメラで撮影した写真データなどを忠実に印刷するための技術。

RAM（ラム）

Random Access Memory の略。データなどを読み書きできるメモリ。

readme（リードミー）

ソフトウェアが収録されている CD-ROM などに保存されている文書ファイルで、使用上の制限など、読んでほしい内容が書かれている。

ROM（ロム）

Read Only Memory の略。データなどの読み出し専用のメモリ。

sRGB（エスアールジービー）

Microsoft 社 /HP 社が制定した、赤（R）・緑（G）・青（B）の色の規格。

USB（ユーエスビー）

Universal Serial Bus の略で、中速、低速向けのシリアルインターフェイスの規格の 1 つ。コンピュータやプリンタなどの接続機器の電源が入ったまま、ケーブルの抜き差しができる。また、「USB ハブ」という機器を使用することで、規格上、同時に 127 台までの USB 対応機器を接続することができる。

Web スムージング
プリンタドライバの機能の 1 つ。インターネットからダウンロードした低解像度の画像やロゴの輪郭をなめらかに印刷することができる。

Windows（ウィンドウズ）
Microsoft 社が開発した OS で、コンピュータの標準的な OS として利用されている。Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 などの種類がある。

ア

アイコン
コンピュータの画面上に表示される、ファイルや書類、フォルダなどを象徴する図柄。マウスでこの図柄をクリックなどすることにより、さまざまな命令をコンピュータに指示する。

アジャストレバー
印刷する用紙の厚さに応じてプリントヘッドと用紙の間隔を調整するレバー。

圧縮（データ圧縮）
1 つ、または複数のファイルを 1 つにまとめて、データ容量を小さくすること。圧縮されたデータは展開して、元のデータに戻して使用する。これを「解凍」という。

アプリケーションソフトウェア
コンピュータ上で実務処理などを行うためのソフトウェア。ワープロソフト、表計算ソフト、画像処理ソフトなどがある。

アンインストール（削除）
インストールした（コンピュータのシステムに組み込んだ）ソフトウェアを削除すること。

イ

色補正方法
プリンタドライバの設定項目の 1 つ。印刷するデータの色バランスを整える方法。

インクカートリッジ
印刷用のインクが入った容器。

インク残量
インクカートリッジ内に残っているインクの量。

インクジェットプリンタ
プリントヘッドのノズル部分（インク吐出孔）からインクを用紙に吹き付けて印刷するプリンタ。

インク充てん
プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして、印刷できる状態にすること。

印刷解像度
例えばカラーインクジェットプリンタでは、用紙にインクの粒を吹き付けて印刷（画像を表現）する。このインクの粒が約 25.4mm（1 インチ）幅にいくつあるかを［印刷解像度］といい、単位は dpi（dot per inch）で表す。
インクの粒が多いほど、画像はより精細になるが、印刷に時間がかかる。

印刷可能領域
プリンタドライバの設定項目の 1 つ。定形紙に対して印刷する領域を選択する。印刷可能領域と印刷推奨領域がある。印刷可能領域を選択すると、用紙下端の余白部分が少なくなり、印刷可能な領域が広がる。ただし、用紙の種類によっては、印刷の汚れや乱れが発生する可能性がある。写真などを印刷する場合には、「四辺フチなし」を選択すると用紙の上下左右の余白をなしで印刷することもできる。

印刷先のポート

プリンタドライバからのデータをコンピュータのどのポートに出力するかを設定する項目。プリンタドライバをインストールする際に、自動的に設定される。

印刷順序

プリンタドライバの設定項目の 1 つ。同じ印刷データを複数枚印刷する際の印刷順序を選択する。

印刷ジョブ

印刷中のデータや、印刷待ちのデータをジョブ（印刷ジョブ）と呼ぶ。

印刷推奨領域

プリンタには、紙送りの機構上、用紙の上端、下端に印刷品質を保証できない部分がある。この部分を除いた領域を印刷推奨領域という。通常は、この領域に印刷を行う。

印刷品質

プリンタドライバの設定項目の 1 つ。印刷の品質を［ドラフト］［ファイン］［スーパーファイン］［フォト］などから選択することができる。

印刷部数

プリンタドライバの設定項目の 1 つ。印刷部数を指定する。

印刷プレビュー

印刷実行前に印刷結果の予想図を見るためのプリンタドライバの機能。

印刷方向

プリンタドライバの設定項目の 1 つ。印刷方向を選択する。

インストーラ

CD-ROM やフロッピーディスクで提供されソフトウェアなどをコンピュータのハードディスクにコピーし、さらに使用できる状態まで自動的に設定するソフトウェア。

インストール

OS やアプリケーションなどの新しいソフトウェアをコンピュータのシステムに組み込むこと。

インターネット

TCP/IP をベースとしたネットワークプロトコルによって、世界中のコンピュータを相互接続したネットワークの総称。

インターフェイス

異なる機器が接続される接点（境界面）。また、それらの機器間でデータなどをやり取りするためのハードウェアやソフトウェアの接続仕様。

インターフェイスカード

標準装備されているインターフェイス以外に、さらにインターフェイスを増やしたい場合に取り付けるカード。本機に装着することはできない。

インターフェイスケーブル

プリンタとコンピュータを接続するケーブル。接続するコンピュータの種類によって、使用するケーブルが異なる。

インターフェイスコネクタ

インターフェイスケーブルを接続するコネクタ。

インチ

長さの単位で、1 インチは約 25.4mm。

エ

エッジガイド

セットした用紙が斜めに挿入されないように、用紙の側面にあてて、給紙をガイドするもの。

エラー通知

プリンタドライバの設定項目の 1 つ。本機で発生したエラーの通知方法を選択する。

エラー表示

本機にエラー（正常でない状態）が発生したときに、画面や音声でお知らせする機能。

オ

オートシートフィーダ

セットされた用紙を自動的に、連続して給紙する装置。

オートフォトファイン !4

エプソン独自の画像解析 / 処理技術を用いて、自動的に画像を高画質化して印刷する機能。

オブジェクト

色補正を行う際に対象となるもの。

オリジナルマークの登録

スタンプマークを印刷する際、プリンタドライバのマーク名のリストボックスに、あらかじめ登録されていないオリジナルのマークを追加登録すること。

カ

改行

印刷位置を次行の左マージン位置に移動すること。

解像度（resolution）

画面の細やかさを表す指標で、一般に dpi ［25.4mm あたりのドット数（Dot Per Inch）］の単位で表す。解像度が大きければそれだけ画質も良くなるが、コンピュータで処理しなければならないデータの容量も多くなり、印刷に時間がかかる。

解凍

圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

改ページ

印刷位置を次ページ先頭の左マージン位置（印字開始位置）に移動すること。

拡大 / 縮小

プリンタドライバの設定項目の 1 つ。印刷データを拡大 / 縮小して印刷するときに設定する。

画素（pixel）

画像が細かい点で構成されているとみなしたとき、それぞれの点のことを画素という。コンピュータでは、画素をデータに置き換えて処理する。1 画素を何ビットで表現するかにより、画像の色数や階調数が決まる。

カラー調整

プリンタドライバの設定項目の 1 つ。カラー調整の方法を選択する。

カラーマッチング

原画、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色を合わせ込む機能。

環境設定

プリンタドライバの設定画面の 1 つ。Windows では印刷速度やプログレスメータ表示、EPSON プリンタポートに関する設定を行う。Macintosh では、エラー表示やプリンタの状態を確認するタイミングなどの設定を行う。

キ

基本設定画面

Windows 用プリンタドライバの設定画面の 1 つ。印刷品質に関わる設定をする。

キャッピング

プリントヘッドの乾燥を防ぐために、本機が自動的にプリントヘッドにキャップをする機能。

ギャップ調整

プリントヘッドのズレを調整する機能。双方向印刷をしていて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になる場合は、プリントヘッドのギャップがずれている可能性がある。その場合に調整が必要になる。

キャリッジ

インクカートリッジをセットしている部分。

給紙

オートシートフィーダにセットされている用紙を、ページ先頭位置まで紙送りすること。

給紙補助シート

オートシートフィーダにセットした専用紙の最後の 1 枚を正常に給紙するためのシート。このシートが同梱された専用紙を使用する場合、このシートを先にセットしてから専用紙をセットする。専用紙によっては普通紙で代用する場合もある。

共有プリンタ

ネットワーク環境下において、複数のコンピュータから使用可能なように設定されたプリンタ。

ク

クライアント

ネットワーク環境下において、サーバから各種サービスを受ける側となるコンピュータ。

クリーニングシート

一部の専用紙に同梱されているヘッドクリーニング用のシート。本機では紙送りの機構上使用できない。

クリック

マウスのボタンを " カチッ " と 1 回押すこと。

クリップボード

ソフトウェア間でデータを交換するときに、データを保存する場所のこと。メモリを使用する。

コ

コントラスト

画像の最も明るい部分と暗い部分の差。差があるほどコントラストの値は大きくなる。

コントロールコード

本機の機能を制御するための、コンピュータから本機側へ送られるコード（命令符号）。

サ

サーバ

ネットワーク環境下において、クライアントにサービスを提供する機能を持つハードウェアやソフトウェア。

左右反転

プリンタドライバの設定項目の 1 つ。印刷データの左右を反転させて印刷する。

左右フチなし

ロール紙に印刷する際に、左右の余白をなしで印刷する機能。

シ

システム条件

プリンタドライバを使用するために最小限必要なコンピュータの環境条件。

四辺フチなし

定形紙に印刷する際に、上下左右の余白をなしで印刷する機能。

手動設定画面

Windows 用プリンタドライバの設定画面の 1 つ。印刷品質に関わる詳細な設定をすることができる。

詳細画面

プリンタの設定画面の 1 つ。Windows の機能として表示される画面で印刷先の設定やエラー表示に関する設定などをすることができる。

詳細設定

プリンタドライバの設定項目の 1 つ。選択すると印刷品質に関連する項目を詳細に設定する画面を表示するためのボタンと用途に応じた設定を選択できるメニューが有効になる。

上質普通紙

黒色の発色に特に優れた普通紙。

使用済みカートリッジ回収ポスト

使用済みカートリッジを定期的に回収し再資源化するために回収協力販売店に設置しているカートリッジ回収用のボックス。

ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールーム。

初期化

プリンタを印刷可能状態に戻すこと。

初期充てん

プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして、印刷できる状態にすること。

初期設定値

電源スイッチをオンにしたときに選択される設定。

初期動作

電源をオンにしたときに行われる、本機のウォーミングアップ。プリントヘッドが左右に動くなどして、本機のエラー状態を検査する。

ス

推奨ケーブル
本機を各種コンピュータに接続するための弊社の推奨するケーブル。

推奨設定
プリンタドライバの設定項目で、各種用紙に合わせて最適な設定にしてくれる印刷モード。

スーパーファイン
印刷品質の項目の 1 つで、720dpi ※の解像度で印刷する。
※ dpi：25.4mm あたりのドット数（Dot Per Inch）

スタンプマーク
印刷するデータにマークを重ねて印刷する機能。オリジナルのマークやテキストも登録することができる。

スプール
プリンタ出力などで、印刷データを一時的にディスクに保存してからプリンタに送信する出力の手法。

スプールマネージャ
印刷データを一時的に蓄えるアプリケーションソフト。

スムージング
プリンタドライバの設定項目で、印刷データ内のテキストデータや線画の輪郭を、滑らかに印刷する機能。

セ

接続先（ポート）の設定
印刷データの出力先は、USB インターフェイス、ハードディスクなど複数あるが、それらの接続先（ポート）を設定すること。

設置
本機を置くこと、または置く場所のこと。

専用紙
弊社のプリンタを使用して最適な印刷結果が得られるように作られた用紙。

ソ

双方向印刷
プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷することにより、印刷の高速化を実現するための機能。

双方向通信
コンピュータと本機とで、データを双方でやり取りする機能。EPSON プリンタウィンドウ !3 では、この双方向通信機能を使用して、本機の状態などをコンピュータの画面上に表示する。

タ

退色
一般的に印刷物や写真などは、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響などで退色（変色）する。エプソン製専用紙も同様だが、保存方法に注意することで、変色の度合いを低く抑えることができる。

タイムアウト

プリンタの接続に関する設定項目で、コンピュータからプリンタに印刷データを送る際の待ち時間、プリンタがデータを受信できなくなったときの送信を繰り返す時間を設定する。

ダウンロード

インターネットやパソコン通信でサーバ上に保存されている、ファイル（プリンタドライバなど）を自分のコンピュータにコピーすること。

タスクバー

Windows の［スタート］ボタンがあるバーのこと。アプリケーションを起動したときに、ここに登録、表示される。

タブ

プリンタドライバの画面などで、[基本設定]［用紙設定］［レイアウト］［ユーティリティ］などの表示を切り替えるための見出し。クリックすると各画面が表示される。

ダブルクリック

マウスのボタンを " カチッカチッ " と 2 回続けて押すこと。

チ

チェックボックス

プリンタドライバなどに表示される小さな正方形。これをマウスでクリックすることにより、機能を選択できる。

ツ

通信エラー

コンピュータとプリンタが通信できない場合に出るエラー。正しく印刷データが送れない場合などに発生する。エラーが発生すると画面上にエラーに関するダイアログが表示される。

通信販売

EPSON 製品の消耗品・オプションがお近くの販売店で入手困難な場合に、インターネットや FAX などで注文することができるシステム。

坪量

用紙の厚さを表す単位（1平方メートル / グラム）。

テ

ディスクサービス

お客様により良い環境でご使用いただく為に、各種システムドライバの最新版を郵送にてご提供（実費）させていただいているサービス。

ディレクトリ

ファイルを管理するための住所のようなもの。ディレクトリは、階層化構造となっている。

デジタルカメラ用補正

プリンタドライバの設定項目で、デジタルカメラで撮影した画像を印刷するのに最も適した設定になるように、ドライバの設定を変更する機能。

デバイス

コンピュータ（CPU）に接続する機器のこと。デバイスを使用するためには、デバイスドライバというソフトウェアが必要となる。

ト

動作確認

本機が正しく動作するか確認するために、本機の内部で持っているノズルチェックパターンを印刷すること。

動作環境

本機やプリンタドライバなどが正しく動作するために必要な環境のこと。

ドライブ

フロッピーディスクや CD-ROM、ハードディスクなどを駆動する装置。フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブなどと呼ぶ。

ドラッグ（drag）

マウスボタンを押したまま、マウスを動かしてアイコンなどを移動すること。コピーなどの操作で使用する。

ドラフト

プリンタドライバの印刷品質の項目で、インク消費量をセーブしながら高速に印刷する。試し印刷に向いている。

ニ

任意倍率

プリンタドライバの項目で、印刷データをどのくらいの割合で拡大 / 縮小するか入力する。

ネ

ネットワーク

複数のコンピュータ間で直接データをやり取りできるように接続すること。

ノ

ノズルチェック

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていないか確認するために、本機の内部に保存されているパターンを印刷する機能。

ハ

バージョンアップ

プリンタドライバやアプリケーションソフトなどに新機能などを盛り込んで、更新すること。最新のプリンタドライバなどは、インターネットやパソコン通信などで情報を公開している。

排紙トレイ

プリンタから排出された用紙を受けるところ。

ハイライト

画像の最も明るい部分。

パソコンスクール

専任のインストラクターが EPSON 製品のさまざまな使用方法を楽しく、わかりやすく、効果的にお教えするサービス。

パソコン通信サービス
インターネットや @nifty などを通じて行う最新情報の公開、またはソフトウェアのダウンロードなどのサービス。

発色プロセス
ディスプレイやプリンタなどの色を表現の方法。ディスプレイの発色方法は「加法混色」、プリンタの発色方法は、「減法混色」と呼ばれる。

バッファ
処理するためのデータを一時的に蓄えるためのメモリ。

パラレルインターフェイス
コンピュータからプリンタへデータを転送する際に、データを 8 ビットずつ転送する方式のインターフェイス。

バリ
用紙の切断面におこる毛羽立ち。

ヒ

ピクセル（pixel）
印刷する際に、ユーザーが制御できる画像の最小単位。

表示解像度
画像をコンピュータのディスプレイに表示したときに、どのくらいの大きさで表示されるかを表したもので、単位はピクセル（またはドット）。ディスプレイ自体の表示能力を表すときも表示解像度を用いる。

フ

ファイン
プリンタドライバの印刷品質の設定項目で、360dpi ※の解像度で印刷する。印刷スピード、品質、ランニングコストのバランスが良く、日常使用に最適な設定。
※ dpi：25.4mm あたりのドット数（Dot Per Inch）

フィットページ
プリンタドライバの項目で、出力用紙のサイズに合わせて、自動的に印刷データを拡大・縮小する機能。

フォト
プリンタドライバの印刷品質の項目で、スーパーファイン専用紙などで 720dpi ※（マイクロウィーブ・スーパーをチェックの際、1440dpi）の解像度で印刷する。
※ dpi：25.4mm あたりのドット数（Dot Per Inch）

フォトレタッチ
画像処理ソフトウェアで画像データを読み込み、明るさやコントラストの調整など画像の加工を行うこと。

フォルダ
ファイルを分類・整理するための保管場所。

フォント
コンピュータで使われている文字（書体）。

部数
プリンタドライバの設定項目で、印刷物を何枚印刷するか設定する。

ブックレット

プリンタドライバの設定項目の 1 つ。両面印刷（手動）の印刷方法の 1 つで、印刷済みのページを 2 つに折り、重ね合わせると冊子ができ上がる。

プラグアンドプレイ

コンピュータにハードウェア（本機など）を装着するだけで、自動的に動作環境が設定され、すぐに使用できる状態になる機能。

フラップ

封筒などで封を閉じる折り返しの部分。

プリセットメニュー

あらかじめ用意されている印刷目的別の設定メニュー。

プリンタ

コンピュータで処理した文字や画像を紙などに印刷する装置。

プリンタ ID

各プリンタが個々で持っている、プリンタ情報、識別番号。

プリンタケーブル

コンピュータとプリンタをつなぐケーブル。

プリンタドライバ

アプリケーションソフトの命令語を、プリンタで印刷するためにプリンタが理解できるコードに変換する、システムに組み込むソフトウェア。

プリンタドライバのインストール

本機のプリンタ機能が動作するように、システムに組み込むこと。

プリンタドライバの削除

コンピュータに組み込まれているプリンタドライバを消去すること。本機を使用しなくなった場合や、プリンタドライバを最新のものにバージョンアップする際に実行する。

プリンタドライバのバージョンアップ

プリンタドライバに新機能などを盛り込んで、更新すること。

プリンタの共有

ネットワーク上で、1 台のプリンタを複数のコンピュータが使用できるようにすること。

プリンタの接続先の設定

USB インターフェイスなどコンピュータ上のどのインターフェイスから、データを受け取るかコンピュータ上で設定すること。

プリンタの追加

新しくプリンタをコンピュータに接続した場合、[プリンタ] フォルダにプリンタを登録すること。

プリントキュー

印刷データを一時的に記憶しておくソフトウェア。

プリントサーバ

ネットワーク環境下において、クライアントにサービスを提供する機能を持つハードウェアやソフトウェア。

プリントヘッド

用紙にインクを吹き付ける部分。

プレビュー

印刷する前に印刷全体のイメージを表示すること。

プレビュー画面
印刷する前に印刷全体のイメージを表示する画面。スタンプマークの設定など印刷前に各種設定も実行できる。

プログレスメータ
印刷の進行状態やインク残量などを表示する画面。

フロッピーディスク
コンピュータの記憶媒体（メディア）の 1 つ。

プロパティ
画面上に表示されるフォルダなどの属性。Windows でファイルアイコンやドライブアイコンなどを右クリックしたときに表示されるものをプロパティメニューと呼ぶ。

プロファイル
色補正データが記録されているファイル。

ヘ

ヘッドクリーニング
プリントヘッドのノズルの目詰まりを取り除く機能。目詰まりしたまま印刷を実行すると印刷結果に白いスジが入ったり、データと明らかに異なる色で印刷されるなどの現象が発生する。

変色
一般的に印刷物や写真などは、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響などで退色（変色）する。エプソン製専用紙も同様だが、保存方法に注意することで、変色の度合いを低く抑えることができる。

ホ

ポート
プリンタなどの周辺機器とコンピュータを接続するためのコネクタやソケット。

ポイント
マウスカーソルをアイコンなどに移動して、クリックする前の状態のこと。

保護具
本機を輸送時の衝撃から守るための、緩衝材やテープ。

保守サービス
EPSON 製品を万全の状態でお使いいただくためのサービス。

ポスター印刷
プリンタドライバの機能の 1 つ。1 ページのデータを 4/9/16 ページ分に拡大し、分割して印刷する機能。印刷結果をつなぎ合わせると大きなサイズの印刷結果を作ることができる。

ポップアップメニュー
▼マークのある枠内をクリックすることにより、複数の選択肢が表示されるメニュー。

マ

マージン
印刷された用紙の上下左右の余白のこと。

マイクロウィーブ

行ごとのムラを少なくし、より高品質なグラフィックスイメージを表現する機能。

マイコンピュータ

Windows 95 以降で画面上に表示されるアイコン。ダブルクリックして開くとコンピュータ上に存在するドライブやコンピュータの各種機能を設定するための［コントロール パネル］［プリンタ］などのフォルダを表示する。

マルチサイズドット

ヘッドから吐出するインクの量を大中小と 3 タイプに吹き分けることによって、印刷ムラのない美しい出力を可能にしたエプソン独自の機能。

ミ

右クリック

マウスの右ボタンを " カチッ " と 1 回押すこと。

メ

明度

画像の明るさの度合い。プリンタドライバで調整することができる。

メモリ（memory）

データを一時的に保存する部分。例えば、ソフトウェア自体はハードディスクに保存されているが、起動するとメモリに読み込まれ、ここでさまざまな処理が行われる。ハードディスクは保存領域、メモリは作業領域といえる。画像取り込みにもメモリを使用するため、メモリの容量が少ないと、データが収まらずにエラーが発生することがある。

モ

モード設定

プリンタドライバの項目で、印刷モードを選択することができる。用紙に合わせて最適な設定になるように自動的に印刷する［推奨設定］、自分で選択した設定で印刷する［詳細設定］、自動的に高画質化して印刷する［オートフォトファイン!4］がある。

モノクロ印刷（黒インク）

印刷データを白と黒の階調のみで表現する。[インク] 設定で [黒] を選択すると、モノクロ印刷を実行することができる。

ユ

ユーザー定義サイズ

プリンタドライバの設定項目で、定形外の用紙サイズ（用紙サイズのリストにない用紙）を登録して印刷することができます。

ユーティリティ画面

印刷品質にかかわるメンテナンス機能などを実行するためのプリンタドライバの画面。

ヨ

用紙サイズ

プリンタドライバの項目で、印刷データ上で設定されている用紙のサイズをリストの中から選択する。一覧に印刷する用紙サイズがない場合は、使用する用紙サイズを設定する必要がある。

用紙サポート

本機にセットしてある用紙を支えるためのもの。用紙サポートにセットできる用紙の枚数は、用紙の種類によって異なる。

用紙種類

プリンタドライバの設定項目で、本機にセットした用紙の種類を選択する。プリンタドライバでの設定と本機にセットしてある用紙の種類が異なると印刷結果がにじむなど思うような印刷品質で印刷されなくなる。

用紙設定画面

プリンタドライバの設定画面で、印刷する用紙サイズや、印刷方向などを選択する。

用紙のセット方向

本機に用紙をセットするときの用紙の向き。印刷する用紙（往復ハガキ除く）は、すべて縦方向にセットする必要がある。

ラ

ラジオボタン

2 つまたはそれ以上の選択肢の中から 1 つだけを選択するための画面上のボタン。

リ

リストボックス

プリンタドライバなどの設定項目などで［▼］をクリックすると、選択候補が一覧となって表示される窓のこと。

両面印刷（手動）

プリンタドライバの機能の 1 つ。奇数ページを印刷したあと、用紙をセットしなおして偶数ページの印刷を行い用紙の両面に印刷する。

レ

レイアウト画面

プリンタドライバの設定画面で、スタンプマークや割り付け印刷など用途に合わせて印刷データを加工することができる。

連続印刷

電源スイッチのオン / オフ操作およびヘッドクリーニング操作などで動作を中断することなく印刷し続けること。

ロ

ローカルプリンタ

コンピュータにインターフェイスケーブルで直接接続されたプリンタのこと。

ロール紙

連続して写真印刷を行うことを目的とした長尺の用紙。ロール状に巻かれた状態でプリンタにセットして印刷することができる。

ロジカルシーキング

双方向最短距離印字機能。次の行の印字位置への移動が最短距離になるように判断して改行する機能。

ワ

割り付け印刷

プリンタドライバの機能の 1 つ。1 枚の用紙に 2 ページまたは 4 ページのデータを割り付けて印刷する。

割付 / ポスター

プリンドライバの設定項目の 1 つ。1 枚の用紙に 2/4 ページのデータを割り付けて印刷したり、逆に 1 ページのデータを 4/9/16 ページに拡大し、分割印刷する機能。